

令和 6 年度
青少年の健全育成に関する意識調査
報 告 書

令和 7 年

岩 手 県

「青少年の健全育成に関する意識調査報告書」

目 次

I 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査票の回収結果	1
4. 調査主体	1
5. 調査対象地域と回収の分布	2
6. 前回(令和3年度)調査との比較	3
II 少年に対する調査	
1 基本属性(性・年齢・住んでいる地域)	5
2 家族構成	6
3 家庭生活	7
4 学校生活	11
5 悩みごと	13
6 地域社会	18
7 生活時間の使い方	36
8 インターネット利用	40
9 子どもの非行・被害防止	47
III 保護者に対する調査	
1 基本属性(性・年齢・住んでいる地域)	49
2 子ども・家族構成	51
3 子どもとの会話	53
4 子どもの家庭生活	61
5 子どもの学校生活	63
6 子どもに関する悩み	66
7 地域社会	70
8 子どものインターネット利用	78
9 子どもの非行・被害防止	81
10 子どもに対する夢	83
11 家庭教育	85
IV 青年に対する調査	
1 基本属性(性・職業・住んでいる地域)	91
2 家族構成	94
3 悩みごと	95
4 地域社会	97
5 社会問題や行動、行為に対する価値観・考え	114
6 生活時間の使い方	126
7 インターネット利用	128
8 子どもの非行・被害防止	134

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、青少年健全育成に関する県民の意識や行動について調査を行い、現状の県民意識や行政に対するニーズを把握すると共に、今後の青少年の健全育成の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の設計

(1) 調査対象及び標本数

- ①岩手県内に居住する中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生 500人
- ②上記①の中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生の保護者 500人
- ③青年（岩手県内在住の成年（20歳～39歳））1,500人

(2) 抽出方法

- ①中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生及びその保護者については岩手県で抽出
- ②青年については無作為抽出

(3) 調査方法

- ①中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生及びその保護者については、学校を通しての配布、回収（郵送・オンライン回答 併用）
- ②青年については設問票によるアンケート調査（郵送法）

(4) 調査期間

令和6年9月27日～令和6年10月15日

3. 調査票の回収結果

(1) 有効回収数

- ①中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生
480人（96.0％ 以下、「少年」と記す）
- ②保護者
483人（96.6％）
- ③青年
339人（22.6％）
- 調査全体
1,302人（52.1％）

(2) 調査対象地域と回収の分布

次ページ表のとおり

4. 調査主体

岩手県 環境生活部 若者女性協働推進室

< 報告書を見る上での注意事項 >

- ①比率（パーセント）の表記は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、比率の合計が100.0とならない場合がある。なお、一つの設問に対して二択以上の回答を求めるものは、比率の合計を記載しない。
- ②各設問集計の対象者（集計対象となる前提条件を満たしているもの）は「N=」としてその数を表記する。
- ③調査票に記載した設問ないし、選択肢の表現について、長文のものを適度に簡略化して表記している。
- ④性別「その他」は令和3年度調査より新たに追加された項目である。
- ⑤令和3年度調査より無効回答の項目を追加し集計する。（指定された回答数以上に回答しているまたは回答が明確ではない場合は無効回答としている）

5. 調査対象地域と回収の分布

①「少年」の地域別構成表

地域区分	調査票 配布数	調査票回収数					性別の地域構成比					回収率
		男性	女性	その他	性別無回答	全体	男性	女性	その他	性別無回答	全体	
県央地域	170	76	85	1	0	162	31.9	36.3	25.0	0.0	33.8	-
県南地域	200	103	89	3	0	195	43.3	38.0	75.0	0.0	40.6	-
沿岸地域	80	42	38	0	0	80	17.6	16.2	0.0	0.0	16.7	-
県北地域	50	15	22	0	0	37	6.3	9.4	0.0	0.0	7.7	-
無回答	-	2	0	0	4	6	0.8	0.0	0.0	100	1.3	-
合計	500	238	234	4	4	480	100.0	100.0	100.0	100	100.0	96.0

※学校のある地域と「少年」が実際に住んでいる地域が同一とは限らない為、地域ごとの回収率は算出していません。

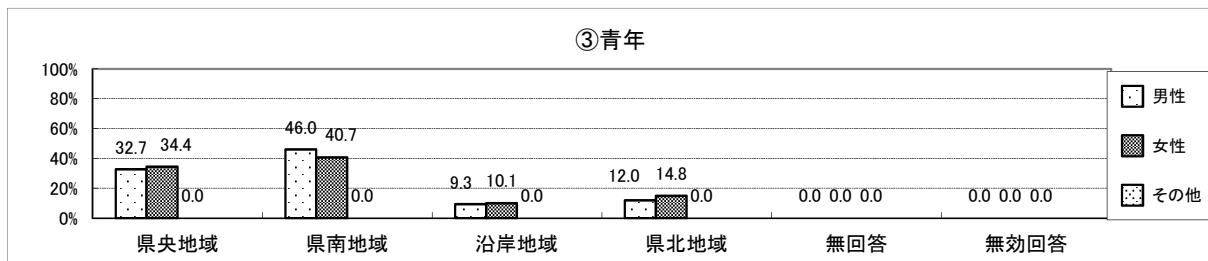
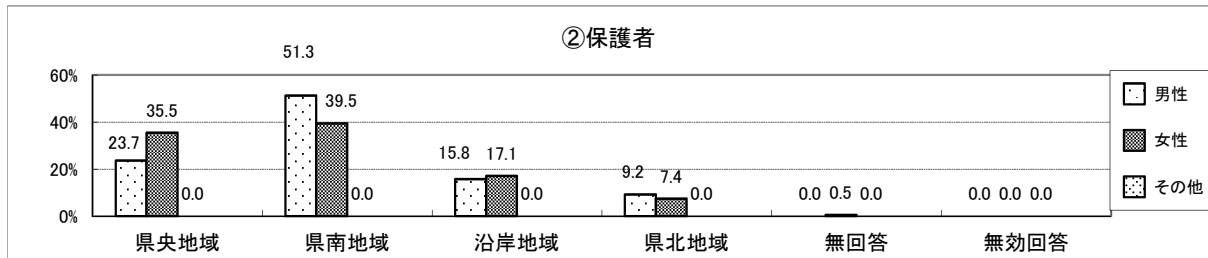
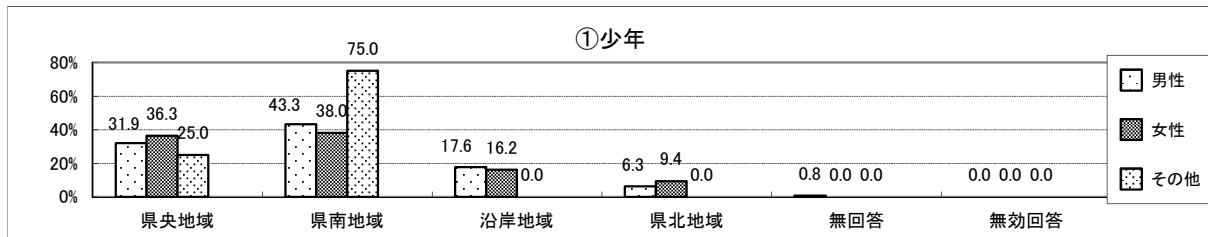
②「保護者」の地域別構成表

地域区分	調査票 配布数	調査票回収数					性別の地域構成比					回収率
		男性	女性	その他	性別無回答	全体	男性	女性	その他	性別無回答	全体	
県央地域	170	18	143	0	0	161	23.7	35.5	0.0	0.0	33.3	-
県南地域	200	39	159	0	1	199	51.3	39.5	0.0	25.0	41.2	-
沿岸地域	80	12	69	0	0	81	15.8	17.1	0.0	0.0	16.8	-
県北地域	50	7	30	0	0	37	9.2	7.4	0.0	0.0	7.7	-
無回答	-	0	2	0	3	5	0.0	0.5	0.0	75.0	1.0	-
合計	500	76	403	0	4	483	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	96.6

※学校のある地域と「保護者」が実際に住んでいる地域が同一とは限らない為、地域ごとの回収率は算出していません。

③「青年」の地域別構成表

地域区分	調査票 配布数	調査票回収数					性別の地域構成比					回収率
		男性	女性	その他	性別無回答	全体	男性	女性	その他	性別無回答	全体	
県央地域	500	49	65	0	0	114	32.7	34.4	0.0	0.0	33.6	22.8
県南地域	600	69	77	0	0	146	46.0	40.7	0.0	0.0	43.1	24.3
沿岸地域	200	14	19	0	0	33	9.3	10.1	0.0	0.0	9.7	16.5
県北地域	200	18	28	0	0	46	12.0	14.8	0.0	0.0	13.6	23.0
無回答	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
合計	1500	150	189	0	0	339	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	22.6



※各地域を構成する市町村は、以下のとおりである。

県央地域：盛岡市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町

県南地域：花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町

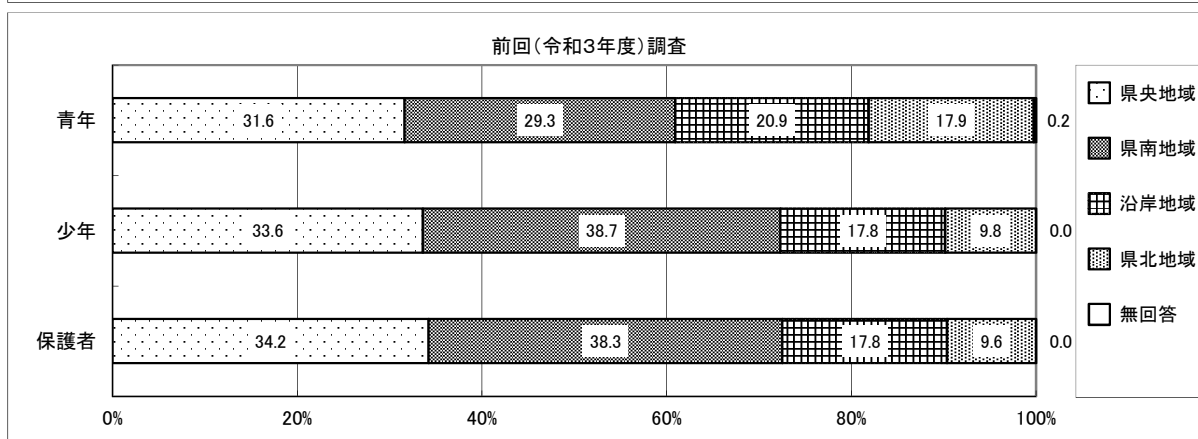
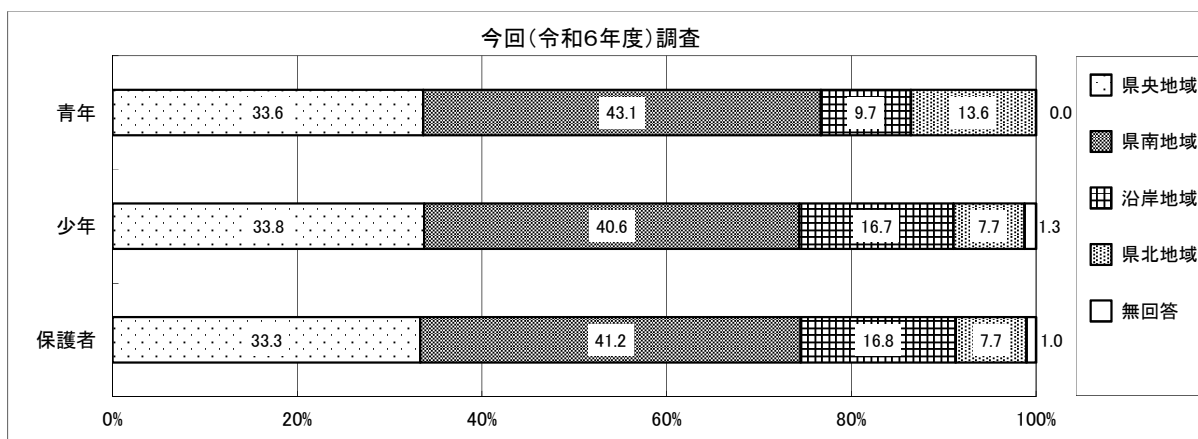
沿岸地域：宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村

県北地域：久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町

6. 前回（令和3年度）調査との比較

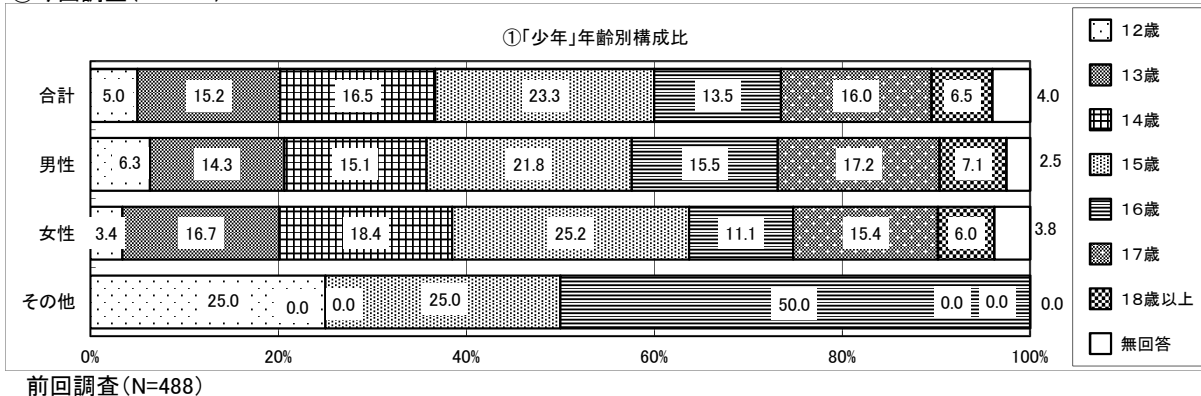
（1）前回（令和3年度）有効回収数

- ①中学生・高校生 488人（97.6% 以下、「少年」と記す）※無効回答1人全て白紙
 ②保護者 488人（97.6%）
 ③青年 430人（28.7%）※無効回答6人全て白紙
 調査全体 1,406人（56.2%）

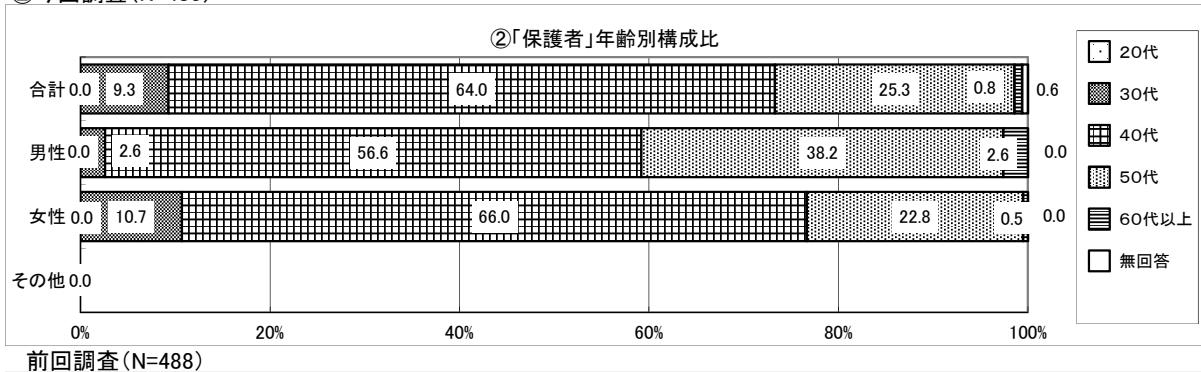


(2) 年齢別構成比の比較

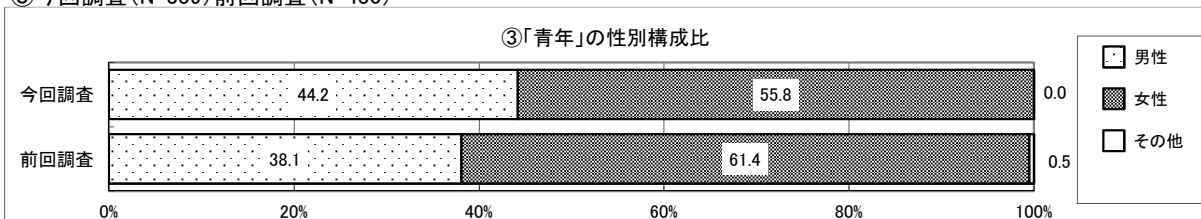
①今回調査(N=480)



②今回調査(N=483)



③今回調査(N=339) 前回調査(N=430)



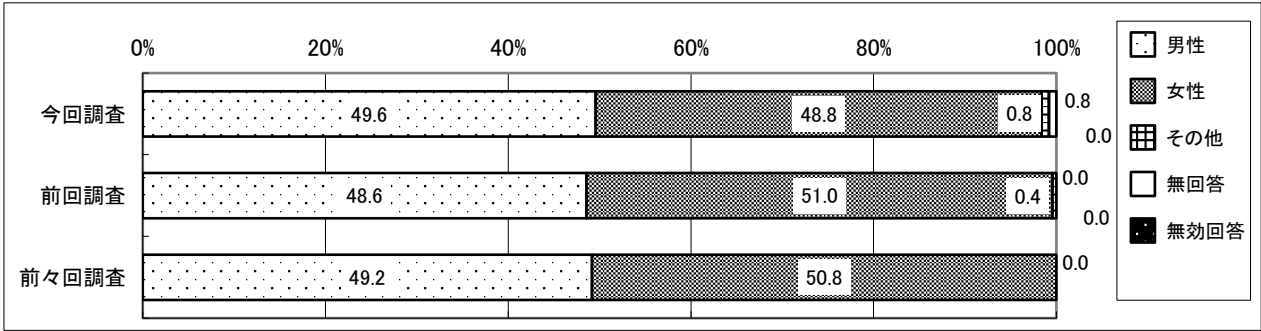
Ⅱ 少年に対する調査

II 少年に対する調査

1 基本属性(性・年齢・住んでいる地域)

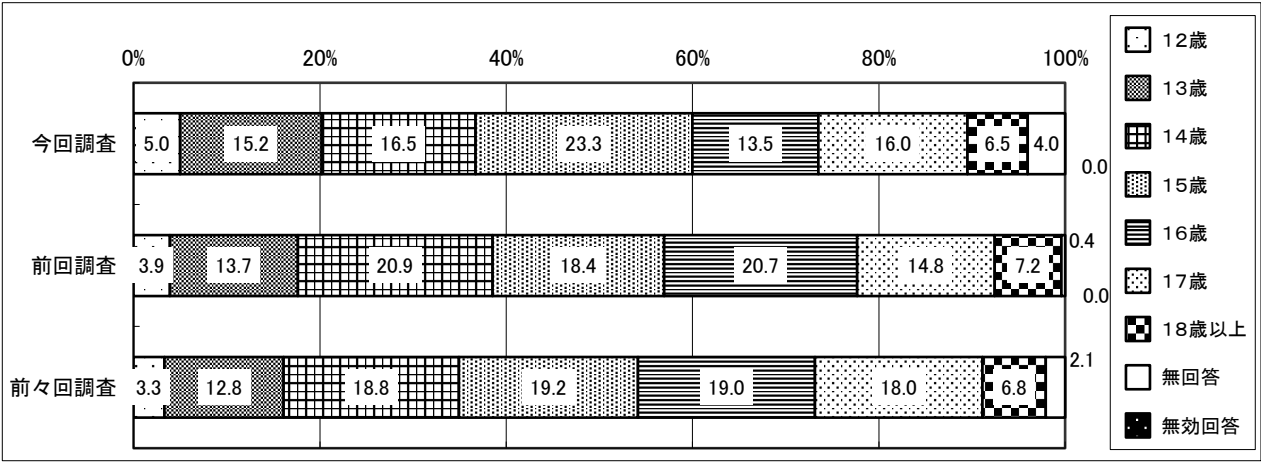
問1 あなたの性別を選んで○をつけてください。(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

「その他」は令和3年度調査より新たに追加された項目である。
今回の男性49.6%（男性=238）、女性48.8%（女性=234）、その他0.8%（その他=4）である。



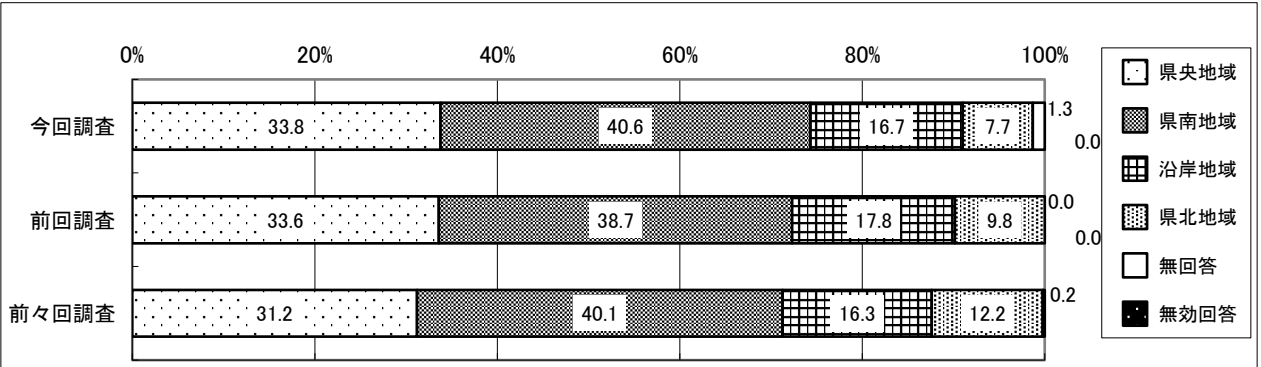
問2 あなたの年齢はいくつですか。
(N=480 満12歳=24 満13歳=73 満14歳=79 満15歳=112 満16歳=65 満17歳=77 満18歳以上=31 無回答=19)

今回調査では満「16歳」グループが7.2ポイント減り、満「15歳」グループが4.9ポイント増えている。
回収率は100%に近いので、標本対象の状況をそのまま反映していると考えられる。



問3 あなたのお住まいはどちらの地域ですか。次の中から1つを選んで○をつけてください。
(N=480 県央地域=162 県南地域=195 沿岸地域=80 県北地域=37 地域無回答=6)

今回調査では「県央地域」33.8%、「県南地域」40.6%、「沿岸地域」16.7%、「県北地域」7.7%である。
前回調査と比較すると、「県央地域」が0.2ポイント、「県南地域」が1.9ポイント増加し、「沿岸地域」が1.1ポイント、「県北地域」が2.1ポイント減っている。

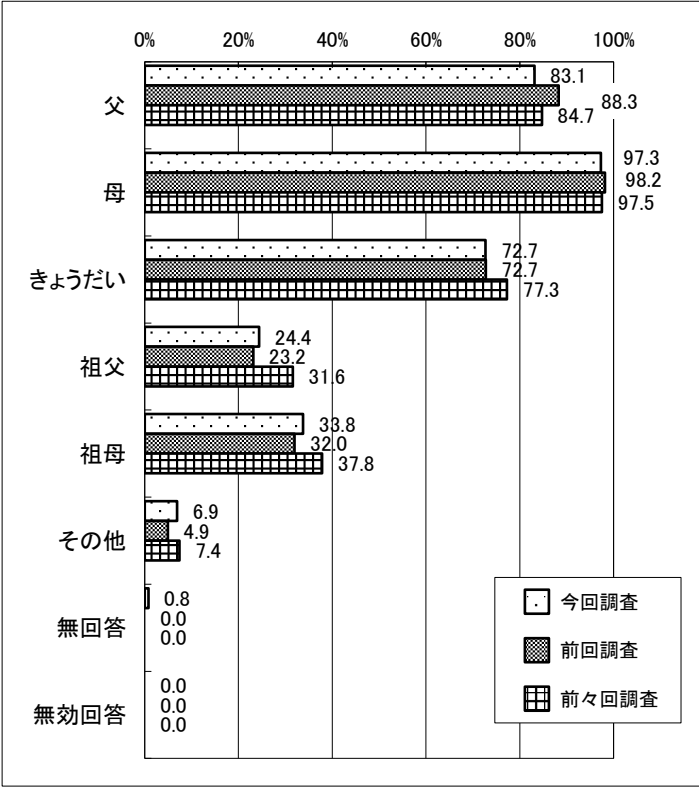


※各地域の市町村構成は「I 調査の概要」を参照

2 家族構成

問4 あなたは誰と一緒に暮らしていますか。次の中から一緒に住んでいる人をすべて選んで○をつけてください。
(N=480 父=399 母=467 きょうだい=349 祖父=117 祖母=162 その他=33 無回答=4)

一緒に暮らしている人で最も割合が高いのは「母」(97.3%)、次いで「父」(83.1%)、「きょうだい」(72.7%)、「祖母」(33.8%)、「祖父」(24.4%)と続く。
この傾向は前回調査と同様である。



「その他」の内訳

おじ	1
おば	5
おば(父方)	1
ひいおばあちゃん	2
ひい祖母	1
義理姉・甥・姪	1
高祖父	1
姉の夫	1
叔母	2
曾祖父	2
曾祖母	6
伯父	1
合計	24

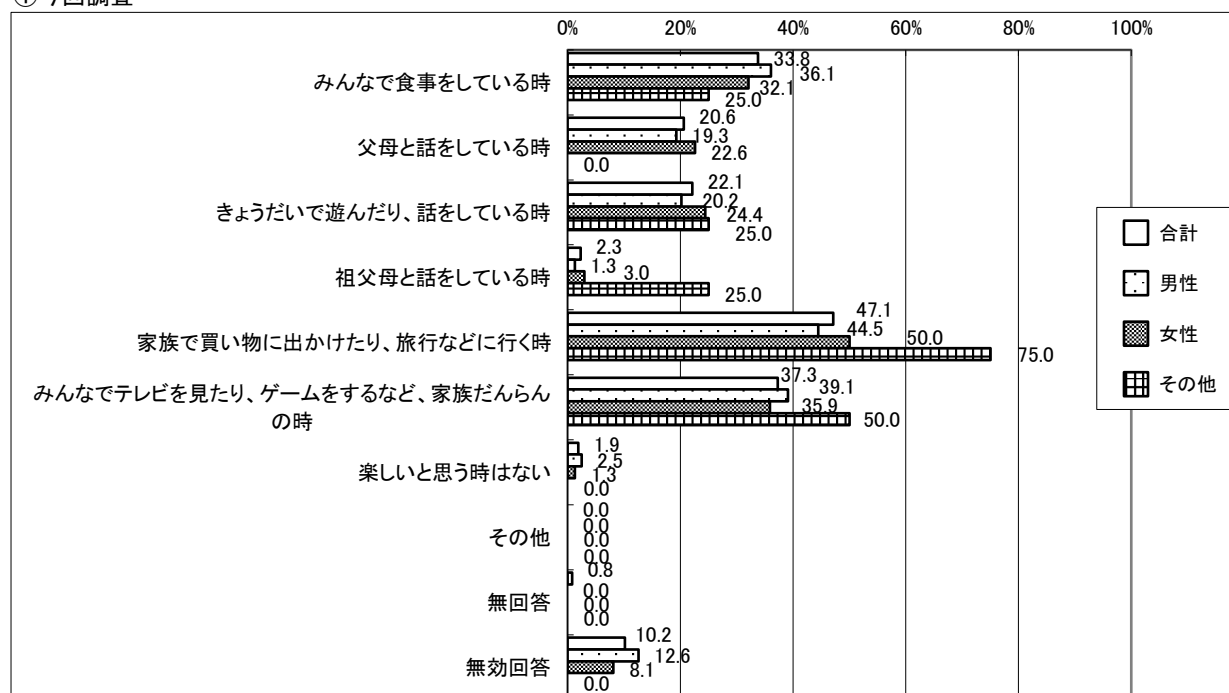
※「その他」に「犬」「猫」「うさぎ」など記入したものが9件あった。
※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

3 家庭生活

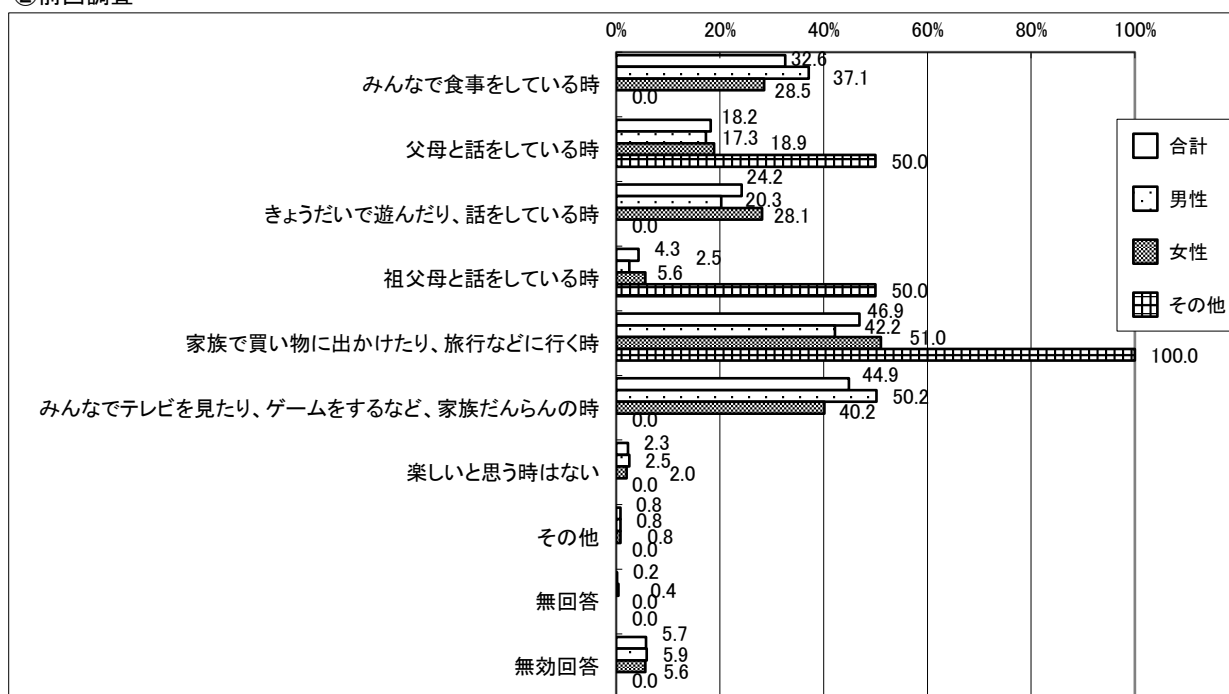
問5 家族と一緒にいて楽しいと感じるのはどんな時ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

家族と一緒にいて楽しいと感じるのは、「家族で買い物に出かけたり、旅行などに行く時」(47.1%)の割合が最も高く、次いで「みんなでテレビを見たり、ゲームをするなど、家族だんらんの時」(37.3%)、「みんなで食事をしている時」(33.8%)と続く。
「みんなでテレビを見たり、ゲームをするなど、家族だんらんの時」(37.3%)は前回調査(44.9%)より7.6ポイント減少、また「父母と話をしている時」(20.6%)は前回調査(18.2%)より2.4ポイント増加している。
男女別でみると、男女ともに「家族で買い物に出かけたり、旅行などに行く時」が最も割合が多い。(男性：44.5%) (女性：50.0%)

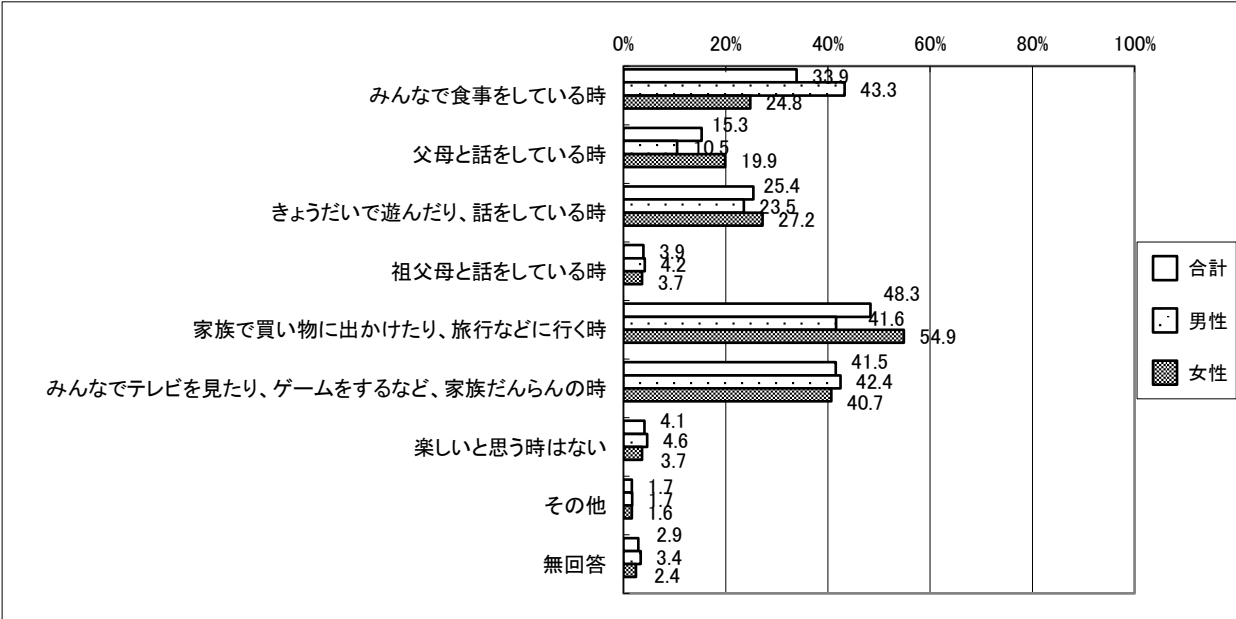
①今回調査



②前回調査



③前々回調査



「その他」の内訳

自由回答なし	0
合計	0

問6 お父さんはあなたの気持ちを理解していると思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

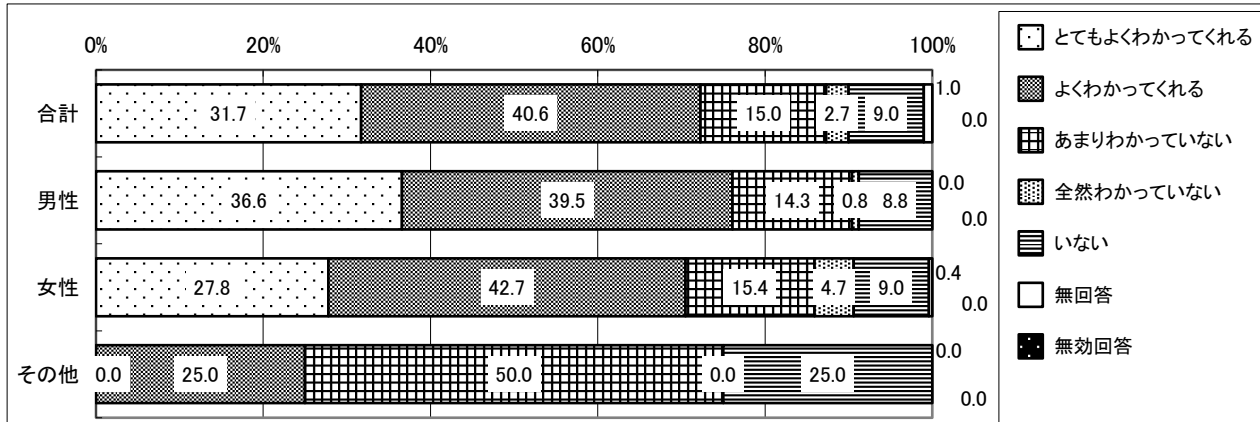
父の理解について「とてもよくわかってくれる」(31.7%)が前回調査(29.2%)より2.5ポイント増加している。

「とてもよくわかってくれる」と回答した男性は36.6%であり、前回調査(31.1%)より5.5ポイント増加。女性は27.8%であり、前回調査(27.6%)より0.2ポイント増加している。

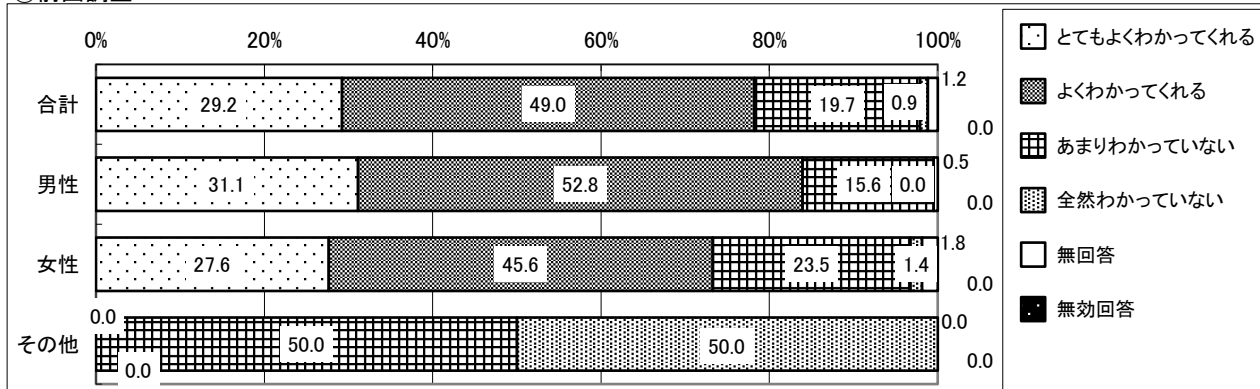
また「よくわかってくれる」と回答した女性は42.7%であり、前回調査(45.6%)より2.9ポイント減少としている。

「あまりわかっていない」(15.0%)または「全然わかっていない」(2.7%)と回答したものは17.7%であり、前回調査(20.6%)より2.9ポイント減少している。

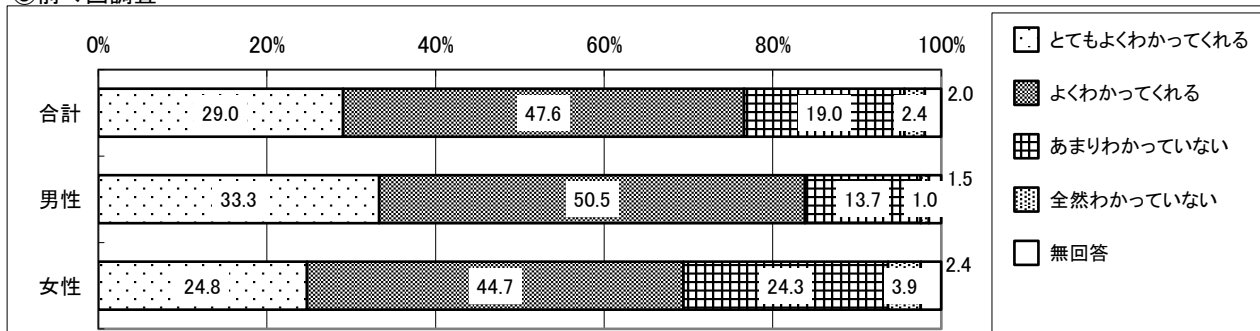
①今回調査



②前回調査



③前々回調査

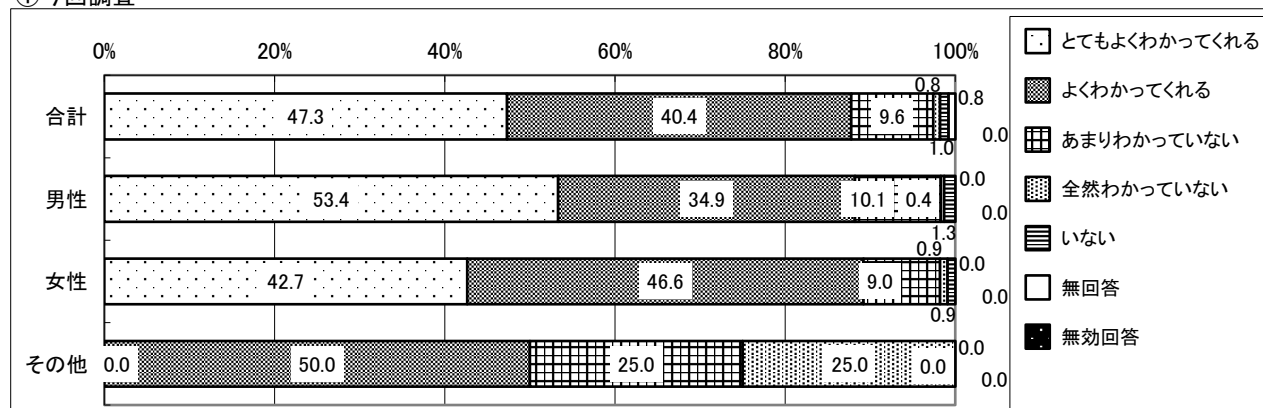


問7 お母さんはあなたの気持ちを理解していると思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

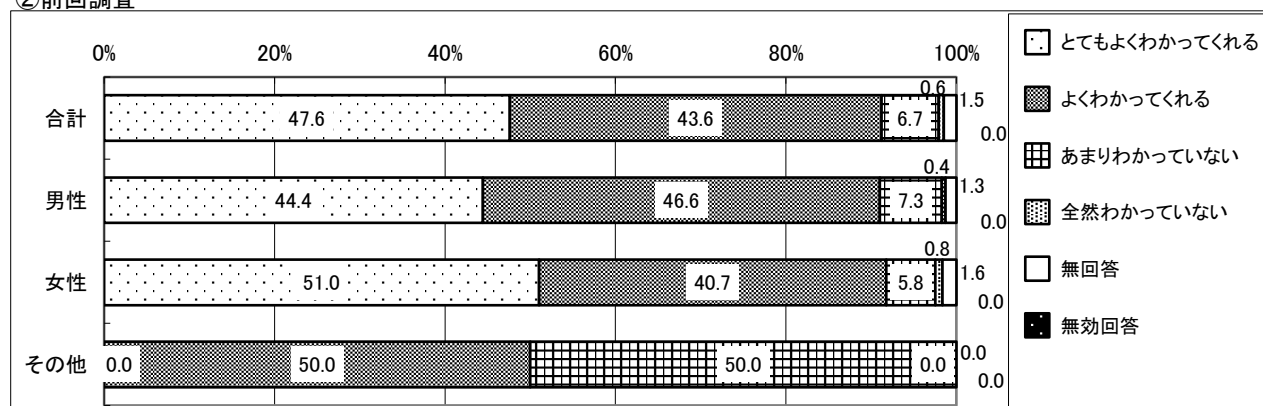
母の理解について「とてもよくわかってくれる」(47.3%)または「よくわかってくれる」(40.4%)と回答したものは87.7%であり、前回調査(91.2%)より3.5ポイント減少した。そのうち、女性については「とてもよくわかってくれる」が42.7%であり、前回調査(51.0%)より8.3ポイント減少し、「よくわかってくれる」が46.6%であり、前回調査(40.7%)より5.9ポイント増加している。

「あまりわかっていない」(9.6%)または「全然わかっていない」(0.8%)と回答したものは10.4%であり、前回調査(7.3%)より3.1ポイント増加した。

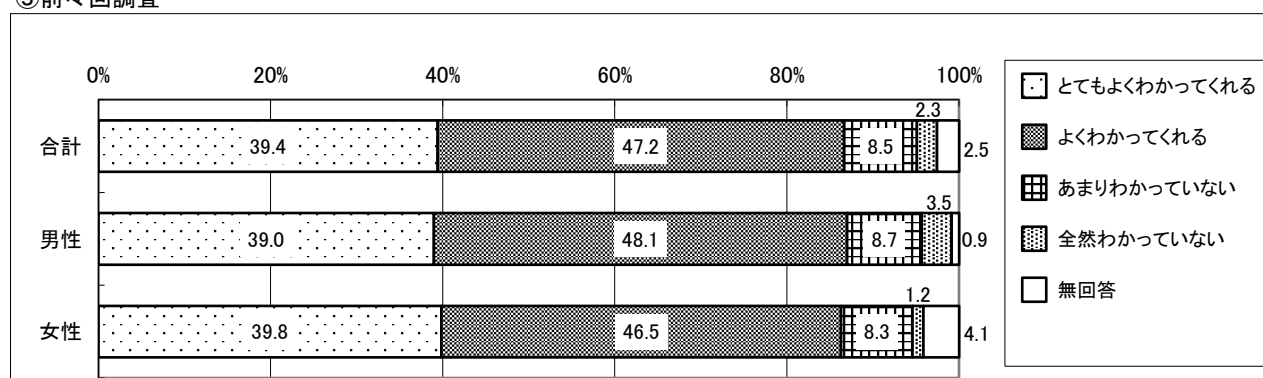
①今回調査



②前回調査



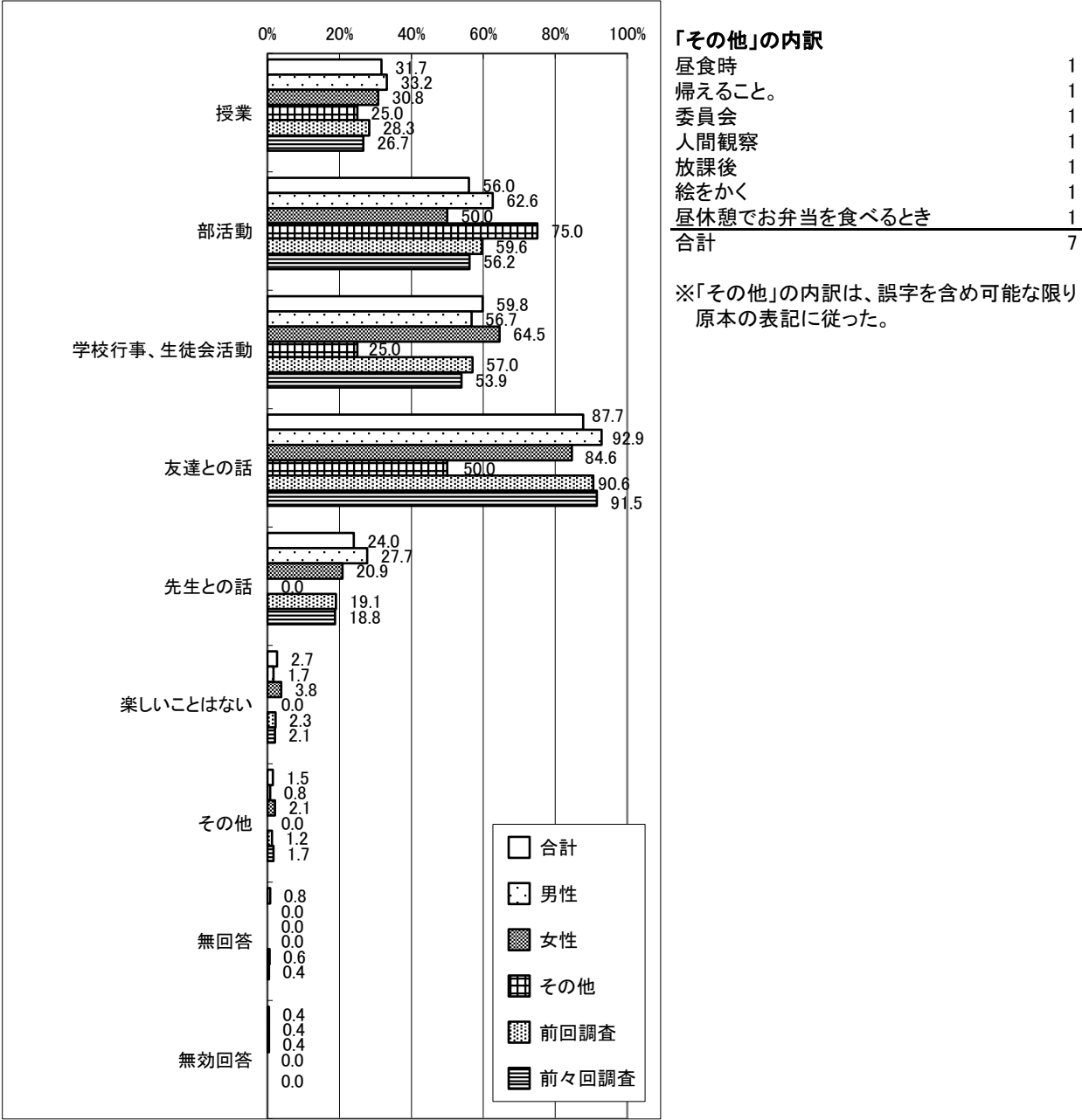
③前々回調査



4 学校生活

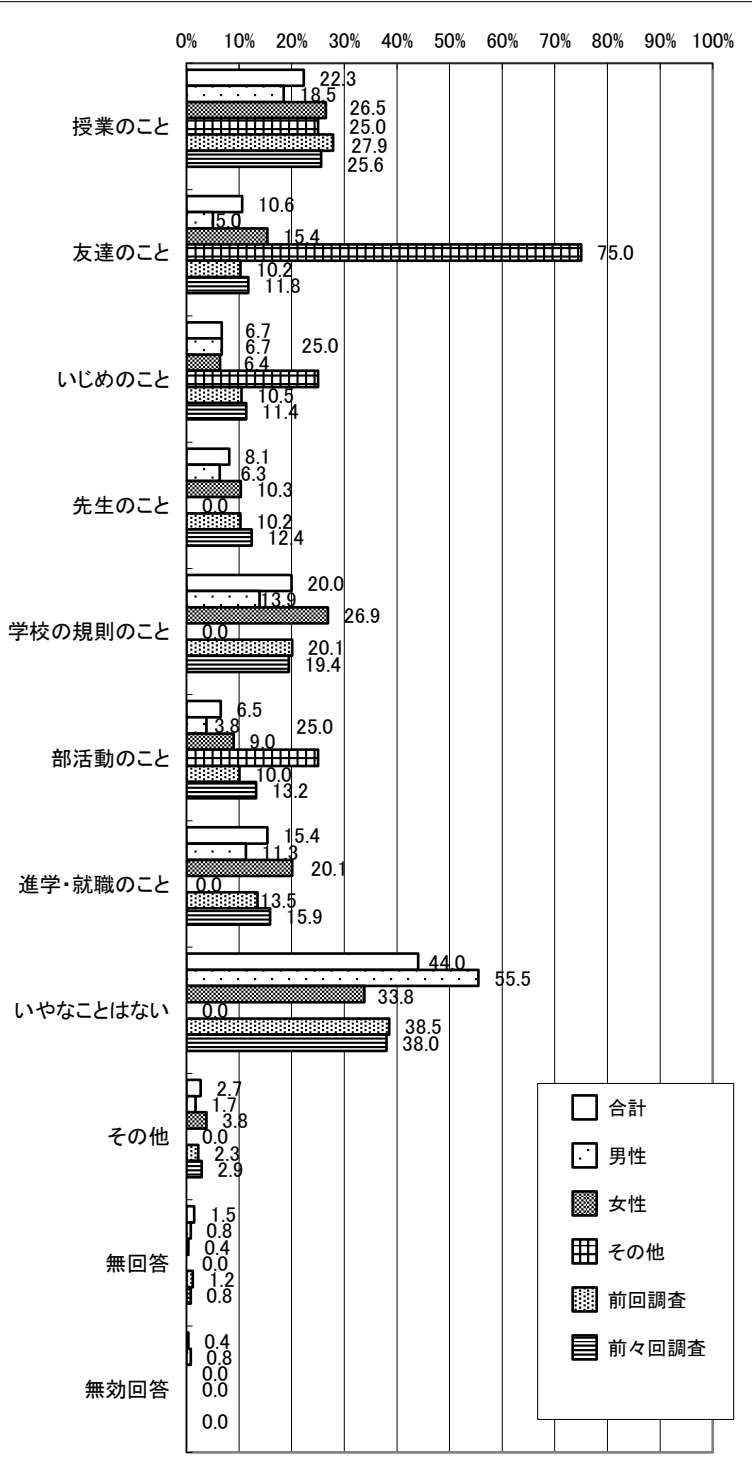
問8 あなたが、学校生活で楽しいと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

学校生活で楽しいと思うことは「友達との話」(87.7%)の割合が最も高く、次いで「学校行事、生徒会活動」(59.8%)、「部活動」(56.0%)と続く。
前回調査と比較すると、「学校行事、生徒会活動」(59.8%)が前回調査(57.0%)より2.8ポイント増加、「授業」(31.7%)が前回調査(28.3%)より3.4ポイント増加している。一方で「友達との話」(87.7%)は前回調査(90.6%)より2.9ポイント減少している。
男女別でみると、最も差が大きいのは「部活動」であり、男性(62.6%)と女性(50.0%)では、男性の方が12.6ポイント高い。一方「学校行事、生徒会活動」は、男性(56.7%)と女性(64.5%)では、女性の方が7.8ポイント高い。



問9 あなたが学校生活でいやだと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

学校生活でいやだと思うことについては「いやなことはない」(44.0%)の割合が最も高く、次いで「授業のこと」(22.3%)、「学校の規則のこと」(20.0%)と続く。
この傾向は前回調査と同様である。
前回調査と比較すると、「部活動のこと」(6.5%)は前回調査(10.0%)より3.5ポイント減少している一方、「いやなことはない」(44.0%)は前回調査(38.5%)より5.5ポイント増加している。
男女別でみると、最も差が大きいのは「いやなことはない」で、男性(55.5%)と女性(33.8%)では、男性の方が21.7ポイント高い。また、「学校の規則のこと」が、男性(13.9%)と女性(26.9%)、
(26.9%)、「友達のこと」が、男性(5.0%)と女性(15.4%)と、それぞれ女性の方がポイントが高い。



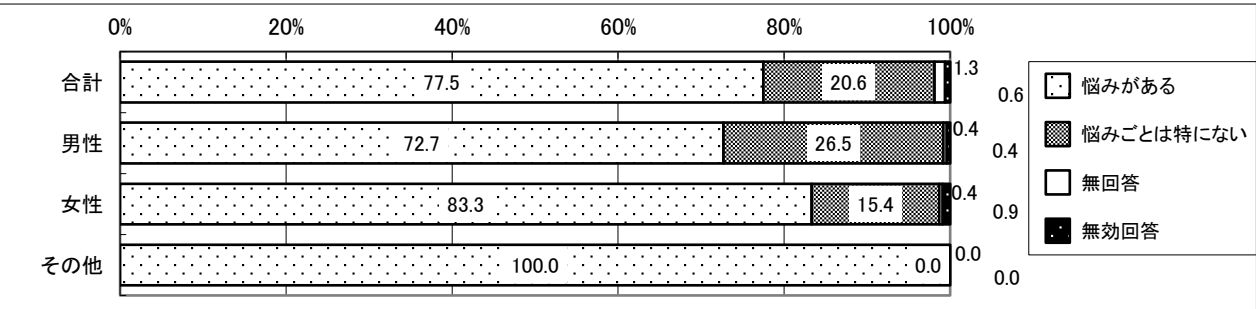
- 「その他」の内訳
- 通学時間がかかる。 1
 - 大きな音を立てられること 1
 - 授業中に騒いでいる人たちがいること 1
 - 授業中に周りがうるさくていらいらする。 1
 - 行事 1
 - クラスのこと 1
 - 行事がまとまらない 1
 - グループワーク 1
 - クラスの輪を乱す人 1
 - クラスの雰囲気 1
 - テストのこと(テスト) 2
 - 学校自体そんなに得意じゃない 1
 - 合計 13
- ※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

5 悩みごと

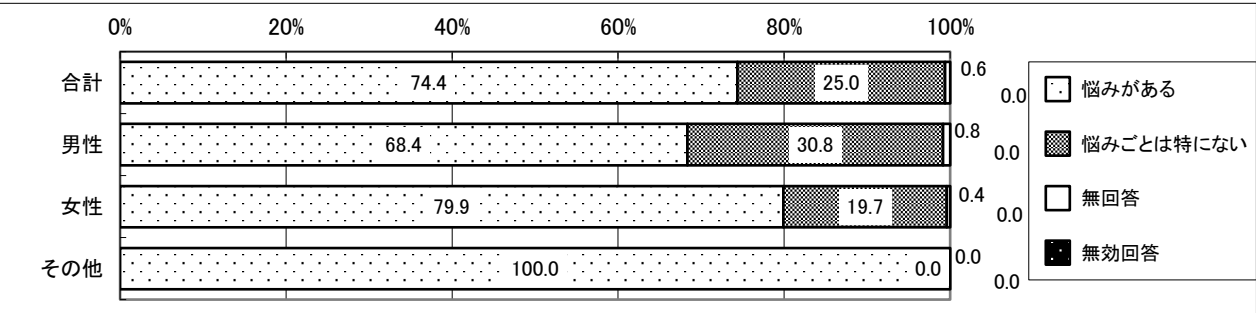
問10 あなたの現在の悩みは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

「悩みがある」と回答したものは77.5%であり、前回調査（74.4%）より3.1ポイント増加している。
前回調査と比較すると、「悩みがある」と回答した男性（72.7%）は前回調査（68.4%）より4.3ポイント増加、女性（83.3%）は前回調査（79.9%）より3.4ポイント増加している。
少年の7割以上が何らかの悩みを抱えている。
現在の悩みは「勉強や進学のこと」（59.8%）の割合が最も高く、次いで「性格・容姿のこと」（18.1%）、「就職のこと」（17.9%）、「部活動のこと」（12.7%）と続く。
前回調査と比較すると、「性格・容姿のこと」は2.6ポイント、「就職のこと」は0.1ポイント、「部活動のこと」は0.2ポイント減少している。「勉強や進学のこと」は2.8ポイント増加している。
男女別でみると、最も差が大きいのは「友達のこと」であり、男性（5.0%）と女性（17.1%）では、女性の方が12.1ポイント高い。

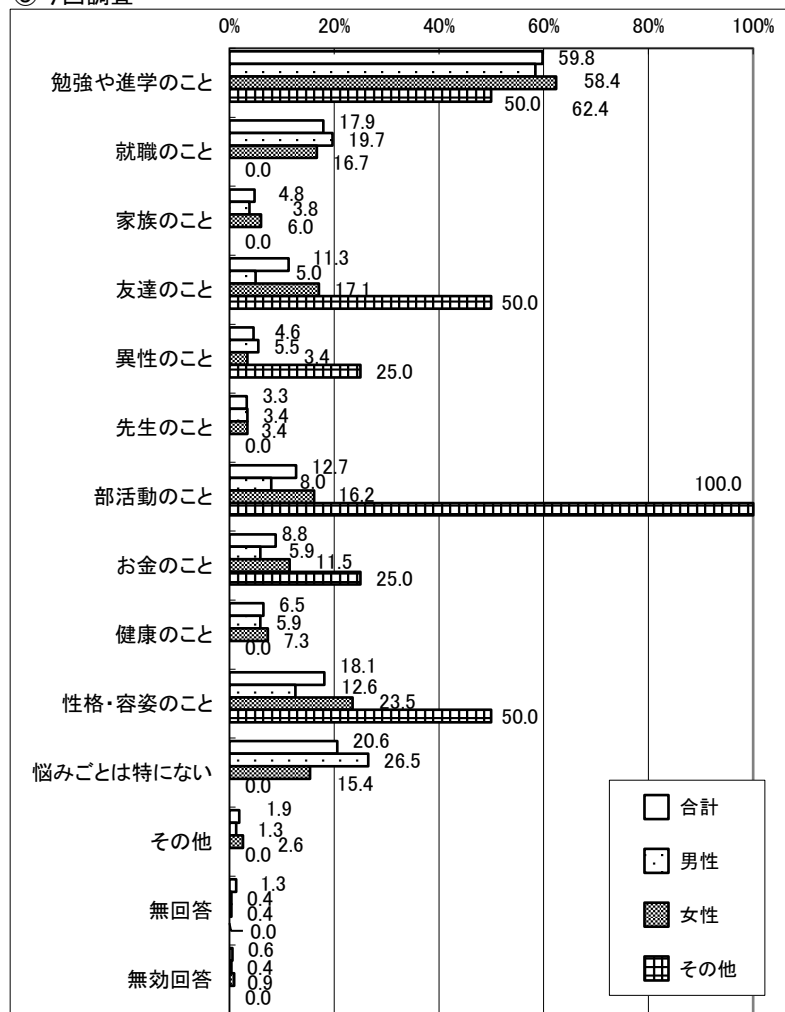
① 今回調査のまとめ



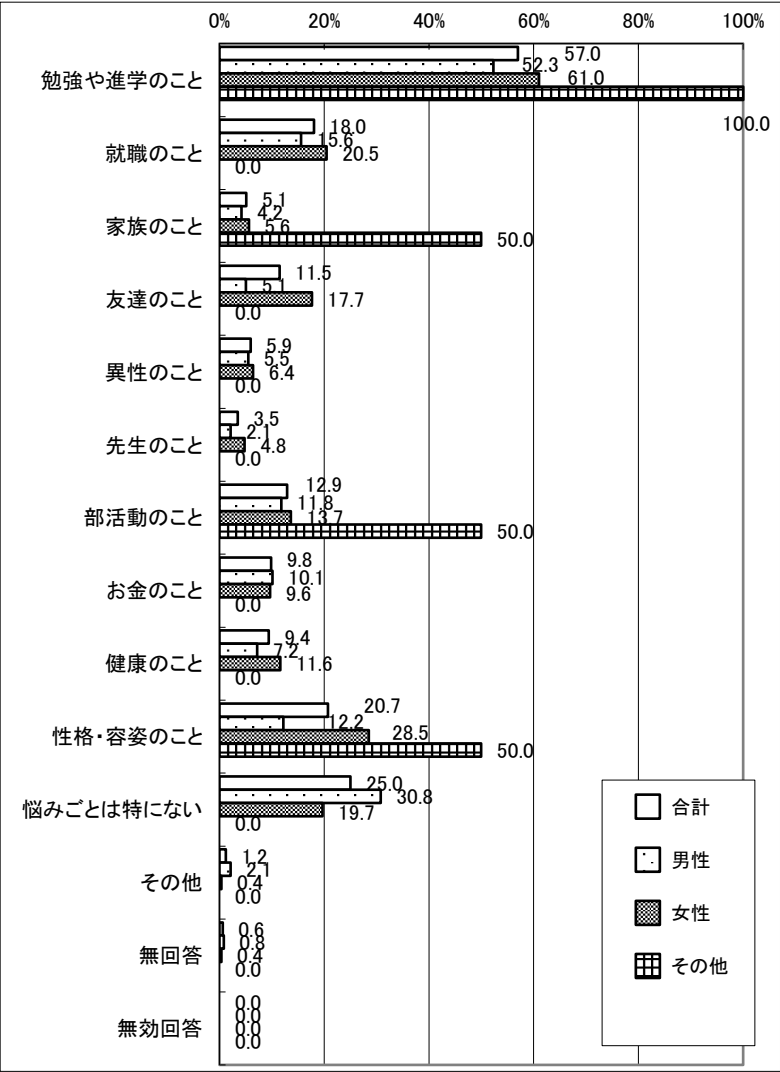
② 前回調査のまとめ



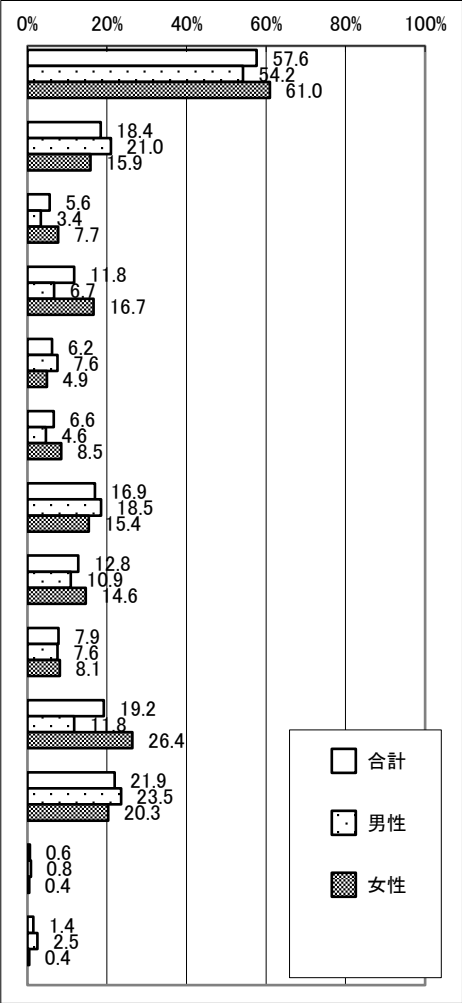
③今回調査



④前回調査



⑤前々回調査



「その他」の内訳

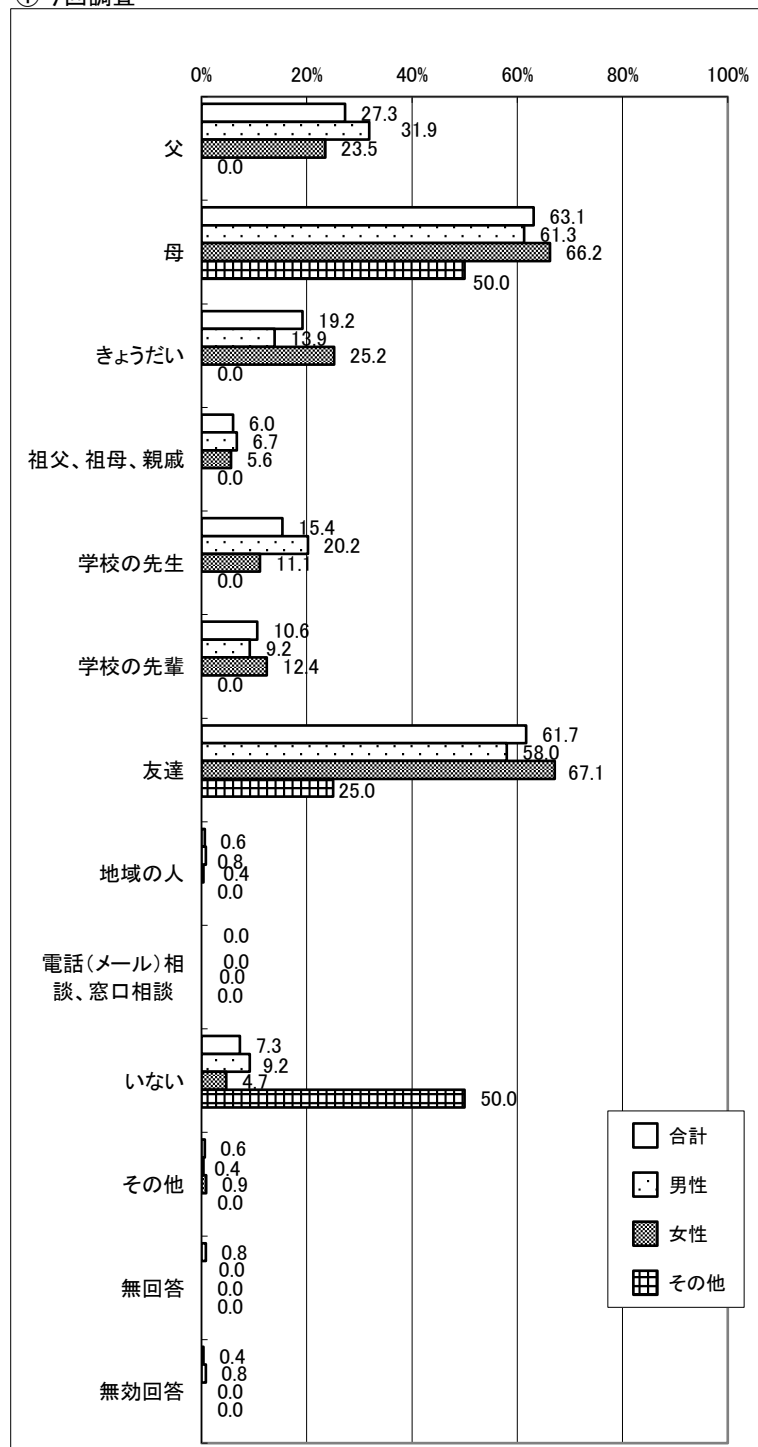
特になし	1
生理(月経困難症)のこと、自分の性的指向のこと、学校で毎日耳にする差別発言やマイクロアグレッションのこと	1
恋愛のこと	1
アレルギーのこと	1
睡眠時間が短い	1
本音を言えない	1
習い事	1
人として生きるのがイヤ	1
スポ少のこと	1
合計	9

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

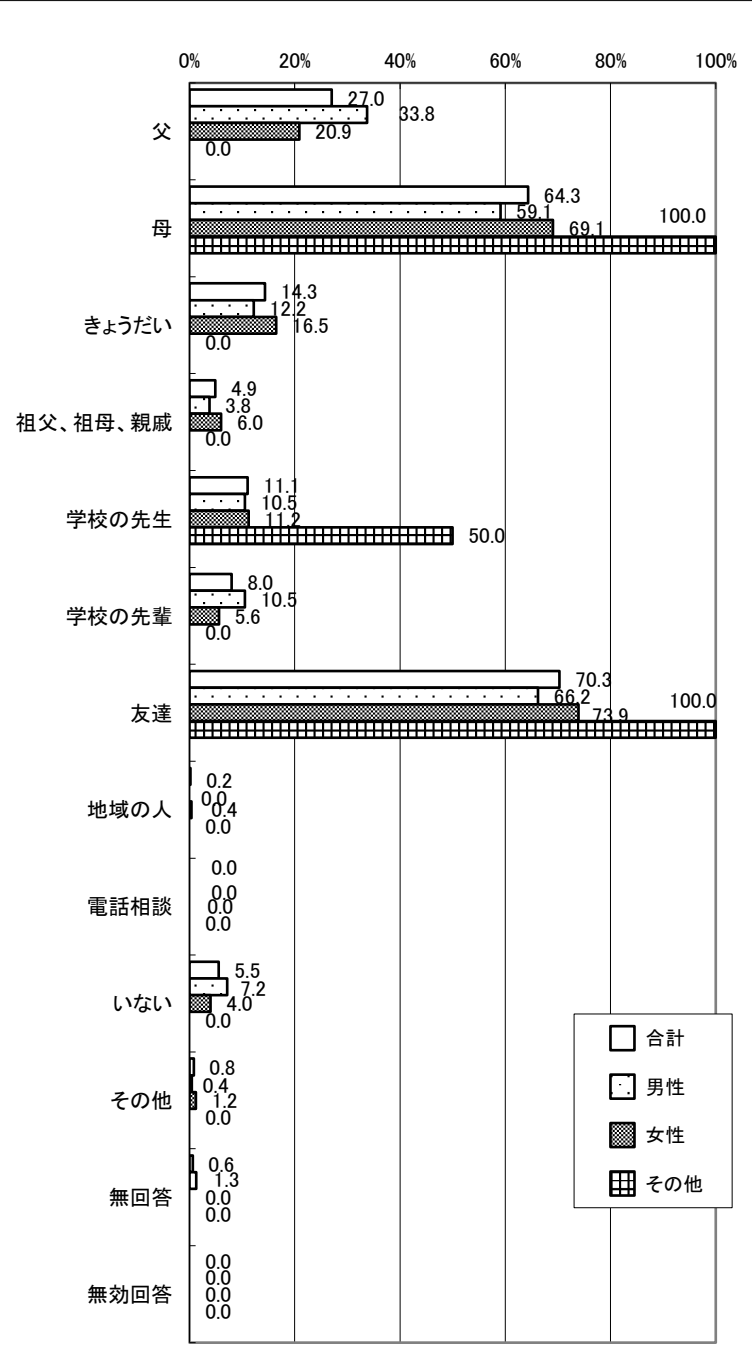
問11 悩みごとや心配ごとがあるとき、あなたがよく相談する人は誰ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

悩みごとの相談相手は「母」(63.1%)、「友達」(61.7%)、「父」(27.3%)と続く。
「母」(63.1%)は前回調査(64.3%)より1.2ポイント減少し、男性のみ増加している。また「父」(27.3%)は前回調査(27.0%)より0.3ポイント増加している。
男女別でみると、「父」に相談すると回答したものは男性(31.9%)と女性(23.5%)では、男性の方が8.4ポイント高い。男女ともに「きょうだい」が増加しており、男性(13.9%)は前回調査(12.2%)より1.7ポイント、女性(25.2%)は前回調査(16.5%)より8.7ポイント増加している。

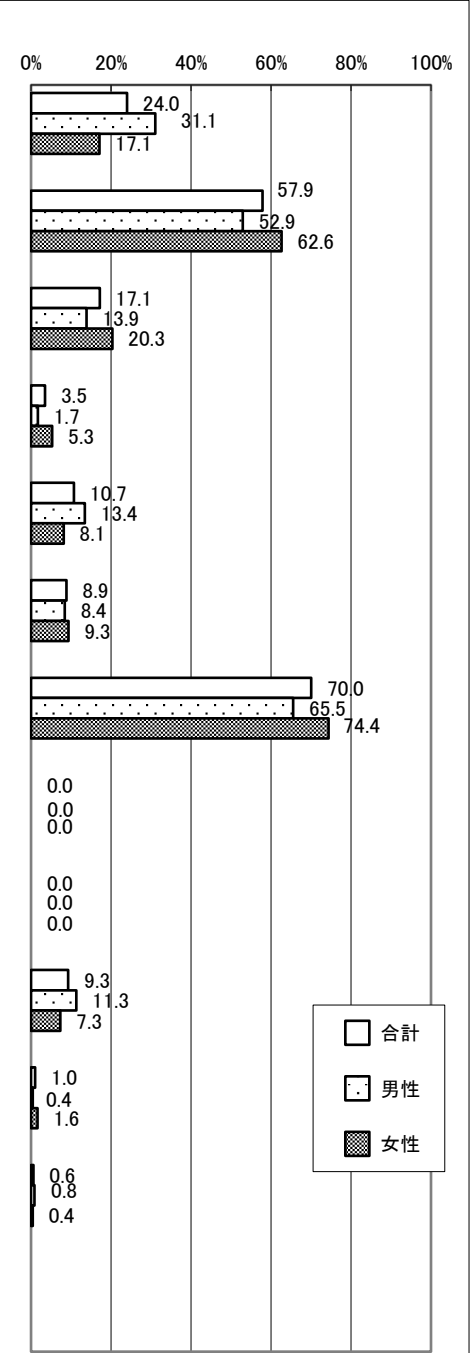
①今回調査



②前回調査



③前々回調査



「その他」の内訳

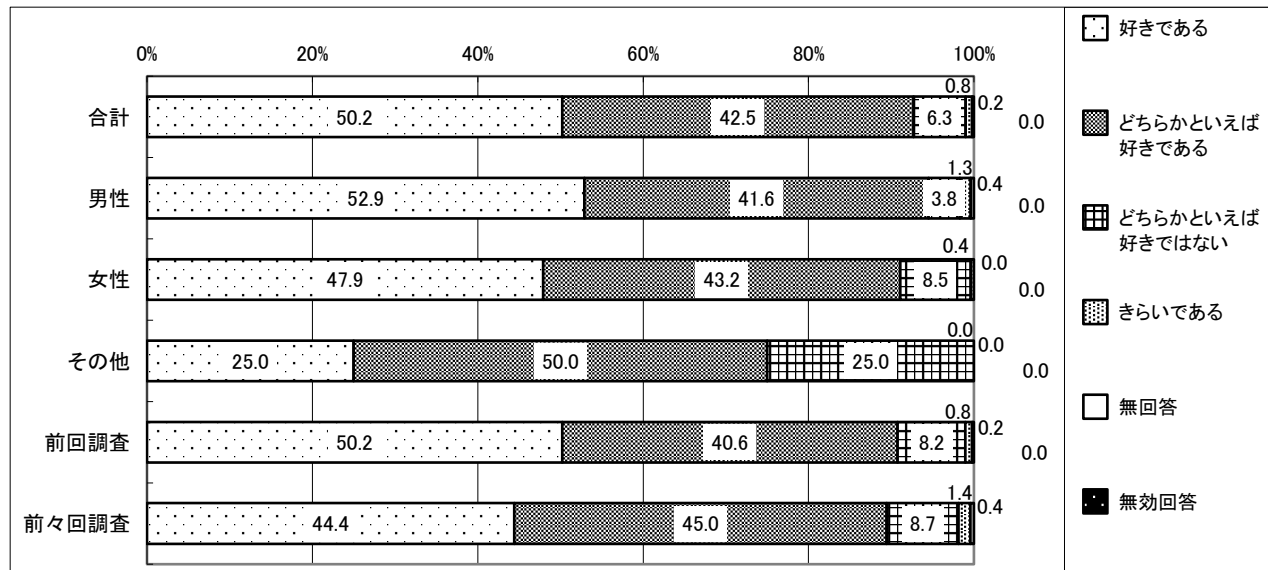
自由回答なし	0
合計	0

6 地域社会

問12 あなたは、今住んでいる地域が好きですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

「好きである」(50.2%)または「どちらかといえば好きである」(42.5%)と回答したもの(92.7%)が全体の9割を占めており、前回調査同様、多くの少年が今住んでいる地域が好きであると回答している。

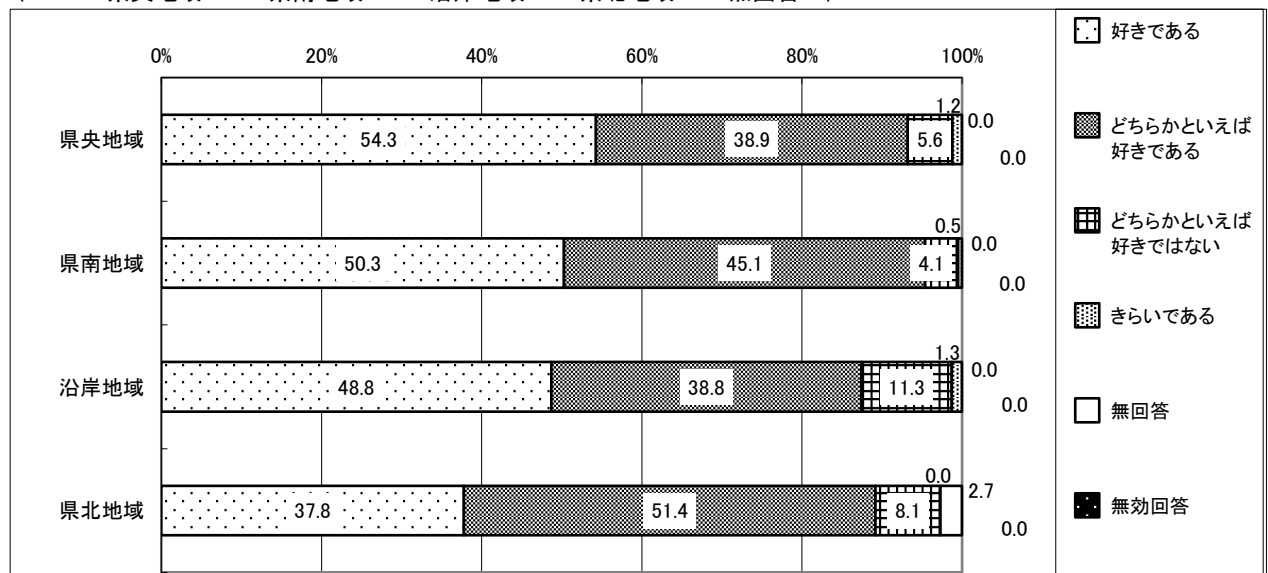
①今回調査



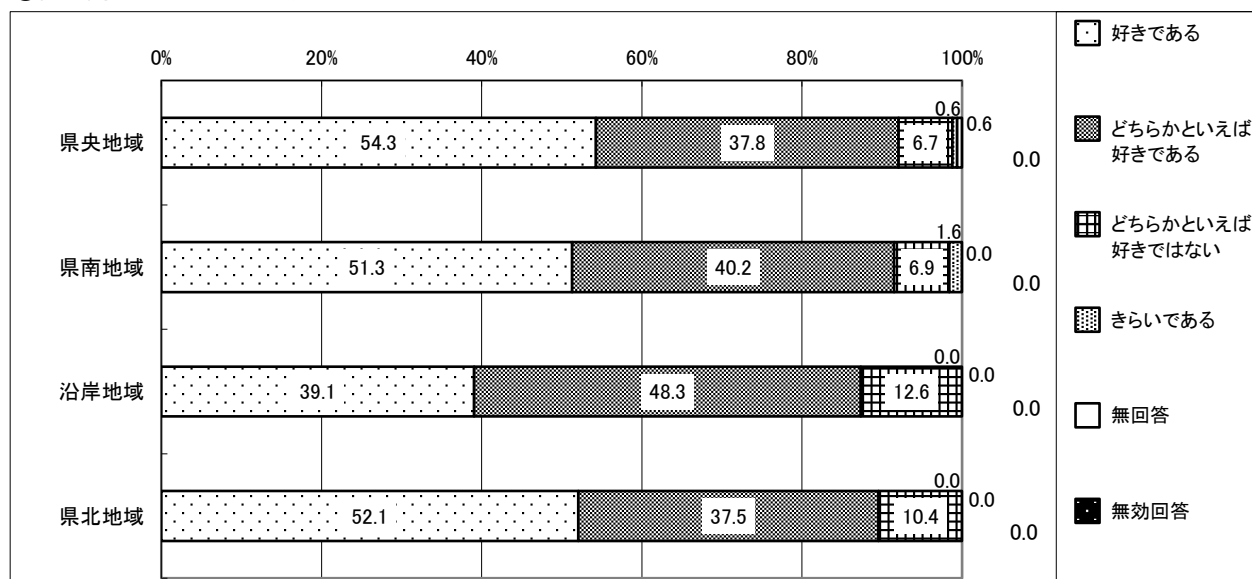
地域別に見ると、「好きである」または「どちらかといえば好きである」と回答したものは、前回調査よりも県央地域(93.2%)では1.1ポイント、県南地域(95.4%)では3.9ポイント、沿岸地域(87.6%)では0.2ポイント増加し、県北地域(89.2%)では0.4ポイント減少した。

②今回調査(住んでいる地域別)

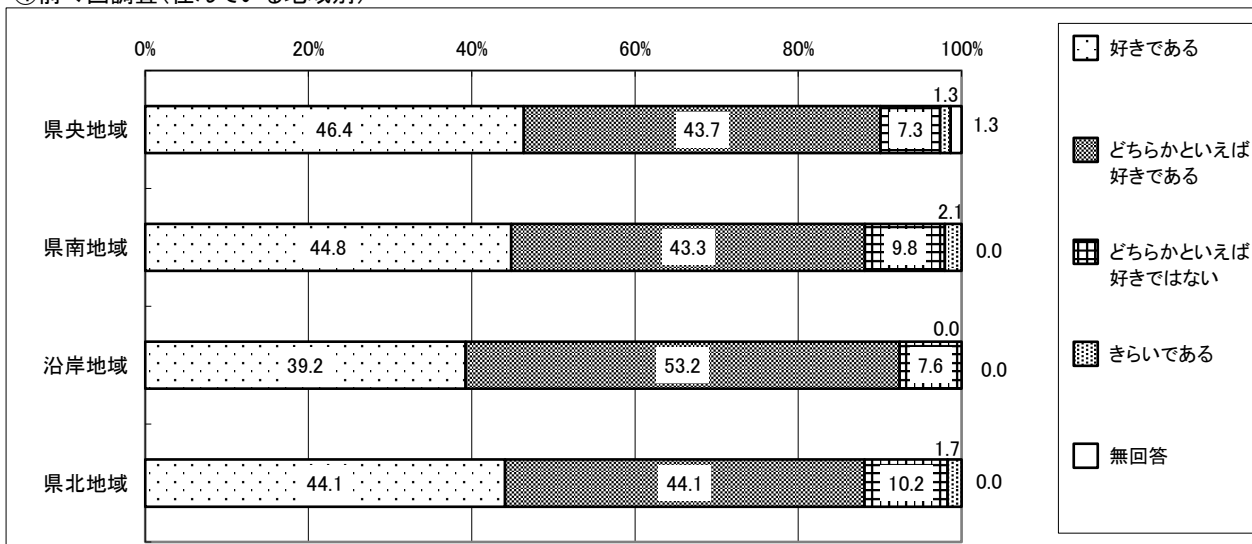
(N=480 県央地域=162 県南地域=195 沿岸地域=80 県北地域=37 無回答=6)



③前回調査(住んでいる地域別)



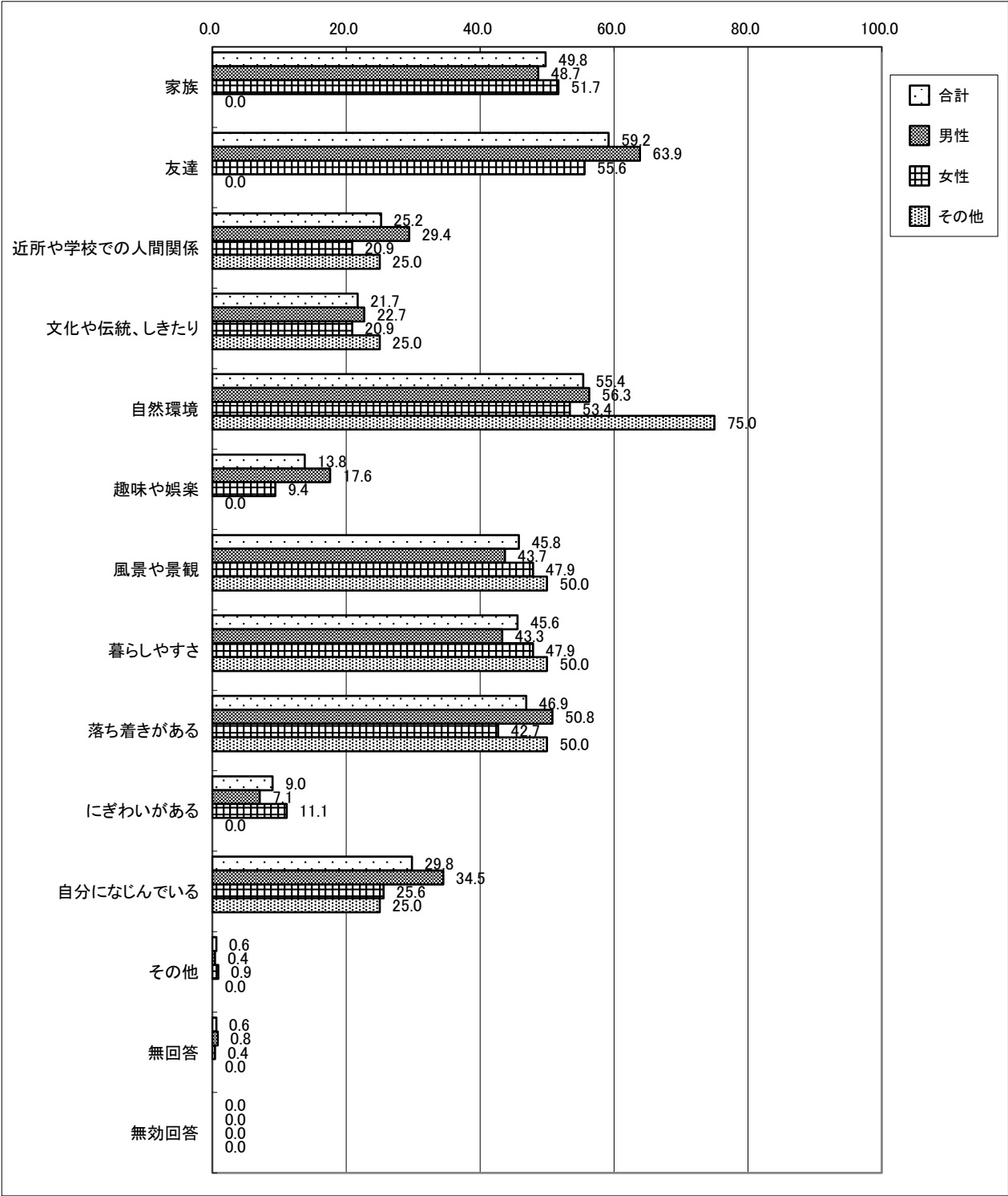
④前々回調査(住んでいる地域別)



問13(1) あなたが今住んでいる地域の好きなところ、きれいなところはどんなことですか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

(1)好きなところ(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

住んでいる地域の好きなところで、最も割合が高かったのは、「友達」で59.2%である。
男女別でみると、「友達」と回答した男性（63.9%）と女性（55.6%）では、男性の方が8.3ポイント高かった。



「その他」の内訳

食べ物	1
合計	1

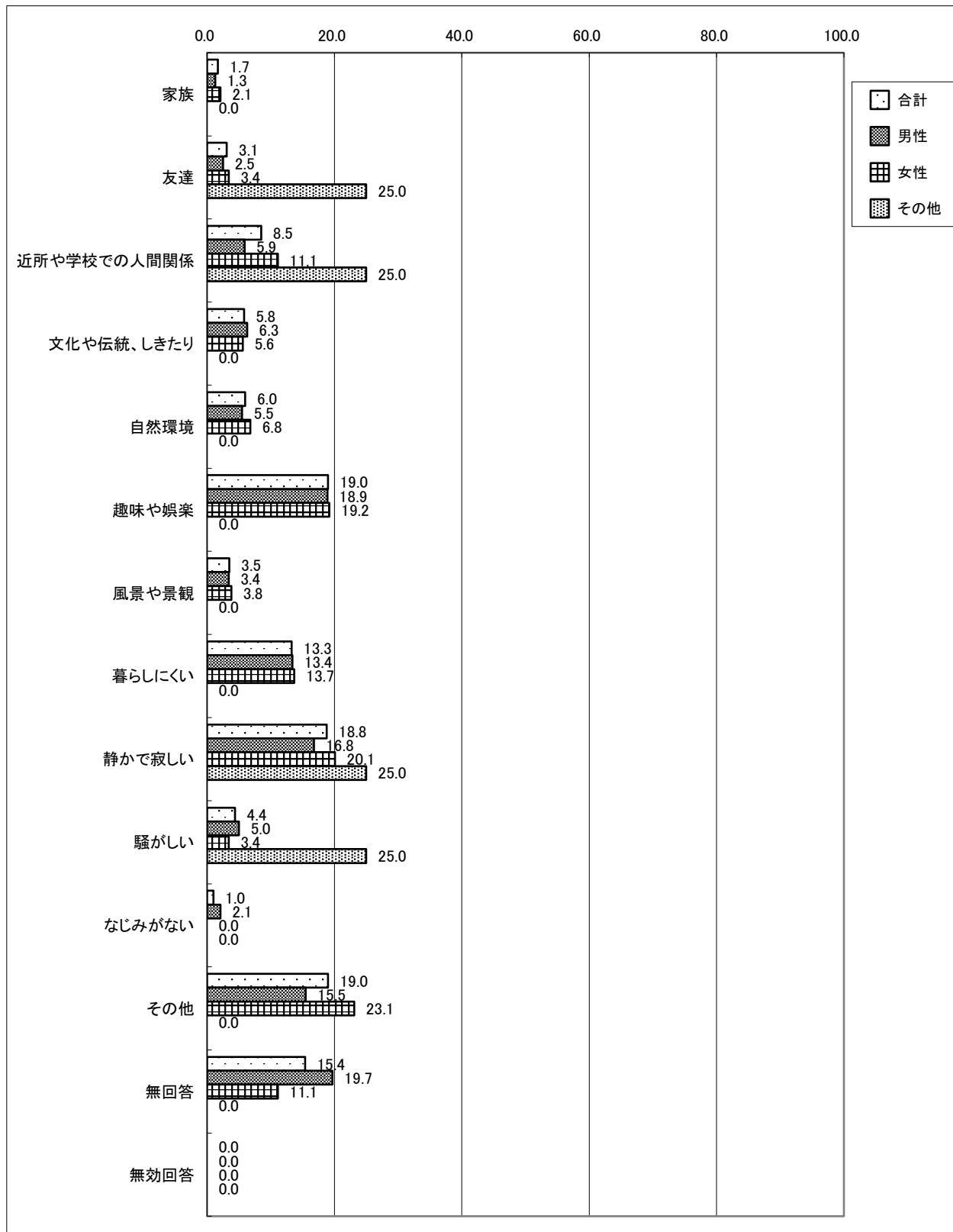
※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り 原本の表記に従った。

問13(2) あなたが今住んでいる地域の好きなおところ、きれいなおところはどんなことですか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

(2)きれいなところ(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

住んでいる地域のきれいなところで、最も割合が高かったのは、「趣味や娯楽」と「その他」でそれぞれ19.0%である。

男女別でみると、「趣味や娯楽」と回答した男性（18.9%）と女性（19.2%）では、女性の方が0.3ポイント高かった。

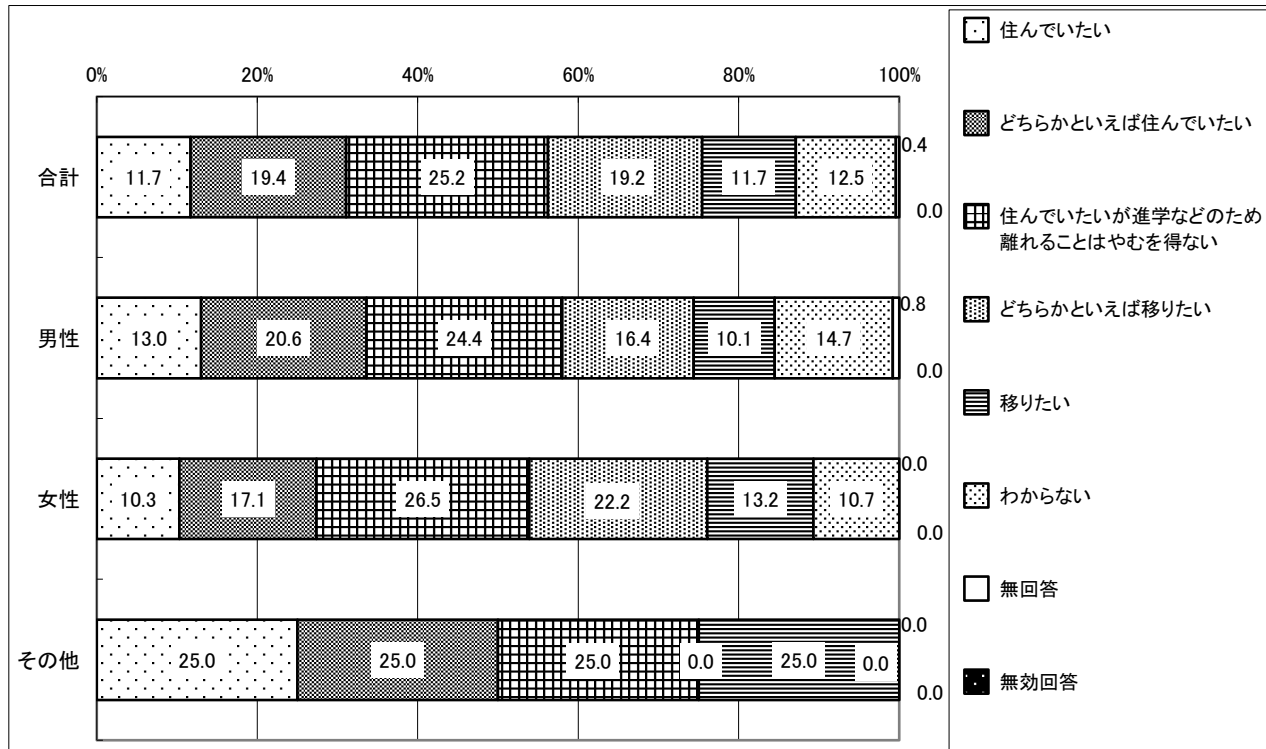


「その他」の内訳	
お店・施設が少ない	7
グッズなどを売っているお店が少ない	1
にぎわいが少し足りない	1
バスなどの本数が少ない	1
ヤンキーむり	1
移動手段が少ない	1
蚊	1
街灯が少ない	2
学校までが少し遠いこと	1
楽しい店がない	1
近くに店や友達の家が少ない	1
熊が出やすい	2
娯楽が少ない	1
交通手段がない	1
交通手段がわるい、遊び場が少ない	1
高校生など若者に、地元に残って子育てをしてほしいという期待や価値観の押しつけ	1
最近不審者が多い	1
人口減少により、お店が少ない。	1
設備	1
虫が多い	2
都会と比べ発展していないところ	1
道路、古い空家などの整備	1
道路がコンクリートじゃないところがある。でこぼこしている	1
道路のでこぼこ、自然を整備しきれしていない	1
閉鎖的な雰囲気や人間関係	1
偏差値が自分にあった学校がない。	1
歩道がせまい	1
野生動物がよくでること	1
遊ぶところがイオンしかない	1
遊ぶ所がない。	4
合計	42

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り 原本の表記に従った。

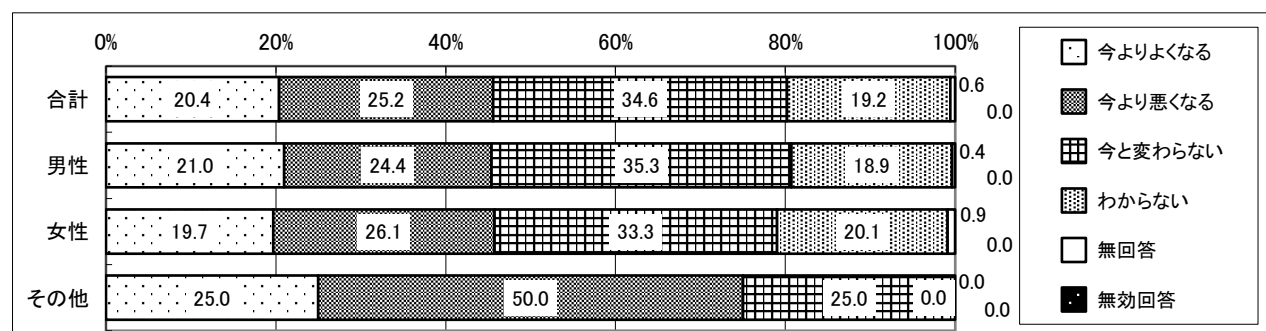
問14 あなたは、将来も今住んでいる地域に住んでいたいと思いますか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

将来も今住んでいる地域に住んでいたいかで、最も割合が高かったのは、「住んでいたいが進学などのため離れることはやむを得ない」で25.2%である。
男女別でみると、「住んでいたいが進学などのため離れることはやむを得ない」と回答した男性（24.4%）と女性（26.5%）では、女性の方が2.1ポイント高かった。



問15 今住んでいる地域は、10年後、現在と比べると、どうなっていると思いますか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

地域が10年後どうなっていると思うかで、最も割合が高かったのは、「今と変わらない」で34.6%である。
男女別でみると、「今と変わらない」と回答した男性（35.3%）と女性（33.3%）では、男性の方が2.0ポイント高かった。



問16 もしもあなたが将来も今住んでいる地域で暮らしていくとしたら、これがあったらいい、今の環境が変わったらいと思うことはありますか。(自由記載)
(例:こんな仕組みや場所があったらいい、このようなルールや考え方がこう変わったらい、など)

(内容)

近くにコンビニがなくとっても不便なので増えたらうれしい

商店街の復活

歩道の道路のガタガタを直してもらっていたら、良いと思う。

交通機関の整備

人が集まるための施設を増やす。仕事、働き口を増やした方が良い。

大学

自然豊かで楽しい生活ができればよいと思う。

もっとにぎわいがあればいいと思う

もっとカフェなど娯楽施設が増えてほしい。

お店が増えてほしい

娯楽の場があったらいい

お店を増やしてほしい

映画館

コンビニなど手軽に活用できる場所があったらいい。

公共交通機関がないのでバスなどを増やしてほしい。

人々が楽しめる施設がもう少しあると良いなと思います。私はイオンのような大型ショッピングモールが市役所方面にあると良いなと感じます。

公共交通機関の充実

百均・ジム・マックなど

たくさんあそべるところがあったらいい

子供があそべる場所をふやしたら良いと思う。

イオンなどのような大型ショッピングモールや飲食店が増えてほしい

工場付近で異臭が広がらないように対策してほしい。

交通機関が発達してほしい

高校生などが気軽に行けるようなお店(カフェ、学習スペース)

子育て支援がもう少し手厚くしてほしい。

世代関係なく、どんな人でも暮らしやすいまち。

全天候型の陸上競技場があったらいい。もう少し遊べる環境を整えてほしい(子どもたちのために)

公共交通機関を更に使いやすくして、移動に不便がないようになってほしい。

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度が浸透し、制度が充実するとよい。

中学や高校などの校則や服装に関して、誰かもよく分からない「地域の人」が干渉しすぎであったり、同窓生が権限を持っているのは学校の学生の自治や主権者教育に悪影響であると思うので、生徒の声や安全が最重要視されるよう、変わってほしい。

若者が集まっていつでも対話ができる空間が欲しい。

イオンなどの大型ショッピングセンターや娯楽施設。図書館が増えたらいい。

学生が遊べるような場所があってほしい。

スポーツ施設を作ってほしい

観光スポットが増えているといいと思う。

バスの数をふやす。スーパーをふやす。小さい子どもたちだけでなく中・高校生のことも考えた遊ぶ場所。

遊ぶところ。みんなが楽しめるところ

若者が興味の湧くような施設があったらいい

様々な人と交流ができる場所

アミューズメントパークが欲しい。

公共施設が増えてほしい

若い世代と高齢者が交流できる場があったらいい(行事だけでなく)。公共交通機関の運行本数がもっと多くなったらいい。

娯楽施設を増やすことが大切だと思う。

バスや電車の時間を増やしてほしい

もっと若い人が増えればと思う

娯楽施設をもっと増やす。(温泉や、遊園地、水遊館)

もっと店を増やして賃金を上げてほしい

wiFi環境が良くなってほしい

娯楽施設が増えてほしい。

商業施設をもっと増やしてほしい。

お店を増やしてほしい(本屋、文具など)バス、電車の本数が増えるといい

娯楽施設を増やしてほしい。

交通機関が増える。

娯楽。フードチェーンなどの飲食店

今のままで十分。

子どもたちが遊べる、大きな公園

チェーン店を増やしたらいいと思う

外灯を増やしてほしい

もっと娯楽があったらいい

バスの本数が増えたら良いと思う。
もっと友達や家族と遊びや買い物ができる場所がほしい。
もっと商業施設などの友達と遊べるところを増やしてくれたらいい。
自然を生かせる場所
草とりやゴミ取りなどの私達が生活する上で近い問題や困り事に対するボランティア活動を行いたい。選挙に投票する人を増やしたい
保育士の給料を上げる。
電車の本数を増やしてほしい。(特に午前11時～12時まで電車が無いのは、午前授業の時などに不便。)
若者が楽しめるレジャー施設や、流行の飲食店
年収を上げてほしい。大型施設を増してほしい
人がいっぱい来る施設
娯楽施設。交通機関
娯楽施設が増えてほしい
もう少しお店の種類を増やす。
土地が広いからこそ、自然を保ちつつ、建物を増やし、もっと岩手県の良さを発信して行ってほしいと思います。
コトスコ、百均
人通りの多い商店街などにファブリックアートを入れる。
若者が暮らしやすい場所があったらいい。
学校以外で友達と気軽に会える場所があったらいい。
産婦人科がある病院が欲しいです。
手軽に買い物ができる場所
自然を親しめる場所を作る。厳しいルールをやめてルールをゆるくする。アニメイトを大きくして東京などで売っている物も売る。
もっと娯楽施設があったら楽しいだろうなと思う。
バスの本数がもう少し増えてほしい
歩道がなく歩くのに危ない道があるので、歩道などの設備をつくってほしい。
道路をきれいに！
話し合っても大丈夫な勉強場所
地域を盛り上げていくための行事。
テーマパーク
街灯
電車の駅を増やしてほしい
商業施設が増えてほしい。
飲食店があったら、さらに良いと思います。
高齢者が多いので近場に買い物ができる場所があった方がよい。
もう少し商業施設があったらいいと思う。
タバコのポイ捨てがなくなったら良い
ショッピングモールがたくさんできてほしいです
お祭などを多く開催して、もっと、地域の人と交流できるようにしたい。
スーパーをふやしてほしい
マンションやアパートなどの敷地内では広いから遊んでも良いという考え方を変えてほしい。通行のさまたげになったり車などにぶつかっている光景を何度かみたことがあるから
もうちょっと木とかそういう植物を植えた方がいい
陸上競技場・映画館・大型ショッピングモール
文化や伝統がもっとほしい
コンビニが増える。道路がきれいになる
気軽に行けるクライミング施設があったらいい・遊具がきれいな公園
人が交流できる場所
今どきな場所がほしい
もっと遊ぶ場所、大きなショッピングモールがあったら楽しい。
若者が集まるように店を増やす。
友達と集まる場所、地域の人達で楽しめる場所
しわ丸号(バス)は、引き続き行ってほしい。
公園やコンビニがあったほうが、暮らしやすさが良くなると思う。
自宅・学校から自転車などで気軽に行ける塾があればいいと思う。通学路のコンクリートをきれいで平らなものにすればいいと思う。
子どもの遊び場が少ないのが変わればいい。
遊具のある公園が少ない(ブランコ、滑り台、ジャングルジム)。
ドックランがほぼない(有料でもいいので、岩手公園等の街の近くに一つはほしい)
中高生が遊べる所がない。考えが古い(学校の先生、校則)・学校をふやしてほしい。
大きな商業施設が欲しい
空き家の減少。見ていてあまり好ましく思えないから。
光が増えていて欲しい。
もっと子どもが遊べるような公園やアニメなどのグッズなどがおいている店をつくってほしい。
たんぼにいる、カエルの音を、しずかにさせる。
飲食店をもっとふやす
小・中学生が遊べる場所がほしい。ゴミのポイ捨てではなくしてほしい
みんなであそべるところがもっとあったほうがいいと思う
もう少し体育館を増やしてほしい。交通機関をもっと増やしてほしい
ゲーセンやでかいお店があったらいいなあと思います。

田んぼが多いので、もっと店などもっとにぎわいがあるところになってほしい。また、あいさつが活発な地域になっていたらいい。

点字ブロックをしっかりと整備する(目が見えにくい人が多いから)

近くに、お店や、デパートがほしい。

近所のカラスや猫が減り、静かになってほしい・道路が細く、暗いのが不安

交通機関がもう少し発達してほしい・学生のための給食センターをつくってほしい・道路のひびをきれいにし、街灯をふやしてほしい

最低賃金を上げる。少子化をおさえることができるものをしてほしい。

分からない。

子供が増えてにぎやかになってほしい。

たくさんの人が集まってふれ合える、交流できるような施設や場所があったら良いと思う。

近くにコンビニ、人口増化

動物たちが町に出てこないようにすること。さらに町にでてきてしまった動物たちがかんたんにころされないようにすること。

バスや電車の本数が増えてほしい

行楽地があったら良い。

ポイ捨てがなくなってほしい。

大型スーパー遊ぶ場所

地元の食材などを使用した子ども食堂など。

お店がほとんどなく不便

スーパーマーケットがあったらいい。

スーパーやコンビニ以外にもお店が増えてほしい木や草が道路や歩道に出ていて邪魔

友達と遊びに行けるところが近くにあるといい。

交通などで危険な場所がたくさんあるため事故などがないようにしてほしい。遊ぶところが多くなるようにしてほしい。

もう少し娯楽などが増えて欲しい

僕の住んでいる一関市は、自由に遊べるものがとても少ないので、たくさん作ってほしいです。(ゲームセンター、カラオケなど)あとは飲食店もあまりないので、全国チェーン店などもたくさんほしいです。

子供から、大人までが楽しくあそんだり出来るような所があったらいいと思う。

田んぼばかりで車をはしらせなきゃ何も手に入らないから、もっと周りに建物がほしい。(お店)

近くに、コンビニがほしい。

もう少し中学生の補導をしたほうがいいと思う

もう少し人口が増えるといい。

体育館や野球場、サッカー場、陸上競技場などが完備されている、スポーツ施設があってほしい。海外派遣を、さかんにしてほしい。

お店の閉まる時間が早いのもっと遅くしてほしい。

もう少し、子どもが遊べる所を作ったり、コンビニをたててほしい。

地域でのイベントがなく盛り上がりがない。

公共交通機関の不便さ

近くに大型スーパーやイオンなどの施設があったらいいと思う。

もう少しコンビニなどのお店があったらいい

テーマパーク。ショッピングセンター

場所が、発展しているところと、していないところの差がなくなってほしい。コスプレ会場の場所みたいな、コスプレ祭りみたいなのをやってほしい。

昔の釜石のようにえいがかんなどがあったら楽しいと思う

スタバ・サイゼリヤ・大きなショッピングモール・ラウンドワン

遊べるところがほしい

遊び場

友達などと自由に遊べる空間がある建物

自然環境でよくゴミがポイ捨てされているから、なくなればいいなと思います。

もっと岩手の人口が増えるように興味が湧くような行事や文化があったら良いと思います。

交通の面がもっと良くなってほしいです。

カーリングをやっているの、二戸にカーリング場を作ってほしい

若い人で！！住む人が増えて欲しいです。

子供が遊ぶところが増えてほしい。

子供会はなくてもいいと思う。

心休まる場所をもっと増してほしい。

電車の数を増やしたり、デパートがあったらいいと思う。

ショッピングモールがほしい

住んでいる地域(近く)に小児科があるといい・娯楽が増えたらいい

若い人があそべるラウンドワンのようなもの

人気店がくる

複合施設があったらいい。

子どもが遊べる施設があったらいい。

医療格差がなくなれば良いと思う。

若い人たちが行きたくなるような店とかが増えたらいいと思う。

道路整備(段差が多くて老人や子供に危ないから)

子供達が遊べる施設が欲しい(公園、室内で活動できる場所)・気軽に入って勉強等ができる場所(市役所以外に)・映画館・服屋・スポーツ施設・スーパー

大きな施設が少ないので、いろんな店がそろった大きな施設ができたらいいいと思います。

休日に友達と遊べる場所がほしい。
子供が遊ぶ場所がほしい
遊べる場所や店
ビル・ショッピングモール・交通
大学をもう少しいろいろな場所に作ってほしい。
遊べる所を増やしてほしい
日用品をすぐに入れる店があると良い。・年配の方から若者まで幅広い意見を取り入れられるようになれば良い。
過疎地域の政策頑張してほしい。
コンビニや観光スポットができればいい
買い物ができる所や子どもが遊べる所を増やす。
公園があるとよい。
来やすくなるとな道路などの交通環境
いろいろな店がほしい
病院、学校
使用する人が多い公共施設の前に何年か前からあいてる場所があるので、公園とかつくってもいいと思う
自然的景観や文化はこのままで都会と比べ新しい事業などが発展していないので発展して欲しい。(店の増大、子どもが遊べる場所を増やす)
部落内での係などがなくなればいい。・お年寄りの方でも楽に行けるコンビニのような店が近くにできればいい。・神社や大きな森があるため、それが観光や散歩のコースなどになるといい。
もっと遊べるところがあるといい。
もっと整備された道路になっていたらいいと思う。
変わらなくて良い
小・中学生の遊び場や勉強できる場所が少ないように感じるのでそういったスペースを増やしてほしい。
昔ながらの考えにこだわらず、今の人たちの考えも聞くべき。
廃校や、建てかえで使われなくなった学校の体育館などを貸し出したりしたらいいと思う。
公共交通機関が今より発達して欲しい。
娯楽施設が、もっとたくさんあったらいい。
近所で遊びに行くとなると、行く場所が限定されてしまうので、もっと魅力的な施設が増えたら良いと思う。
自然を利用したものがほしい。バスの時間が増えたら利用しやすくなる
ショッピングモール
美術館
落ち着いて過ごせるお店があったらいい・自然破壊を最小限にしてほしい
若者が楽しめる場所
たまに、道路にゴミがあるのでそれを全てなくす
もう少し人口が増えて、様々な店ができるといいと思う。
もっと外で遊べる場所を増やして欲しい。
きれいな道路・管理きれいな木や雑草の整備
バス
都会とかにしかないお店とかができてほしい
公園ではないけど、自由に出入りできる地域の人達が集まる場所があればにぎわうと思う。
もっと近くにコンビニがあってほしい。・人の手がいれられていない木・雑草・空き家などをなくしてほしい。
遊ぶ場所がもっとあったらうれしい・ショッピングする場所がもっとほしい！！(無印とかスリコとか…)
大きな商業施設・アニメイト
もう少しショッピングモールなどをふやす。
歩道を広くしてほしい
風力発電や太陽光発電を増やせばいいと思う。
近くにコンビニがあったらいい。家がちよくちよくあってもっと賑やかだったらいいな。
商店街がもっとにぎわっていたら良い。
みんなが楽しんだり、休けいができるようなきき店や、スタバがほしい。
大学などの学べる場所があれば、みんな久慈に残り続け、ある程度就職もしてくれると思う。
もっと道路を整備してほしいです。
住む人が増えて、経済がもっと発達して欲しい。
あそぶ場所を増やしてほしい
様々な種類の病院があったらいいです。
誰でも地域の取り組みに気軽に参加できるような雰囲気になったらいい
電車の本数が増えたらいいなと思う。
お店がもっとあると便利だと思う。
体を動かす娯楽施設が欲しい。・建物ばかりでなく大きめの公園がほしい。・もう少し交通を整備してほしい。
働く場所があったらいい。
友達などと気軽に集まれるようなスペースが増えると良いと思う。
お店や遊ぶ場所がもっとあったらいい。
地域の人達と交流できる企画があると良い。趣味や娯楽を楽しめる場があると良い。
アニメイトなどグッズ関連のお店がもっとほしい。・ネット回線を良くしてほしい
車で1時間以内の所にアニメイトとブリキユアプリティストアがほしい。ネット回線よくしてほしい
人が集まるような建物をふやす
流行りの食べ物や人気スポットがあって発展して欲しい。食べ歩きなどをする事によってごみがでるからゴミ箱を設置して環境にもいい所。
あそぶ場所や店が増えてほしい。
冬でもスポーツ(サッカー、野球など)ができる人工芝の体育館があったらいい
近所にスーパーがほしい
大型ショッピングモールのようなものがあればよいと思う。
駅がほしい
バスの運行頻度を多くすること。道路の幅が広くなること。

子どもが遊べる公園。

自販機

福祉施設やテーマパーク

土地が余ってるから、店を増やしたり、遊び場が増えれば子供の遊べる範囲が広がって今よりも暮らしやすくなると思う。
高齢化が進んでる町でもあると思うから、高齢者から子供までだれでも立ちよれる、いこいの場があってもいいと思う。

県外の人たちが岩手県に移住できるような住宅が建ててほしいし、お店とかたくさんほしい。

人が集まる所を作るといい

もっと人々が楽しめる場所を作ってほしい

ケンタッキーがあつたら良い。水沢まで行く坂をなくしてほしい。

近所にショッピングモールなどがほしい

買い物ができる場所を増やしてほしい

もっと店が増えてほしい

みんなでワイワイ楽しめるトコ。外国の方にも有名になってたくさんの外国人がくるような地域

電車の本数が多くなつたらいい

子育て支援制度、子どものあそびば

家が建っていった住宅だらけになるのは逆にさみしく思う。・犬の遊べるドッグランなどがあればよいと思う。・公園に遊具が増えてほしいと思う。

公園に落ちているゴミとかがなくなつてほしい

1つの超有名なたてもん

近くに公園(遊ぶところがないから)

いろんなお店をふやして、街をはんじょうさせる。・古い建物を新しい建物に変える。・バリアフリーな場所を増やす。

私の地域ではフェンスなどが古くなってしまっていて壊れてしまっているののでしっかりと直すことや、すこしゴミが道に落ちてしまっているのでもゴミ拾いをしたほうがいいと思いました。また、地域の方々と仲を深めるためにももっと地域との関わり合える行事が増えればいいなあと思います。

学校の帰りによくゴミが落ちているのでゴミが減るといいです。

地域の人が自由に出入りできる屋内の遊び場所のようなものが欲しい

学生が友達同士で遊べる施設友達と勉強できる施設

いろんな公園やショッピングモール、飲食店の種類が増えていて欲しい

飲食店

大きなショッピングモールや娯楽施設などが欲しい

もっと電車増えてほしい

ショッピングモールとかコンビニが身近にあつたらいい

列車の本数を増やしてほしい

商店街を賑わせて欲しい良い企業がもっと来て欲しい

お店を増やして欲しい。

今より、もっと地域の人々とコミュニケーション

公園の整備街灯の設置

街灯を増やしてほしい

交通網の発展

子供が遊べる施設があつたらいい

娯楽施設が欲しい

田舎すぎ 店作れ 交通の便悪すぎ

花火の規模を大きくして欲しい

高松の池につながる坂道の整備

近くにスーパーや、ショッピングモールなどが建てば、お年寄りの人も遠くまで行かなくていいので、いいと思う。

娯楽施設や大きな店が増えたら嬉しい。

もう少し活気があつてほしい商店街に寄りやすくなるなど

所得制限や子どもの人数制限関係なく、全ての子どもを対象に大学無償化するなどの子どもに投資する制度を作るべきだと思います。岩手県からこの制度を取り入れ発信することで日本の発展にも繋がると思います。

小学校、中学校、高校でのメンタルの講座を毎年して欲しい。森林伐採をなるべくしないで欲しい。

ビルや遊び場が増えて欲しい

遊ぶ場所が少ないから、中学生のお小遣いでも遊べる場所が欲しい。

友達と遊べる場所が欲しい。(ファミレス等)

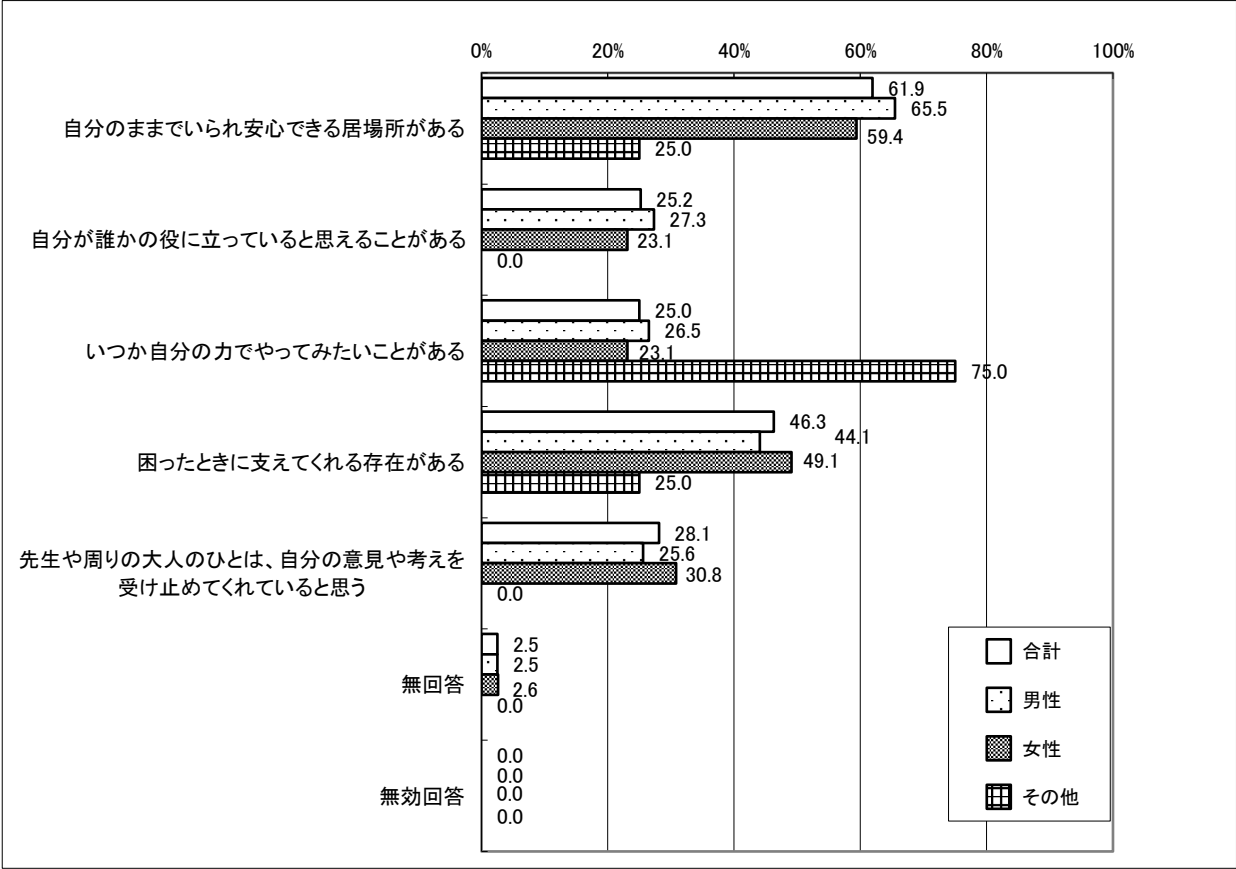
高校生などの若者がゆっくり出来るスペースや勉強出来るスペースを増やす。小中学生の給食の無償化。

自分たちの住む街の良さを日本中に発信して移住者が増えて賑やかな街になって欲しい

※内容は、誤字を含め可能な限り 原本の表記に従った。

問17 あなたは、地域社会の一員としての自分についてどう感じていますか。
 次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

地域社会の一員としての自分について感じていることについて、最も割合が高かったのは、「自分のままでいられ安心できる居場所がある」が61.9%である。
 男女別でみると、「自分のままでいられ安心できる居場所がある」と回答した男性（65.5%）と女性（59.4%）では、男性の方が6.1ポイント高かった。



問18 あなたが、今、自分や、住んでいる地域のためにやってみたいこと、チャレンジしてみたいことがあったら教えてください。(自由記載)

(内容)	
ボランティア活動	29
ゴミ拾い	19
地域貢献	1
地域の課題をもっと深く知り、地域の人と改善に向けて取り組んでみたい。	1
清掃活動	1
もう少し発展させたい	1
地域のお店を手伝う	1
地区の伝統文化をたやさないようにしたい。	1
自然環境保護動物を保護する	1
一度地元は離れてしまうが、戻ってきて観光業に携わりたい。	1
スポーツの発展に尽力したい	1
自分の住む地域をPRして、大船渡市に興味をもってもらいたい。	1
性的マイノリティの存在を可視化するため、レインボーマーチを開催したい。	1
避難訓練・HUG体験	1
中、高生が主体となったイベント	1
若者を増やして活気づけたい。	1
都市部への人口流出を抑える	1
地域の人が集まる場を増やす	1
地域のお祭りに参加し盛り上げたい。	1
地域おこしに向けての取り組み	1
保育士資格をとる。	1
商業施設で開催されるイベントに積極的に参加したい。	1
小規模のお祭りをする。	1
家を作る。	1
野放しにされた農地を買い取って、新たな農作物を育てたい。	1
自分のこれからの為に勉強をもっと頑張りたい。海外に留学してみたい。色んな人と関わるのは苦手だけど、チャレンジしてみたい！	1
地域の子供たちと交流してみたいです。	1
自分でお金を稼ぐ大変さを知るためにアルバイトをしてみたい。	1
使っていない土地の開拓	1
田植え・稲刈り	1
地域の活動に参加する。	1
自分の将来のために、自分が行ったことないことを、勉強したり、取り組んだりしていきたいです。	1
自分の住んでいる地域の良さをみつけ、その良さを他の人にも広げていきたい。	1
地域の公園の清掃活動	1
地域との関わりがある行事をもうけたい。	1
地域の若者・年寄りが楽しめるクラブ活動を行ってみたい。	1
色々な行事に参加して、盛り上げていきたい	1
入塾したい。	1
クラブやライブの設置・まちの発展	1
地域の業じに出るようにする。	1
募金をする	1
バンジージャンプ	1
設計した家が建つこと	1
みんながコミュニケーションを取れるようにあいさつや会話などを増やすこと	1
草とり	1
環境をもっとよくする。	1
町内会や児童会の手助け	1
自然をきれいにする活動。	1
子育て世帯への援助	1
清掃活動。	1
行事参加	1
さまざまな機関に募金をすること	1
廃品回収は毎年参加したい	1
せいそう(そうじ)	1
なるべく地域行事には参加したい	1
伝統の引き継ぎ。伝統を広める。	1
伝統を伝えていきたい	1
地域伝統を後輩にしっかり受けついでいきたい。	1
掃除	1
行事に取り組みたい。	1
わんこそば	1
自分より後に、生まれてくる人たちの役に立ちたい。	1
地域が盛り上がるイベントを企画してみたい。	1
部活動での貢献	1
五葉山に登りたい	1

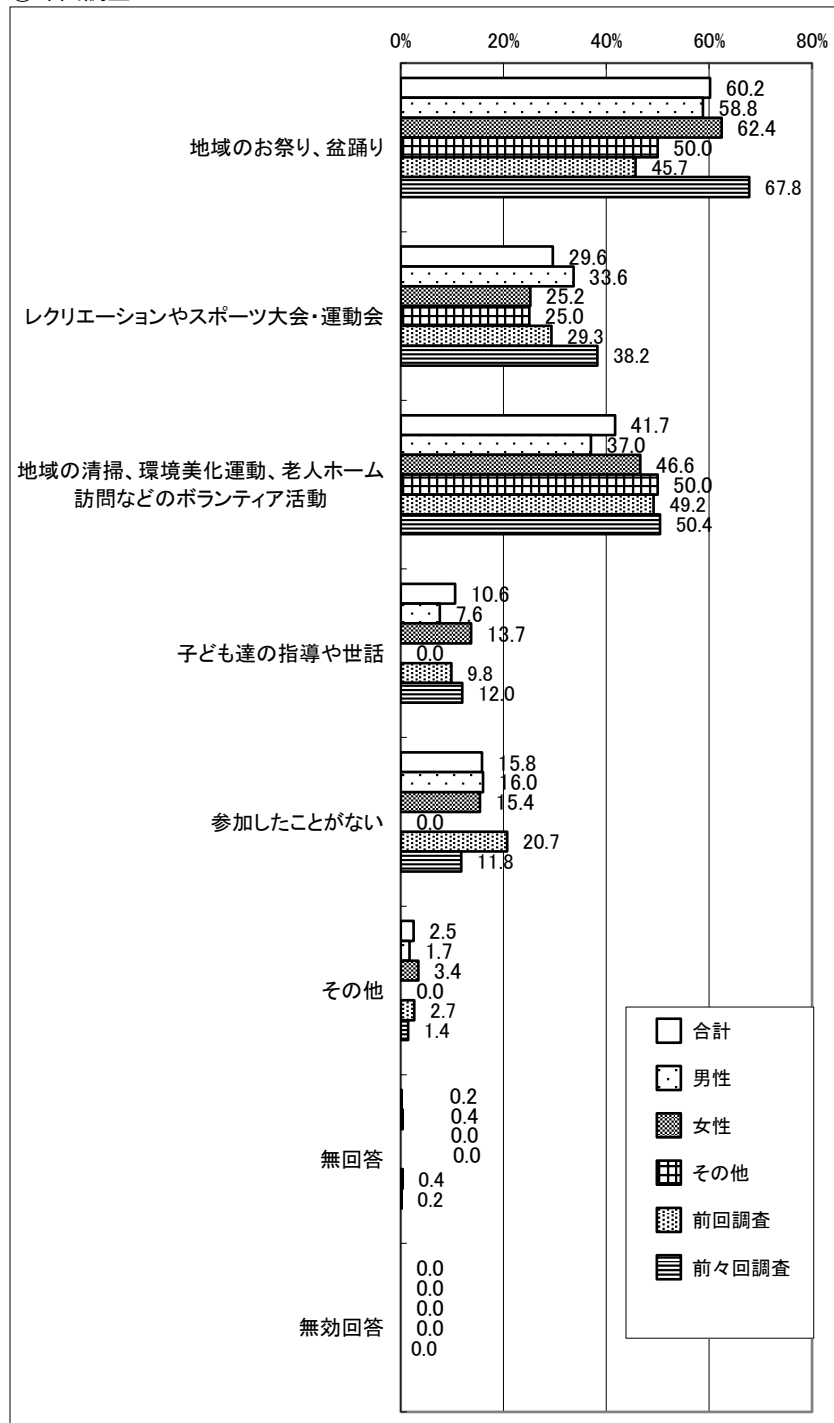
お祭りに参加すること	1
地域の祭りに参加、ボランティア参加	1
カーリングを広める。	1
二戸の自然を知ってもらいたい。	1
遊園地や公園をもっとつくりたい	1
地区のイベントなどに関心を持ち、積極的に参加したい。	1
少子化対策	1
公園のそうじやトイレの衛生管理	1
曲、本を作りたい(将来の夢)地域のためのボランティア	1
自分からボランティアに参加してみたり、町おこしなどの行事に参加していきたいです。	1
地産地消	1
伝統行事をより広く発信してみたい。	1
自然環境の保護	1
高校の行事を全力で取り組みたい。	1
公園を増やす新しい遊具	1
緑が多いのを生かしていこいの場を作る。	1
イオンつくりたい	1
地域の人たちが交流を深めれる機会を増やしてみたい。	1
若手農家として名を売りたい。	1
英語検定などの資格をとる。	1
不法投棄を絶対にしない呼びかけ。	1
地域の行事を盛り上げること。	1
現在、地域の保護猫団体に所属し、活動しているのですが、より多くの保護猫の命を救うため、な んらかの形で少しでもこのような動物保護団体に支援をしてほしいと思いました。	1
行事に参加する	1
チャレンジしてみたいことはないけど、地域でのイベントなどはせっきよく的に参加したい。	1
地域の防災訓練に参加してみたい。	1
祭りに参加することです。	1
私達のような若い世代が地域の取り組みに積極的に参加していきたい	1
駅伝、漢字検定、英語検定	1
自分の地域をPRする活動を学校でもやりたい。	1
清掃活動朝活	1
地域のイベントに参加すること。	1
あいさつ活動、ごみひろい、まつり	1
地域の行事へ積極的に参加	1
学校の一員として役に立ちたい。	1
雪かき	1
お祭りをがんばる。	1
地域での行事に積極的参加したい。	1
岩手町の活性化のために、自然、芸術、伝統などの魅力をたくさんの人に発信していきたい。	1
何か楽しめる物を作りたい	1
誰かの特別になりたい。	1
募金	1
募金を呼びかけ、それを困っている人にきふすること。	1
私は学校で行っている群読劇をいろんな人に広まってほしいと思いました。	1
いろんな人の意見を聞けるようにかんたんなアンケートをくばる。(地域について)	1
介護	1
SDGsに関することをやってみたい	1
住んでいる地域のすべての飲食店を食べ歩くこと。	1
ほかの地域での行事やイベントで、自分の地域の伝統的な飲食物を食べてもらうこと。	1
ギターを練習したい。	1
子ども会に積極的に出る	1
学校の総合的な探究の時間を通して地域に建てるべき建物について探究を進めていきたい。	1
合計	162

※内容は、誤字を含め可能な限り 原本の表記に従った。

問19 あなたは、中学校・高等学校に入学してから、地域における活動など社会活動に参加したことがありますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

中学校・高等学校に入学してから参加した社会活動は「地域のお祭り、盆踊り」(60.2%)が最も多く、次いで「地域の清掃、環境美化運動、老人ホーム訪問などのボランティア活動」(41.7%)と続く。
前回調査と比較すると、「地域のお祭り、盆踊り」(60.2%)は前回調査(45.7%)より14.5ポイントと大きく増加、「地域の清掃、環境美化運動、老人ホーム訪問などのボランティア活動」(41.7%)は前回調査(49.2%)より7.5ポイント減少している。

①今回調査



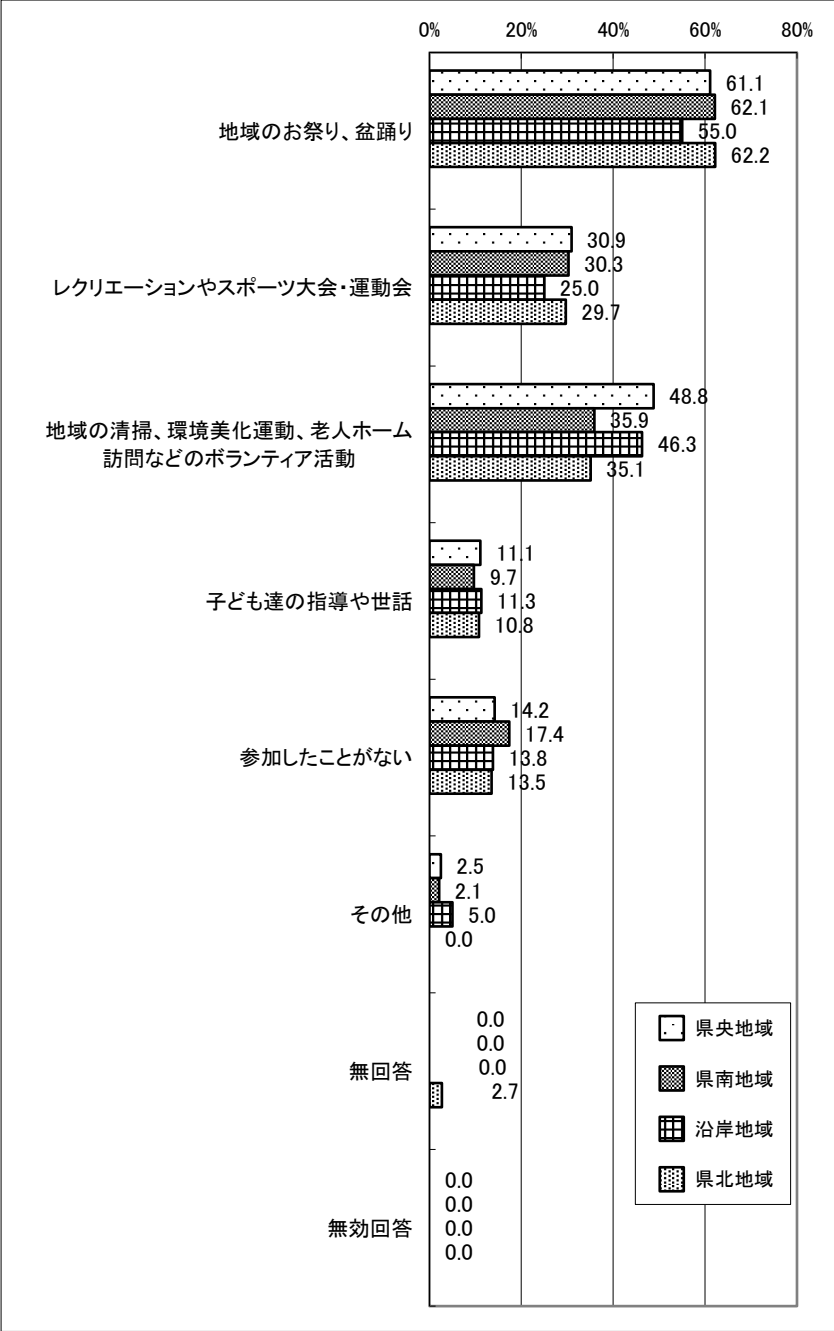
「その他」の内訳

団体を立ち上げ、セクシュアルマイノリティについての理解を深めるための読書会を継続して主催している。 1
通訳ボランティア 1
県外から来た人との交流会(姉妹都市) 1
地域活動がない。 1
ゴミ拾い 1
学校しゅさいのボランティア 1
1日人権擁護委員の活動 1
社会参加活動促進事業出席 1
廃品回収 3
ピアノの発表会の手伝い 1
合計 12

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

地域別に見ると、今回調査では全ての地域において「地域のお祭り、盆踊り」が高く、県央地域（61.1%）、県南地域（62.1%）、沿岸地域（55.0%）県北地域（62.2%）だった。
最も差があるのは「地域の清掃、環境美化運動、老人ホーム訪問などのボランティア活動」の県央地域（48.8%）と県北地域（35.1%）では、県央地域の方が13.7ポイント高く、次いで「地域のお祭り、盆踊り」の県北地域（62.2%）と沿岸地域（55.0%）では県北地域の方が7.2ポイント高い。

②今回調査
(N=480 県央地域:162 県南地域:195 沿岸地域:80 県北地域:37 無回答=6)



問20 問19で「5参加したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 参加しなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。
 (N=76 男性=38 女性=36 その他=0 無回答=2)

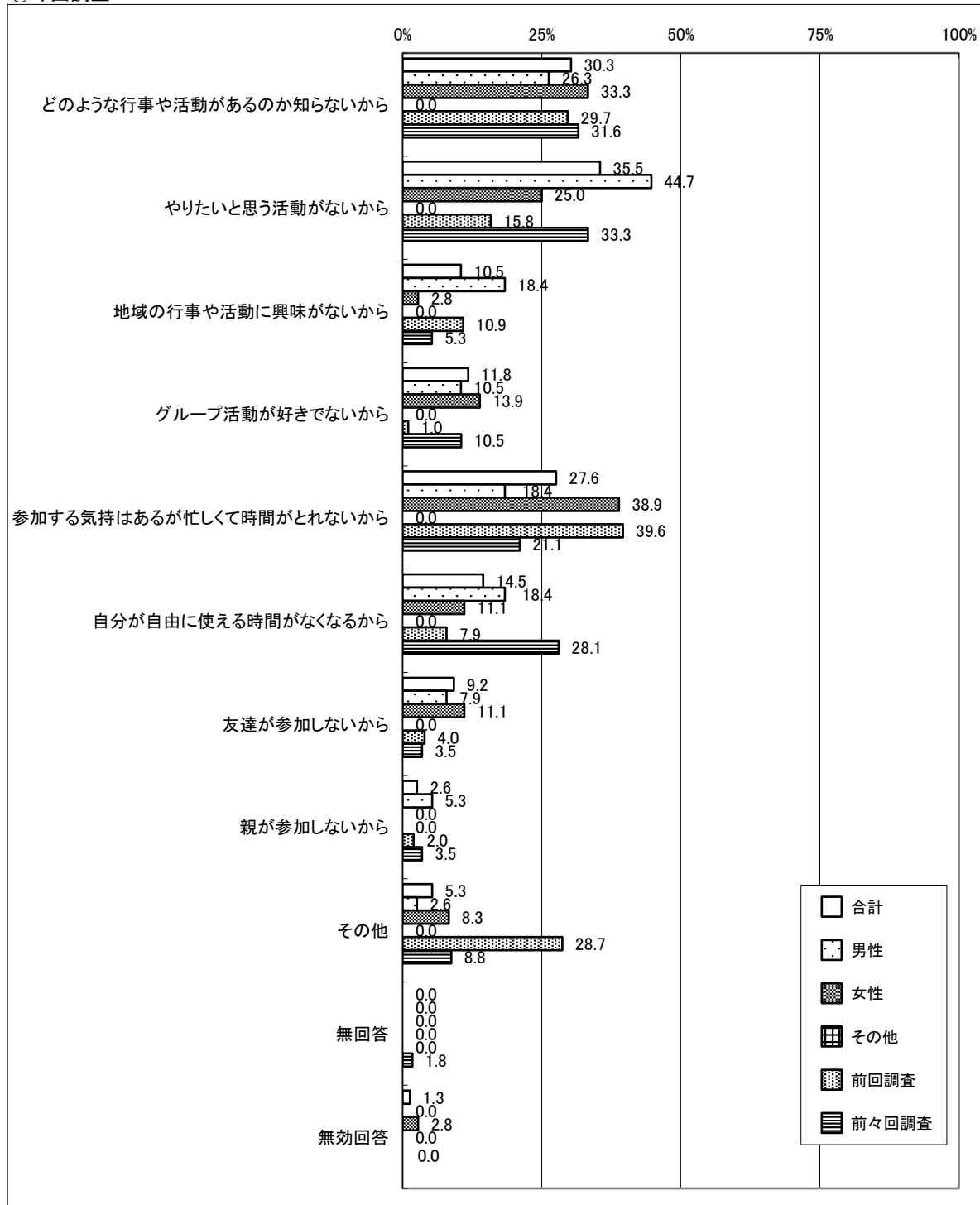
問19で「参加したことがない」と回答したものにその理由を尋ねた。

「やりたいと思う活動がないから」(35.5%)の割合が最も高く、次いで「どのような行事や活動があるのか知らないから」(30.3%)、「参加する気持はあるが忙しくて時間がとれないから」(27.6%)、「自分が自由に使える時間がなくなるから」(14.5%)と続く。

前回調査と比較すると、最も差が大きいのは「その他」(5.3%)であり、前回調査(28.7%)より23.4ポイント減少。次いで「やりたいと思う活動がないから」(35.5%)は、前回調査(15.8%)より19.7ポイント増加している。

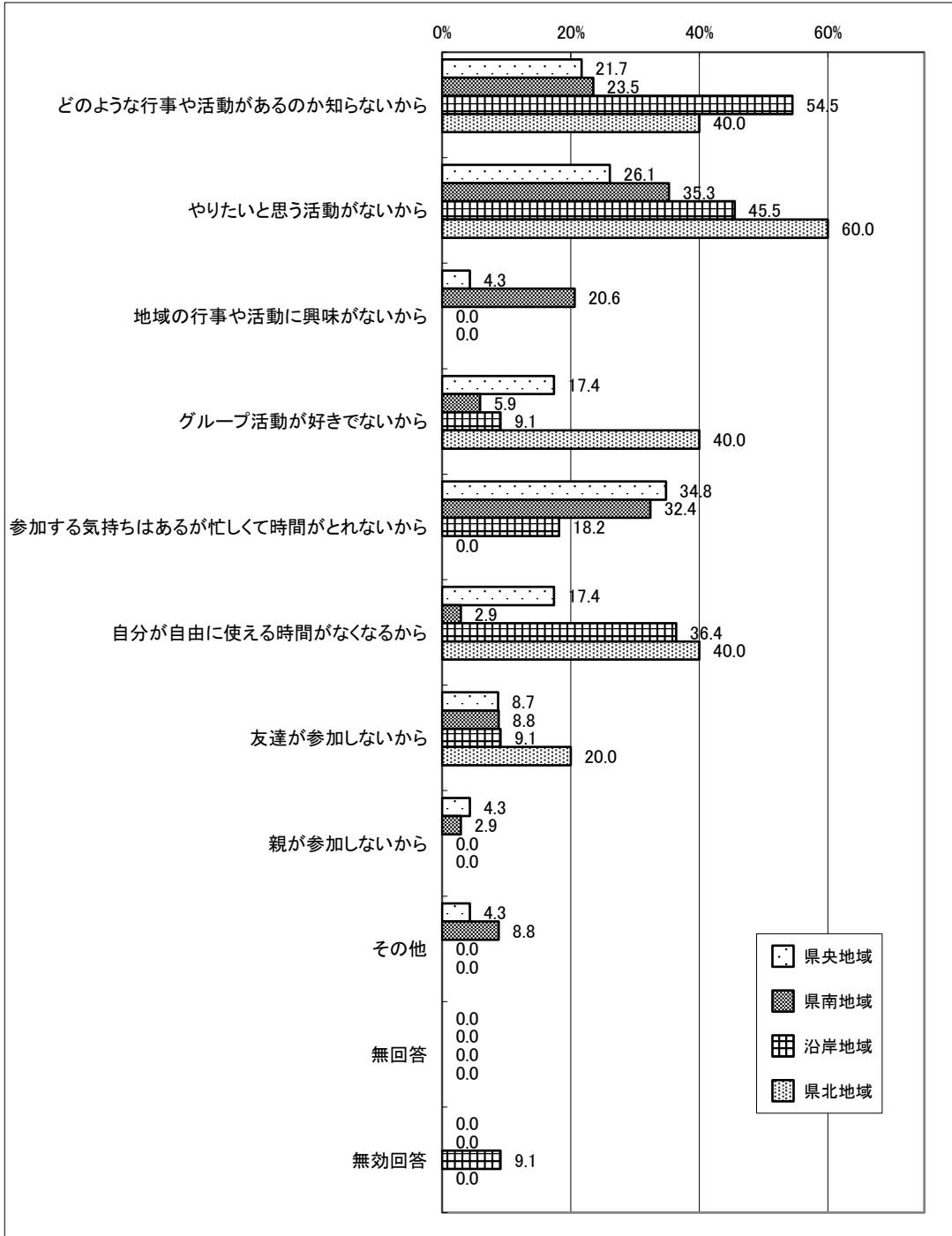
男女別でみると、最も差が大きいのは「参加する気持はあるが忙しくて時間がとれないから」であり、男性(18.4%)と女性(38.9%)では女性の方が20.5ポイント高い。次いで「やりたいと思う活動がないから」であり、男性(44.7%)と女性(25.0%)では男性の方が19.7ポイント高い。

①今回調査



地域別に見ると、「参加する気持ちはあるが忙しくて時間がとれないから」は県央地域（34.8%）、「やりたいと思う活動がないから」は県北地域（60.0%）、「どのような行事や活動があるのか知らないから」は沿岸地域（54.5%）が最多となっており、地域ごとに分かれる。最も差が大きいのは「自分が自由に使える時間がなくなるから」であり、県南地域（2.9%）と県北地域（40.0%）では県北地域の方が37.1ポイント高い。次いで、「参加する気持ちはあるが忙しくて時間がとれないから」であり、県央地域（34.8%）と県北地域（0.0%）で県央地域の方が34.8ポイント高い。

②今回調査
(N=76 県央地域=23 県南地域=34 沿岸地域:=11 県北地域=5 無回答=3)



「その他」の内訳	
コロナ以降社会活動が無くなった。	1
活動がなかったから	1
機会がないから	1
部活がいそがしい	1
合計	4

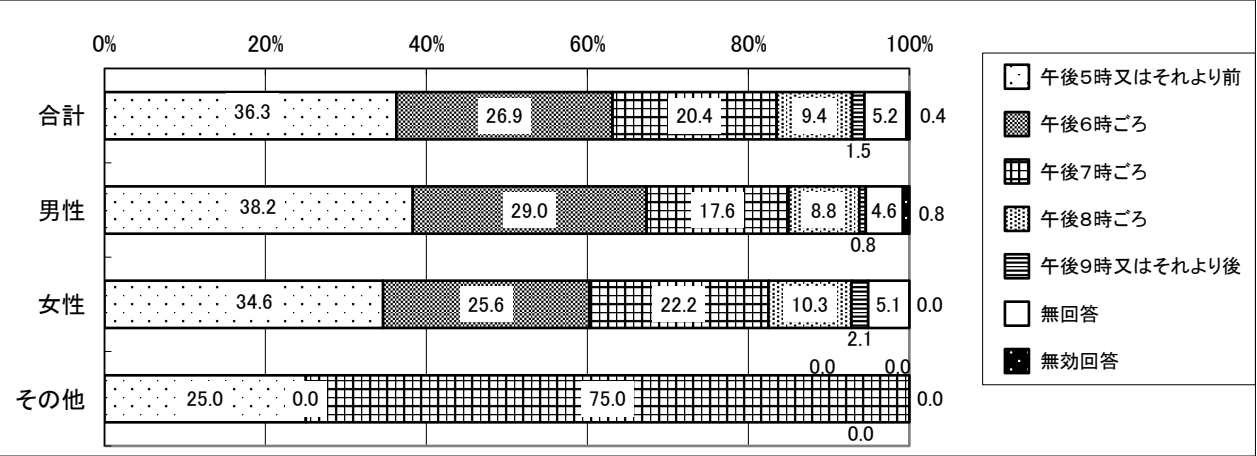
※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

7 生活時間の使い方

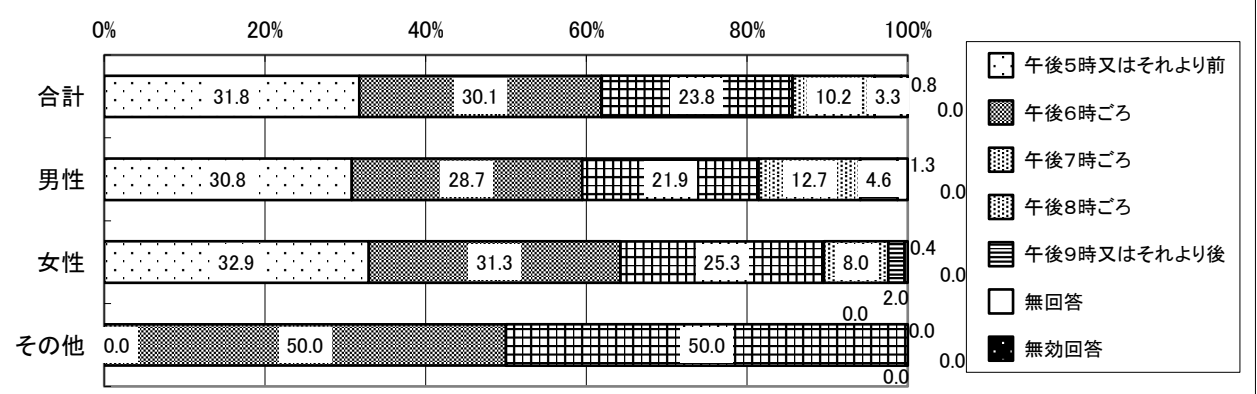
問21 あなたが帰宅する時間は何時ごろですか。また、寝る時間は何時ごろですか。
次の中から帰宅する時間、寝る時間をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

(1) 帰宅時間
少年の帰宅時間は「午後5時又はそれより前」(36.3%)の割合が最も高い。前回調査も同様に「午後5時又はそれより前」(31.8%)が最も高かった。
また「午後5時またはそれより前」(36.3%)が前回調査(31.8%)より4.5ポイント増加している。一方で「午後6時ごろ」(26.9%)が前回調査(30.1%)より3.2ポイント減少している。

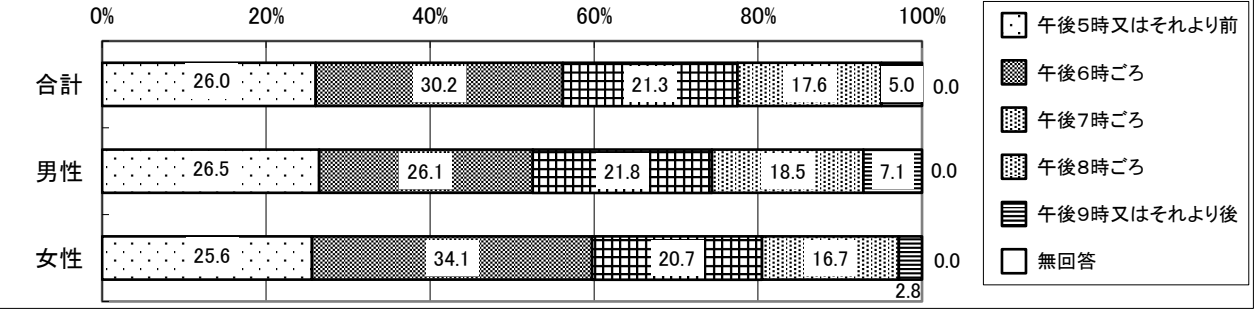
①今回調査の帰宅時間



②前回調査の帰宅時間



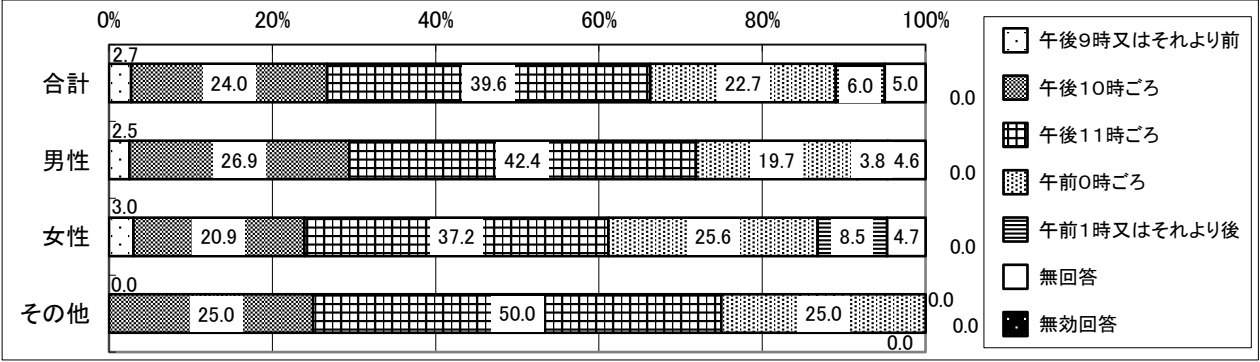
③前々回調査の帰宅時間



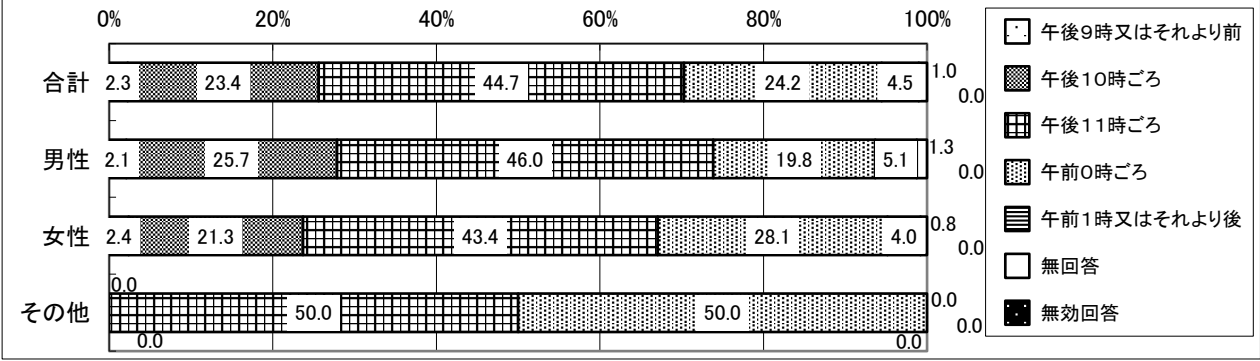
(2) 就寝時間

少年の就寝時間は「午後11時ごろ」(39.6%)の割合が最も高く、次いで「午後10時ごろ」(24.0%)、「午前0時ごろ」(22.7%)が続く。「午後11時ごろ」(39.6%)は前回調査(44.7%)より5.1ポイント減少。一方、「午後10時ごろ」(24.0%)は前回調査(23.4%)より0.6ポイント増加している。

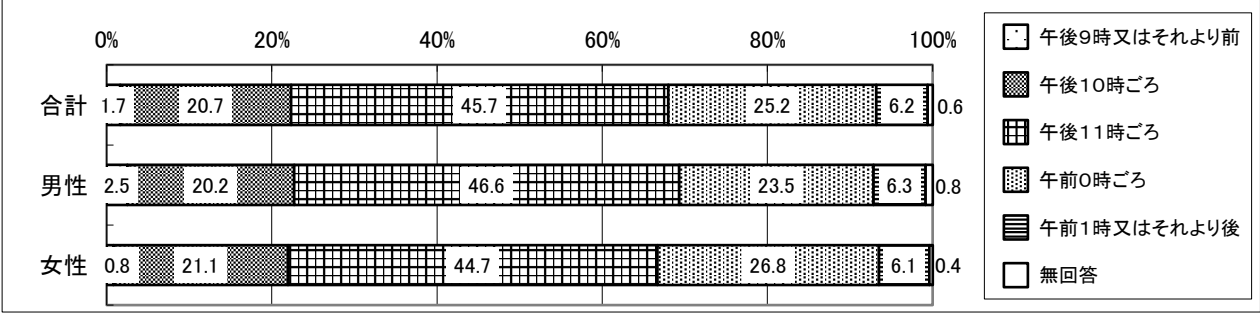
① 今回調査の就寝時間



② 前回調査の就寝時間



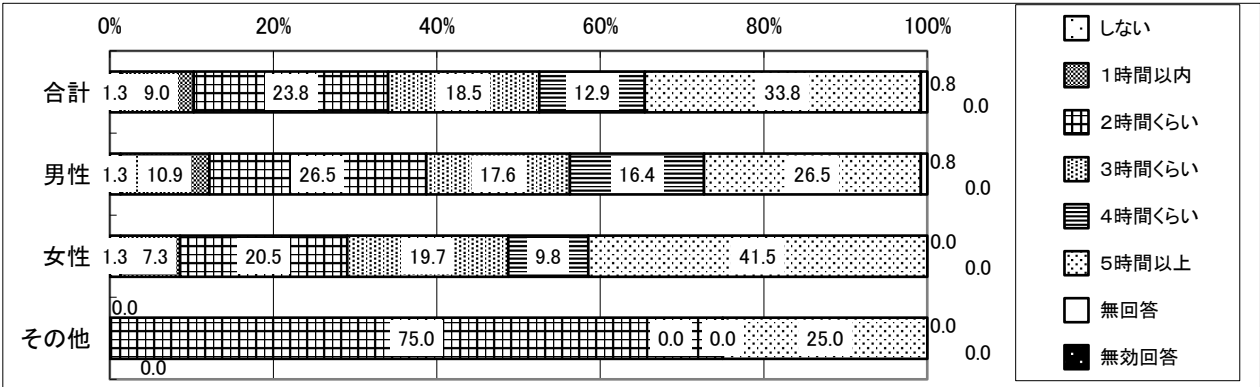
③ 前々回調査の就寝時間



問22 あなたは、休日にどのように過ごしていますか。1日あたりの平均時間に近いものを、次の中からそれぞれ1ずつ選んで○をつけてください。

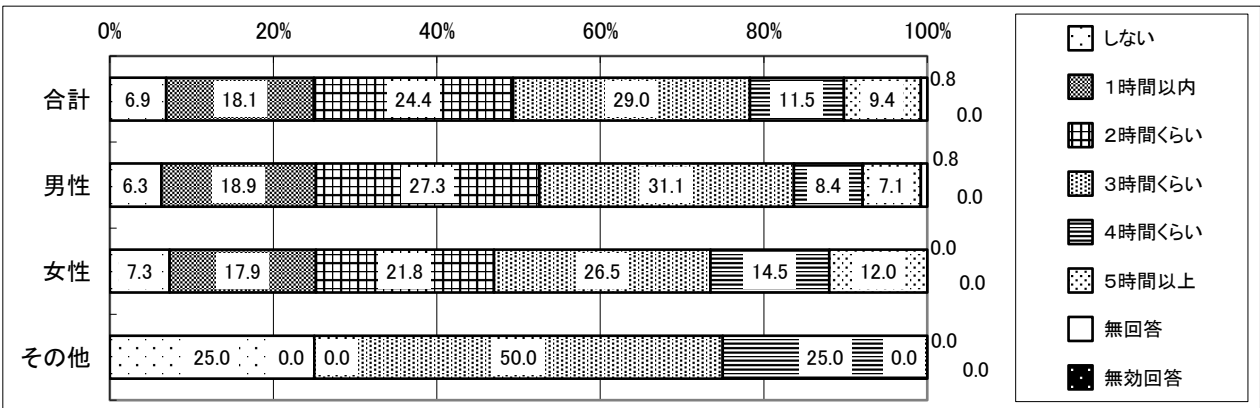
(1) 家族と一緒に過ごす(リビングで過ごす、食事をとる、外出する、など)
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

家族と一緒に過ごすで、最も割合が高かったのは、「5時間以上」で33.8%である。
男女別でみると、「5時間以上」と回答した男性（26.5%）と女性（41.5%）では、女性の方が15.0ポイント高かった。



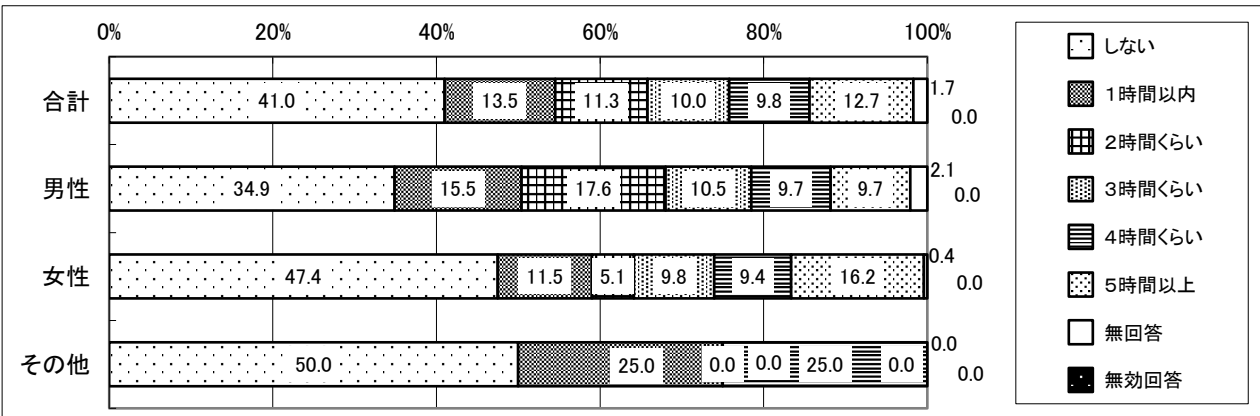
(2) 勉強や部活をする(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

勉強や部活をするで、最も割合が高かったのは、「3時間くらい」で29.0%である。
男女別でみると、「4時間くらい」と回答した男性（8.4%）と女性（14.5%）では、女性の方が6.1ポイント高かった。



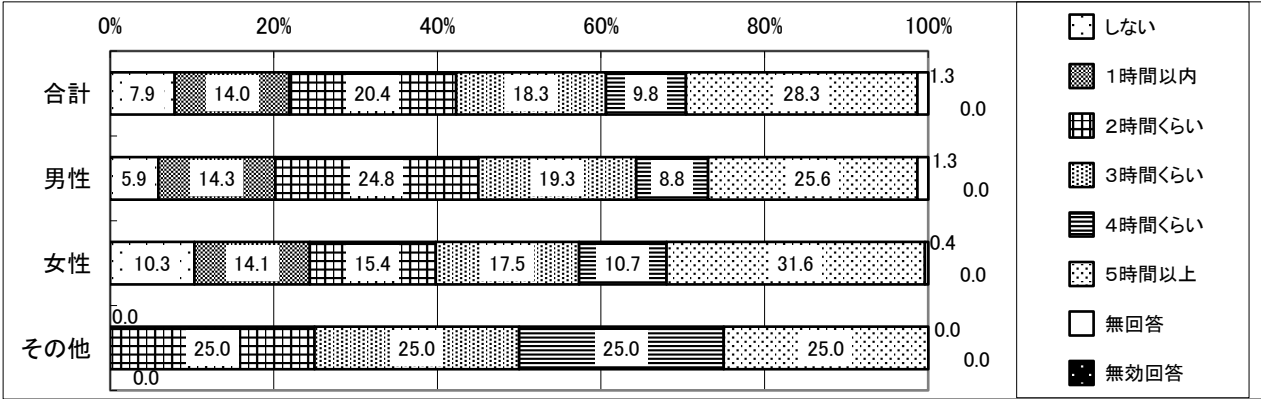
(3) 友達と遊ぶ(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

友達と遊ぶで、最も割合が高かったのは、「しない」で41.0%である。
男女別でみると、「しない」と回答した男性（34.9%）と女性（47.4%）では、女性の方が12.5ポイント高かった。一方で「2時間くらい」と回答した男性（17.6%）と女性（5.1%）では、男性の方が12.5ポイント高かった。



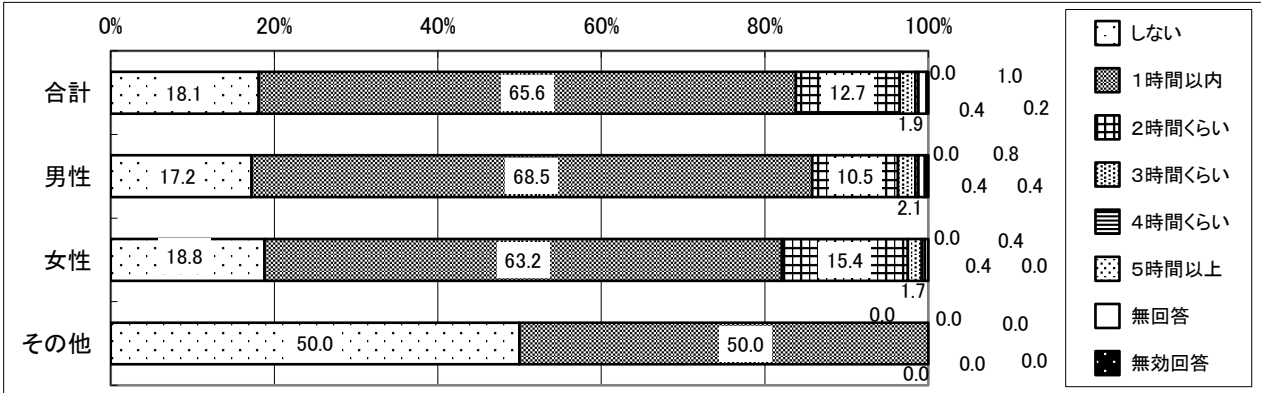
(4)ひとりで過ごす(勉強や就寝をのぞく)(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

ひとりで過ごすで、最も割合が高かったのは、「5時間以上」で28.3%である。
男女別でみると、「2時間くらい」と回答した男性（24.8%）と女性（15.4%）では、男性の方が9.4ポイント高かった。



(5)家事や家族の手伝いをする(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

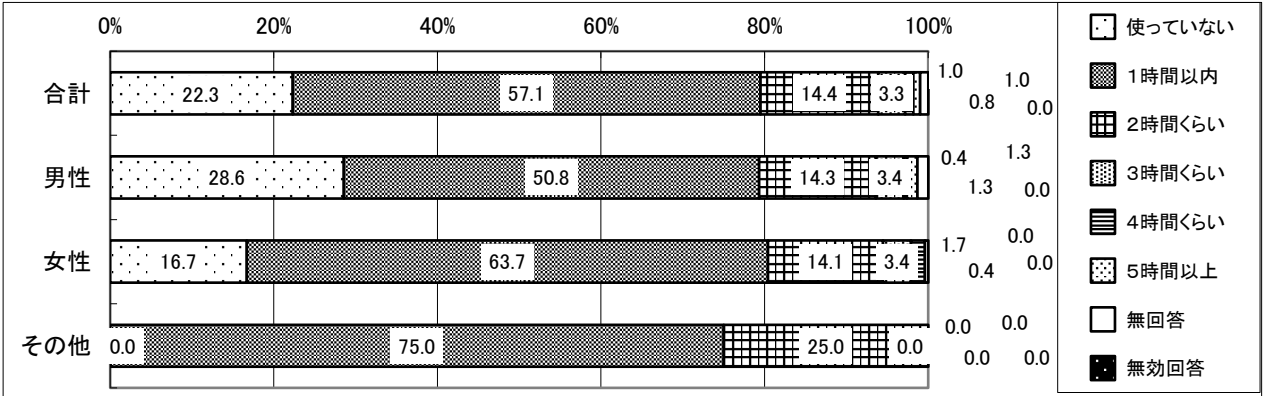
家事や家族の手伝いをするで、最も割合が高かったのは、「1時間以内」で65.6%である。
男女別でみると、「1時間以内」と回答した男性（68.5%）と女性（63.2%）では、男性の方が5.3ポイント高かった。



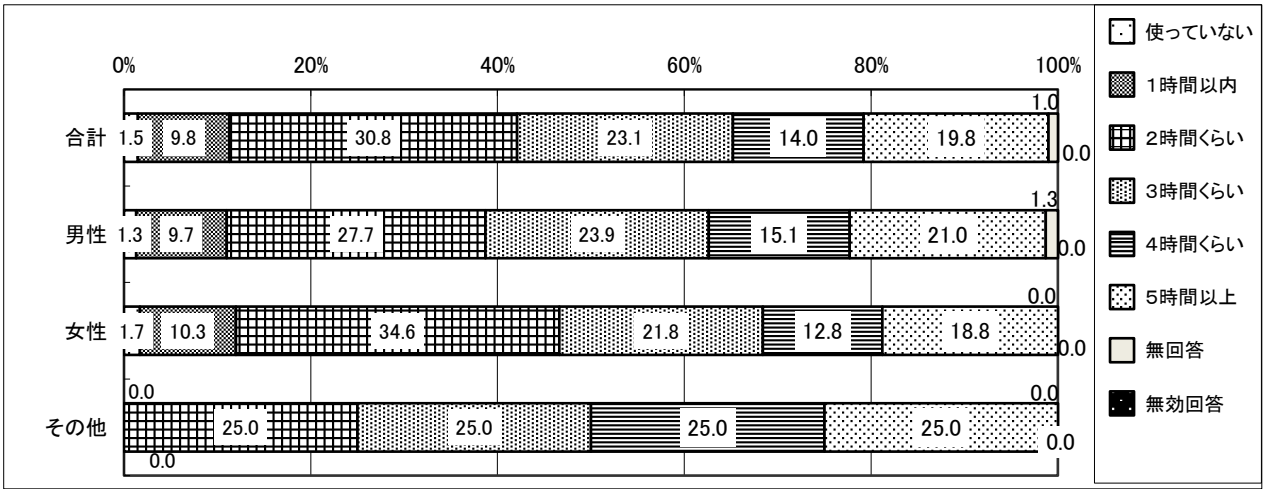
8 インターネット利用

問23 あなたは、インターネットをどのようなことに使っていますか。
1日あたりの平均時間に近いものを、次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

(1)勉強・学習(調べごと、オンライン講座、ミーティングなど)(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)
勉強・学習で、最も割合が高かったのは、「1時間以内」で57.1%である。
男女別でみると、「1時間以内」と回答した男性(50.8%)と女性(63.7%)では、女性の方が12.9ポイント高かった。
一方、「使っていない」と回答した男性(28.6%)と女性(16.7%)では、男性の方が11.9ポイント高かった。

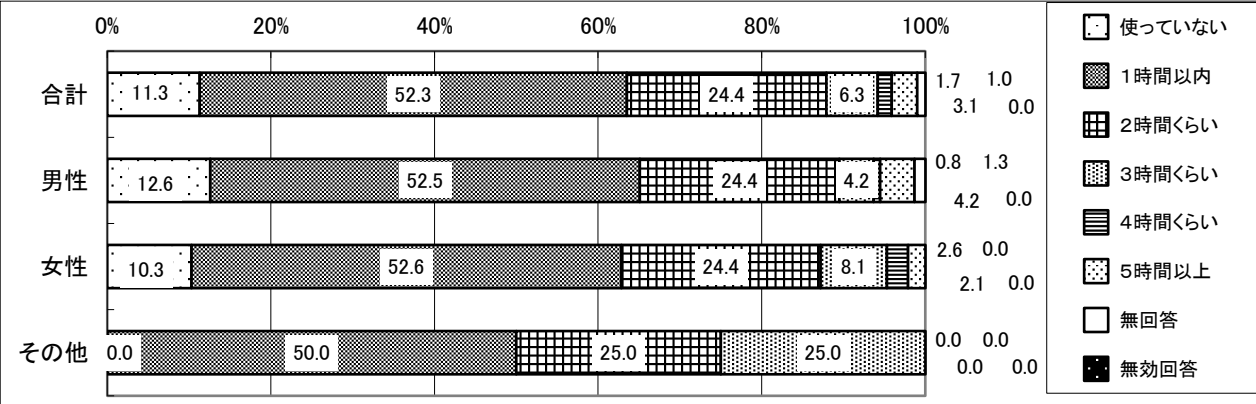


(2)趣味・娯楽
(動画・音楽・漫画の視聴、ゲームをする、創作する、など)(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)
趣味・娯楽で、最も割合が高かったのは、「2時間くらい」で30.8%である。
男女別でみると、「2時間くらい」と回答した男性(27.7%)と女性(34.6%)では、女性の方が6.9ポイント高かった。



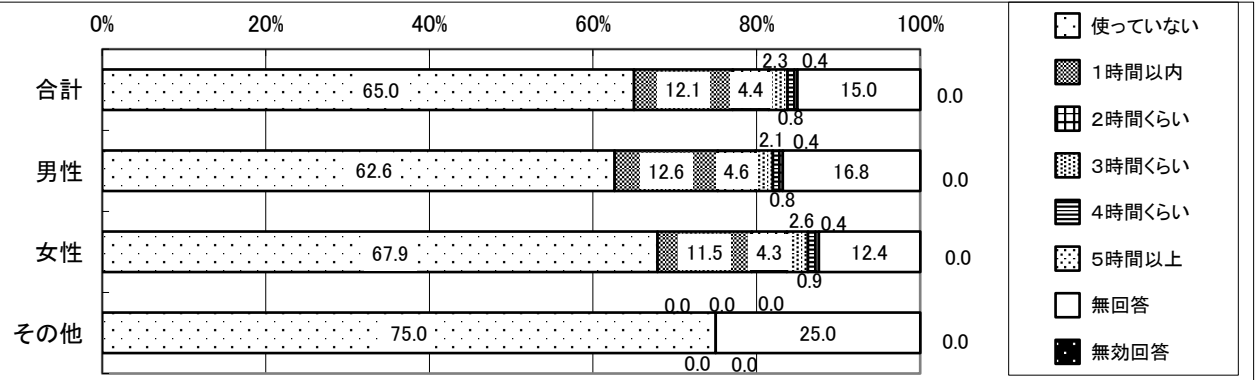
(3)家族や友達とのコミュニケーション(メール、SNSなど)(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

家族や友達とのコミュニケーションで、最も割合が高かったのは、「1時間以内」で52.3%である。
男女別でみると、「3時間くらい」と回答した男性（4.2%）と女性（8.1%）では、女性の方が3.9ポイント高かった。



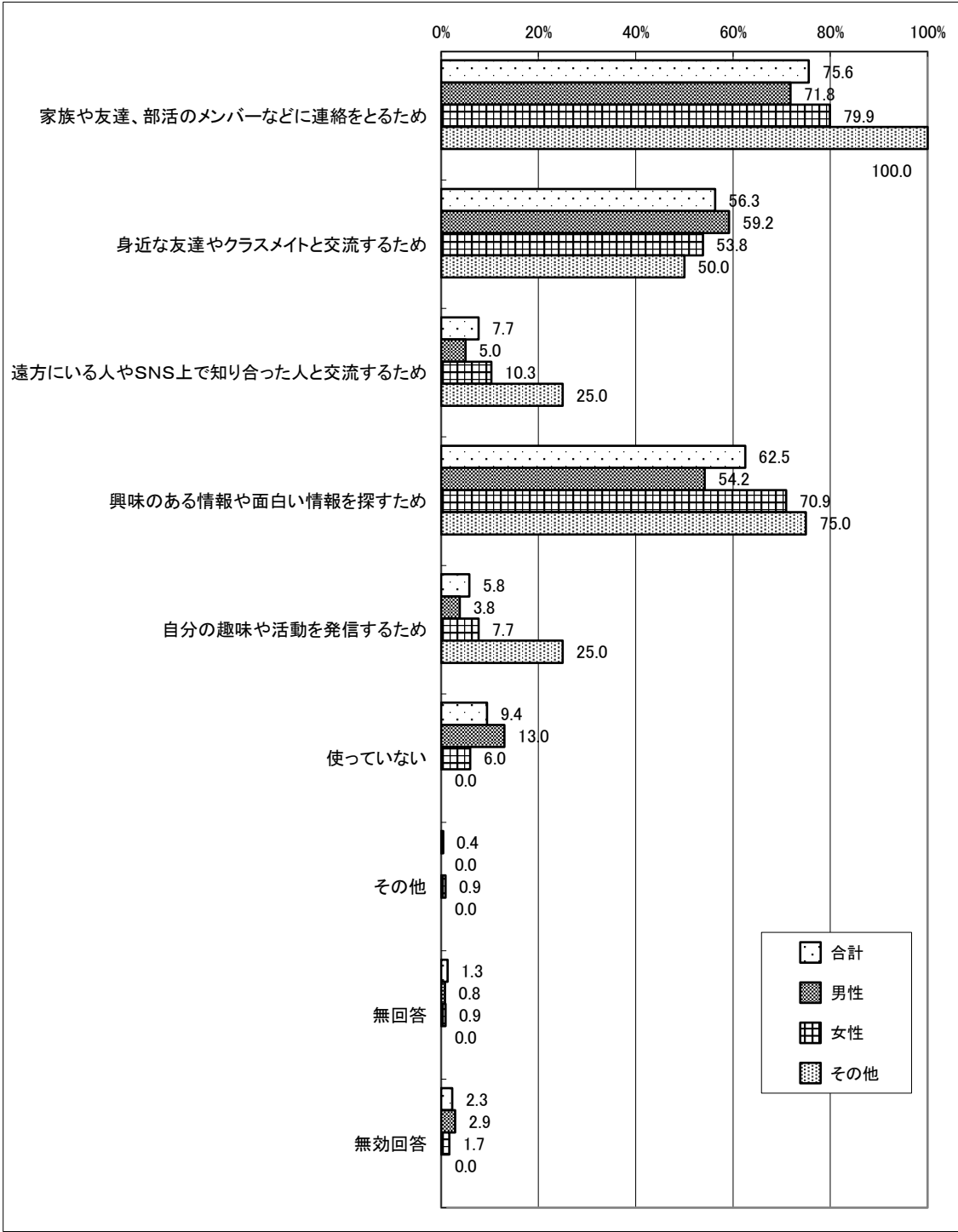
(4)その他(上記にあてはまらないもの)(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

その他で、最も割合が高かったのは、「使っていない」で65.0%である。
男女別でみると、「使っていない」と回答した男性（62.6%）と女性（67.9%）では、女性の方が5.3ポイント高かった。



問24 あなたは、SNS（LINE、X、Instagram、TikTokなど）を利用していますか。利用している場合は、どのような用途に使用していますか。
 次の中から特にあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
 (N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

SNSを利用する用途で、最も割合が高かったのは、「家族や友人、部活のメンバーなどに連絡をとるため」で75.6%である。
 男女別でみると、「興味のある情報や面白い情報を探すため」と回答した男性（54.2%）と女性（70.9%）では、女性の方が16.7ポイント高かった。



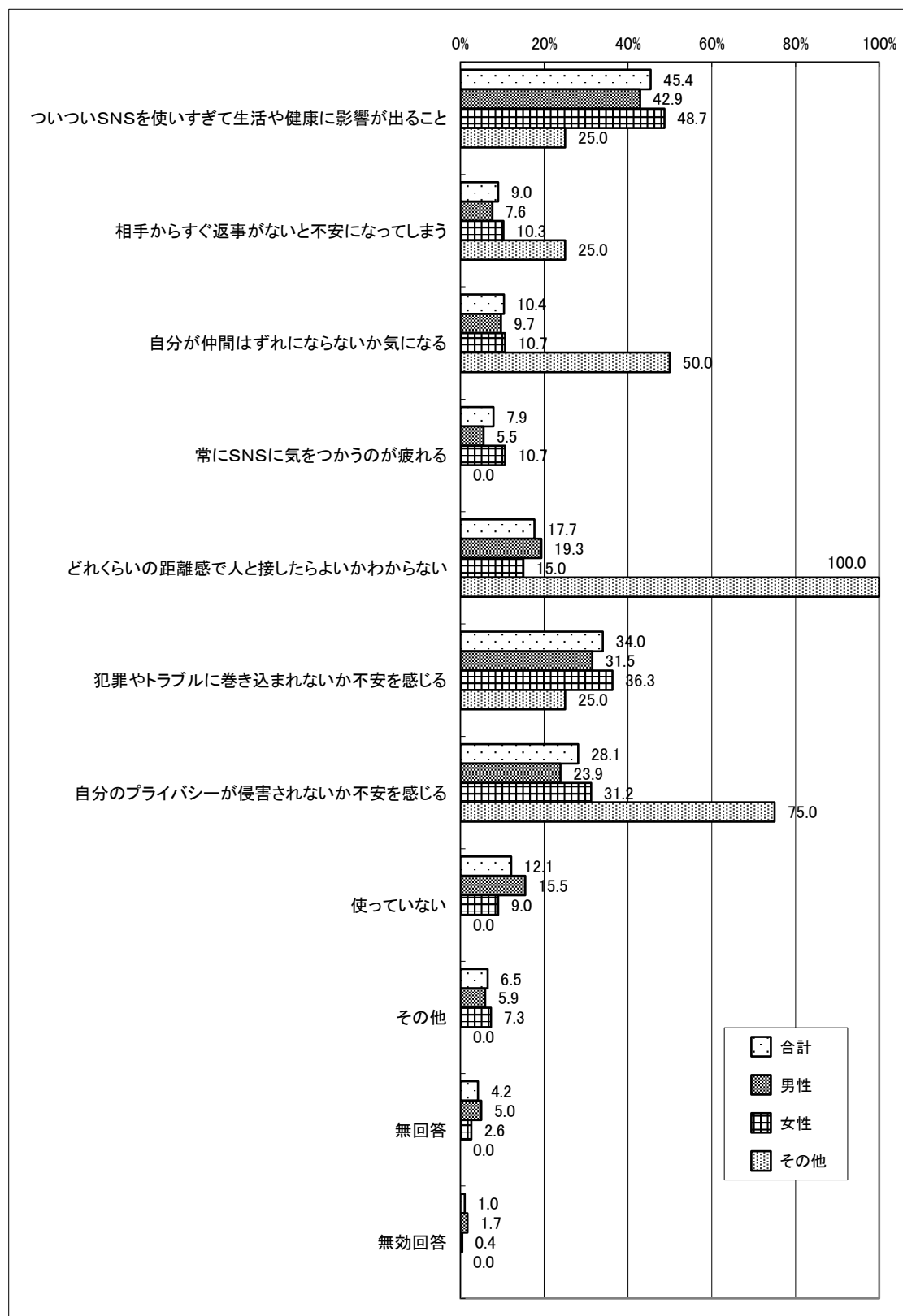
「その他」の内訳	
楽しいから。	1
調べ物をするため	1
合計	2

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問25 あなたは、SNSを使っている不安に感じることはありますか。
 次のの中から特にあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
 (N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

SNSを使っている不安に感じることで、最も割合が高かったのは、「つついSNSを使いすぎて生活や健康に影響がでること」で45.4%である。

男女別でみると、「自分のプライバシーが侵害されないか不安を感じる」と回答した男性（23.9%）と女性（31.2%）では、女性の方が7.3ポイント高かった。



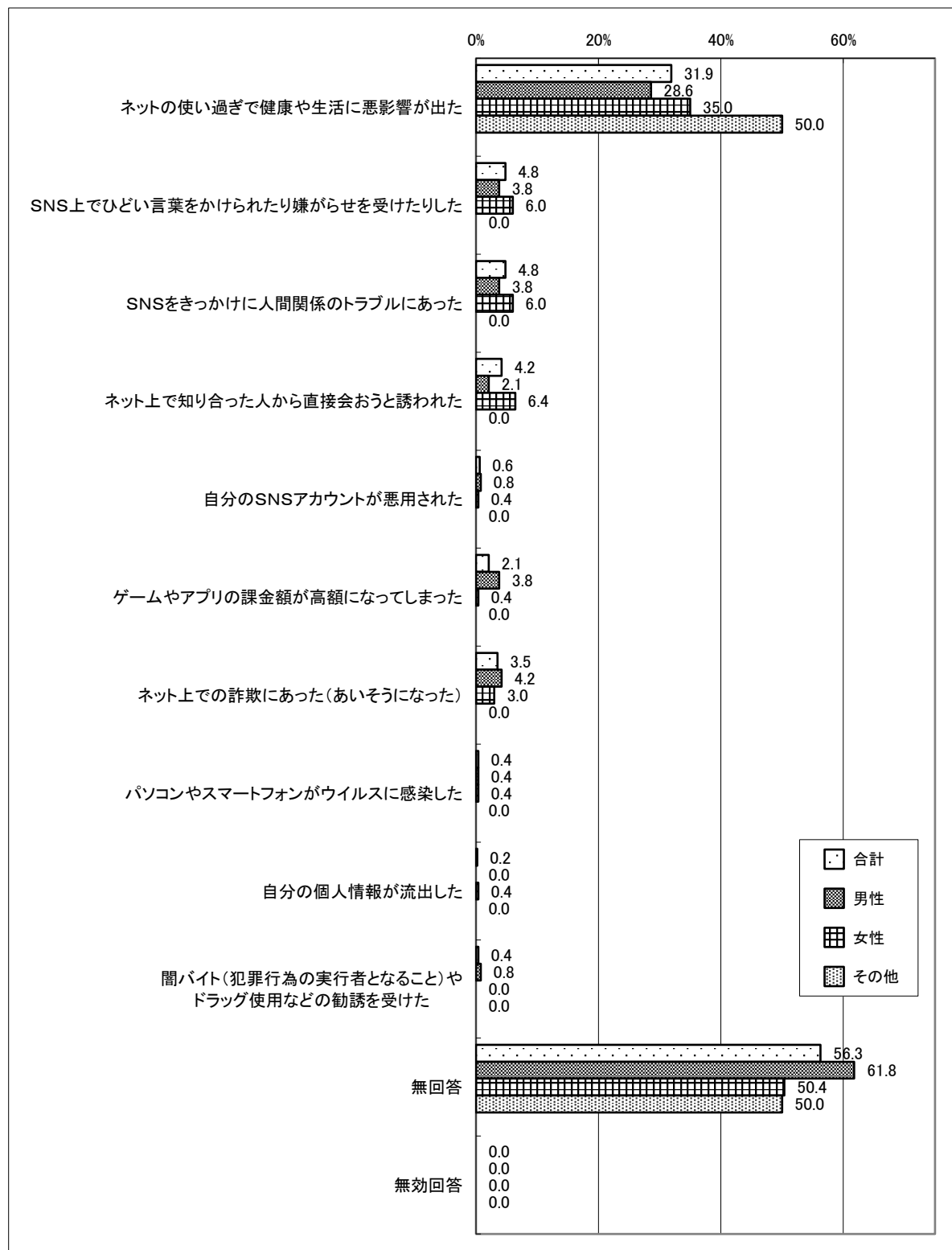
「その他」の内訳	
スマホのようりよう	1
そんなに感じない。	1
ない(なし)	9
依存症になっていないか	1
自分の言葉によって相手が傷つかないか不安を感じる	1
特にない(特になし)	11
特に問題なし	1
不安になることはあまりない	1
不安に感じることはない(不安を感じない・不安なし)	5
合計	31

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問26 インターネットを利用して、次のような経験はありますか。
 次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

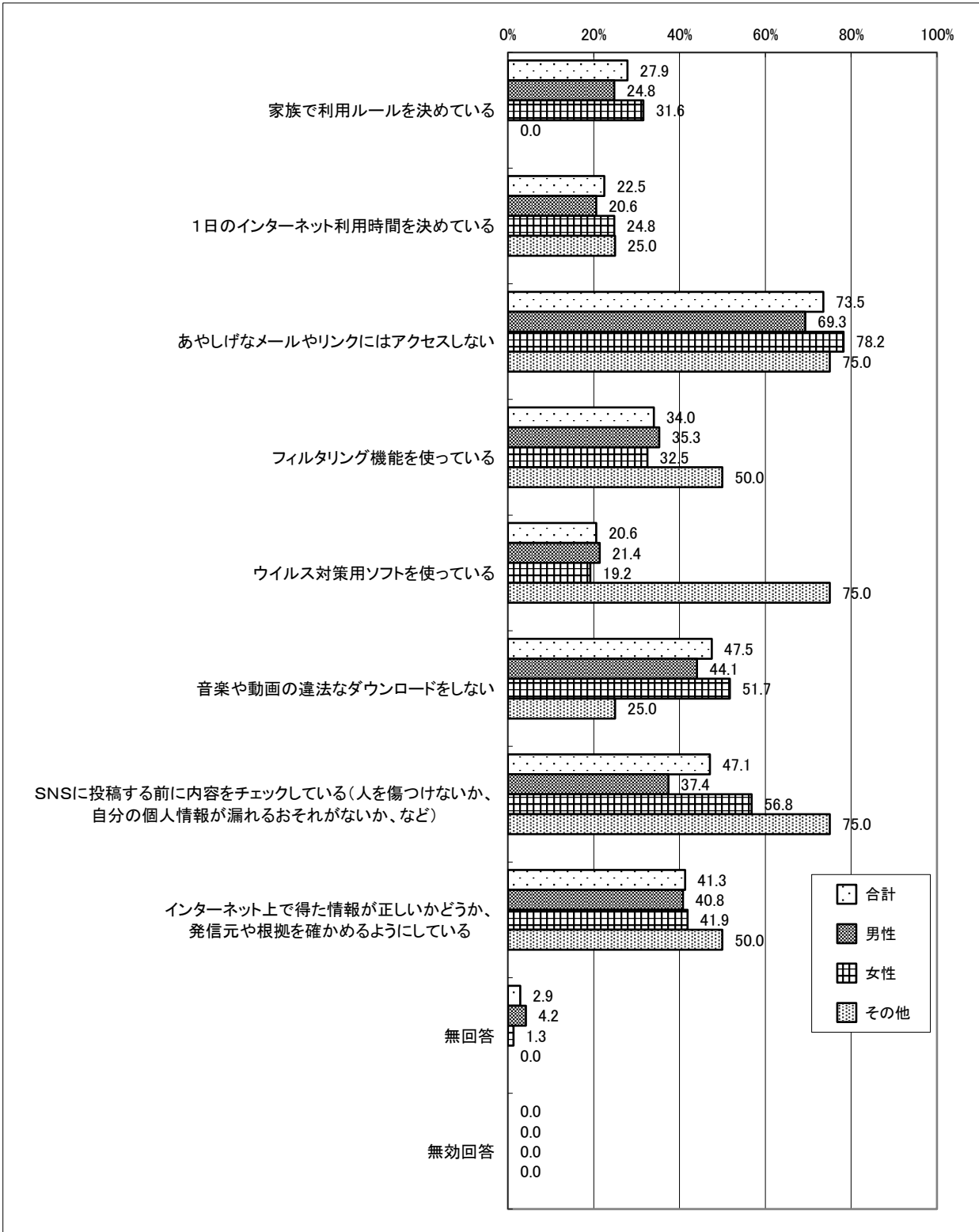
インターネット利用時の経験で、最も割合が高かったのは、「ネットの使い過ぎで健康や生活に悪影響が出た」で31.9%である。

男女別でみると、「ネットの使い過ぎで健康や生活に悪影響が出た」と回答した男性（28.6%）と女性（35.0%）では、女性の方が6.4ポイント高かった。



問27 インターネットを利用するときに気を付けていることはありますか。
 次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

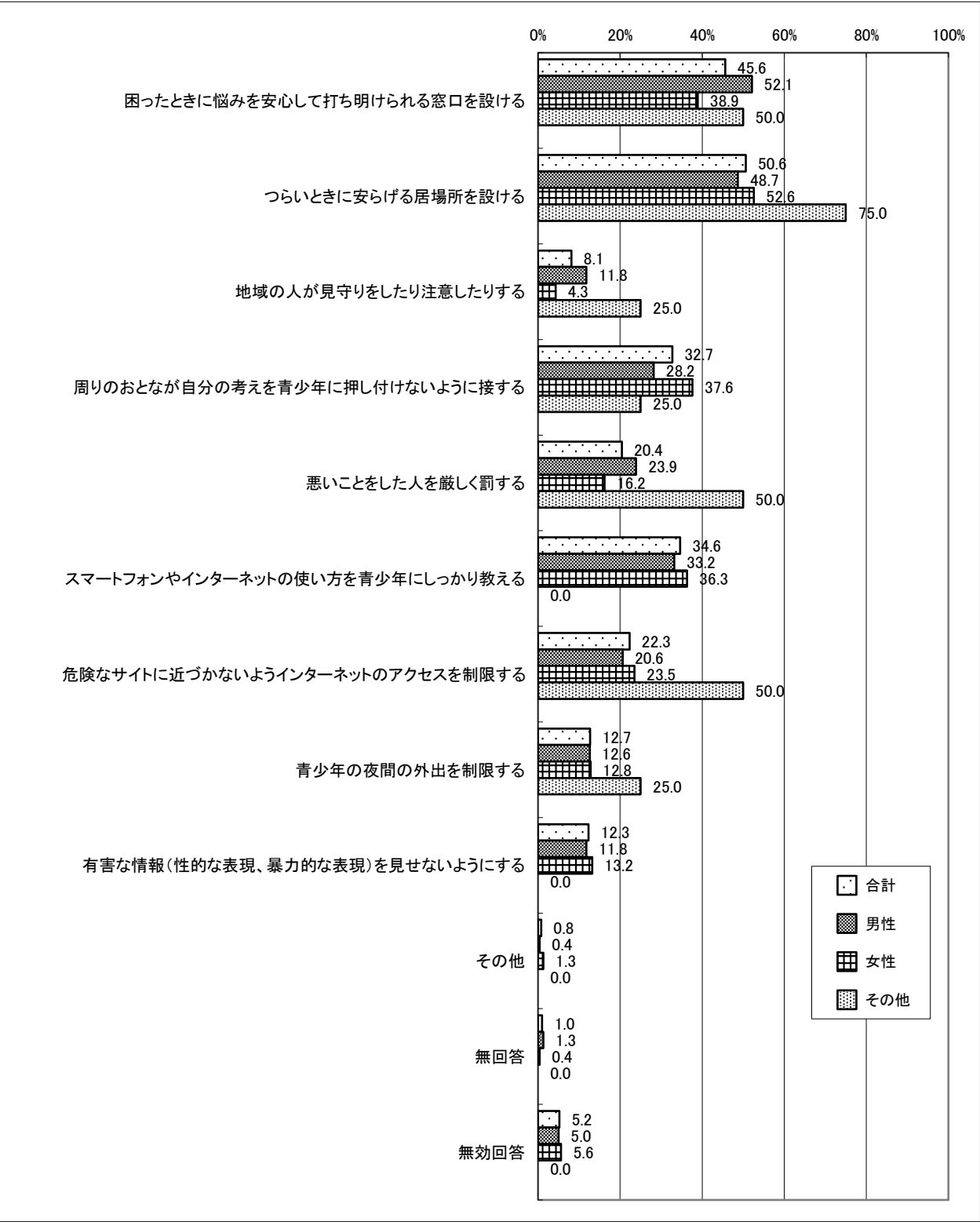
インターネットを利用するときに気を付けていることで、最も割合が高かったのは、「あやしげなメールやリンクにはアクセスしない」で73.5%である。
 男女別でみると、「SNSに投稿する前に内容をチェックしている（人を傷つけないか、自分の個人情報漏れるおそれがないか、など）」と回答した男性（37.4%）と女性（56.8%）では、女性の方が19.4ポイント高かった。



9 子どもの非行・被害防止

問28 あなたは、中学生・高校生が非行を行ったり犯罪に巻き込まれたりするのを防ぐため、どのような取組が重要だと思いますか。
次の中から特にあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
(N=480 男性=238 女性=234 その他=4 無回答=4)

中学生・高校生の非行や、犯罪に巻き込まれることを防ぐため、重要だと思う取組で、最も割合が高かったのは、「つらいときに安らげる居場所を設ける」で50.6%である。
男女別でみると、「困ったときに悩みを安心して打ち明けられる窓口を設ける」と回答した男性（52.1%）と女性（38.9%）では、男性の方が13.2ポイント高かった。



「その他」の内訳

ネットの使い方の指導とあわせて、なぜそれがダメなのか、根本的な教育を行う。例えば、性犯罪としての盗撮をネットで拡散することについて指導する場合、ネットの使い方を指導するのではなく、なぜそれが性犯罪なのかや、人間の尊厳を守ることの大切さを教育する。	1
自分で危機感をもち生活していくべきだと思う。	1
犯罪に巻きこまれそうになった時の対処のしかたを学ぶ	1
合計	3

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

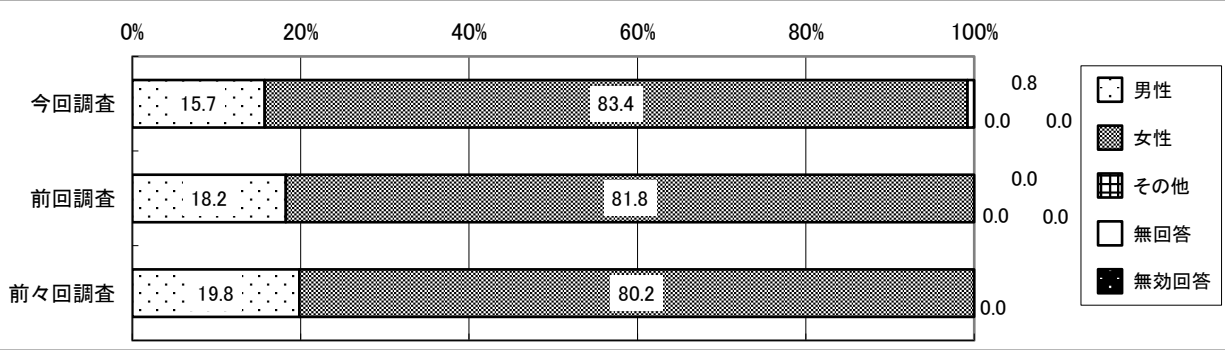
Ⅲ 保護者に対する調査

Ⅲ 保護者に対する調査

1 基本属性(性・年齢・住んでいる地域)

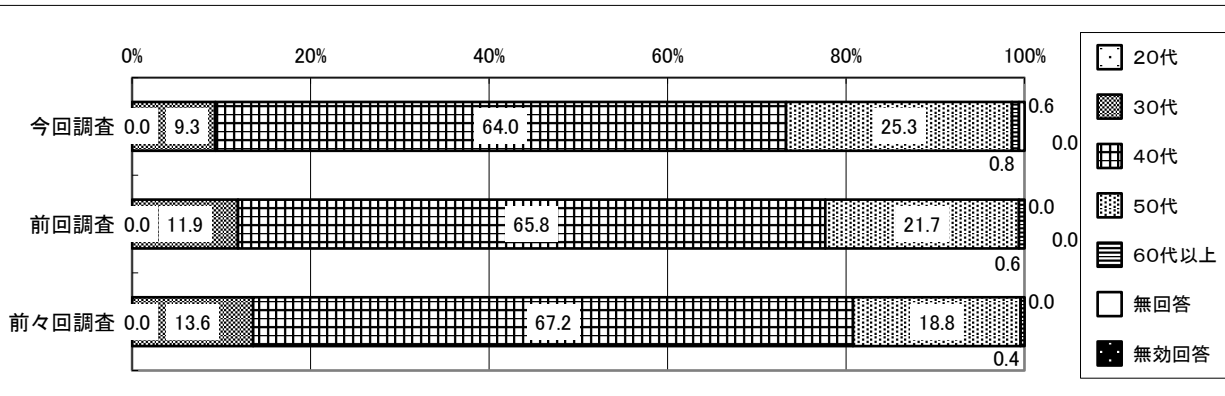
問1 あなたの性別を選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

「3. その他」は令和3年度調査より新たに追加された項目である。
今回調査では、男性15.7%、女性83.4%であり、前回調査より男性が2.5ポイント減少し、女性が1.6ポイント増加している。



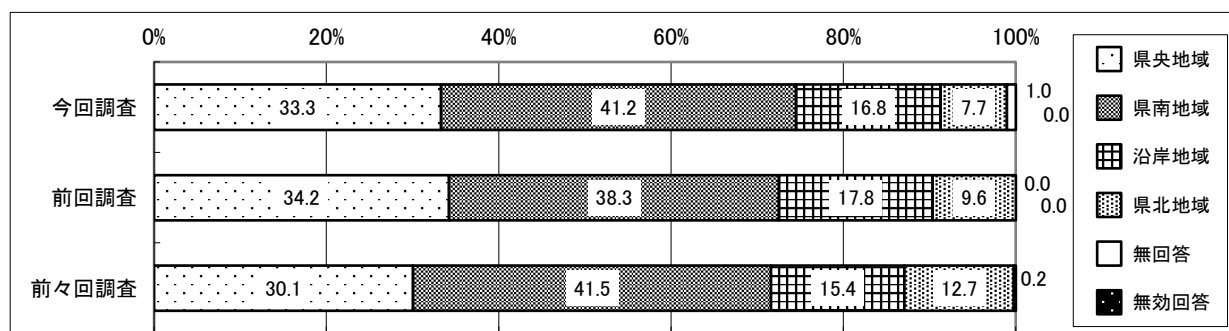
問2 あなたの年齢について、次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=483 20代=0 30代=45 40代=309 50代=122 60代以上=4 無回答=3)

今回調査では、「30代」9.3%、「40代」64.0%、「50代」25.3%、「60代以上」0.8%である。
前回調査と比較すると、「30代」が2.6ポイント、「40代」が1.8ポイント減少し、「50代」が3.6ポイント増加している。
「20代」と回答したものはなかった。



問3 あなたのお住まいはどちらの地域ですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=483 県央地域=161 県南地域=199 沿岸地域=81 県北地域=37 無回答=5)

今回調査では、「県央地域」33.3%、「県南地域」41.2%、「沿岸地域」16.8%、「県北地域」7.7%である。
前回調査より「県央地域」(33.3%)が0.9ポイント、「沿岸地域」(16.8%)が1.0ポイント、「県北地域」(7.7%)が1.9ポイント減少し、一方で「県南地域」(41.2%)が2.9ポイント増加している。



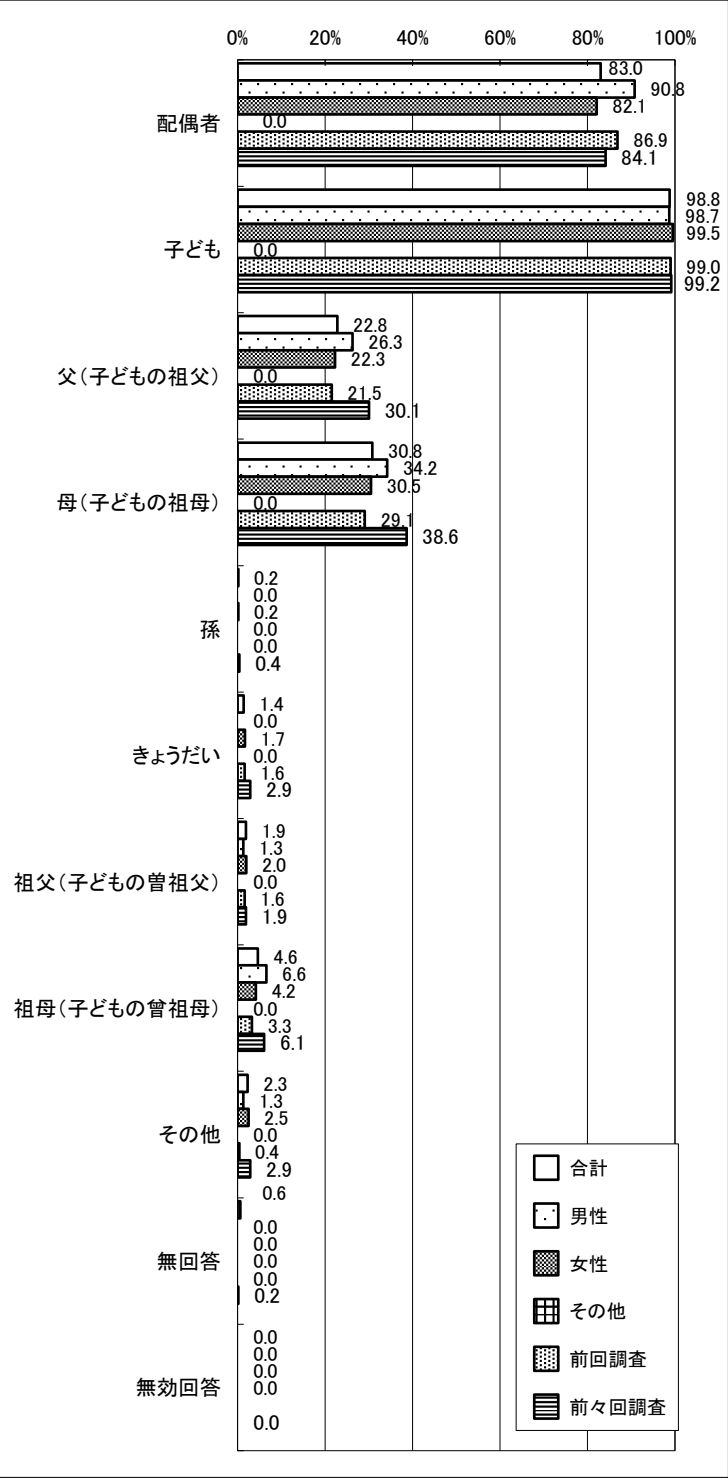
※各地域の市町村構成は「Ⅰ調査の概要」を参照

2 子ども・家族構成

問4 あなたは誰と一緒に暮らしていますか。次の中から一緒に住んでいる人をすべて選んで○をつけてください。
 (N=483 配偶者=401 子供=477 父=110 母=149 孫=1 きょうだい=7 祖父=9 祖母=22 その他=11 無回答=3)

一緒に暮らしている人で最も割合が高いのは「子ども」(98.8%)であり、次いで「配偶者」(83.0%)、「母(子どもの祖母)」(30.8%)、「父(子どもの祖父)」(22.8%)と続く。この傾向は前回調査と同様である。

①一緒に暮らしている人



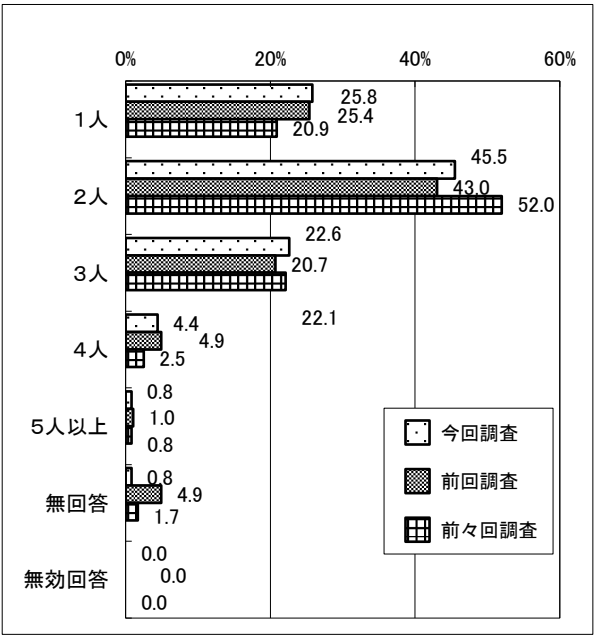
「その他」の内訳

伯母	2
義父母(子供の祖父母)	2
娘の配偶者(子の配偶者)	2
子供の叔母	1
配偶者の妹	1
義姉	1
合計	9

※「その他」に「犬」「猫」と記入したものが2件あった。
 ※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

②子どもの人数

子どもの人数は「2人」（45.5%）の割合が最も高く、次いで「1人」（25.8%）、「3人」（22.6%）と続く。
「2人」（45.5%）と回答したものが前回調査（43.0%）より2.5ポイント、「1人」（25.8%）と回答したものが前回調査（25.4%）より0.4ポイント増加している。



5人以上と回答したものの内訳は次のとおりである。

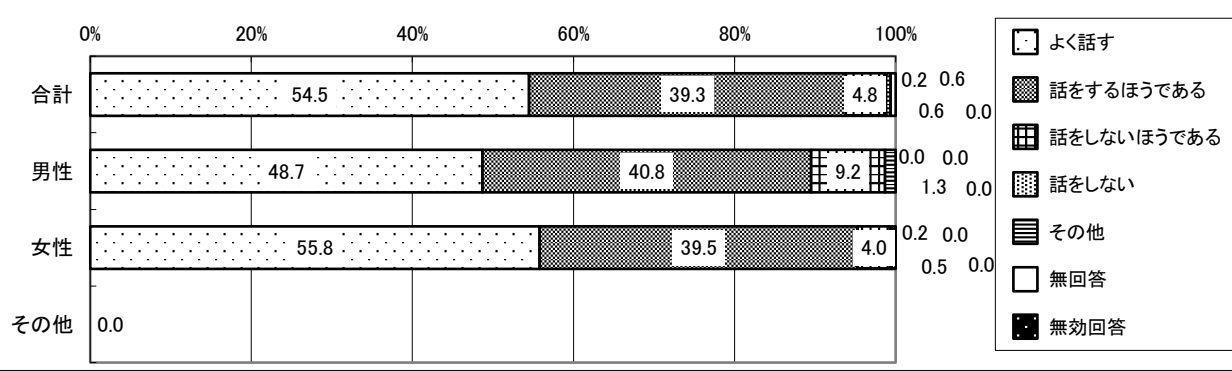
5人	2
6人	2
合計	4

3 子どもとの会話

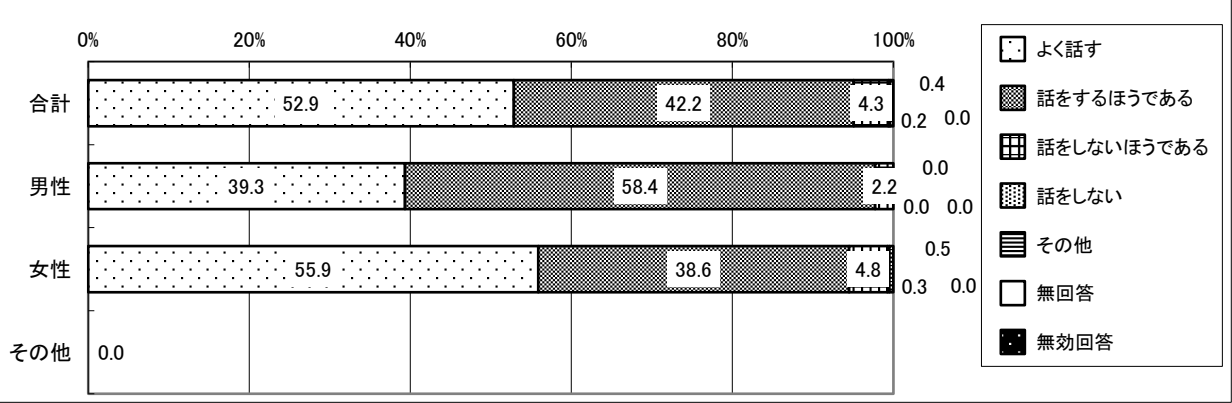
問5 あなたは、お子さんとの程度話をしますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

子どもと「よく話す」(54.5%)、「話をするほうである」(39.3%)と回答したものが93.8%を占めている。内訳では、「よく話す」が前回調査(52.9%)より1.6ポイント増加し、「話をするほうである」が前回調査(42.2%)より2.9ポイント減少している。
男女別にみると「よく話す」と回答した男性(48.7%)と女性(55.8%)では、女性の方が7.1ポイント高く、この傾向は前回調査と同様である。

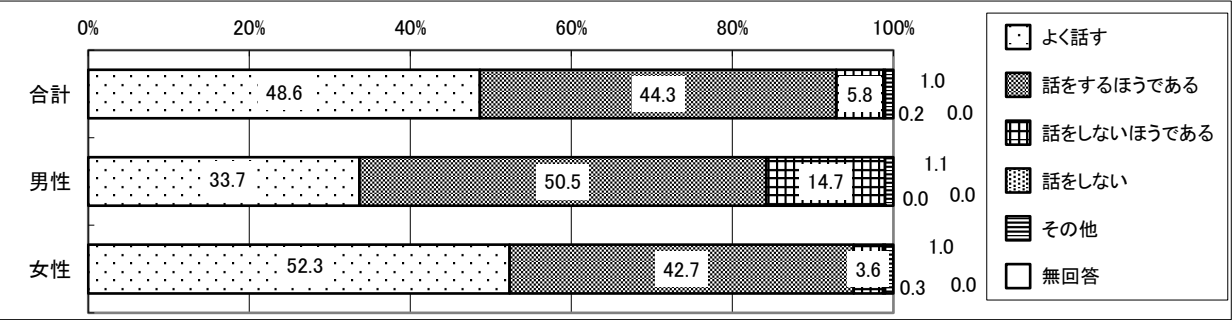
①今回調査



②前回調査



③前々回調査



「その他」の内訳

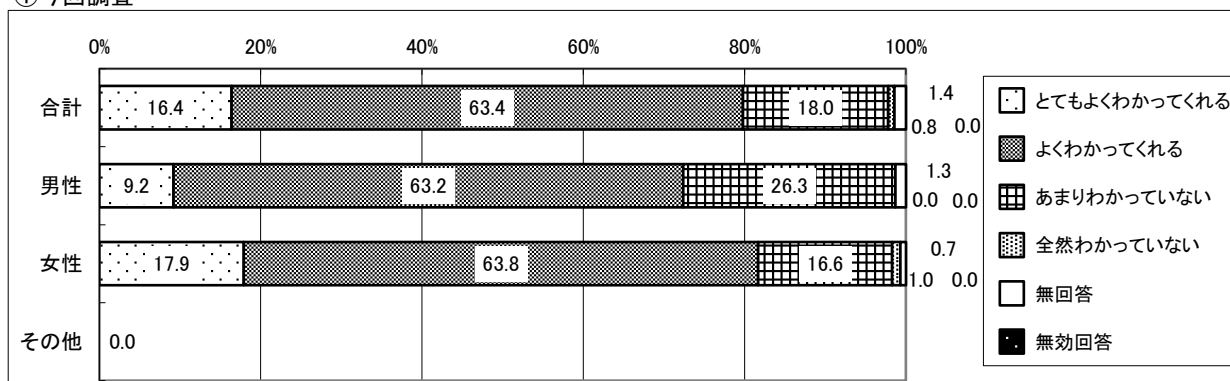
話す時は話す。	1
とてもよく話す	1
時々話しをする	1
合計	3

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

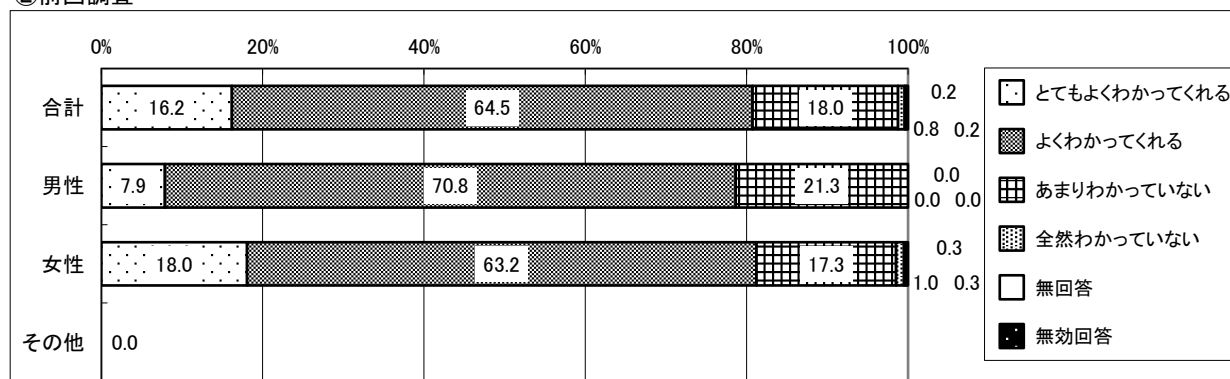
問6 お子さんはあなたの気持ちを理解していると思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

子どもが保護者の気持ちを理解しているかは「とてもよくわかってくれる」(16.4%)または「よくわかってくれる」(63.4%) (以下、2つのものを『わかってくれる』とする)と回答したものは79.8%であり、前回調査(80.7%)と比較して0.9ポイント減少している。また『わかってくれる』と回答した男性(72.4%)は前回調査(78.7%)より6.3ポイント減少している。
少年側から見た保護者の理解をみると、「父」が『わかってくれる』と回答したものは72.3%であり、男性保護者自身が『わかってくれる』と回答したもの(72.4%)より0.1ポイント低い。「母」が『わかってくれる』と回答したものは87.7%であり、女性保護者自身が『わかってくれる』と回答したもの(81.7%)より6.0ポイント高い。
女性保護者の方が少年との回答に差がみられる。

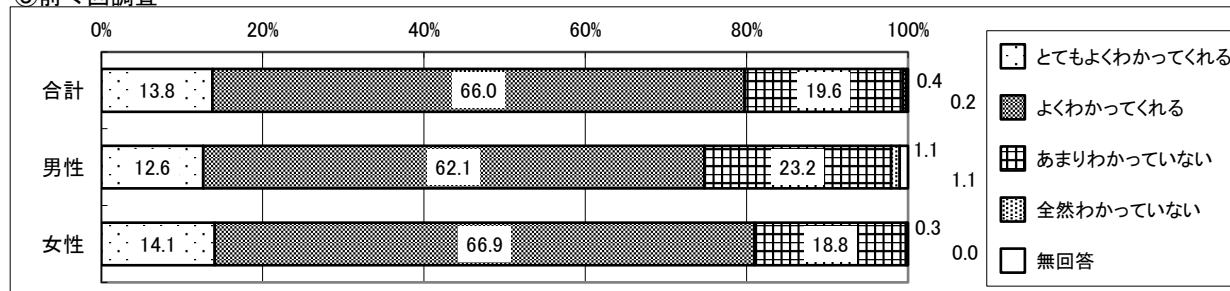
①今回調査



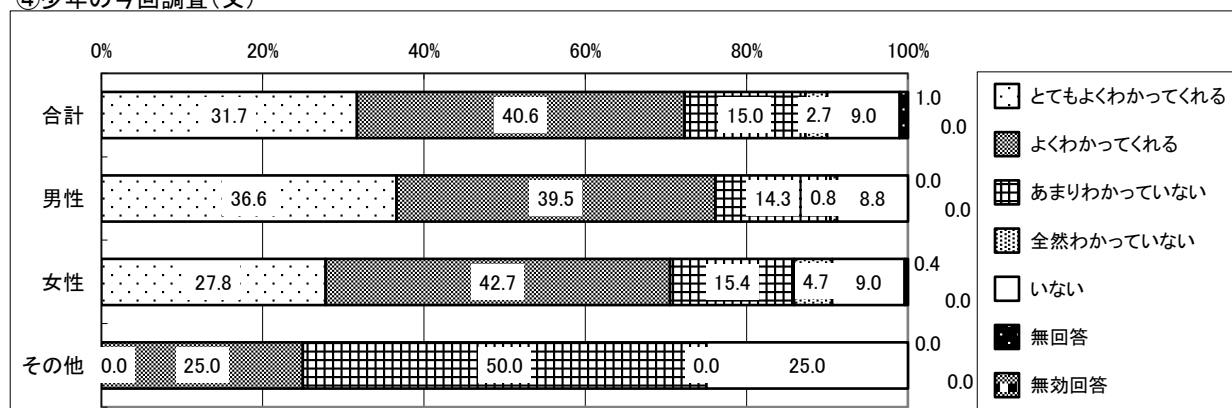
②前回調査



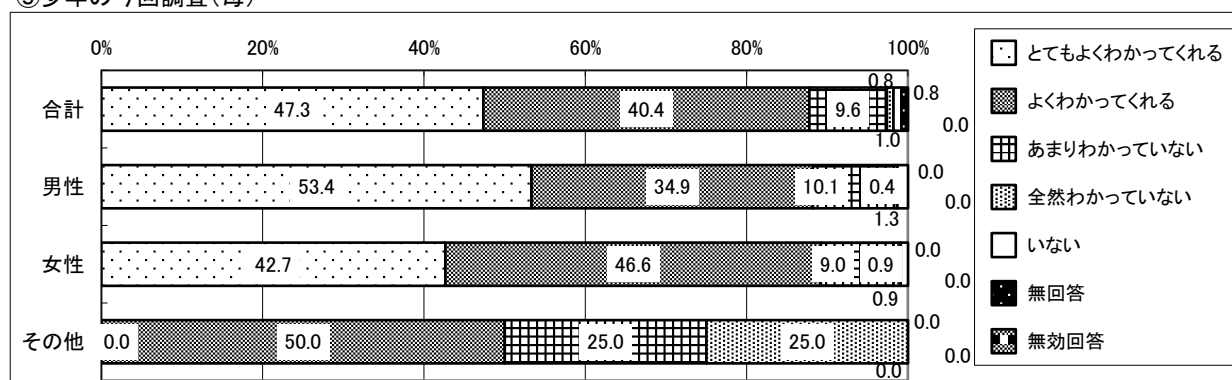
③前々回調査



④少年の今回調査(父)

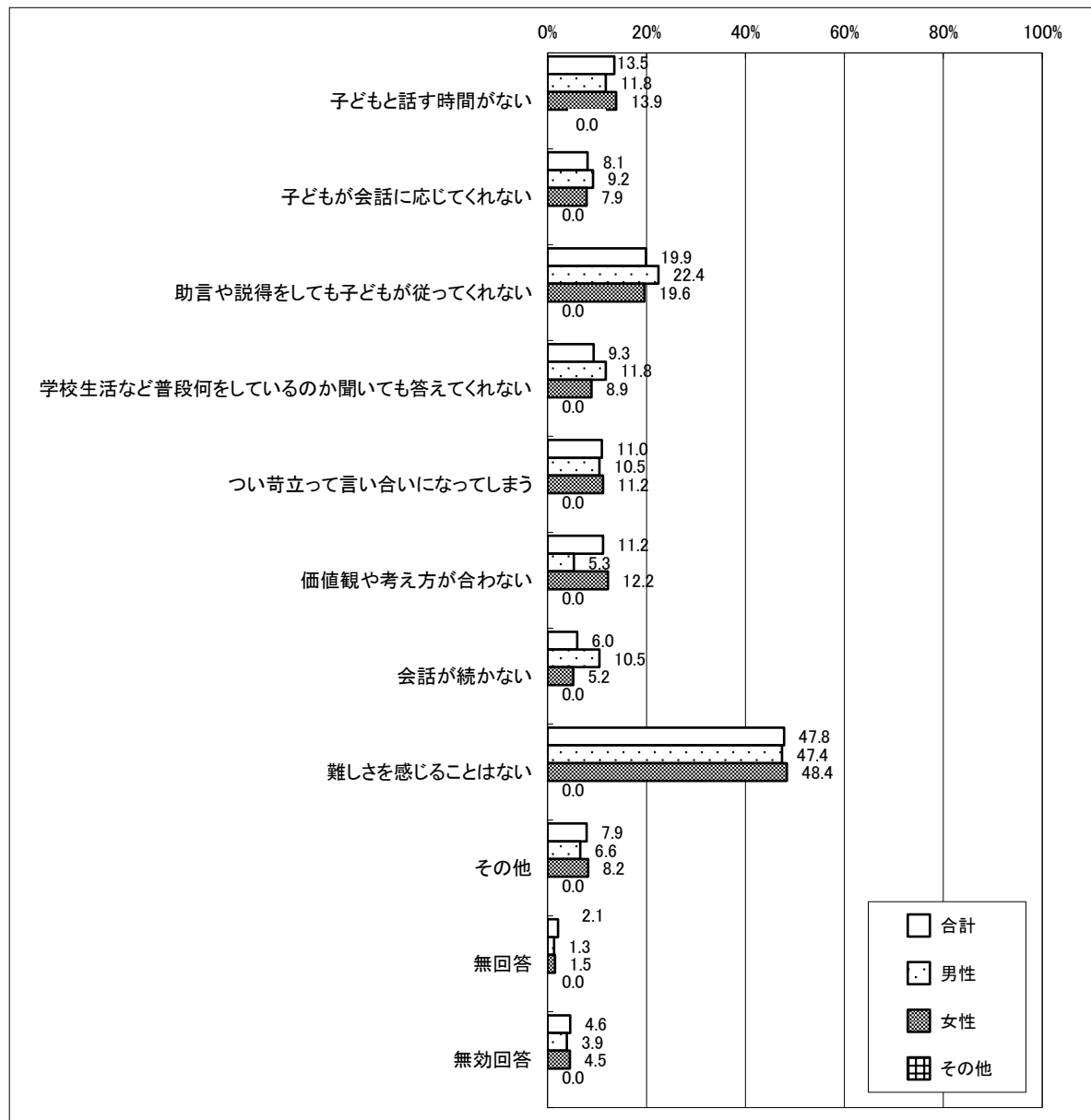


⑤少年の今回調査(母)



問7 お子さんと会話することについて、難しさを感じることはありますか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

子と会話することの難しさを感じるかは「難しさを感じることはない」(47.8%)が最も高い。
次いで「助言や説得をしても子どもが従ってくれない」(19.9%)、「子どもと話す時間がない」(13.5%)、
「価値観や考え方が合わない」(11.2%)と続く。
男女では「価値観や考え方が合わない」の差が最も大きく、男性が5.3%、女性が12.2%と女性の方が6.9ポ
イント高い。



「その他」の内訳

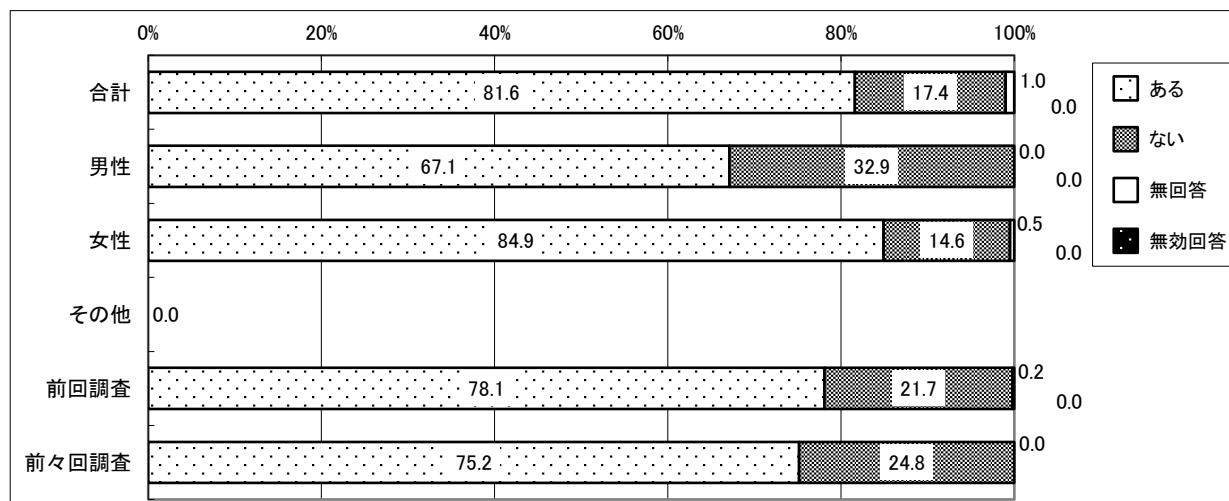
助言してその通りの行動をしなくても本人が考えて決めたことであれば従ってくれないとは思わない	1
片付けや、ゲームの時間を注意すると強い口調で言い返される。「うるさい、分かってるしつこい、いいじゃん」など	1
子どもから話し始めることが少ない	1
年頃になってきているので、友人同士の中での話題など、親に話す事、話さなくてよい事がある気がします。	
つらそうにしている等、特に、いつもと変わらない様子なら、こちらから根ほり葉ほりは、あまり聞かないようにしています。	1
うざいらしい	1
親の意見を言ってもすなおに受け入れてくれない	1
思春期のため、その時の気分により態度が異なる。	1
子供のその日の機嫌によって、話さなくなる時は、難しいと感じる事もある。	1
子供の思いをくみ取り、相づちをうちながらも親の思いや社会性、考え方を短い言葉で反応するのを考えて	
いるので難しいと思う時があります。	1
今のところ、難しいと感じることがない	1
子供の年代によって多少大変さを感じる	1
言い合いにまではならないが、口調がきつくなることが多い。	1
お互いに話し合うタイミングある時のみ	1
健全な成長過程だと思っています。	1
ゲームスマホに無中でうわのそらで聞いている。	1
難しさを感じることもあるが自分とは違うことを忘れずに会話をしている	1
特に感じません。	1
自分の部屋にすることが多い	1
子どもが自分の時間の方を優先している。	1
子供からのSOSに自分の返答が合っていたかどうか正確が分からない	1
分かってほしい時は子供の状態を見て話す事が大切なのですがタイミングが合わない	1
反抗期	1
時と場合、内容によります	1
あまり教えてくれない	1
学校生活などを聞いて、教えてくれるが、よくわからなくて何度も聞くと、面倒くさいのかやめてしまう	1
お互い日による、そんなもんかと思いますが	1
助言はするが本人の考えを尊重するようにしているので従わないとは思わない	1
価値観や考え方が違うことも全部会話としてお互いに言うことが出来る	1
やるべき事をやらないとき、注意すると反抗してくる	1
合計	29

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問8 あなたはお子さんから悩みを相談されたことがありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

子どもから悩みごとを相談されたことが「ある」と回答したものは81.6%であり、前回調査（78.1%）より3.5ポイント増加した。一方で「ない」（17.4%）と回答したものは前回調査（21.7%）より4.3ポイント減少している。

男女別にみると、「ある」と回答した男性保護者（67.1%）は、女性保護者（84.9%）と女性の方が17.8ポイント高い。同様に「ない」と回答した男性保護者（32.9%）は、女性保護者（14.6%）と18.3ポイント男性の方が高い。



問9 問8で「1ある」に○をつけた方にうかがいます。相談された悩みはどのような内容ですか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=394 男性=51 女性=342 その他=0 無回答=1)

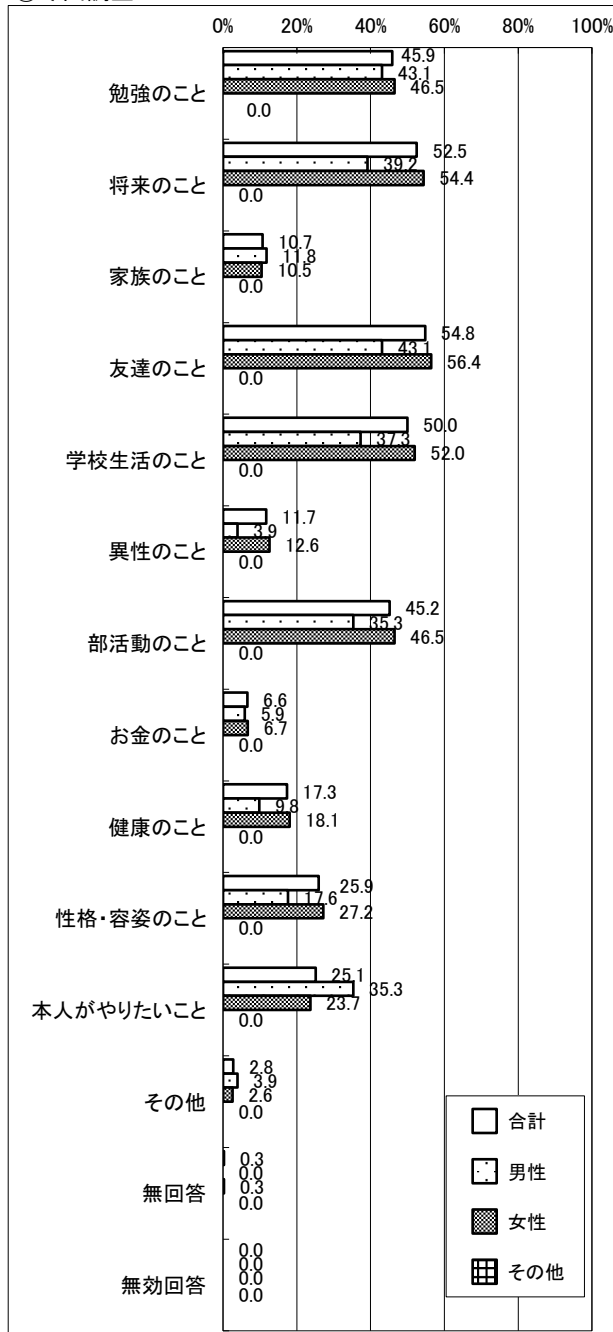
子どもから相談された悩みごとの内容については、「友達のこと」(54.8%)の割合が最も高く、次いで「将来のこと」(52.5%)、「学校生活のこと」(50.0%)と続く。
前回調査と比較すると、「友達のこと」(54.8%)は、前回調査(59.3%)より4.5ポイント減少している。

一方で「異性のこと」(11.7%)は前回調査(9.7%)より2.0ポイント増加している。

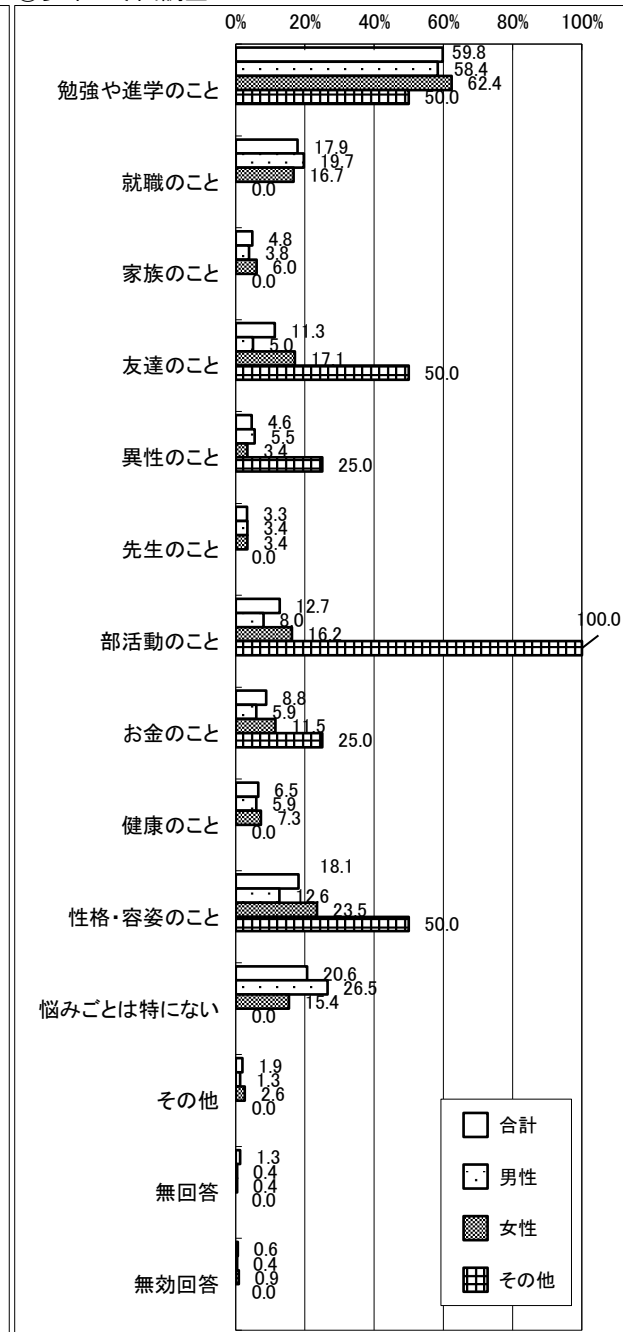
男女別にみると、「友達のこと」と回答したのは男性保護者(43.1%)、女性保護者(56.4%)で、女性の方が13.3ポイント高い。「本人がやりたいこと」については男性保護者(35.3%)は、女性保護者(23.7%)より11.6ポイント高い。

少年に対して、悩みの内容に関して行った調査では「勉強や進学のこと」(59.8%)の割合が最も高く、次いで「悩みごとは特にない」(20.6%)、「性格・容姿のこと」(18.1%)と続く。

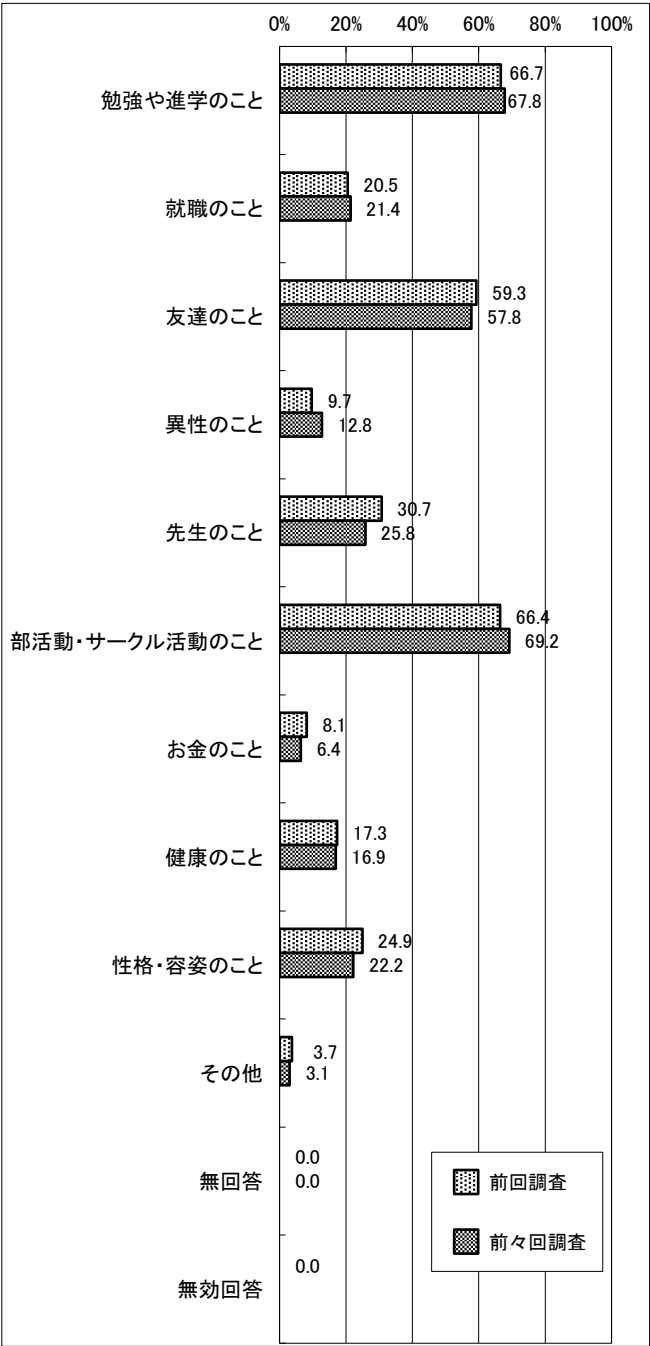
①今回調査



②少年の今回調査



③前回調査



「その他」の内訳

吃音があること	1
障がいのこと	1
趣味・スキー	1
将来のこと	1
ワンクリック詐欺について	1
学校以外のスポーツ団体に所属。スポーツについて	1
スマホ	1
悩みと聞くと重いイメージがありますが、普段の会話で「～なんだよね」「どう思う」などが普通にあり、小さい程度の事なら上記のほとんどが該当すると思います。	1
生理のこと	1
全部相談されます	1
1から11まで全て。	1
合計	11

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

4 子どもの家庭生活

問10 お子さんが帰宅する時間は何時ごろですか。また、何時ごろ寝ますか。次の中から帰宅する時間、寝る時間をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

【帰宅する時間】

(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

【寝る時間】

(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

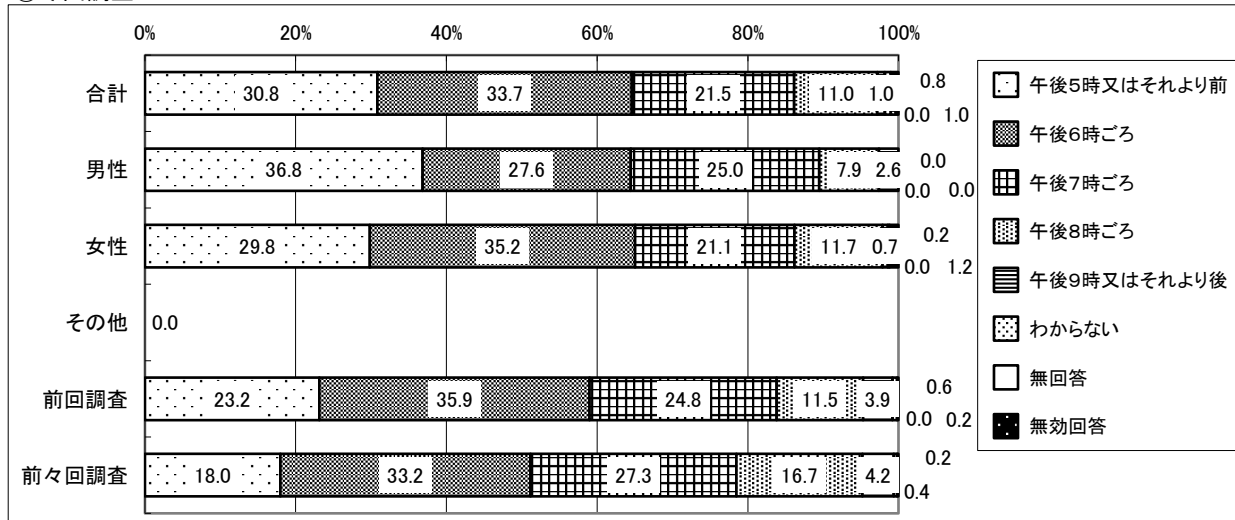
(1) 帰宅時間

子どもの帰宅時間として保護者が把握している時間で最も割合が高いのは「午後6時ごろ」(33.7%)、次いで「午後5時又はそれより前」(30.8%)が続く。

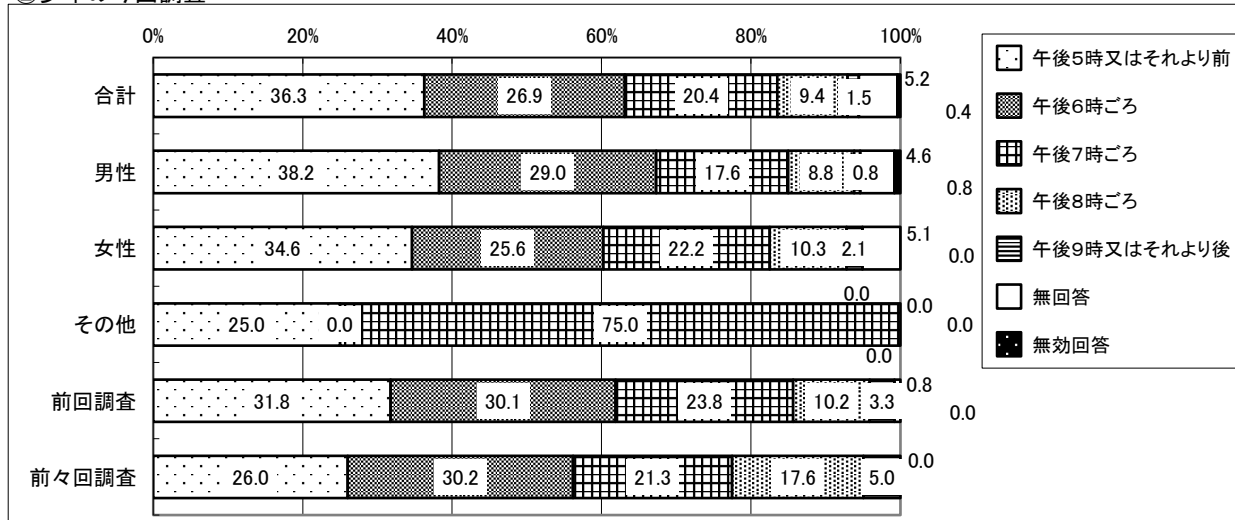
「午後5時又はそれより前」(30.8%)は前回調査(23.2%)より7.6ポイント増加し、「午後7時ごろ」(21.5%)は前回調査(24.8%)より3.3ポイント減少している。

少年に対する調査では「午後5時又はそれより前」(36.3%)が最も高く、次いで「午後6時ごろ」(26.9%)と続いており、保護者が把握している時間と差がある。

①今回調査



②少年の今回調査



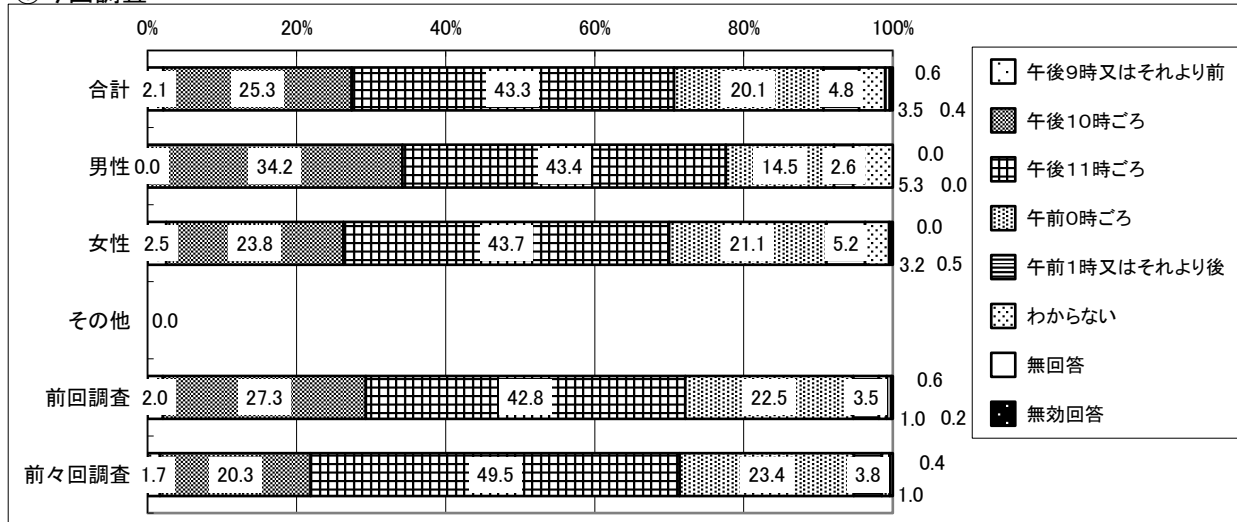
（２）就寝時間

子どもの就寝時間として保護者が把握しているのは「午後１１時ごろ」（４３．３％）の割合が最も高く、次いで「午後１０時ごろ」（２５．３％）、「午前０時ごろ」（２０．１％）と続く。

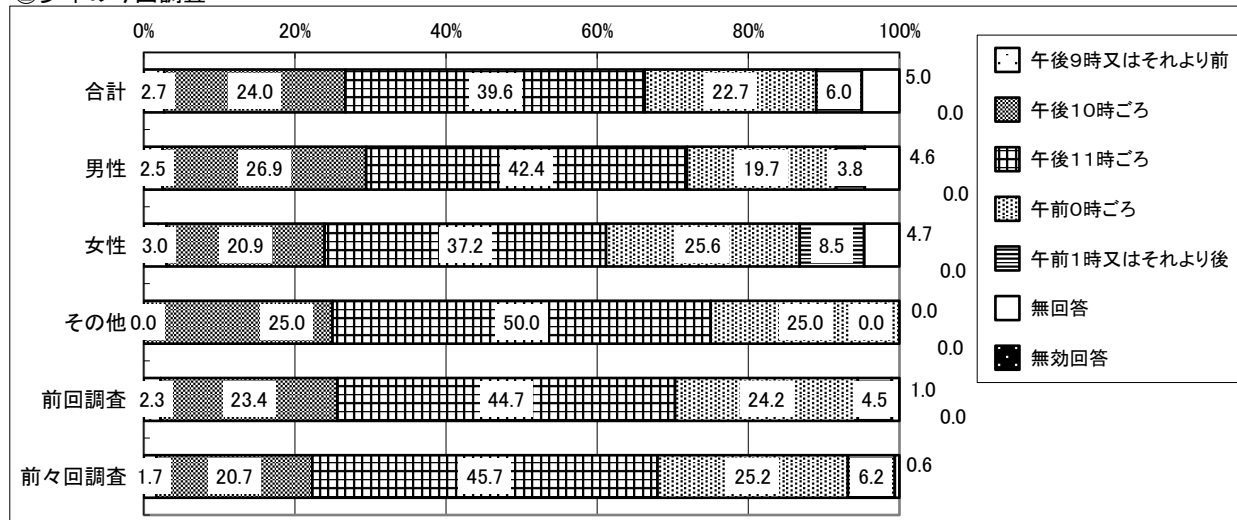
この傾向は、前回調査と同様である。

少年に対する調査では「午後１１時ごろ」（３９．６％）、「午後１０時ごろ」（２４．０％）、「午前０時ごろ」（２２．７％）の順であり、保護者が把握している時間と同様である。

①今回調査



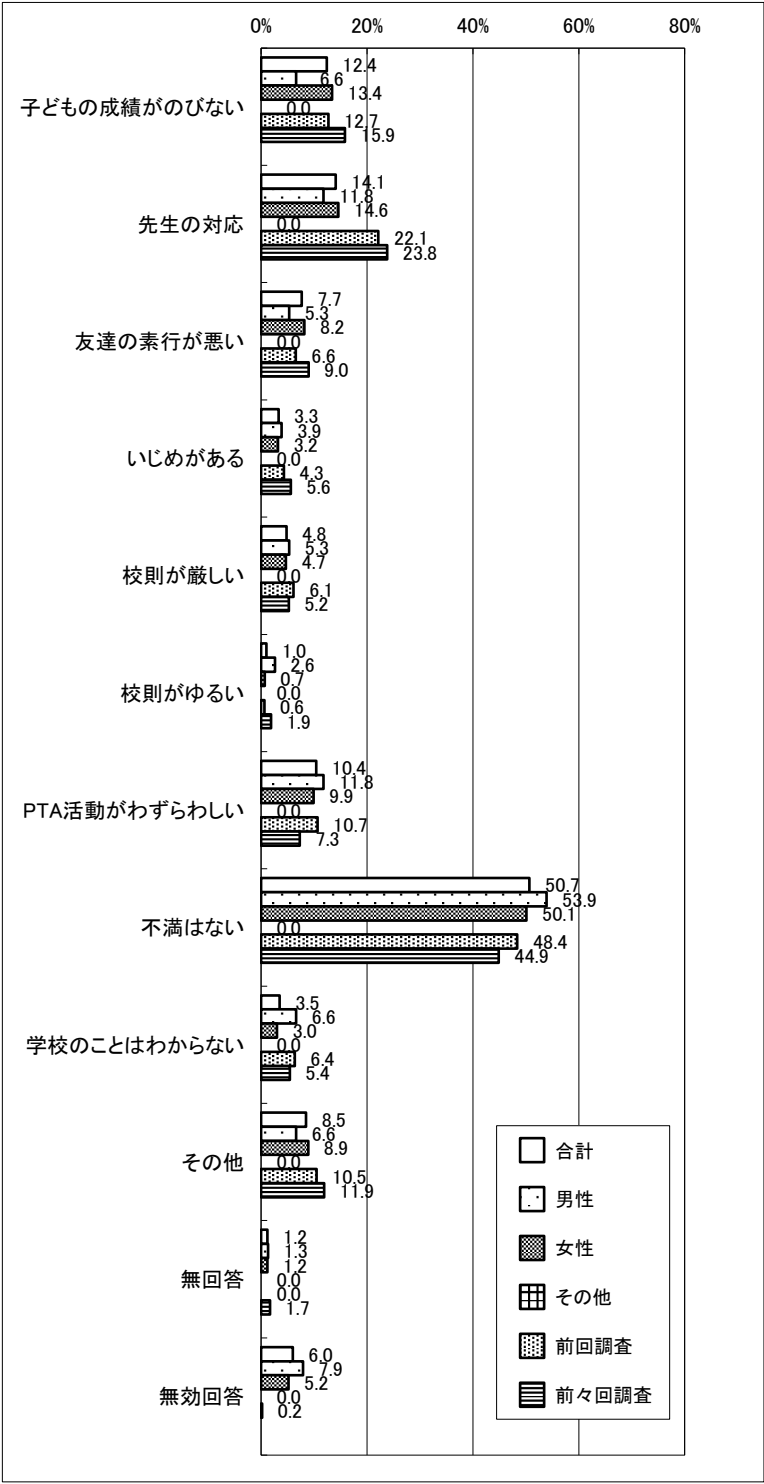
②少年の今回調査



5 子どもの学校生活

問11 あなたが学校に対して不満を感じることはなんですか。
 次の中からあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
 (N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

学校に対して「不満はない」と回答したものは50.7%であり、最も割合が高い。前回調査（48.4%）と比較して2.3ポイント増加している。
 不満として最も割合が高いのは「先生の対応」（14.1%）であり、「子どもの成績がのびない」（12.4%）、「PTA活動がわずらわしい」（10.4%）と続く。「先生の対応」（14.1%）は前回調査（22.1%）より8.0ポイント減少している。
 「PTA活動がわずらわしい」（10.4%）は前回調査（10.7%）より0.3ポイント減少。また「子どもの成績がのびない」（12.4%）は前回調査（12.7%）も0.3ポイント減少した。
 男女別にみると、「不満はない」と回答した男性（53.9%）は女性（50.1%）よりも3.8ポイント高い。一方、「子どもの成績がのびない」と回答した男性（6.6%）は女性（13.4%）よりも6.8ポイント低い。



「その他」の内訳

試験の平均点が20点台ということが何度かあったが、これでいいのか。	1
どうい先生達がいるのかわからない	1
弁当の日が多い	1
不登校者に対する助言が少ない。	1
トラブルがあった事やその後の対応の報告がない(自分の子の事ではない事についてですが)	1
モンスターペアレントがいたり、多様性の時代になり子どもをしきれなくなってしまうが、しきれなくなったりに指導方法を変えてほしい。真面目に取り組んでいる子の足を引っばっているのに注意出来ないのはおかしい。	1
役員の選出方法について、なかなか決まらず役員経験済みの人に負担がかかりがち	1
忘れ物や提出物の未提出をもっと厳しくしてもいいのではないか。	1
部活動に關しての学校の対応	1
予定がわかりにくい。	1
・制服やジャージが高い(私服にするか、(制服風のような)黒いスラックスにVシャツだけでも良いのでは)	
・中ではくスニーカーも指定で、何をはいても良いのではないのでしょうか。	1
・給食費以外も全て口座引落にしてほしい。	
授業中の生徒たちの態度がなかなか改善されないこと(私語、勝手に発言する、係決めが決まらない)など	1
迎えに行く際に、(学校の終わり時刻がわからなかったり変更になったり)子供と時間が合わず何度もすれ違があり、帰りだけでも携帯が使えたらと思う事が多々ありました。	1
詳細はわからないが昼食をゆっくりとれていない様子。	1
学校での生徒の生活態度など	1
学校での様子をもっと多くプリントなどで知らせてほしい	1
中学校入学後の半年間は、小学校と比較しても学校からの情報が少なく、多少戸惑うことがあった。	1
完全給食ではないこと。	
部活や学校行事が縮小され、みんなで頑張ろう！楽しもう！という意識がうすく学校生活がつまらなそう。(中学校)	1
部活の顧問にやる気がないこと。	1
女子生徒にもっと入学して欲しいと言うわりに、現女子生徒に対しての受け入れ態勢が整っていない。	1
その事を伝えても、担任からは「上には伝えました」の一言のみ。不信感しかない。	1
友達ではないですが、同級生の素行が悪く、目につきます。私の子は気にしてはいなさそうですが、影響を受けるのではないかと心配しています。	1
部活動が盛んではない。	1
先生が部活に来ない	1
教員の苦労をもっと理解したい事と、40歳の親の子供時代と今の高校生の選択肢の違いと判断基準を良く知りたい。学び方も今と昔は違っているようで、どう違うか分かりません。	1
昨年度から校則がゆるくなった。	1
先生(学校)に相談してもその場しのぎの返答しかもらえない	1
車を保護者が出さなきゃならない証承認をいつも前の日と対応が出来ない	1
部活動に対する先生の姿勢・トレーニング設備不足	1
働き方改革を考慮すると、先生への相談毎もいつどのようにしていいか悩む。	1
学校全体の成績(テスト)平均が低いこと	1
保護者より子供の声を聞いて欲しい	1
服装の決まりがめんどくさい	1
概ね不満はないが、通っている中学校に限らず、部活動で思うぐらい体を動かすことができない。	1
外部への移行期間中といっても外部での体制が取れていない今の中学生が犠牲になっているかもしれない。	1
宿題がないこと	1
クラブ活動での対応。地域移行へと進めるにあたり、クラブ活動、スポーツでの新進育成が衰退していく事が間違いなく起こる。先生方が、今まで通り見てくれる様でなければ、中学校からのスポーツ文化活動はダメになる	1
部活動のありかた	1
恩師である顧問の先生が異動になり、まったく違うタイプの先生が顧問となり伸びるものも伸びず部活動が終わってしまった事に後悔しかない。子供達は頑張りましたがボディタッチやタンクトップで帰る等受入難い	1
支援学級への理解不足	1
先生の人数が足りないと感じます	1
学校のことが分からない	1
合計	40

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

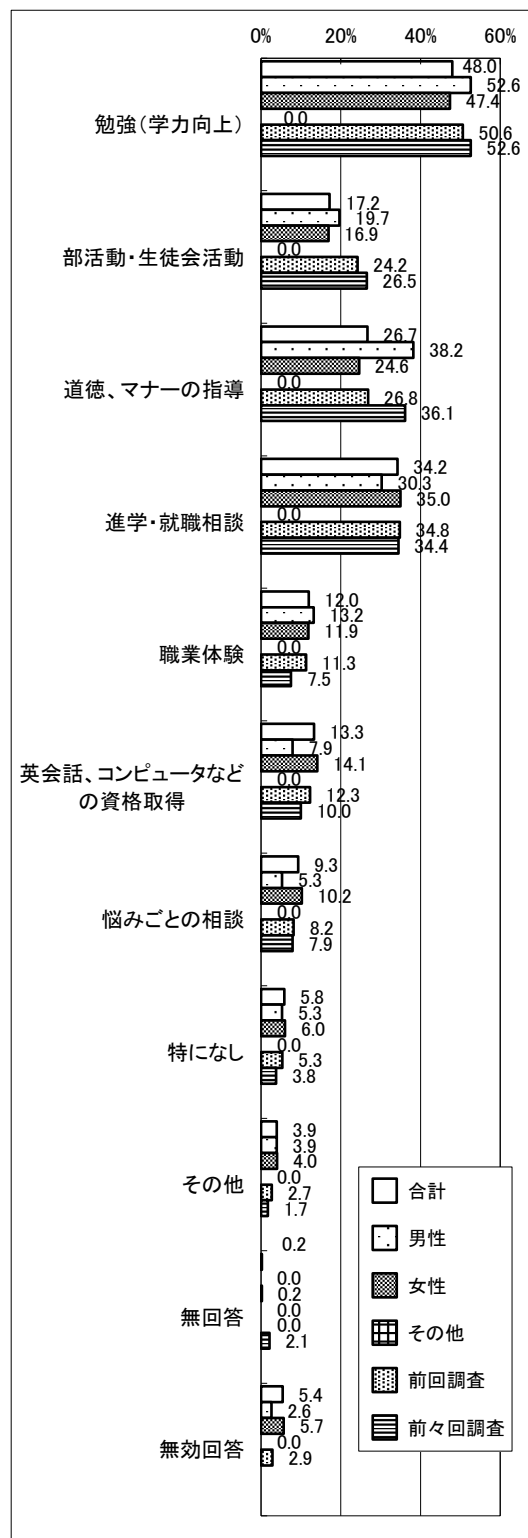
問12 あなたが学校に望むことは何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

保護者が学校に望むことは「勉強（学力向上）」（48.0％）の割合が最も高く、次いで「進学・就職相談」（34.2％）、「道徳、マナーの指導」（26.7％）と続く。

この傾向は、前回調査と同様である。

「部活動・生徒会活動」（17.2％）は前回調査（24.2％）より7.0ポイント減少している。

男女別でみると、「道徳、マナーの指導」と回答したものは男性（38.2％）、女性（24.6％）で13.6ポイント男性の方が高い。一方で「英会話、コンピュータなどの資格取得」と回答したものは男性（7.9％）、女性（14.1％）で6.2ポイント女性の方が高い。



「その他」の内訳

期待してない。無駄	1
1～7すべて	1
何がしたいのか、自分がのめりこめるものがまだみつからない	1
もっともっと、刺激や感動の体験をさせてほしい。少しぐらいでも可。	1
授業環境、（暑さ対策）	1
教師の平等かつ配慮ある言動	1
人間関係について。	1
職業選択の学び	1
学校行事を生徒と一緒に盛り上げてほしい。	1
先生が忙しいことは理解しているが、部活を地域にお願いすることで、責任が中途はんぱになったり、行事の縮小で、生徒どうしや先生と生徒がうわべの付き合いのように感じる。	1
誰でも入学出来るではなくもう少し日常生活が出来る生徒を入学させるべき。志ある生徒もいるのに、教員も少し緩すぎる。	1
教員の資質の向上（一般常識）	1
上記1つに力を入れるのは望んでおらず、その子に合った、勉強だったり、進学だったりよりそいをしてくれたらありがたいです。	1
人権教育	1
健康第一でいる事と、挑戦する事の大切さを分かってほしい。	1
先生方の対応の仕方	1
子供が楽しいと思える学校生活	1
友人関係人間関係の関わり方	1
成人後のトラブルについての相談先や一般的な対処方法の説明	1
安全な環境	1
合計	18

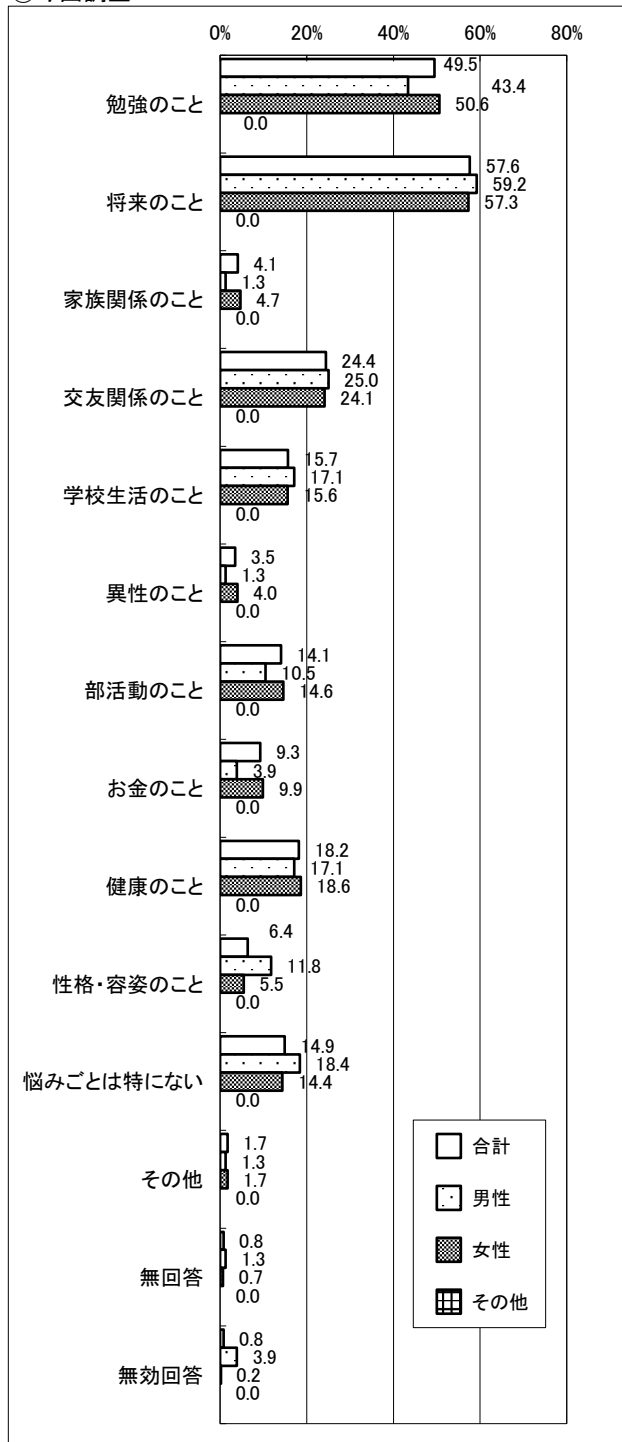
※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

6 子どもに関する悩み

問13 あなたがお子さんについて心配していることはありますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

保護者が子どもに対して抱いている悩みごとは「将来のこと」(57.6%)の割合が最も高く、次いで「勉強のこと」(49.5%)、「交友関係のこと」(24.4%)と続く。
「勉強のこと」(49.5%)は前回調査「勉強や進学のこと」(62.9%)より13.4ポイント減少。一方「交友関係のこと」(24.4%)は前回調査「友達のこと」(12.5%)より11.9ポイント増加している。
男女別に見ると、「性格・容姿のこと」と回答したのは男性(11.8%)、女性(5.5%)では6.3ポイント男性の方が高い。一方「勉強のこと」と回答したのは男性(43.4%)、女性(50.6%)では7.2ポイント女性の方が高い。

①今回調査

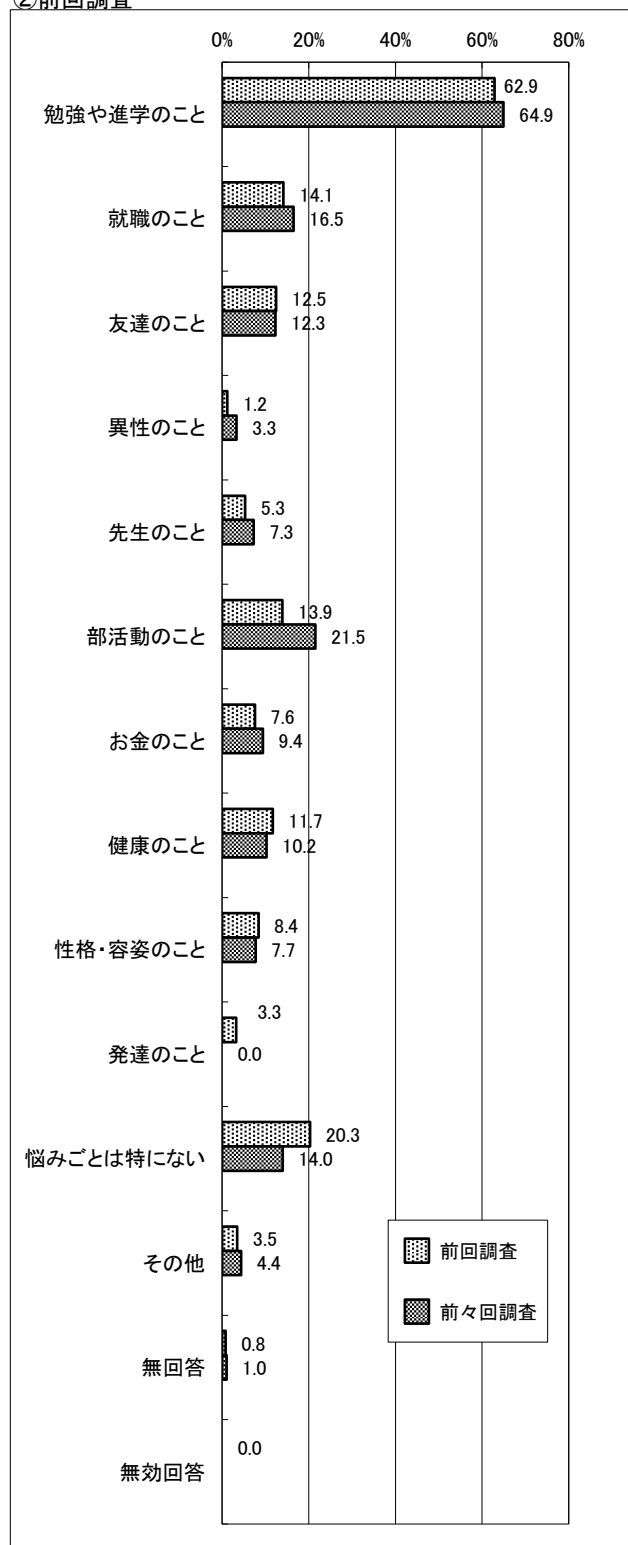


「その他」の内訳

答えてどうなるのかわからない	1
障がいのこと	1
休んでいる間の勉強の遅れ。疲れたり、ストレスを感じると胃腸に出るタイプなので、よく腹痛で、遅刻、早退、欠席があったので、その間の授業が受けられず、本人だけで復習するには限界でいた。	1
親戚関係のこと	1
ケータイの見すぎ	1
親が直接見たわけではないが子供からスポハラがあると話して聞くので心配ではある。	1
社会に出た時の適応力	1
責任ある役を任せられ、それに応えようとがんばるあまり、自分から弱音を吐けなくて苦労している所	1
合計	8

※「その他」の内訳は、誤字を含め
可能な限り原本の表記に従った。

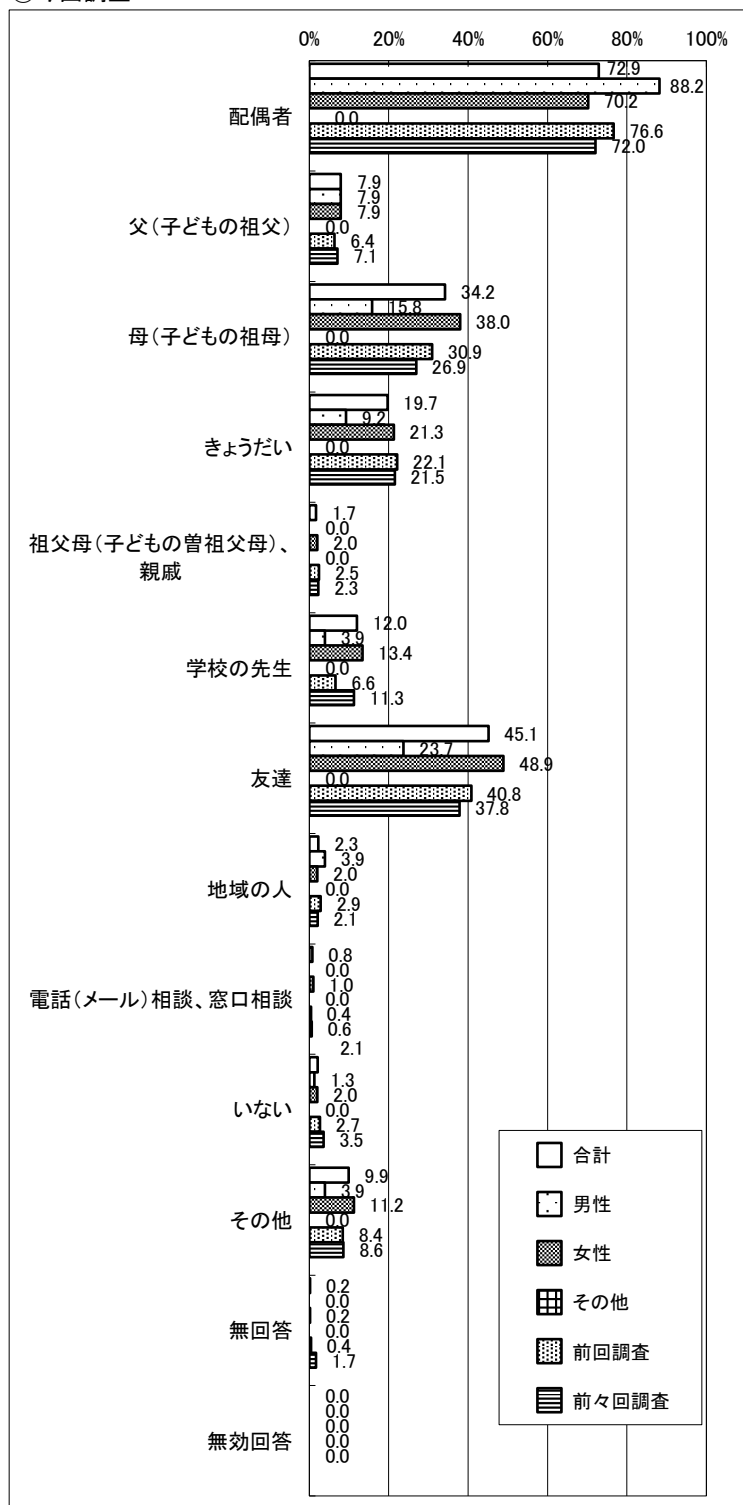
②前回調査



問14 お子さんについての悩みごとや心配ごとがあるとき、あなたの相談相手は誰ですか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

子どもについての悩みごとや心配ごとを相談する相手は「配偶者」（72.9%）の割合が最も高く、次いで「友達」（45.1%）、「母（子どもの祖母）」（34.2%）と続く。
この傾向は前回調査と同様である。
「配偶者」（72.9%）は前回調査（76.6%）より3.7ポイント減少している。一方「友達」（45.1%）は前回調査（40.8%）より4.3ポイント増加している。
男女別にみると、「配偶者」と回答した男性（88.2%）は、女性（70.2%）より18.0ポイントと高い。一方で、「友達」と回答した男性（23.7%）は、女性（48.9%）より25.2ポイント低い。

①今回調査

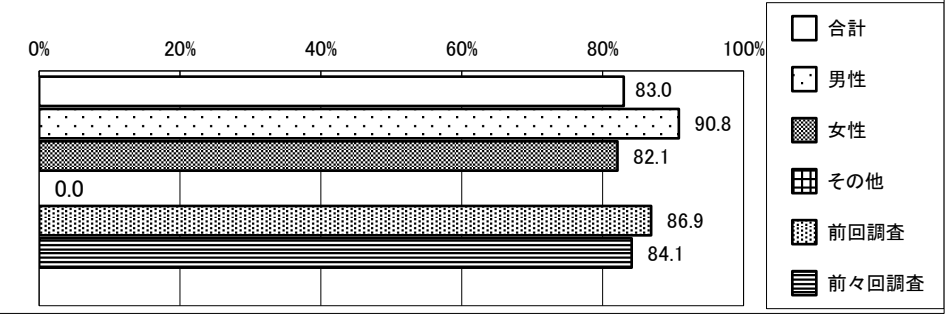


「その他」の内訳

長女、次女	1
職場の同僚	9
職場の人	4
1～9以外の人	1
息子達(本人の兄達)	1
子供の姉	1
ママ友	1
子のきょうだい	2
子ども(長男)	1
会社の先輩	1
子ども	2
職場の子育てを経験のある人	1
ほとんど相談しない	1
特に大きな悩みや心配はないがある際 は本人(子)と話す	1
病院の先生	1
長女と次女(姉)	1
成人した子。中学時代の信頼している 先生。	1
会社の人	1
発達支援センター	1
同級生の親御さん等。	1
同僚	1
長女	2
同年齢の子を持つ同性の友達	1
調査対象の子の姉たち	1
高校生の息子と小学生の息子にも 状況を伝え、一緒に考えてもらっている。	1
実母	1
実家の母	1
かかりつけ医	1
会社	1
配偶者の母	1
職場の先輩	2
長男、長女	1
長男(社会人なので)と職場の人	1
合計	48

※「その他」の内訳は、誤字を含め
可能な限り原本の表記に従った。

②今回調査 配偶者と暮らしている割合

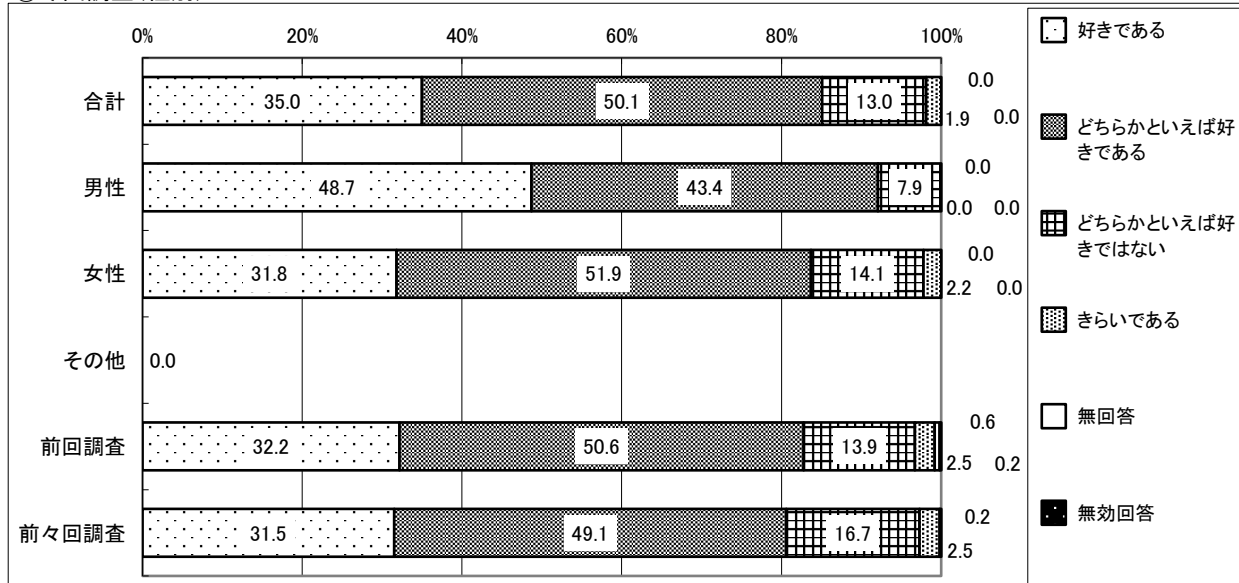


7 地域社会

問15 あなたは、今住んでいる地域が好きですか。次の中から1つ選んで○をしてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

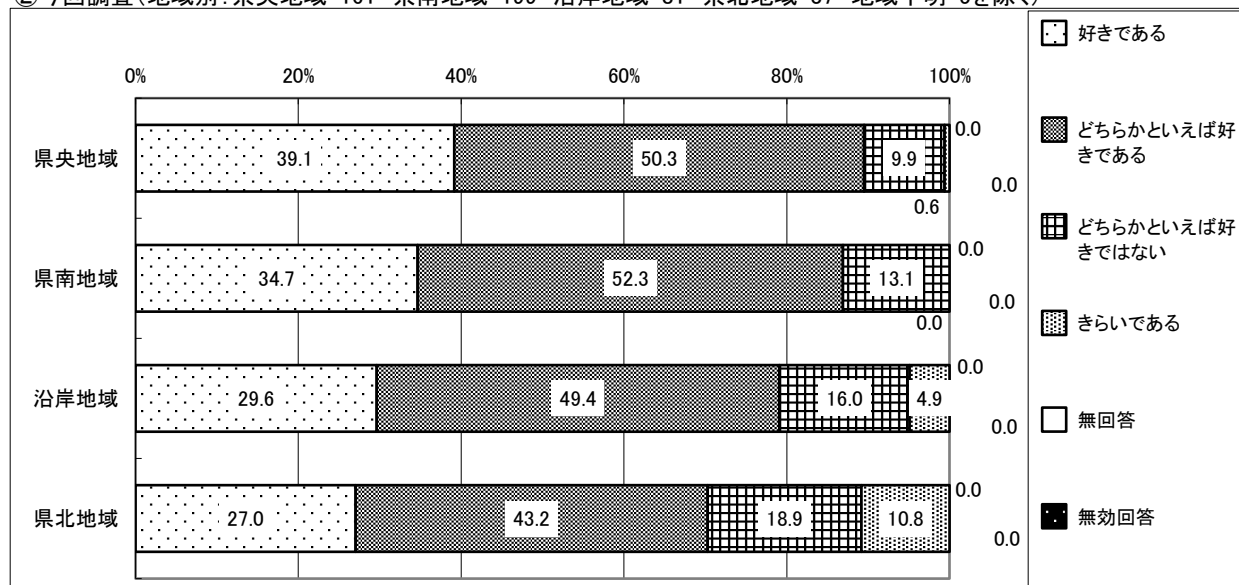
今住んでいる地域を「好きである」または「どちらかといえば好きである」と回答したものは85.1%であり、前回調査（82.8%）より2.3ポイント増加している。
男女別にみると、「好きである」または「どちらかといえば好きである」と回答した男性は92.1%、女性は83.7%と、男性の方が8.4ポイント高い。

①今回調査(性別)

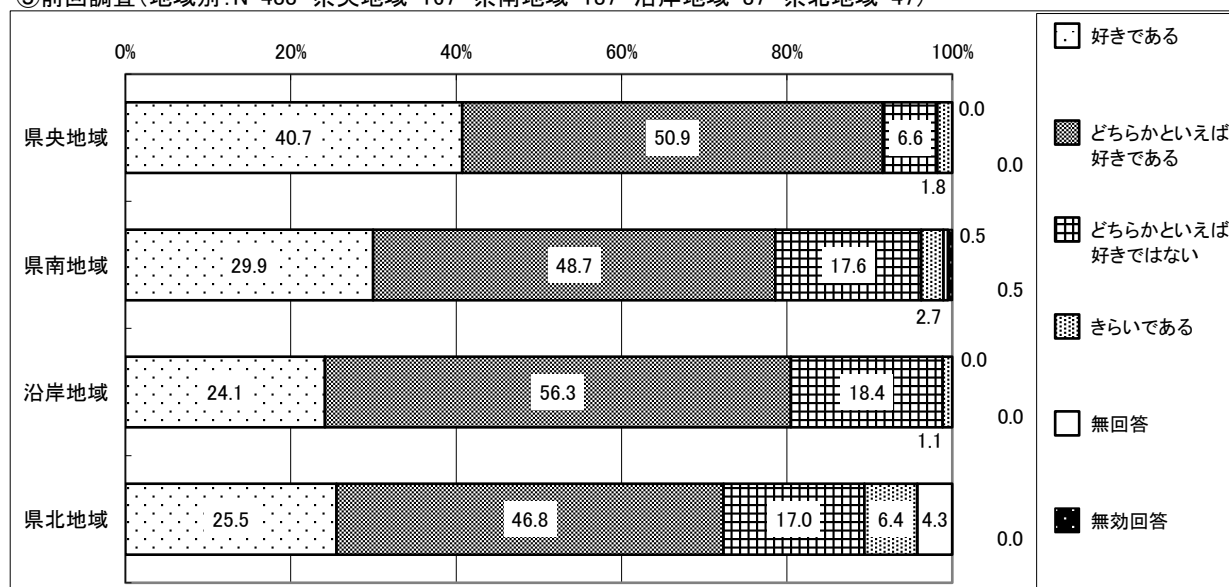


地域別にみると、「好きである」または「どちらかといえば好きである」と回答したものは、前回調査から県南地域（87.0%）は8.4ポイント増加している。
一方で、県央地域（89.4%）は2.2ポイント、沿岸地域（79.0%）は1.4ポイント、県北地域（70.2%）は2.1ポイント減少している。

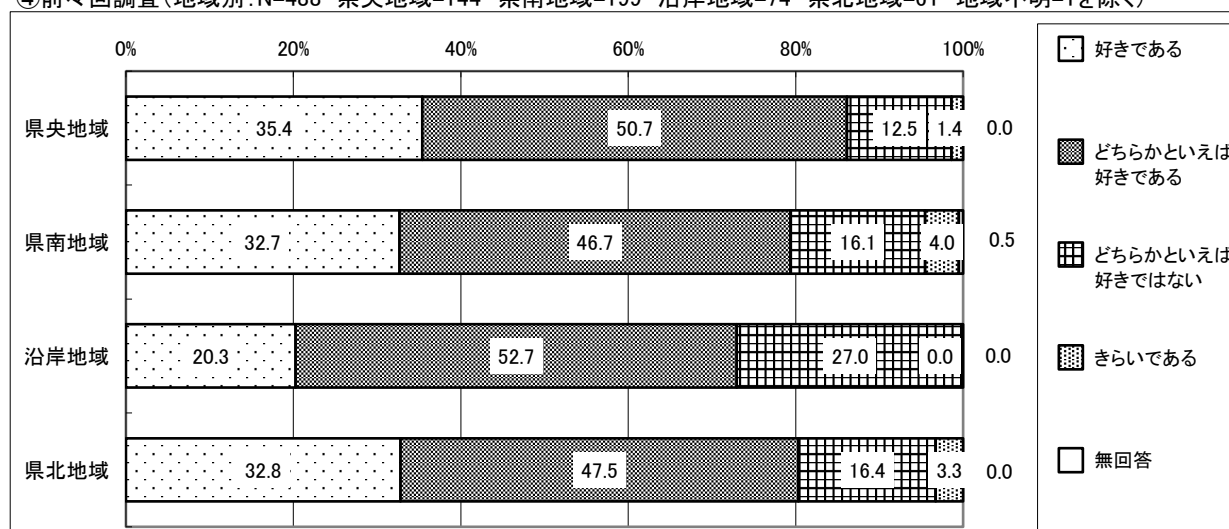
②今回調査(地域別:県央地域=161 県南地域=199 沿岸地域=81 県北地域=37 地域不明=5を除く)



③前回調査(地域別:N=488 県央地域=167 県南地域=187 沿岸地域=87 県北地域=47)

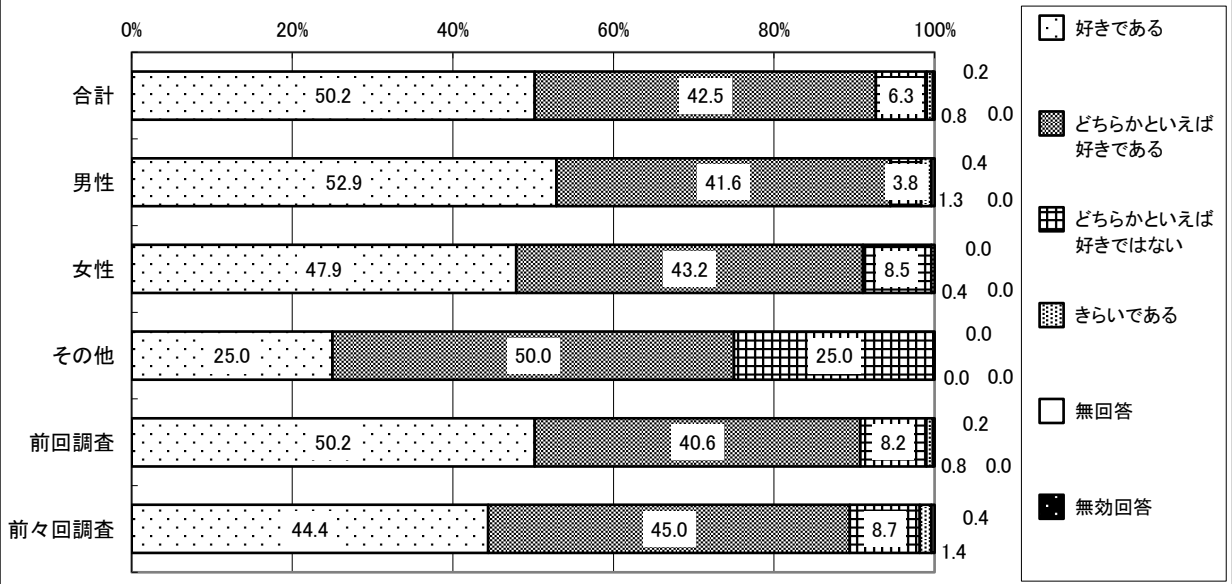


④前々回調査(地域別:N=488 県央地域=144 県南地域=199 沿岸地域=74 県北地域=61 地域不明=1を除く)



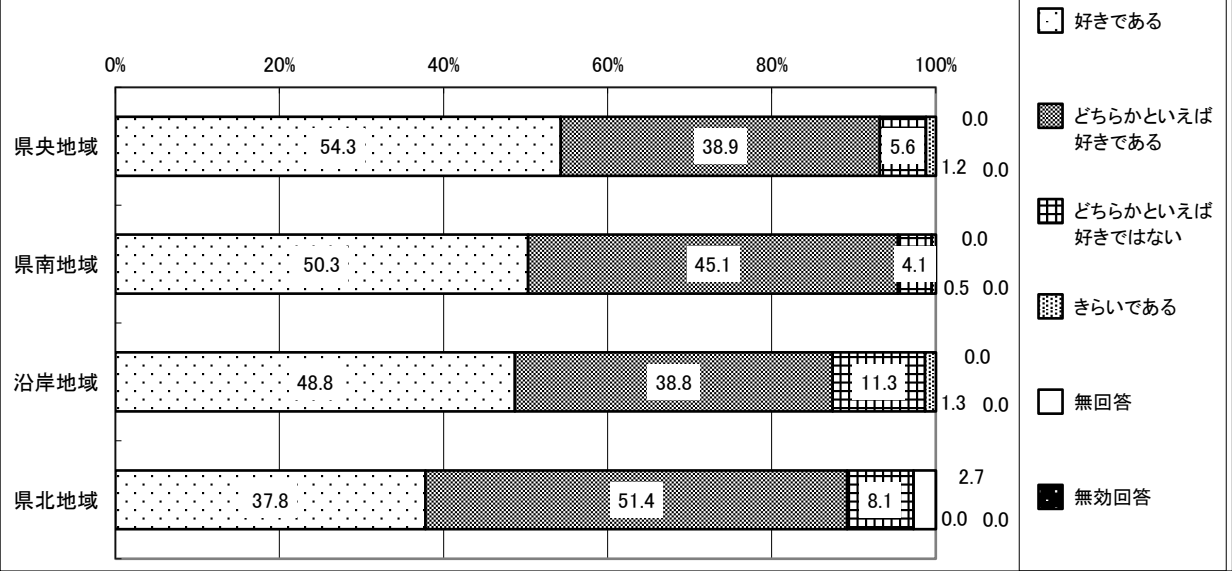
少年に対する調査と比較すると「好きである」または「どちらかといえば好きである」と回答した少年は92.7%であり、保護者（85.1%）よりも7.6ポイント高い。
この傾向は前回調査と同様である。

⑤少年の今回調査(性別:N=480 男性=238 女性=234 その他=4)



少年に対する調査を地域別にみると「好きである」または「どちらかといえば好きである」と回答した少年は、「県央地域」93.2%、「県南地域」95.4%、「沿岸地域」87.6%、「県北地域」89.2%である。
全ての地域で保護者よりも少年の方が地域について「好きである」と回答している。
なかでも「県北地域」（89.2%）は保護者（70.2%）より19.0ポイントと大幅に高く、「沿岸地域」（87.6%）も保護者（79.0%）より8.6ポイント高くなっている。

⑤少年の今回調査(地域別:N=480 県央地域=162 県南地域=195 沿岸地域=80 県北地域=37)



問16 あなたは、最近1年間で、地域の活動に参加したことがありますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

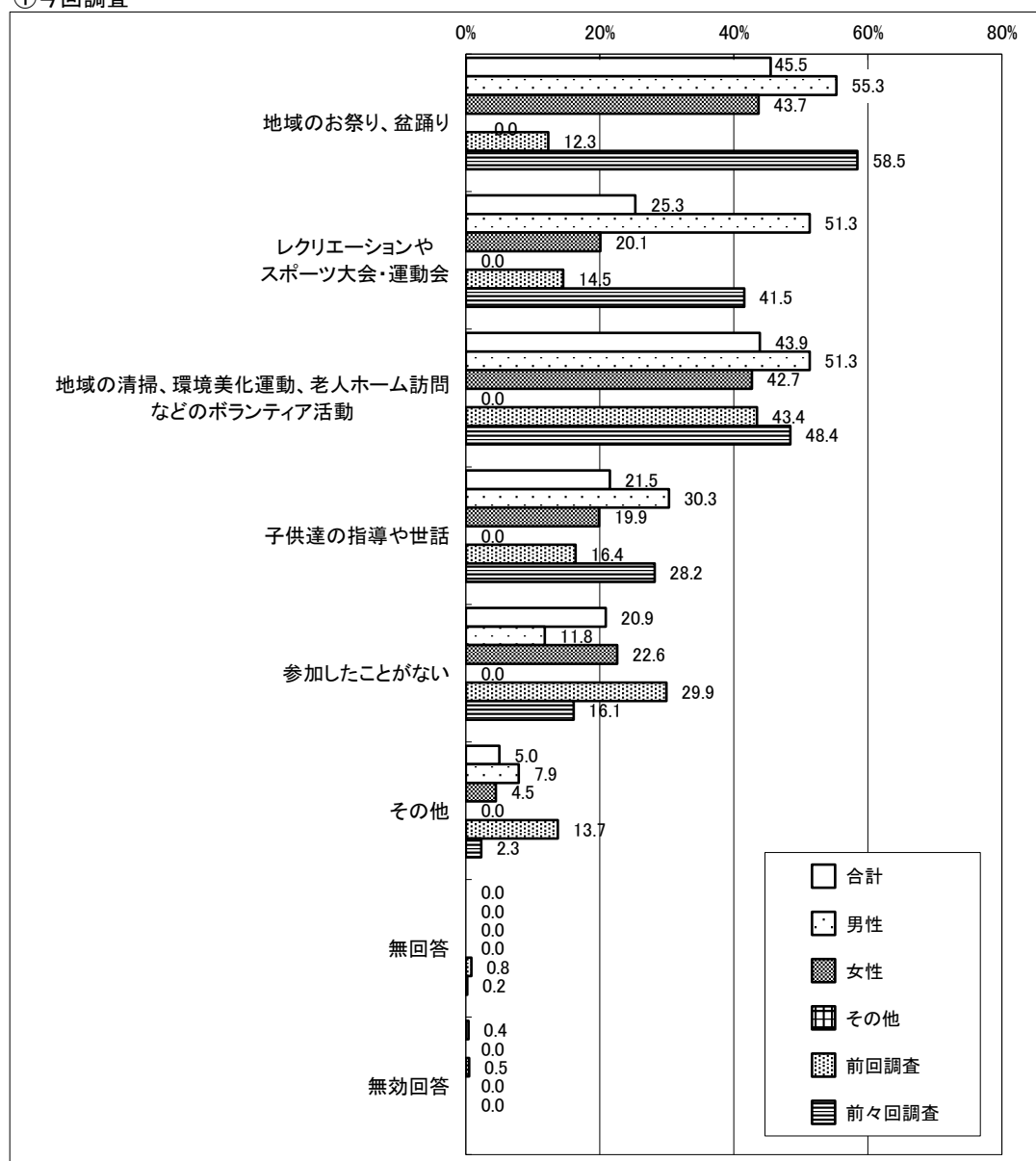
「地域のお祭り、盆踊り」(45.5%)の割合が最も高く、次いで「地域の清掃、環境美化運動、老人ホーム訪問などのボランティア活動」(43.9%)、「レクリエーションやスポーツ大会・運動会」(25.3%)と続く。

本項は前回調査から大きく変動している。

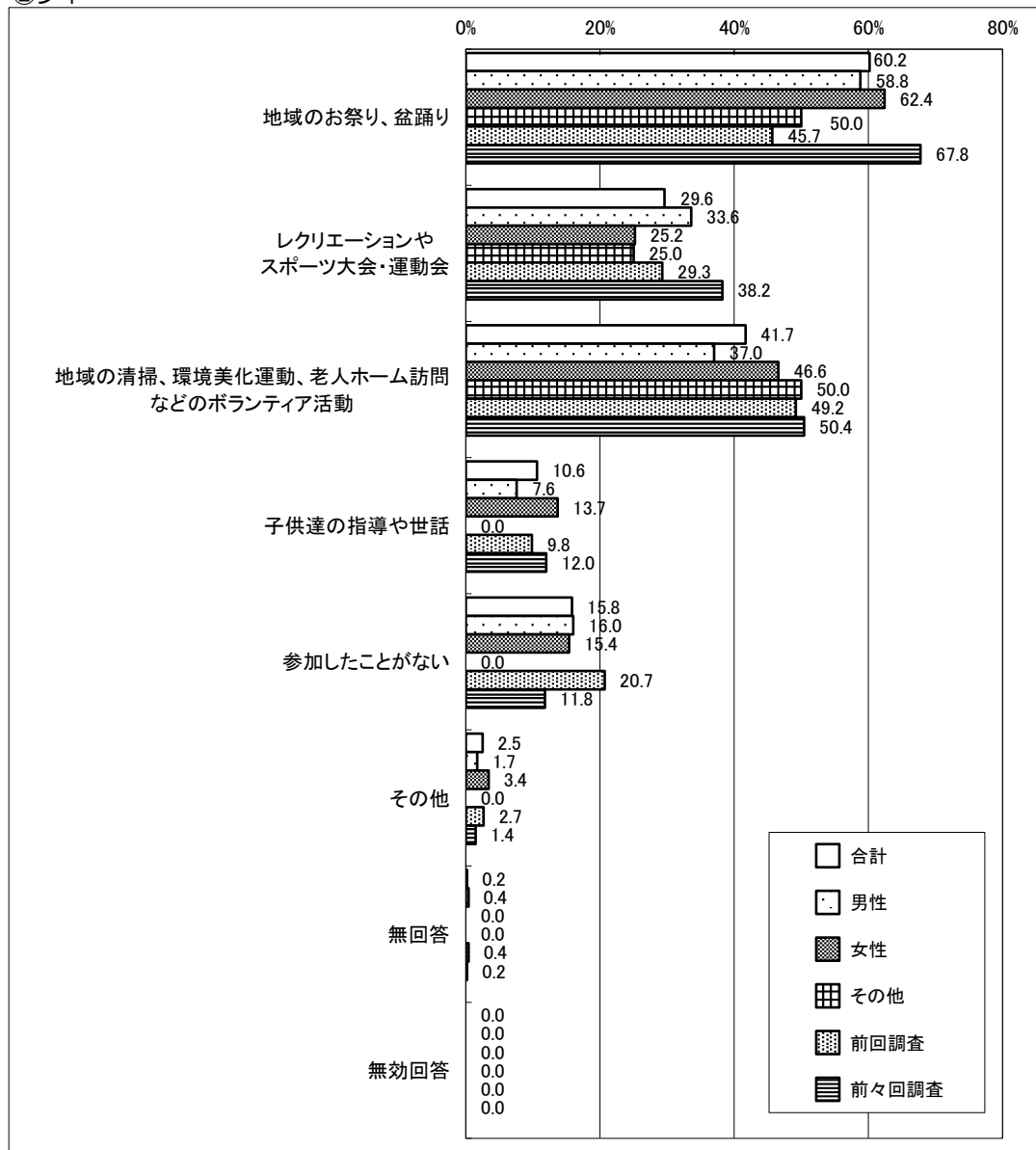
「地域のお祭り、盆踊り」(45.5%)は前回調査(12.3%)より33.2ポイントと大きく増加している。同じく「レクリエーションやスポーツ大会・運動会」(25.3%)も、前回調査(14.5%)より10.8ポイント増加している。

男女別にみると、「地域のお祭り、盆踊り」と回答したものは男性(55.3%)、女性(43.7%)では、男性の方が11.6ポイント高い。一方で、「参加したことがない」は男性(11.8%)と女性(22.6%)と、女性の方が10.8ポイント高い。

①今回調査



②少年



「その他」の内訳

自治会役員	2
PTA活動として、交通指導	1
PTA役員。町のスポーツ推進委員会等	1
教振	1
市の行事	1
消防	1
防災訓練	1
PTA活動	1
市の外部諮問機関	1
地域の活動がない	1
コロナ禍になってから減った。子供が成長して参加しなくなった	1
仕事や子供の部活などで参加できない	1
交通指導(路上)	1
資源回収	1
日、祝仕事のため、3兄弟(子)を参加させたことがある。	1
巡回活動	1
部活のおっかけで旦那まかせで、なかなか参加していません。	1
消防団活動	1
小中学校の読み聞かせ	1
小学校の子供会	1
合計	21

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

地域別にみると、県央地域（46.6%）、沿岸地域（42.0%）では「地域の清掃、環境美化運動、老人ホーム訪問などのボランティア活動」への参加割合が、県南地域（51.8%）、県北地域（40.5%）では「地域のお祭り、盆踊り」が一番高い割合となっている。

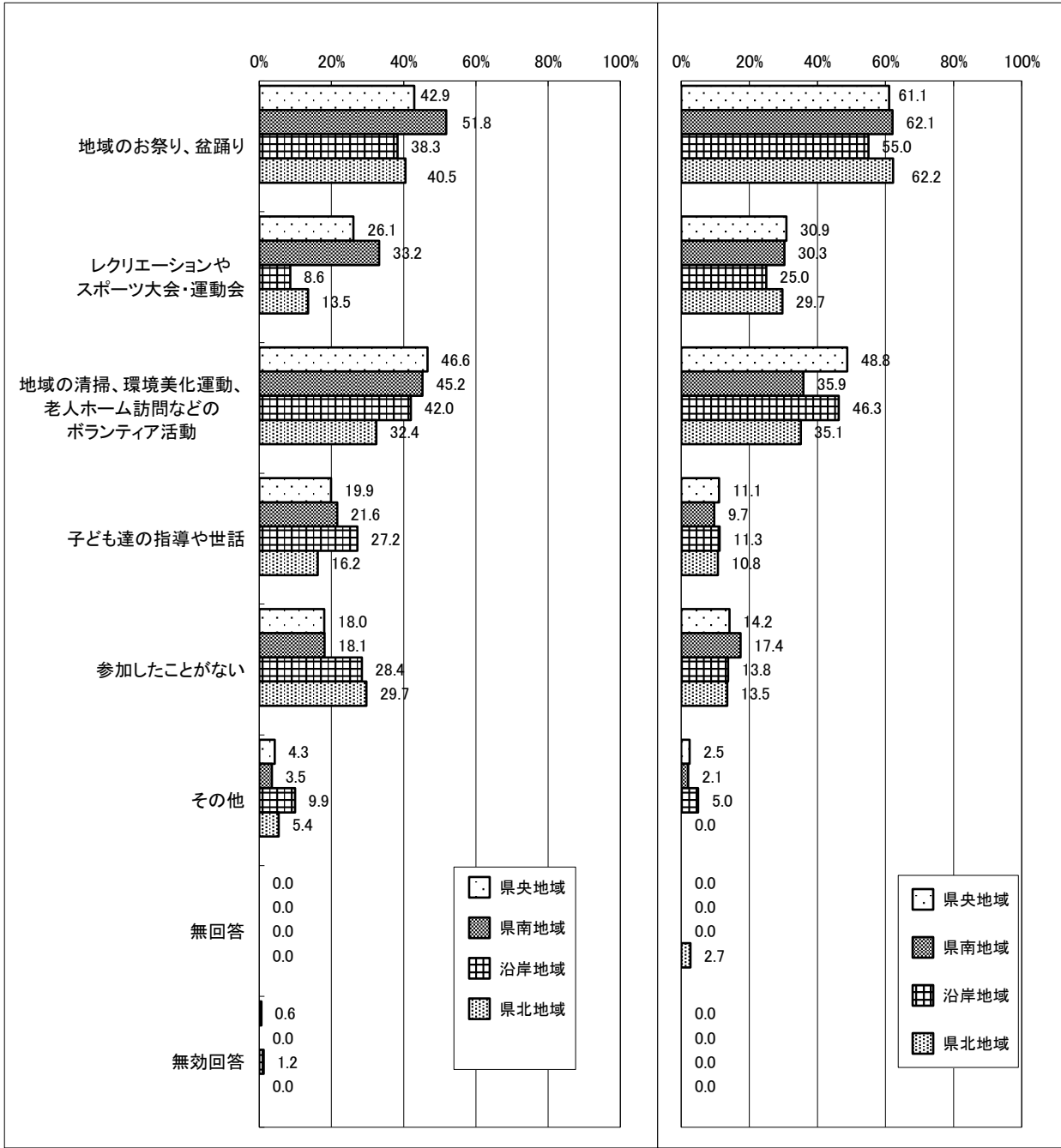
少年の調査と比較すると、最も差があらわれたのは「県北地域」の「地域のお祭り、盆踊り」であり、少年（62.2%）は、保護者（40.5%）より21.7ポイント高かった。同じく「沿岸地域」は16.7ポイント、「県南地域」は10.3ポイント、「県央地域」は18.2ポイント、少年の方が高い。

②今回調査（地域別）

(N=483 県央地域=161 県南地域=199 沿岸地域=81 県北地域=37 無回答=5)

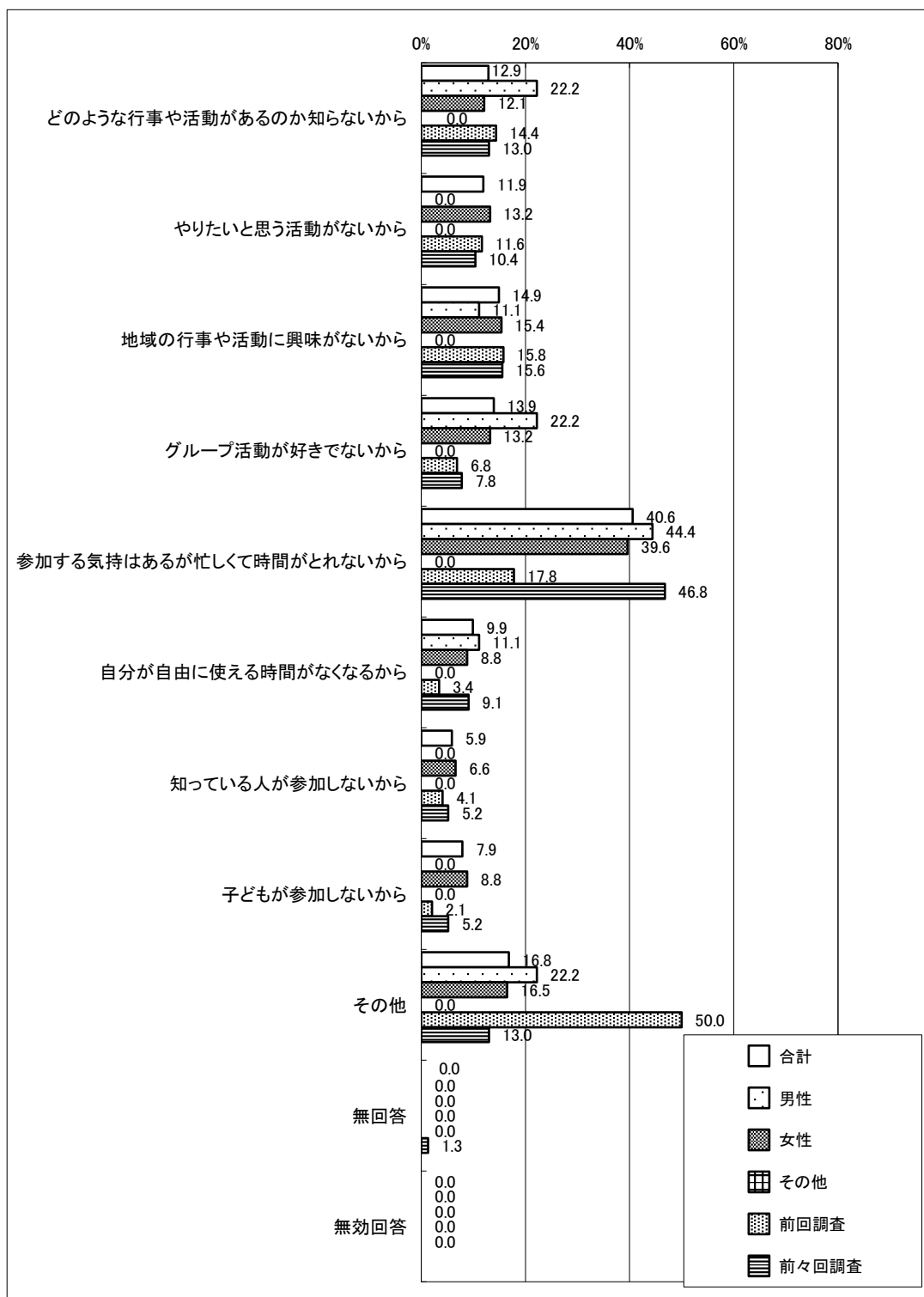
③少年の今回調査（地域別）

(N=480 県央地域:162 県南地域:195 沿岸地域:80 県北地域:37 無回答=6)



問17 問16で「5参加したことがない」に○をつけた方にうかがいます。参加しなかった理由は何ですか。
次の中からあてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。
(N=101 男性=9 女性=91 その他=0 無回答=1)

地域の活動に参加したことがない理由については、「参加する気持はあるが忙しくて時間がとれないから」(40.6%)の割合が最も多く、前回調査(17.8%)から22.8ポイント増加。次いで「その他」(16.8%)となり、前回調査(50.0%)より33.2ポイントと大きく減少している。男女別にみると、「参加する気持はあるが忙しくて時間がとれないから」と回答したのは、男性(44.4%)より女性(39.6%)の方が4.8ポイント低い。男女差が最も大きいのは「やりたいと思う活動がないから」で、男性(0.0%)より女性(13.2%)の方が13.2ポイント高い。



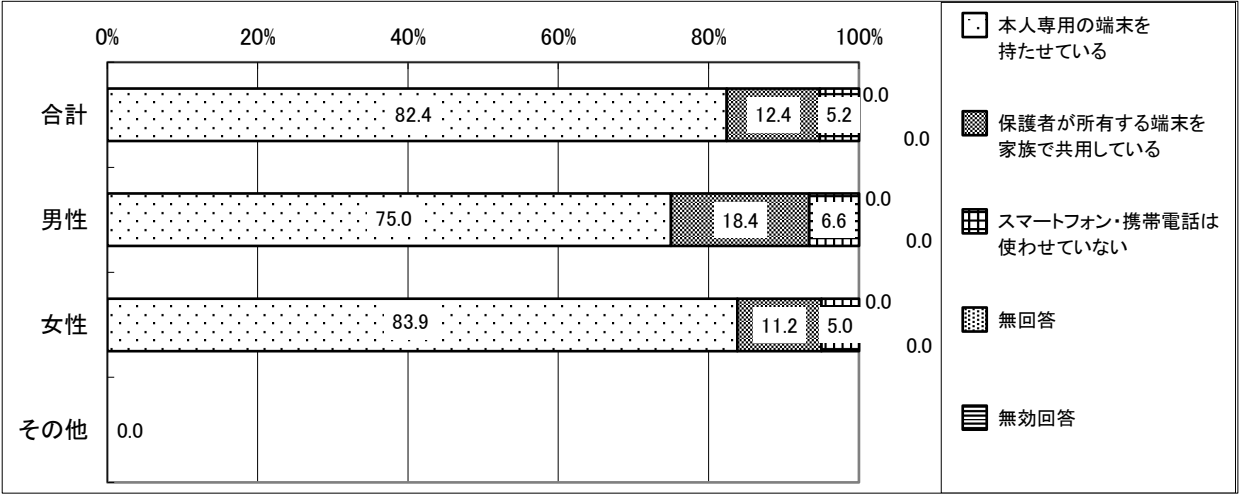
「その他」の内訳	
きらいだから	1
祖父、祖母が参加しているため	1
地域の参加は配偶者に任せてるから	1
参加出来る行事がなかった	1
兄弟（小学生）の方では参加している。	1
サービス業のため、土日祝も仕事で参加できない。	1
仕事	1
行事が中止になってしまった	1
子供の部活動の送迎等で忙しかったから。	1
前の居住地ではいろいろ参加してましたが、コロナが流行している時期に引越したため、全く参加する事がなくなりました。	1
お祭りは地域でやっていない。日中は体調によるため	1
・雨で、大会がなくなった。	1
・コロナで、行事がなくなってしまった。	1
配偶者が参加するから。	1
高齢者が仕切っている子育て世代向けの内容ではないと思う。地域活動を組織、会社と勘違いしている年配者が多い。何のためにやっているのか分からない。	1
外から来た人への対応が、人によってムラがあり、以前居心地の悪さを感じたから	1
仕事、スポ少で参加が難しい為	1
家族が参加したから	1
合計	17

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

8 子どものインターネット利用

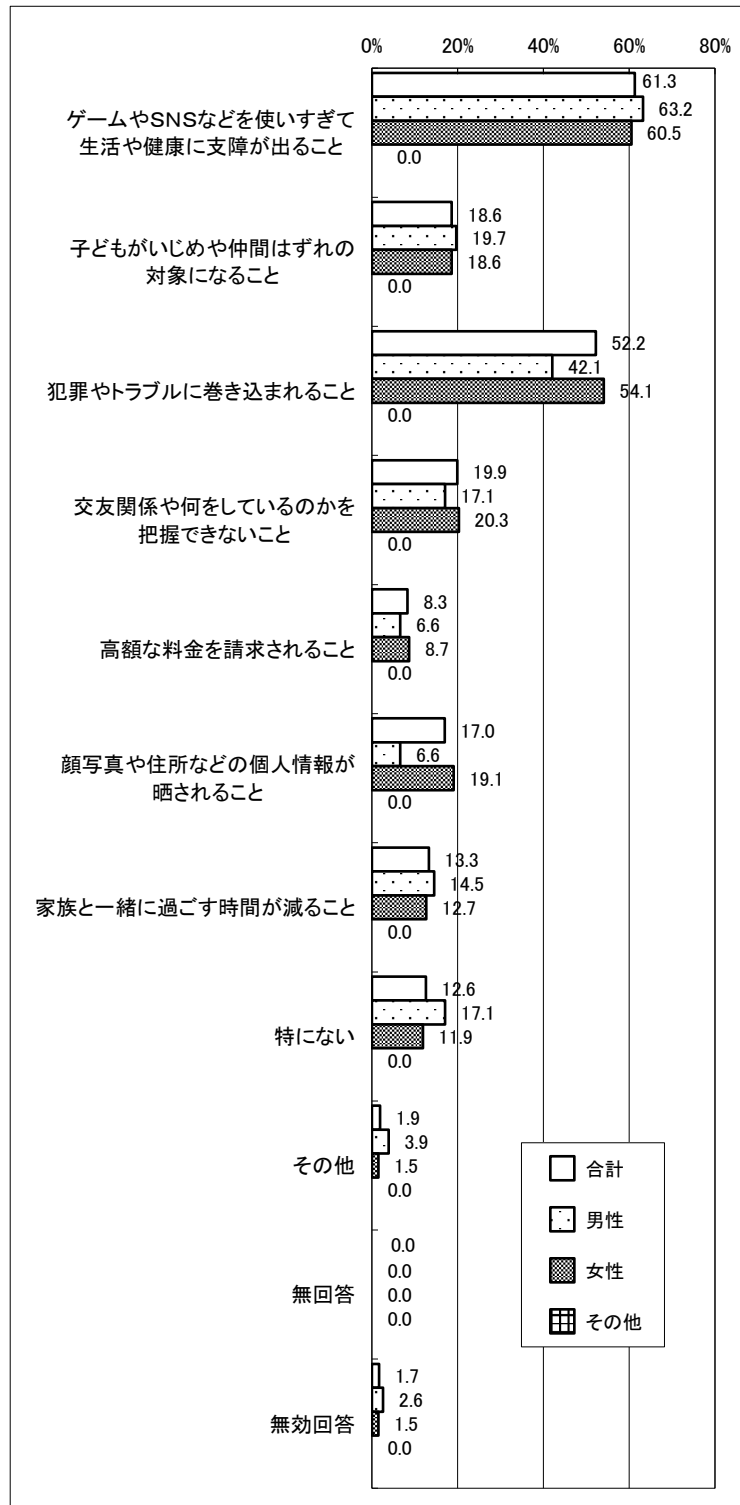
問18 お子さんのスマートフォン・携帯電話の利用環境についてうかがいます。
次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

利用環境で最も割合が高かったのは、「本人専用の端末を持たせている」で82.4%である。
男女別でみると、「本人専用の端末を持たせている」と回答した男性（75.0%）と女性（83.9%）では、女性の方が8.9ポイント高かった。



問19 あなたは、お子さんのスマートフォン・携帯電話の利用について不安に感じることはありますか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

利用について最も不安に感じることは、「ゲームやSNSなどを使いすぎて生活や健康に支障が出ること」で61.3%である。
男女別でみると、「ゲームやSNSなどを使いすぎて生活や健康に支障が出ること」と回答した男性（63.2%）と女性（60.5%）では、男性の方が2.7ポイント高かった。
男女差が最も高かったのは「顔写真や住所などの個人情報が晒されること」で、男性（6.6%）女性（19.1%）と、女性の方が12.5ポイント高かった。



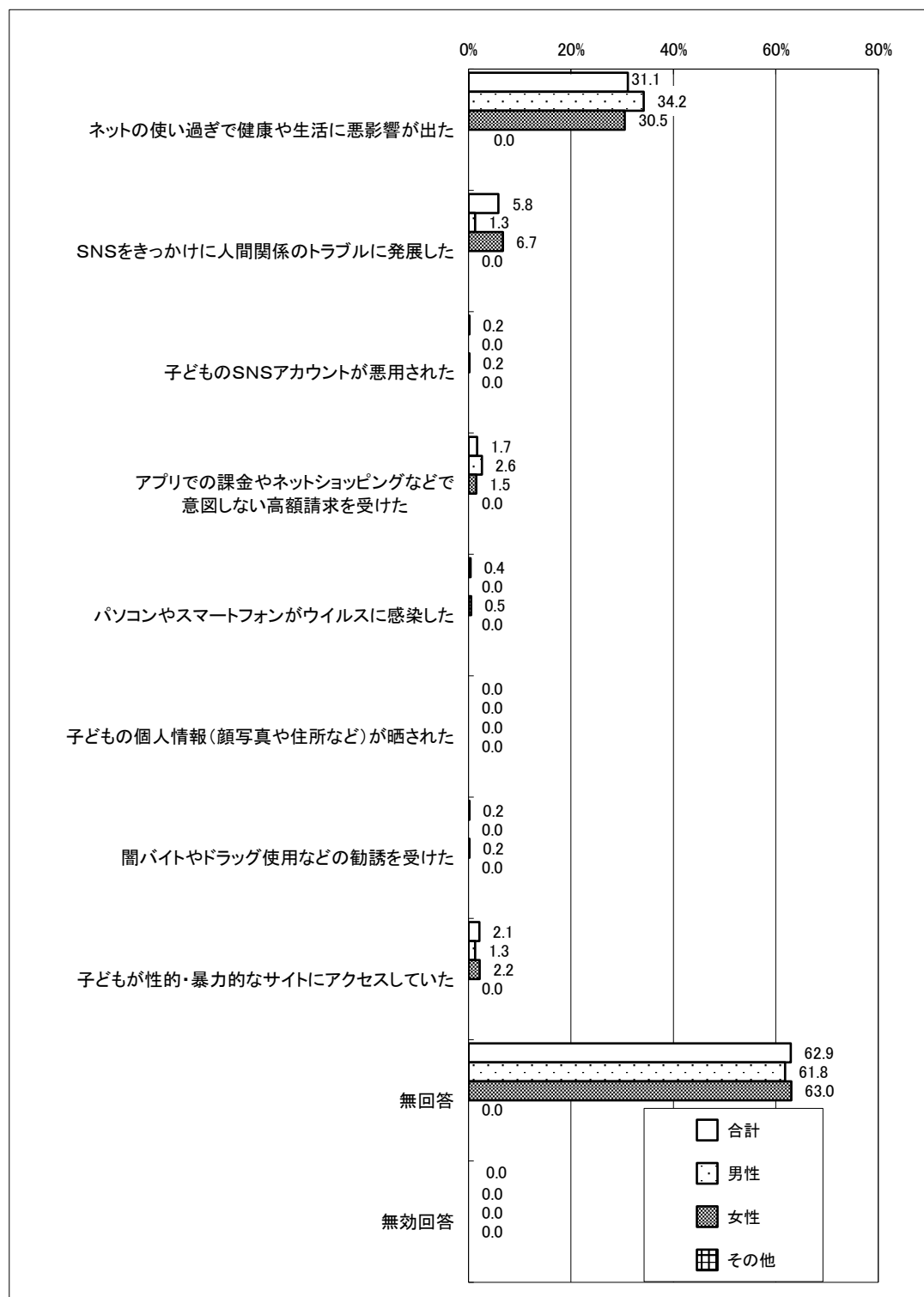
「その他」の内訳

1～7すべて	1
フィルタリング設定をかけてもなぜか動画がみれてしまうこと(時間や検索)	1
勉強時間が減ること	1
課金ゲームとか不要なものが多いながらスマホになっている事が多く、歩きながら等も多い。	1
18才まで携帯電話は持たせない	1
勉強時間が少なくなってしまうこと	1
合計	7

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問20 お子さんのインターネット利用に関して、次のような経験はありますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

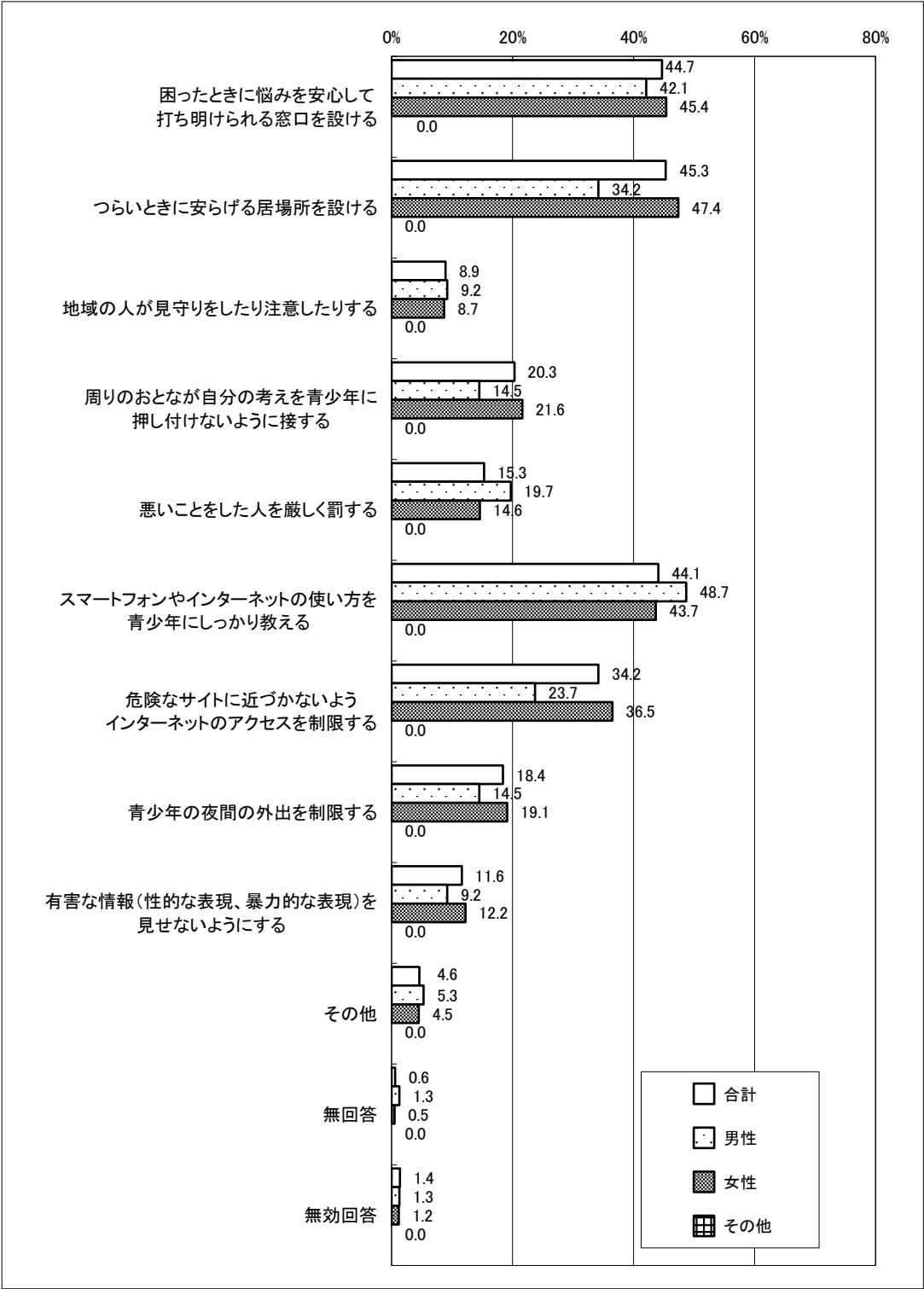
インターネット利用に関して最も経験があったのは、「ネットの使い過ぎで健康や生活に悪影響が出た」で31.1%である。
男女別でみると、「ネットの使い過ぎで健康や生活に悪影響が出た」と回答した男性（34.2%）と女性（30.5%）では、男性の方が3.7ポイント高かった。
男女差が最も高かったのは「SNSをきっかけに人間関係のトラブルに発展した」で、男性（1.3%）女性（6.7%）と、女性の方が5.4ポイント高かった。



9 子どもの非行・被害防止

問21 あなたは、中学生・高校生が非行を行ったり犯罪に巻き込まれたりするのを防ぐため、どのような取組が重要だと思いますか。
次の中から特にあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

中学生・高校生が非行を行ったり犯罪に巻き込まれたりするのを防ぐために最も重要な取り組みは、「つらいときに安らげる居場所を設ける」で45.3%である。
男女別でみると、「つらいときに安らげる居場所を設ける」と回答した男性（34.2%）と女性（47.4%）では、女性の方が13.2ポイント高かった。
次いで「危険なサイトに近づかないようインターネットのアクセスを制限する」（34.2%）でも、男性（23.7%）と女性（36.5%）で、女性の方が12.8ポイント高かった。



「その他」の内訳	
いまさら？	1
学校での教育	1
誓約書を一緒に作り署名した、互いに。	1
ふだんから声かけたり、関心があることを示すこと	1
スマートフォンの中の世界が全てではない事を教える。	1
関わる全ての周囲の大人が何が危険で、自分自身を守るために大切なこと、気をつけることは何かを 子どもたちに伝えつづけること	1
上記の事以前に幼少期からの道徳や、考え方、育てる親の考え方の問題だと思います。	1
子供達の居場所をつくる。子供達がなんでも話せる環境。心身にきいてくれる大人。	1
結局は家庭環境なので親の指導も必要	1
普段から家族と話す時間を大切にする。幼少期からの信頼関係善悪の指導	1
持たせた親も、正しいSNSの使い方、サイトの種類、内容などを分らない。知らないと言わず、勉強して欲しい。	1
親としての責任とは？知らない分らないと言うのは本来、あってはならない。	1
保護者の意識向上	1
親のしつけかたが一番重要だと思います	1
包括的性教育	1
親から良く話を聞いて、先生と親とよく連絡とれる形が子供にもプラスになると思う。	1
困った時、悩んでいる時は身近な大人に話すこと、話していいんだよと教える。	1
孤独を癒し、寄り添い、まず自分が手本となる。	1
ある程度の悪を知ること必要だと思う。とにかく溜まり場を作らないこと。平日、友達の家には行かせないこと。	1
安心安全な家庭環境を整えることと、親の関与。スポーツ等の打ち込めるものを見つけること	1
合計	19

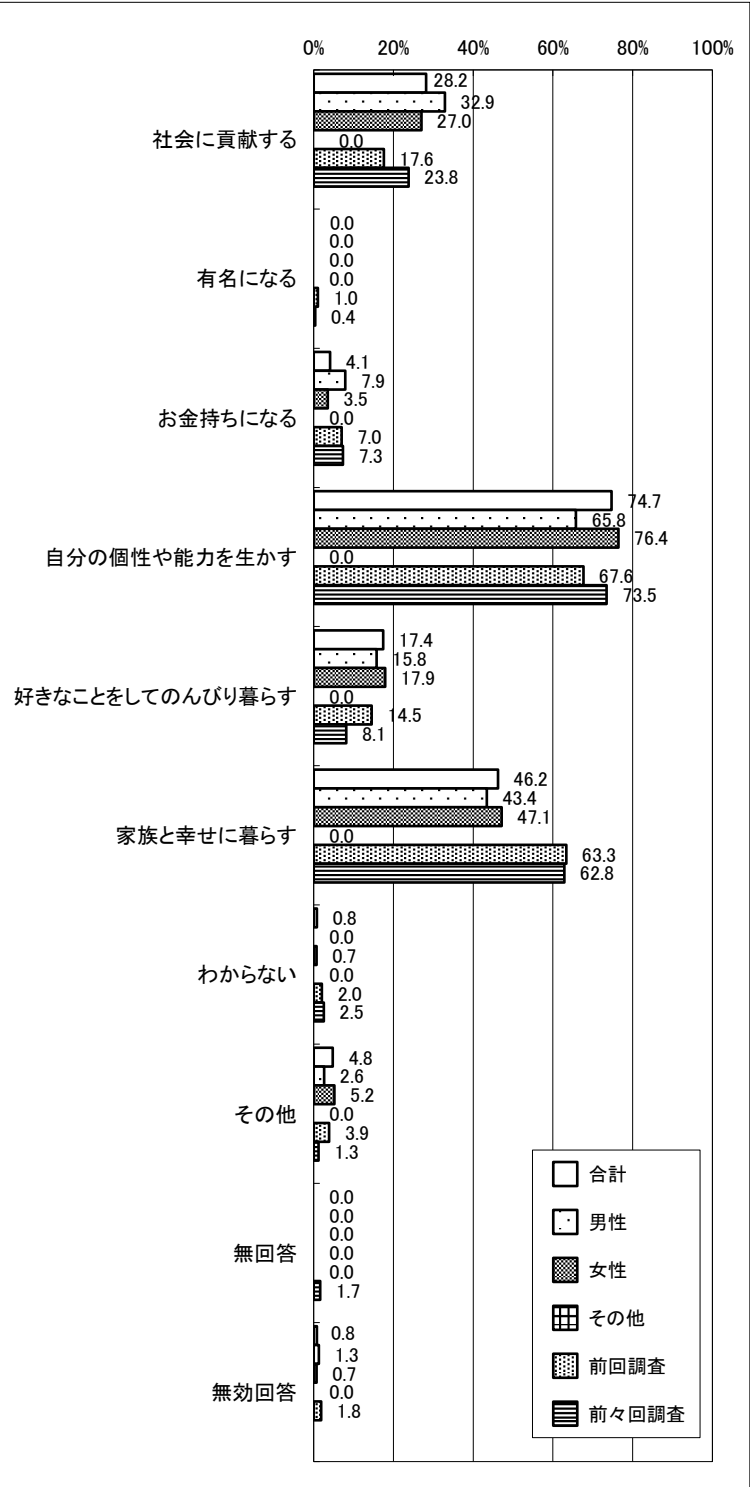
※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

10 子どもに対する夢

問22 あなたは、お子さんにどのような夢をもっていますか。
次の中からあてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

保護者が子どもにどのような夢をもっているかは「自分の個性や能力を生かす」(74.7%)の割合が最も高く、次いで「家族と幸せに暮らす」(46.2%)、「社会に貢献する」(28.2%)と続く。この傾向は前回調査と同様である。
男女別にみると、「社会に貢献する」については男性(32.9%)と女性(27.0%)では、5.9ポイント男性の方が高い。一方「自分の個性や能力を生かす」については男性(65.8%)と女性(76.4%)では、10.6ポイント女性の方が高い。

①今回調査



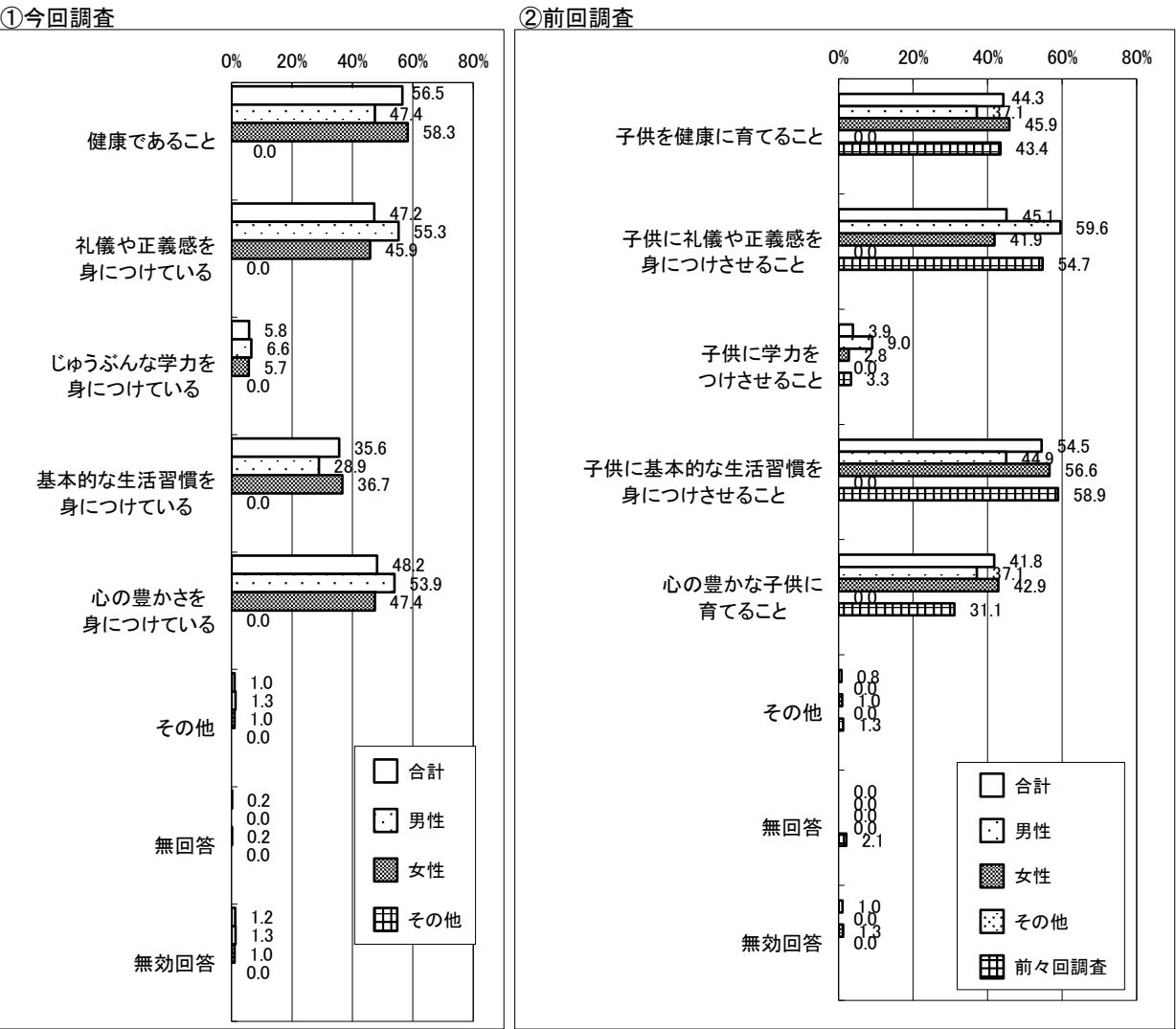
「その他」の内訳	
おしつけるいみがわからない。本人の人生に夢をもつとかわからない	1
健康で本人の思う幸せを感じて生きてほしいです。	1
心身ともに健康で自分らしい生き方をできること	1
自律できる	1
自分らしく生きていく	1
現実をみる	1
自立して生活できる能力を養ってほしい	1
いきいきと生きてほしい。	1
みんなが住みやすい街にするための基本となる土台を作る仕事に就きたい。	1
1日1回は笑って過ごす	1
ずっとさんさ太鼓をやっていたい。続けていける職業に盛岡でつきたい。	1
やりたいことをやる	1
自立して生活する	1
好きなことをしつつ自立した大人になってほしい	1
健康で笑っているならそれで良し。	1
自分に自信をもって堂々と生きてほしい	1
子供に夢や期待は無い。健康に生きて欲しい。	1
仕事をして働き、休日は好きな事をいっぱいしてほしい。	1
ある程度の期待はしますが「夢」というのは用語としてはいかなものでしょうか？	1
質問としてはふさわしくないと思います。	1
自立した生活	1
本人の夢、希望をサポートする	1
オリンピック ヴリーガー お世話になった方に感謝を結果で返す事	1
合計	22

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

11 家庭教育

問23 あなたは、家庭教育を通じてお子さんをどのように育てたいと考えていますか。
次の中から大事だと考えるものを2つまで選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

家庭教育のあり方として大事だと考えるものは「健康であること」(56.5%)の割合が最も高く、次いで「心の豊かさを身につけている」(48.2%)、「礼儀や正義感を身につけている」(47.2%)と続く。
「健康であること」(56.5%)は前回調査(44.3%)より12.2ポイント増加している。
一方で「基本的な生活習慣を身につけている」(35.6%)は前回調査(54.5%)より18.9ポイント減少している。
男女別にみると、「健康であること」と回答したものは、男性(47.4%)、女性(58.3%)で10.9ポイントの差があり、女性の方が高い。一方で「礼儀や正義感を身につけている」と回答したものは、男性(55.3%)、女性(45.9%)で9.4ポイント男性の方が高い。



「その他」の内訳	
常にスキルを身につけていく姿勢。	1
世の中には、色々な人がいる事(自分だけが正しい訳ではない)を認めあうことが大事かと思っています。	1
どのように育てたいとかはなく、子供の意志を尊重したい	1
自分の魂にウツつかない	1
子どもに自己肯定感をいだかせる事。親の期待は時として子どもに正と負と両方の効果をもたらすので、親の期待を過度に押し付けるのはよくないと思う。	1
失敗や挫折をバネに前に進める強さと環境を子供に与えたい。居場所と1人ではない安心感	1
合計	6

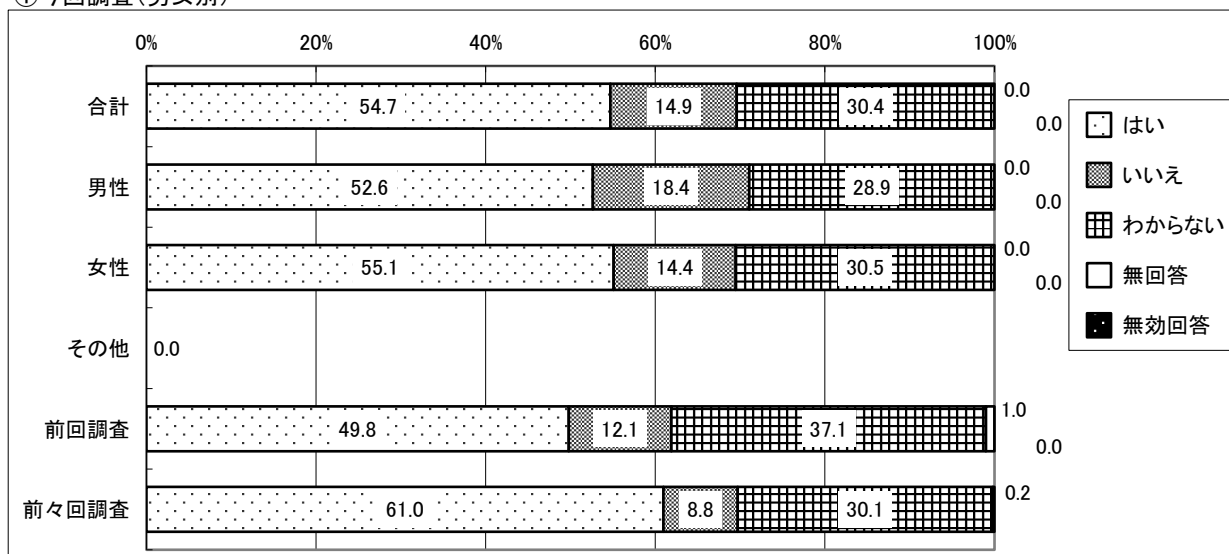
※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問24 あなたは、一般的に「家庭の教育力」が低下していると思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=483 男性=76 女性=403 その他=0 無回答=4)

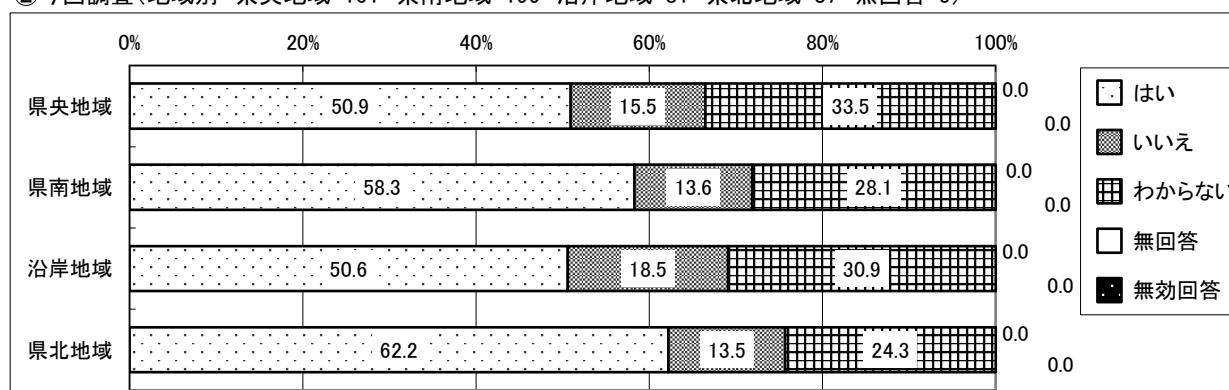
家庭の教育力が低下していると思うかについて「はい」と回答したものは54.7%であり、前回調査(49.8%)より4.9ポイント増加している。「いいえ」(14.9%)については前回調査(12.1%)より2.8ポイント増加。一方、「わからない」と回答したものは30.4%であり、前回調査(37.1%)より6.7ポイント減少している。

男女別にみると、「はい」と回答した男性(52.6%)と女性(55.1%)では、2.5ポイント女性の方が高く、「いいえ」と回答した男性(18.4%)と女性(14.4%)では4.0ポイント男性の方が高い。地域別にみると、「はい」と回答したものは、県央地域を除き前回調査から増加している。県南地域(58.3%、前回:48.7%)は9.6ポイント、沿岸地域(50.6%、前回:47.1%)は3.5ポイント、県北地域(62.2%、前回:53.2%)は9.0ポイントそれぞれ増加している。県央地域(50.9%)は前回(51.5%)から0.6ポイント減少している。

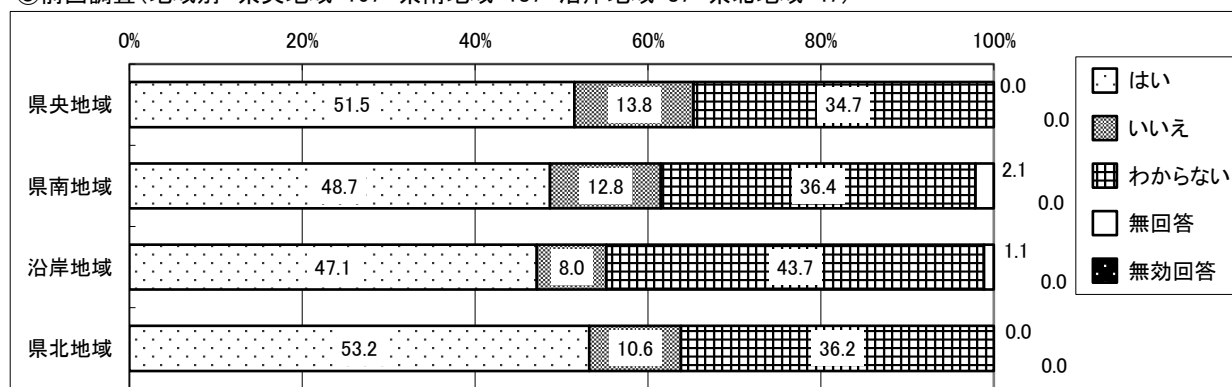
①今回調査(男女別)



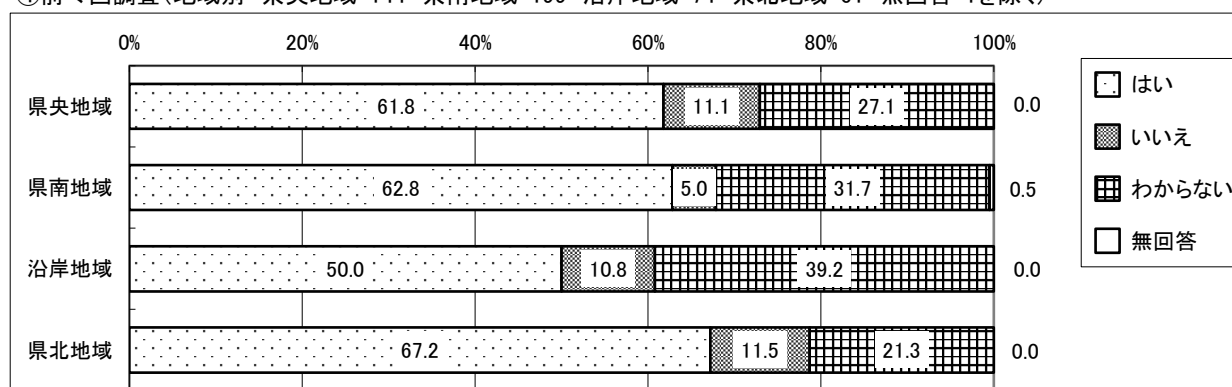
②今回調査(地域別 県央地域=161 県南地域=199 沿岸地域=81 県北地域=37 無回答=5)



③前回調査(地域別 県央地域=167 県南地域=187 沿岸地域=87 県北地域=47)



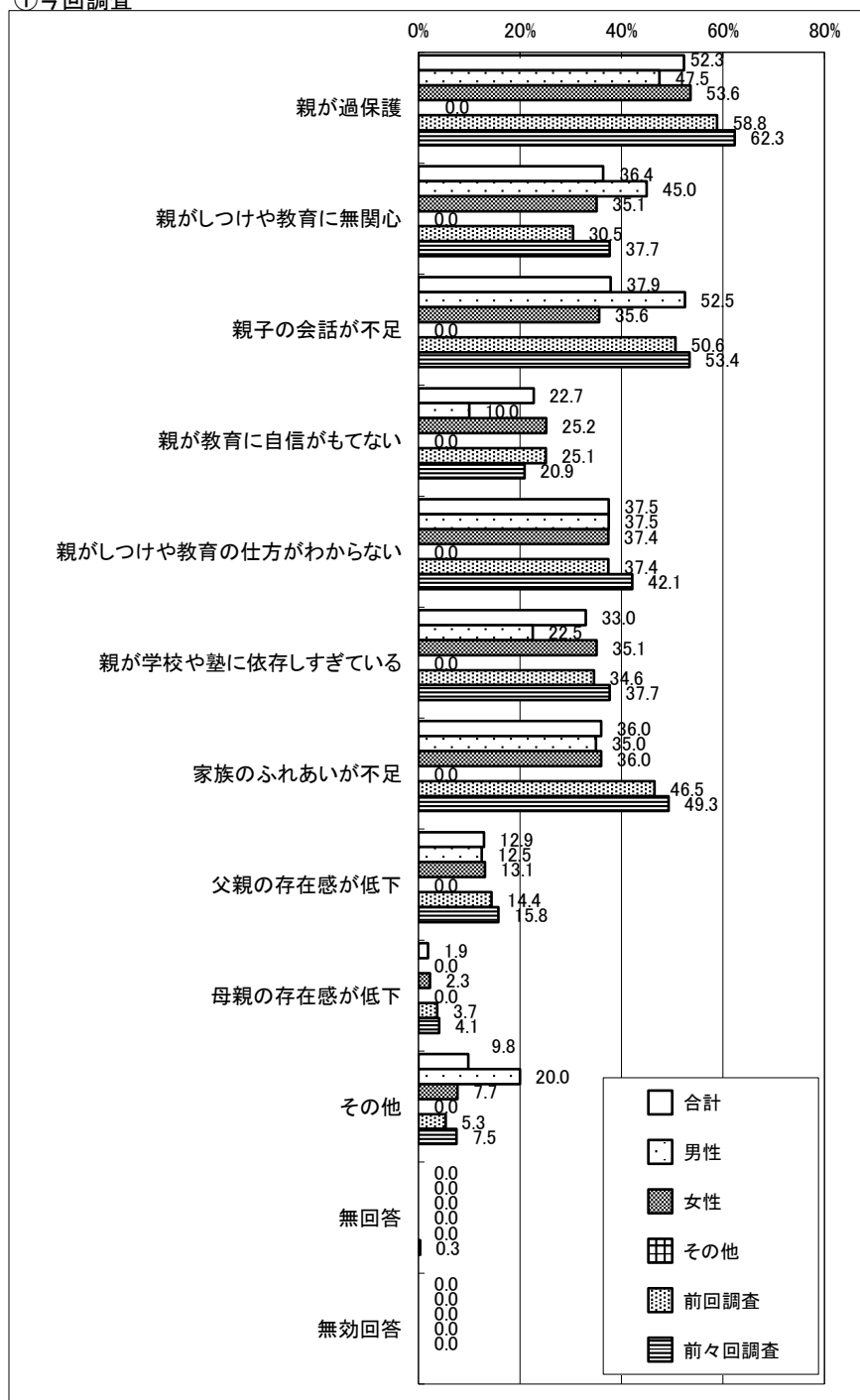
④前々回調査(地域別 県央地域=144 県南地域=199 沿岸地域=74 県北地域=61 無回答=1を除く)



問25 問24で「1はい」と答えた方にうかがいます。「家庭の教育力」が低下してる理由は何でしょうか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=264 男性=40 女性=222 その他=0 無回答=2)

家庭の教育力が低下している理由は「親が過保護」(52.3%)の割合が最も高く、次いで「親子の会話が不足」(37.9%)、「親がしつけや教育の仕方がわからない」(37.5%)と続く。
「親が過保護」(52.3%)は、前回調査(58.8%)より6.5ポイント、「親子の会話が不足」(37.9%)は、前回調査(50.6%)より12.7ポイント減少した。
また、「家族のふれあいが不足」(36.0%)も、前回調査(46.5%)より10.5ポイント減少している。
一方で「親がしつけや教育に無関心」(36.4%)については、前回調査(30.5%)より5.9ポイント増加している。
男女別にみると、「親子の会話が不足」と回答したものは、男性(52.5%)と女性(35.6%)では、男性の方が16.9ポイント高い。一方、「親が教育に自信がもてない」と回答したものは、男性(10.0%)と女性(25.2%)では、女性の方が15.2ポイント高い。

①今回調査



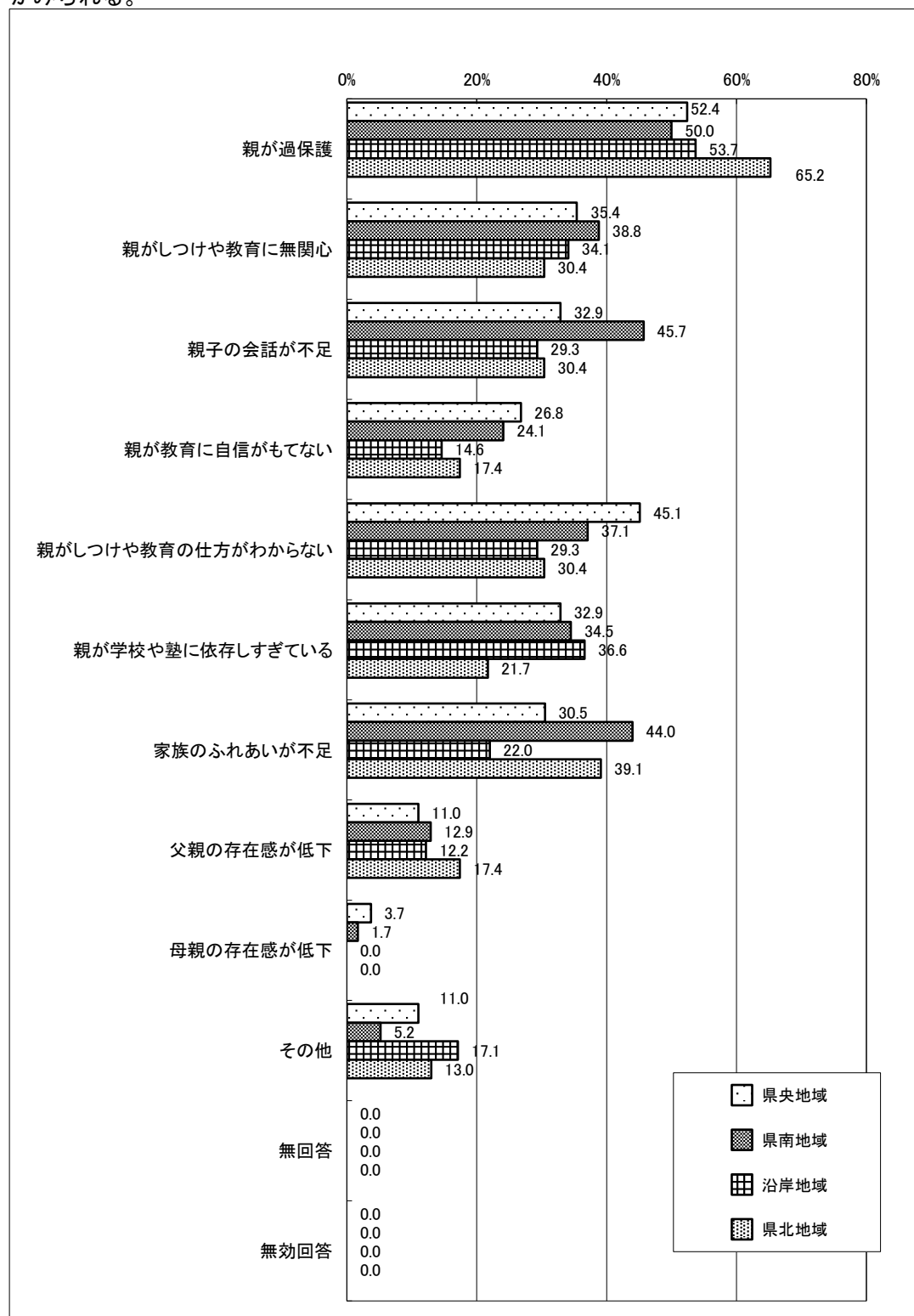
「その他」の内訳

自分の子供に関心、興味がない	1
親の余裕のなさ(時間・金銭)	1
子と1対1で会話やコミュニケーション等の時間を中々作れないため声がけもできない。	1
家庭にいる時間少ない(仕事)	1
親に余裕がない(時間やお金)	1
ゲームやSNS等で子供達が自由時間のほとんどを使いすぎている。	1
無知は罪。親がネットにばかり頼って、子本人を見ようとしていない。本当に大事なこと、情報はネットにはない。	1
祖母が過保護	1
共働き等で、時間と心に余裕がない	1
親と子の教育課程に相違があり、考え方ややり方にも相違が生じるため	1
親の親からまともな教育を受けずに子へ連鎖していると思う。どこかで止めないと悪化する一方だと思う。	1
平穏な家庭環境、特別ではない普通の暮らしが重要だと思う。	1
・価値感が多様化したため悪い意味で個人主義となってしまう、親も、ウチさえよければ的な思考の方が 増えているのでは？	1
・何でもマニュアル化してしまい肌で感じたこと、体験したことを生かすことが希薄になっているのでは？	1
親が簡単に携帯を買い与え、そして責任を持たないこと。	1
時間が無い	1
スマホが1番の原因	1
職場で自分より若く子持ちの職員の仕事に対する考え方が、自己中心的でお客様や同じ職員に対する 思いやりが無い。そもそも社会人としてのマナーやモラルが低い。それを上手く指導出来ない職場も悪いが…。	1
勉強は本人次第だと思い、あまり声を掛けて来なかったのももう少し寄り添えればよかった。塾に通わせる 余裕がないので今後の進学が心配。	1
合計	17

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

②今回調査(地域別)(N=264 県央地域=82 県南地域=116 沿岸地域=41 県北地域=23 無回答=2)

家庭の教育力が低下している理由を地域別にみると、全ての地域で「親が過保護」の割合が最も高く、県央地域(52.4%)、県南地域(50.0%)、沿岸地域(53.7%)、県北地域(65.2%)となっている。大きな差があらわれたのは「家族のふれあい不足」であり、最も高い県南地域(44.0%)と最も低い沿岸地域(22.0%)では、22.0ポイントと大きな差がみられる。次いで「親子の会話が不足」で、県南地域(45.7%)と沿岸地域(29.3%)では、16.4ポイントの差がみられる。



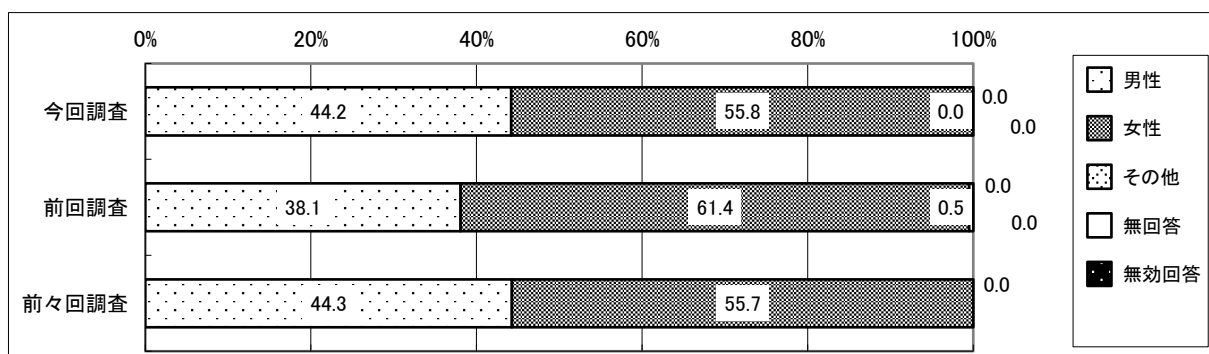
IV 青年に対する調査

IV 青年に対する調査

1 基本属性(性・職業・住んでいる地域)

問1 あなたの性別を選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

「その他」は令和3年度調査より新たに追加された項目である。
今回の調査では、男性44.2%、女性55.8%、その他0.0%である。
性別について無回答者はいなかった。

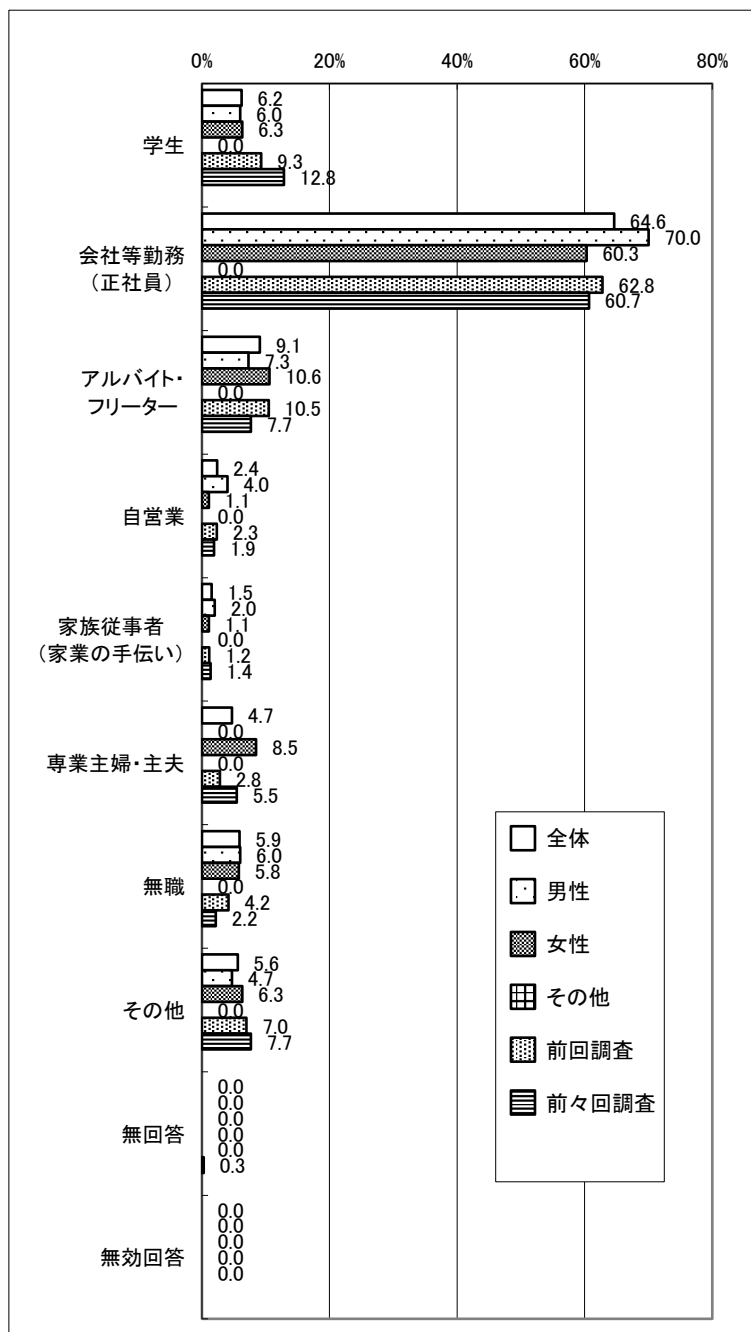


問2 あなたは次のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=339 学生=21 会社等勤務=219 アルバイト・フリーター=31 自営業=8 家族従事者=5
専業主婦・主夫=16 無職=20 その他=19 無回答=0)

「専業主婦・主夫」は令和3年度調査より従来の「専業主婦」に主夫も含めた項目である。

今回の調査では「学生」6.2%、「会社等勤務(正社員)」64.6%、「アルバイト・フリーター」9.1%、「自営業」2.4%、「家族従事者」1.5%、「専業主婦・主夫」4.7%、「無職」5.9%、「その他」5.6%である。

前回調査と比較して「会社等勤務(正社員)」が1.8ポイント増加、「無職」が1.7ポイント、「家族従事者」が0.3ポイント増加、「専業主婦・主夫」が1.9ポイント増加、「自営業」が0.1ポイント増加、それ以外は減少している。



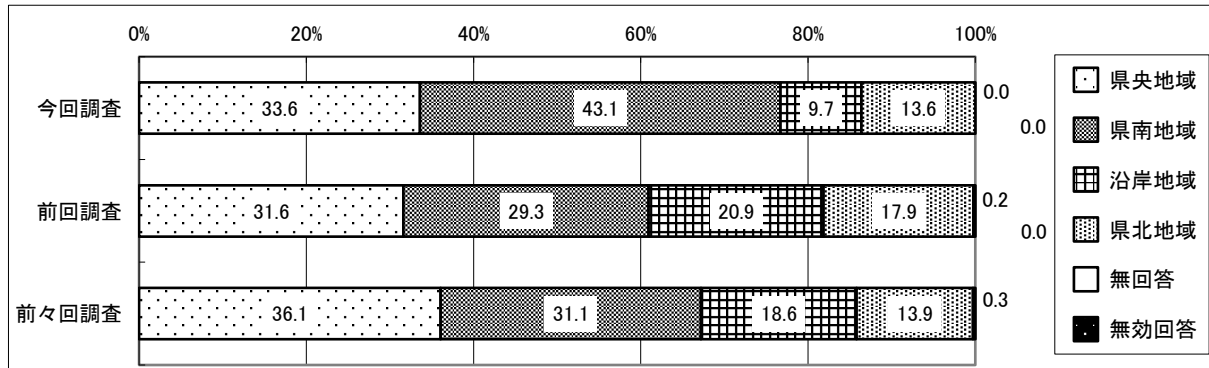
「その他」の内訳

・会計年度任用職員(パート)	1
・就労継続支援の利用者	1
・障がい者施設のしょうかいで仕事(障がい者)	1
・パート	5
・福祉施設	1
・障害年金生活者	1
・臨時職員	1
・生活介護を受けている	1
・難病による症状があり重度障害者のため、仕事ができない。	1
・契約社員	1
・公務員	1
・派遣社員	2
・就労継続支援B型	1
合計	18

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問3 あなたのお住まいはどちらの地域ですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=339 県央地域=114 県南地域=146 沿岸地域=33 県北地域=46 地域無回答=0)

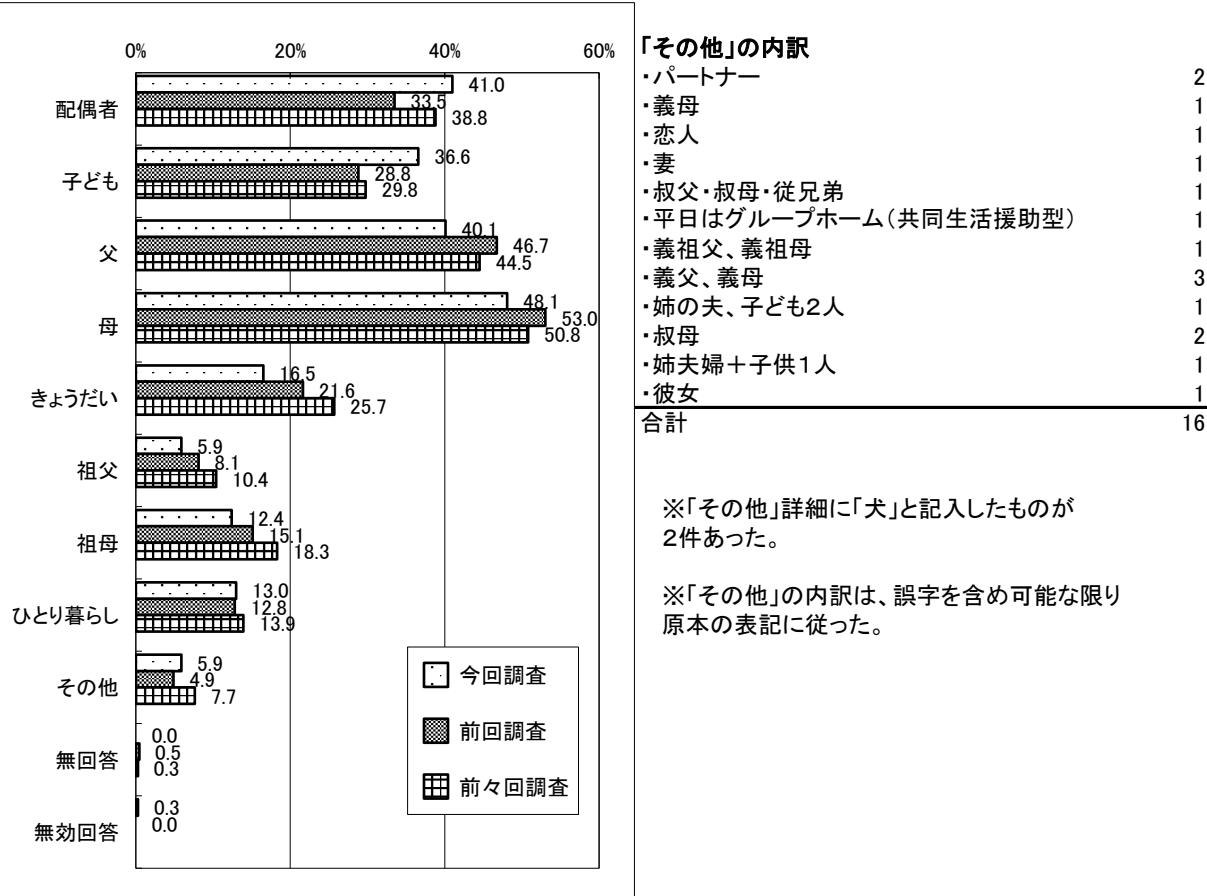
今回の調査では、県央地域33.6%、県南地域43.1%、沿岸地域9.7%、県北地域13.6%である。
前回調査と比較すると「県央地域」は2.0ポイント、「県南地域」は13.8ポイントと、それぞれ増加し、「沿岸地域」は11.2ポイント、「県北地域」は4.3ポイントそれぞれ減少した。



2 家族構成

問4 あなたは誰と一緒に暮らしていますか。次の中から一緒に住んでいる人をすべて選んで○をつけてください。
(N=339 配偶者=139 子ども=124 父=136 母=163 きょうだい=56 祖父=20 祖母=42
ひとり暮らし=44 その他=20 無回答=0)

今回の調査では、「母」(48.1%)の割合が最も高く、次いで「配偶者」(41.0%)、「父」(40.1%)、「子ども」(36.6%)、「きょうだい」(16.5%)と続く。
前回調査と比較すると、「配偶者」、「子ども」、「ひとり暮らし」、「その他」は割合は増加したが、それ以外は減少している。



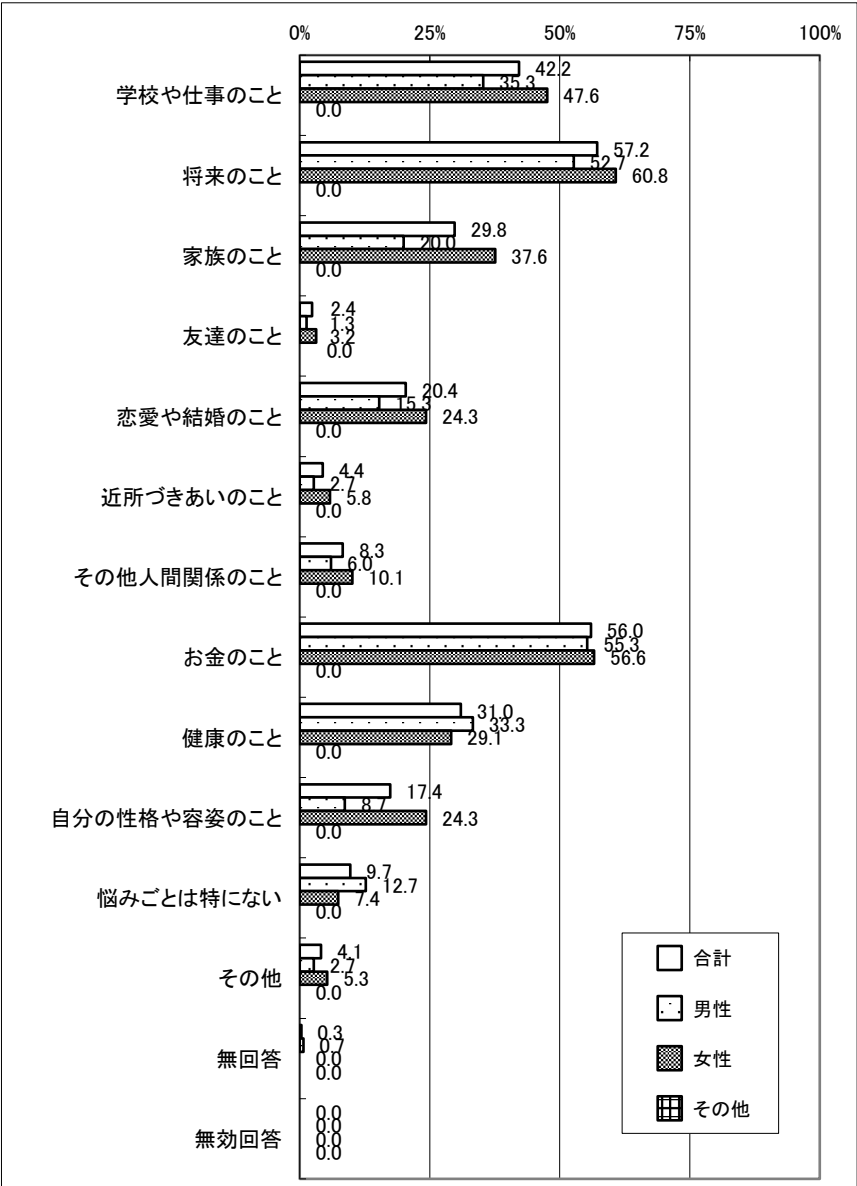
子どもの人数

1人	48	38.7
2人	58	46.8
3人	16	12.9
4人	2	1.6
5人以上	0	0.0
無回答	0	0.0

3 悩みごと

問5 あなたの現在の悩みは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

青年(学生)の現在の悩みは「将来のこと」(57.2%)の割合が最も高く、次いで「お金のこと」(56.0%)と続く。



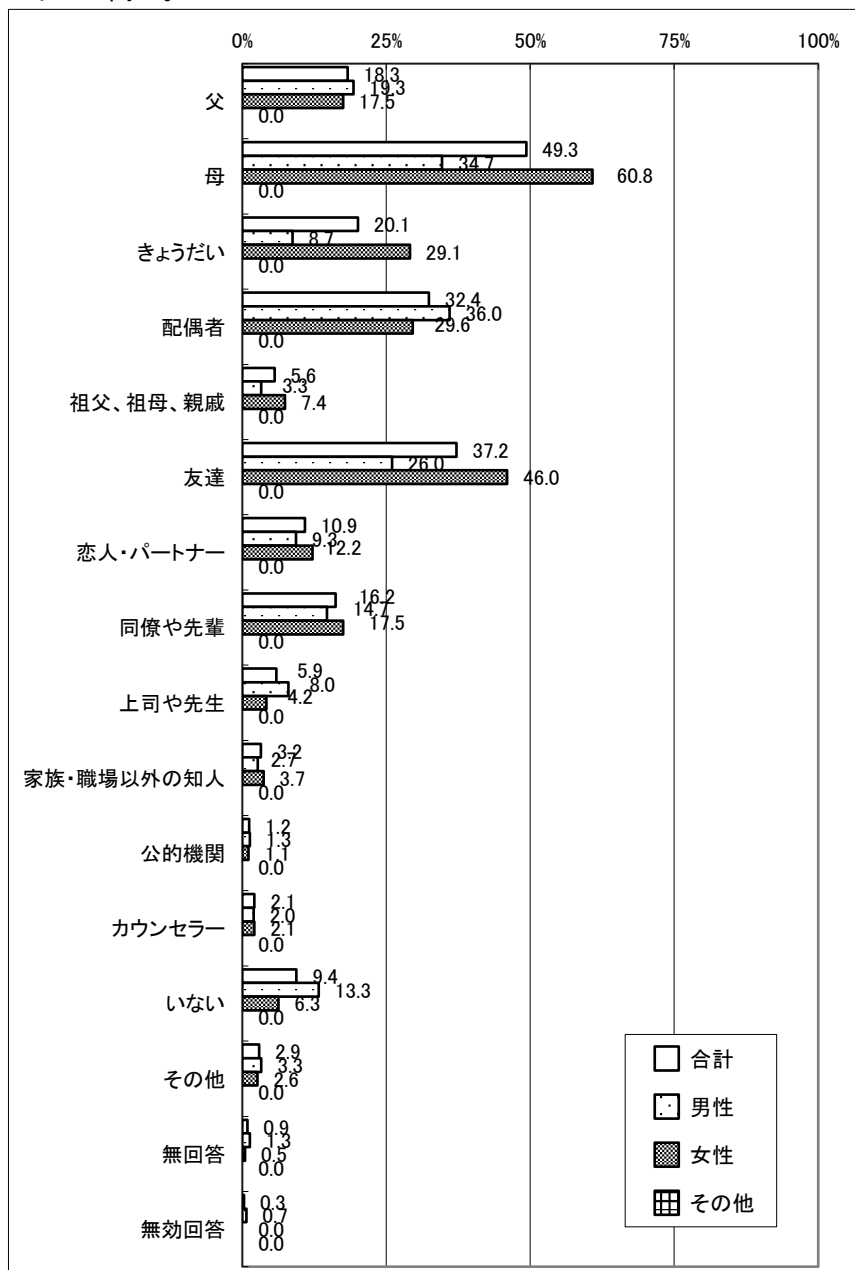
「その他」の内訳

・日本の未来	1
・近所の野良猫(特にフン)	1
・子育て支援	1
・社会情勢、外交のこと。	1
・賃貸住宅が少なく居住先がないこと	1
・ペットのしつけ	1
・子供の事、希望の保育園に入園できるか。	1
・ひとり暮らしのため、自宅で倒れた時、誰が発見してくれるのか。(孤独死)身元保証人を頼める人がいない	1
・持病の精神障害	1
・留学のことやりたい事をやれない現状	1
・物価上昇と給与が上がらないこと(最低賃金)	1
・産婦人科の少なさ	1
・育児のこと	1
・住居のこと	1
合計	14

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り、原本の表記に従った。

問6 悩みごとや心配ごとがある時、あなたがよく相談する人は誰ですか。
 次のの中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

青年(学生)が悩み事を相談するのは「母」(49.3%)の割合が最も高く、次いで、「友達」(37.2%)、「配偶者」(32.4%)と続く。
 男女別にみると、「母」と回答した男性(34.7%)と女性(60.8%)では、女性の方が26.1ポイント高い。また「きょうだい」と回答した男性(8.7%)と女性(29.1%)も、女性の方が20.4ポイント高い。



「その他」の内訳

・病院の医師	3
・自分。私よりも辛い思いをしている人なんて沢山いるので。	1
・詳しい人	1
・施設スタッフ	1
・植物	1
・ネットの友達	1
・SNS	1
・義母	1
合計	10

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

4 地域社会

問7 あなたは、今住んでいる地域が好きですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

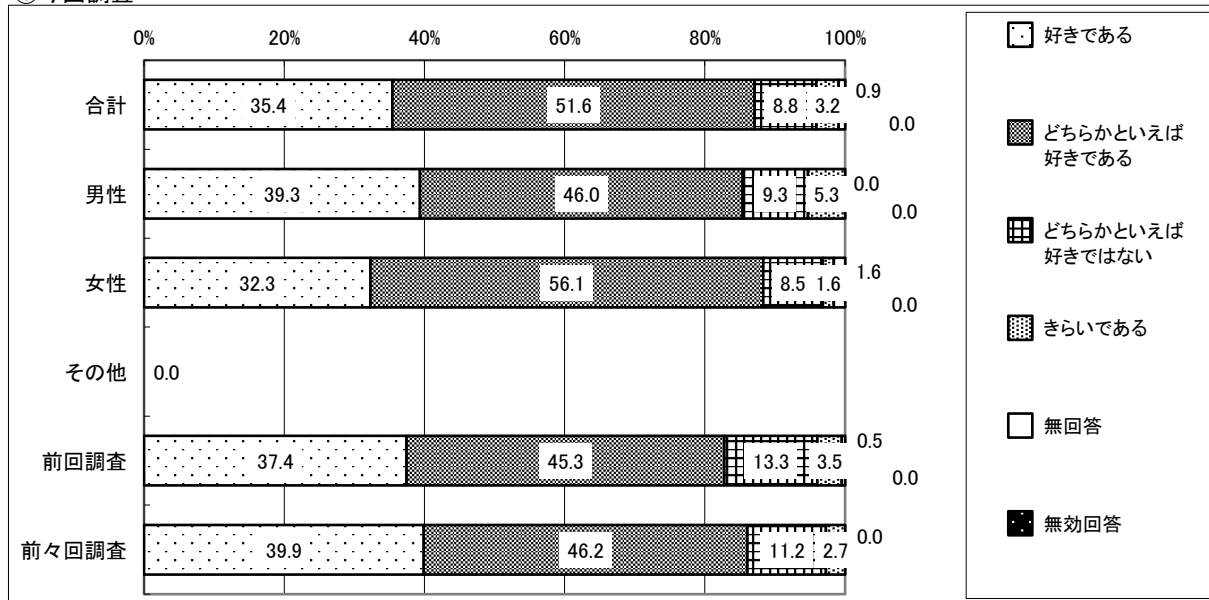
今住んでいる地域が「好きである」(35.4%)または「どちらかといえば好きである」(51.6%) (以下、『好きである』)と回答したものは87.0%である。前回調査(82.7%)と比較すると4.3ポイント増加した。

少年の調査と比較すると、『好きである』と回答した少年(92.7%)と青年(87.0%)では、青年の方が5.7ポイント低い。

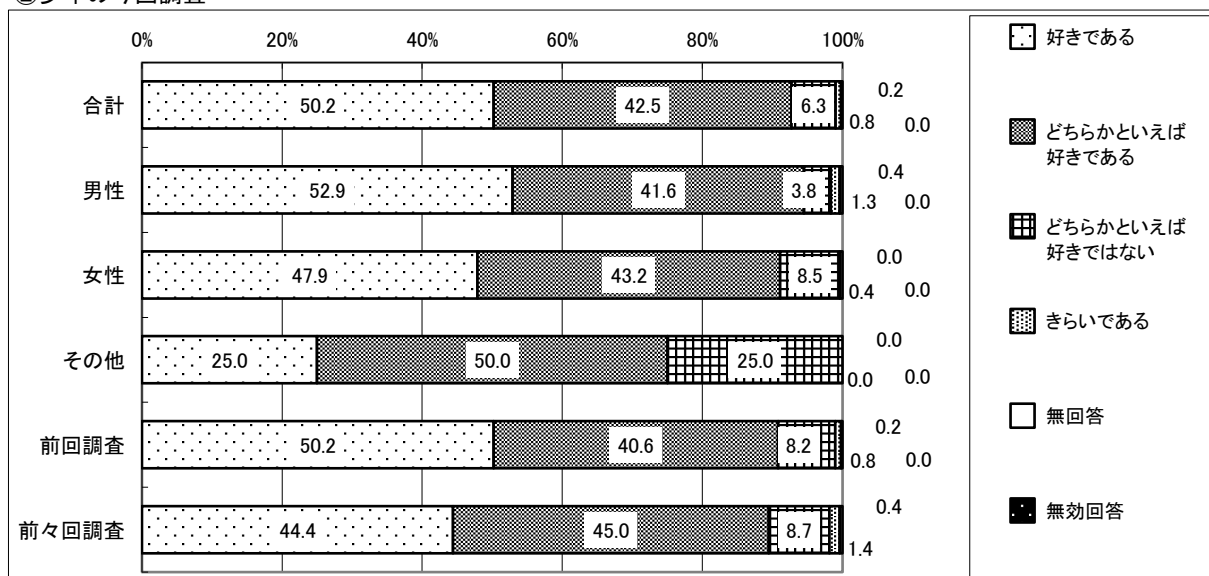
地域別に見ると、『好きである』と回答したものの割合が最も高かったのは「県央地域」(92.1%)、次いで「県南地域」(86.9%)、「沿岸地域」(81.8%)、「県北地域」(78.2%)の順である。

前回調査と比較すると、「沿岸地域」(81.8%)は前回調査(74.4%)より7.4ポイント増加。一方で「県北地域」(78.2%)は前回調査(80.5%)より2.3ポイント減少している。

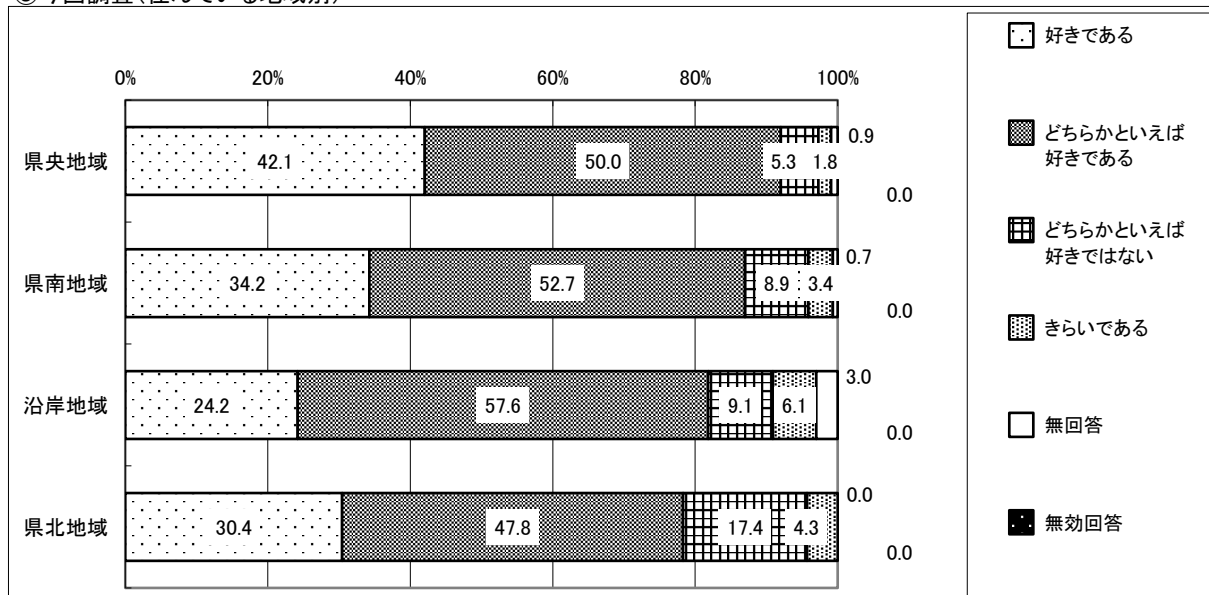
①今回調査



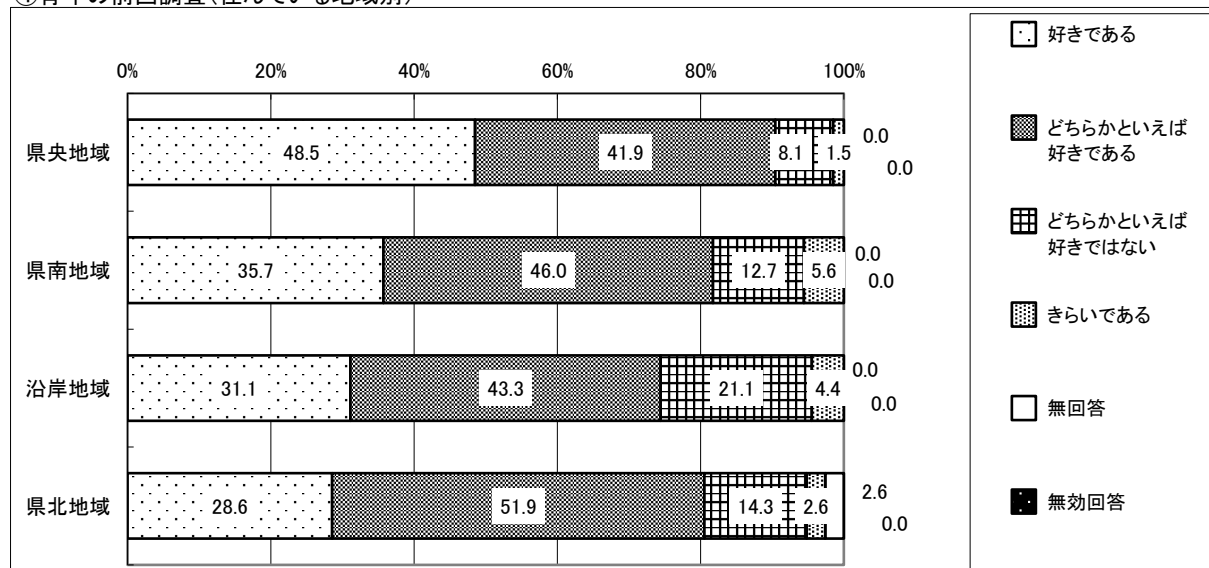
②少年の今回調査



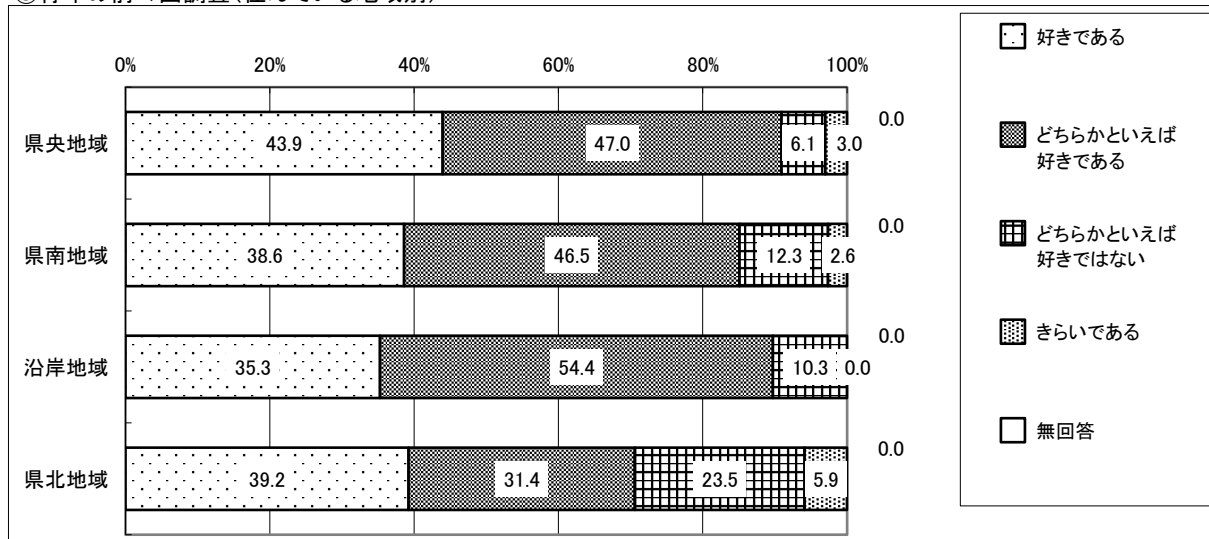
③今回調査(住んでいる地域別)



④青年の前回調査(住んでいる地域別)



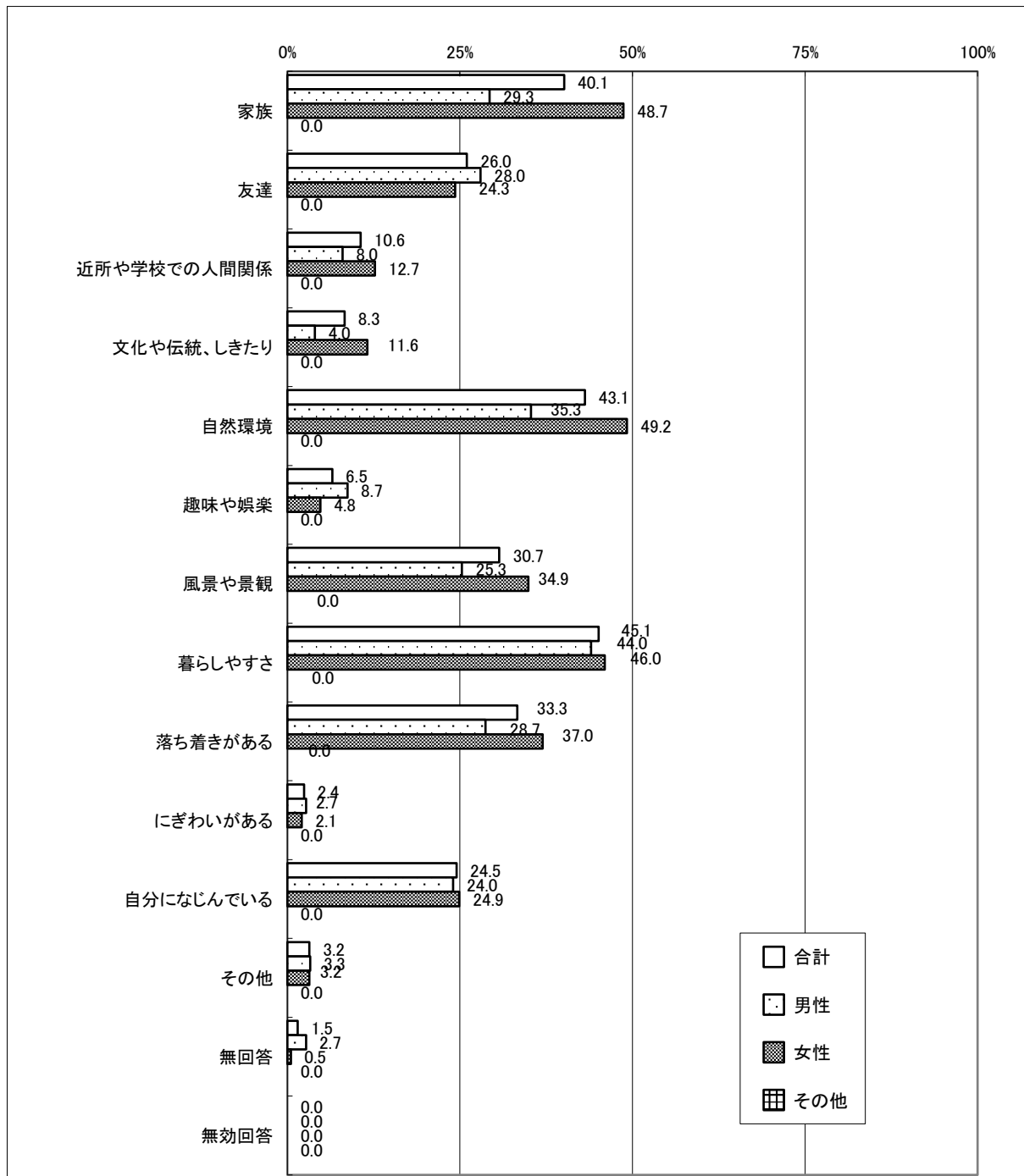
⑤青年の前々回調査(住んでいる地域別)



問8 (1)あなたが今住んでいる地域の好きなところ、きれいなところはどんなことですか。
 次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

(1) 好きなところ

青年(学生)が今住んでいる地域で好きなところは「暮らしやすさ」(45.1%)の割合が最も高く、次いで「自然環境」(43.1%)、「家族」(40.1%)と続く。
 男女別にみると、「暮らしやすさ」と回答した男性(44.0%)と女性(46.0%)では、女性の方が2ポイント高いのみで、大きな差はない。
 一方「自然環境」と回答した男性(35.3%)と女性(49.2%)は、女性の方が13.9ポイント高い。
 また「家族」と回答した男性(29.3%)と女性(48.7%)も、女性の方が19.4ポイント高い。



「その他」の内訳	
・交通(新幹線・インター通ってるので)の利便性は良い	1
・慣れている	1
・きれいなので好きなところはなし。	1
・生まれ育った環境で慣れている。	1
・空気がおいしい	1
・商業施設がちょうど良い	1
合計	6

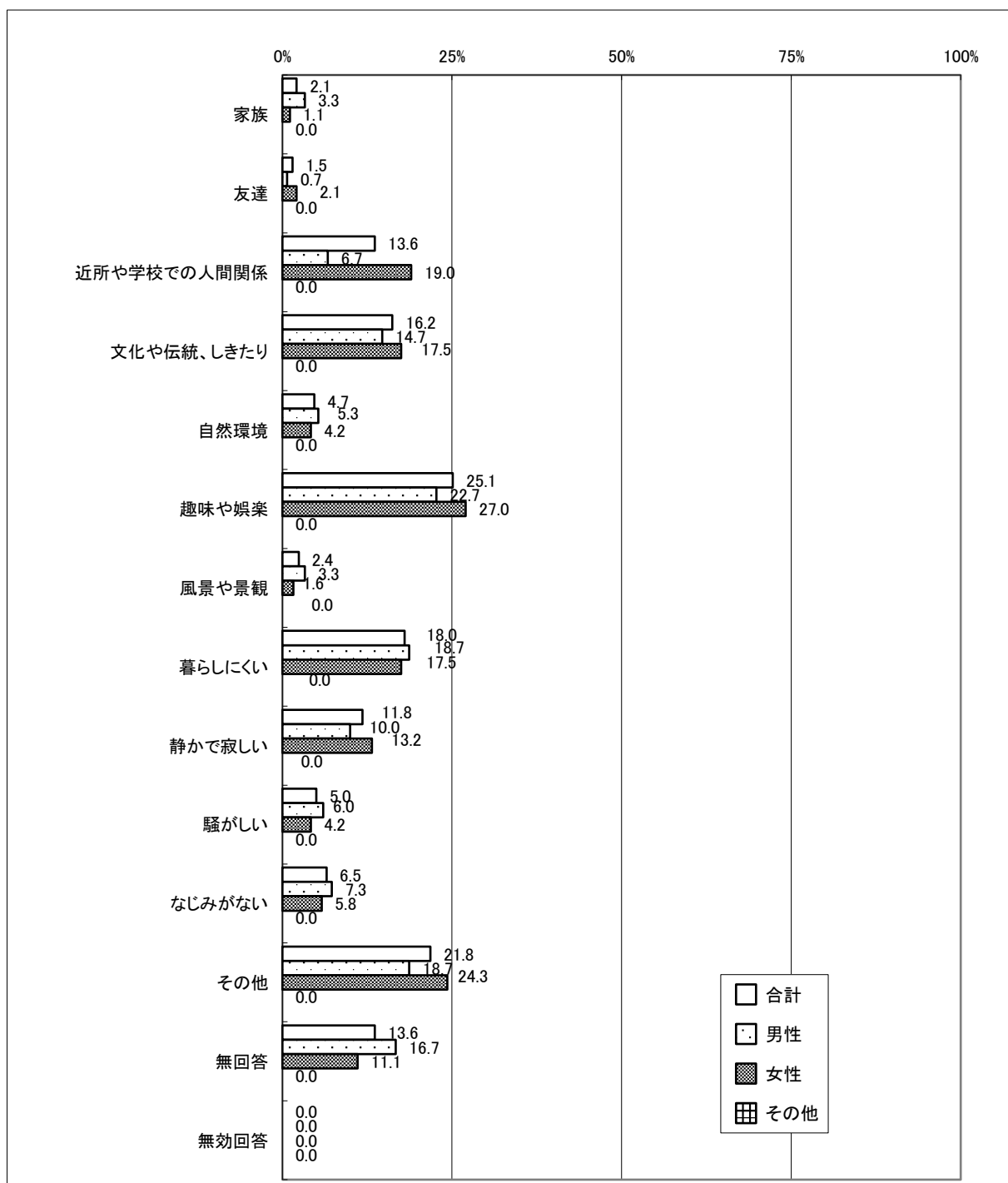
※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

(2) きれいなところ

青年(学生)が今住んでいる地域できれいなところは「趣味や娯楽」(25.1%)の割合が最も高く、次いで「その他」(21.8%)、「暮らしにくい」(18.0%)と続く。

男女別にみると、「趣味や娯楽」と回答した男性(22.7%)と女性(27.0%)で、女性の方が4.3ポイント高い。

また「その他」と回答した男性(18.7%)と女性(24.3%)も、女性の方が5.6ポイント高い。



「その他」の内訳	
・民度	1
・子ども服等買い物が近くでできず不便	1
・食品以外の工場が少ない	1
・最低賃金の低さの為	1
・仕事のかぎられている所	1
・公園少ない	1
・最低賃金が低い・ゴミ袋が高い	1
・大きな遊具がある公園がない。商業施設が少なすぎる。県内外から人が集まるイベントが少ない。内容が薄い。	1
・大学がない、観光地がない。	1
・車が必須な所(移動に)、24Hやっている飲食店や娯楽施設がない	1
・仕事が無い。選べない	1
・とてもふべん、車がないと生活できないのに税金・ガソリン高い	1
・子育てづらい、交通や買い物などの便が悪い。自分の価値観を押しつける人が多い。	1
・近所の人のうわさが広がりやすい	1
・道路が整備されていない	1
・遊ぶところがない。交通の便がわるい	1
・公共交通の不便さ。	1
・自治会活動	1
・くまがでることが怖い。	1
・店等が少なく、少し不便	1
・雪	1
・坂が多い	1
・娯楽が少ない。	1
・買い物不便	1
・働き先がない。賃金が安い等の労働環境、行政の対応が、保守的で空き家対策など、すすまない。	1
先進的な取組みが少ない	1
・商業施設が少なく遊ぶ所が少ない	1
・家賃や食品など物価が高い	1
・道路の除雪があまり	1
・数年前に比べ家が増えた	1
・給与、求人	1
・医者不足。	1
・お店が少ない。	1
・虫が出る所、雪が少ない所	1
・行政サービスが昔のまま	1
・橋の通る音が、うるさい、トラックなど。	1
・あそぶ所がない。	1
・コンビニ、スーパーまで車で10分かかる(店が少ない)	1
・工事業者が信頼できない(・施行不良やボッタクリがしょっちゅう・領収書を書いてほしいと某個人電気屋にお願いしても、2、3年経った今でもまだよこさない)	1
・遊べるところが少なすぎる	1
・いなかすぎて何も無い。JRでスイカが使えない	1
・小さい子供の遊び場が少ない	1
・陰湿さ。娯楽が人の悪口が多い。意味わからん噂話。家賃高い。ペット可物件なさすぎ	1
・自治体の活動	1
・やりたい職に就けない・病院の不安	1
・ゴミ袋が高い	1
・道路の舗装があまりよくない	1
・子どもの遊び場が少ない所	1
・民度が低い	1
・交通マナーが悪い人が多い	1
・物がはっきり言えない県民性	1
・遊ぶところが少ない	1
・店が少ない	1
・賃金が低いところ	1
・働く会社が少ない	1
・子供を遊ばせれる施設が少い	1
合計	54

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問9 あなたは、将来もずっと今の地域に住んでいたいと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

将来もずっと今の地域に「住んでいたい」(26.5%)または「どちらかといえば住んでいたい」(43.4%) (以下、『住んでいたい』)と回答したものは69.9%で、「どちらかというに移りたい」(18.3%)または「移りたい」(10.9%) (以下、『移りたい』)と回答したものは29.2%である。

前回調査と比較すると、『住んでいたい』(69.9%)は、前回調査(67.9%)より2.0ポイント微増、『移りたい』(29.2%)は前回調査(31.4%)より2.2ポイント減少となった。『住んでいたい』(69.9%)と『移りたい』(29.2%)を比べると、『住んでいたい』の方が40.7ポイント高く、この傾向は前回調査と同様である。

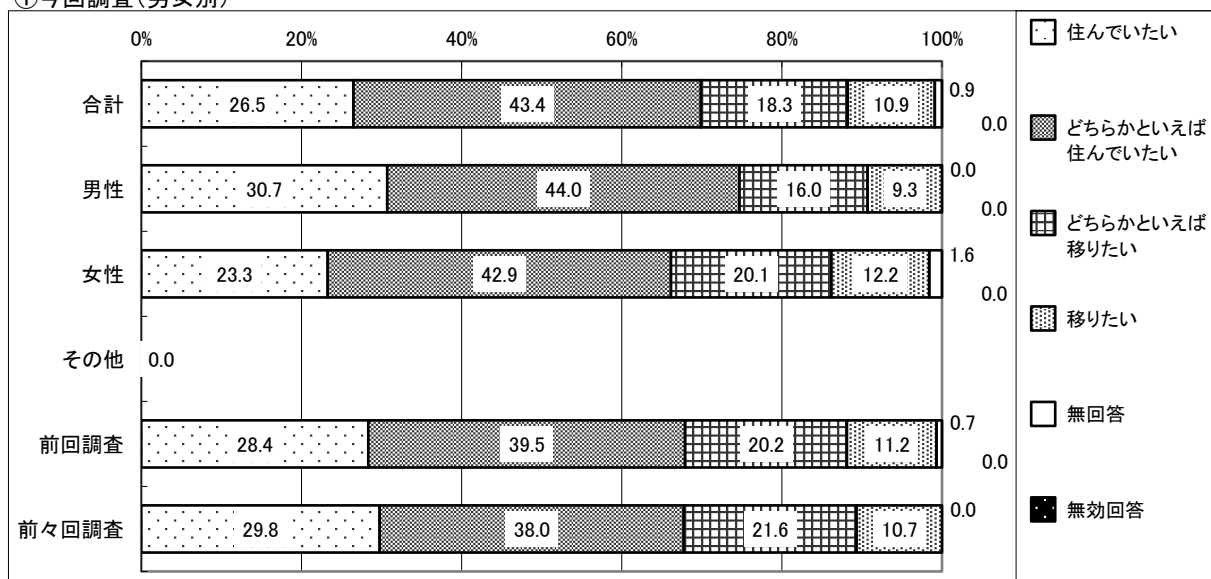
男女別にみると、『住んでいたい』と回答した男性(74.7%)と女性(66.2%)では、男性の方が8.5ポイント高い。

職業別にみると、『住んでいたい』と回答したものの割合が最も高かったのは「会社等勤務(正社員)」(74.4%)と「アルバイト・フリーター」(67.8%)、次いで「専業主婦・主夫」(62.6%)と続く。

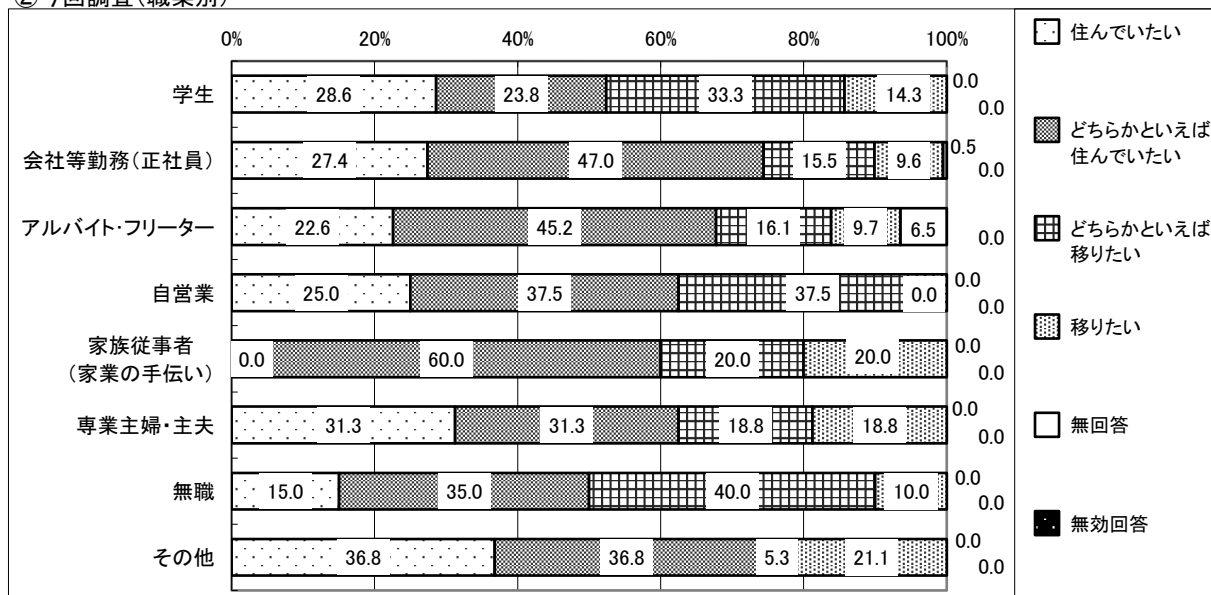
地域別にみると、『住んでいたい』と回答したものの割合が最も高いのは、県央地域(80.7%)、次いで県南地域(67.1%)、沿岸地域(63.6%)、県北地域(56.6%)の順となっている。

『移りたい』と回答したものの割合が最も高いのは、県北地域(41.3%)で、次いで多かった沿岸地域(36.4%)と比べても4.9ポイント高くなっている。

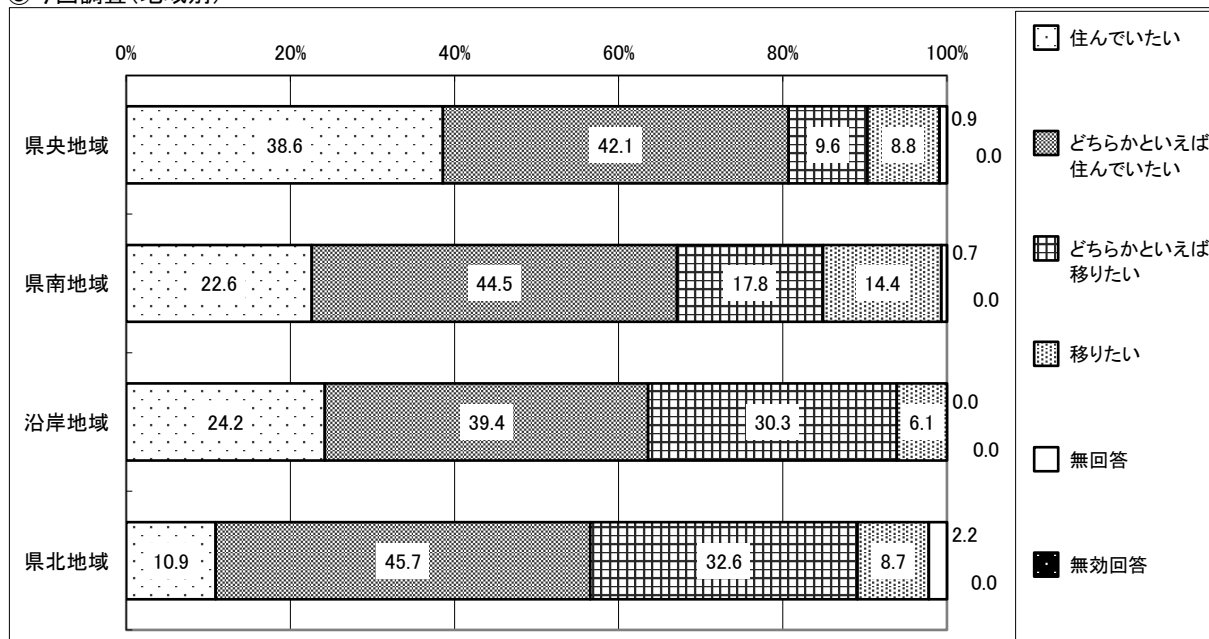
①今回調査(男女別)



②今回調査(職業別)

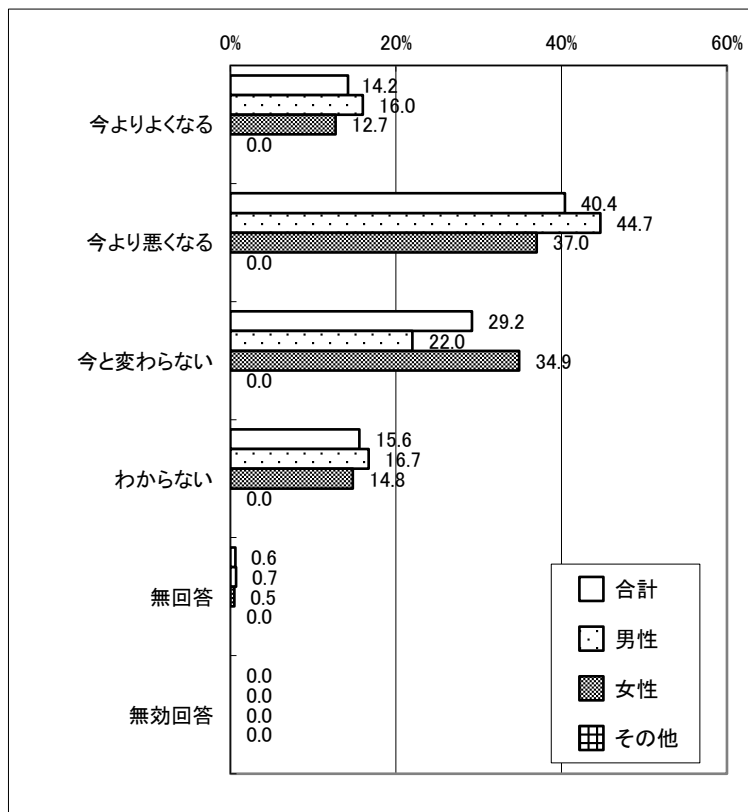


③今回調査(地域別)



問10 今住んでいる地域は、10年後、現在と比べると、どうなっていると思いますか。
 次の中から1つ選んで○をつけてください。
 (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

10年後の社会は「今よりよくなる」と回答したものは14.2%、「今より悪くなる」と回答したものは40.4%、「今と変わらない」と回答したものは29.2%である。



問11 もしもあなたが将来も今住んでいる地域で暮らしていくとしたら、これがあつたらいい、今の環境が変わつたらいいと思うことはありますか。(自由記載)
(例:こんな仕組みや場所があつたらいい、このようなルールや考え方がこう変わつたらいい、など)

(内容)

交通の便が良かつたら暮らしやすくなる(電車の本数が増えるなど)

商店街がにぎやかになったら、明るい地域になっていいと思う。

もう少し街灯を増やしてほしい。住宅の灯りだけでは夜道は暗すぎて車からも人は確認しづらく、運転する側も歩行する側も怖いです。

映画館などの娯楽施設があつたら良い

スポ少や部活動の送迎等の負担が少なく誰でも平等に参加できる。(仕事をしていると誰かの助けがないと経済面を抜いても経続が難しい。)

野良猫が減つたらいいと思う。

最低賃金を全国平均レベルまで上げる新しいことを取り入れ閉鎖的な町にならないようにする。

幼稚園～大学まで給食費及び授業料の無料化。街並みを生かした商業施設。

子どもやその親に対しての援助を手厚くしてほしい。自然が豊かで、ゆったりとして気持ちになれる所ではあるが、コンビニや買い物する所までが、車がないと行けない距離ですごく不便。活気はない方だと思う。

今は賃貸に住んでいるので、若者が低い家賃で住める住宅が整備されるとうれしい。

近くに自分にあった仕事、ごらく、公園(うんどうできる整備された場所・芝生)、などがあるといい。無人や自動でもいいのでバスなどのうんこうがあるといい。

自動運転バス等高齢者が自身で運転しなくても移動できる手段が確保されるとよいと思います。あるいは訪問診療やネットショップ等、自宅に居ながらあらゆるサービスを受けられるとよいと思います。若者が首都圏に出なくても自分のやりたいことを実現できる環境(支援体制等)があるとよいと思います。

子育てしやすい環境もっと栄えてほしい

ゴミ当番制度が無くなってほしい。(ルールを守らない人のゴミを仕分けるのが辛い)自治会が年功序列で、若い人や、新しく来た人の意見が通らない所も変わっていけばいいなと思います。

子供と大人が一緒に楽しめる施設がほしい。

地域の集りが面倒。大きな公園が欲しい。(大きな遊具がある)

子供のあそび場がもっとあればいい

北上市は子育て支援に対する意識が低いのでかえて欲しい。北上市は歯医者ばかりが多くて、ひふ科や、耳鼻科が少ない。もっと市内に少ない科の病院を誘致して欲しい。

人口の増加。賃金UP

子どもが遊べる所を増やしてほしい。一近所の大人のクレームが多すぎる。娯楽施設を増やしてほしい。

ドッグランを増やしてほしい。給食費、児童手当から引いても良いと思う。

老人より若者重視になってほしい

衣服の調達場所、娯楽施設、医療が充実していればいいと思う。

市役所の人たちの(公務員の人たち)態度が悪い。手続きのやり方の効率が悪くて、待ち時間が長い。とにかく、公務員職の人たちか建物が暗い。怖い。知識が古い。(ハローワークの人は態度も悪い。)

ジムがほしい。ショッピングモールがほしい。

人口が増える→活気がでる。商業施設を増やす。

スポーツができる施設がほしい。遊べる施設があるとよい。駅前がにぎわうとよい。

商業施設。たくさん遊具のある公園。税金の使い方がヘタ。ご当地グルメの開発→飲食店、市民から公募。車がないと生活できないので運転しない人のためにバスかそれに代わる移動手段を増やしてほしい。

大きい商業施設があればいい。

ドローンの宅配

バス等の公共交通機関の充実。若者が暮らしやすい地域づくり(地域活動など半強制的な部分もあり参加するのが当然のような考え方が変わつたらいい。)

空き家が減って、人口が増えたらいい。

24時間営業のコンビニ

若い人が働ける場所が増えるといい。子どもを大切に育てていく考えがもっと深まればいい。子どもが学習できる場がもっとほしい。(習い事や学習塾、英会話教室など)

近くに産直はあるがスーパー、ガソリンスタンド、特にコンビニが遠いので、せめて、コンビニがあるとたすかる

若い人が集まるベンチャー系企業、SE系職業の拠点の拡大。

子供がいる世帯の負担を減らしてほしい(小学生も医療費かからない、給食費無償化など)

出生率があがるような仕組み、人口減少対策

娯楽施設

現状維持

地域内での交流の為の場、他の地域からきた人が入りやすいイベントがあるといいと思う。

学校のプールや部活施設を開放し、市民の健康維持につながると思う

飲食店、スーパー、イオンなどの買い物できる場所が増えてほしい。新しく来た人を受け入れてくれるような雰囲気づくり。

近所に買い物のできる場所が無い。道路への合流が危ない場所がある

給料がまともな職場がほしい。免許センターと教習所がほしい。除雪をしっかりとしてほしい。住民税が高いので安くしてほしい

ホームセンターが歩いて行ける場所にないので困っている。

小児科が増えたり、子どもが遊びやすい場所が増えてほしい。
 妊娠・出産のときには補助があるが、それ以外がほとんどない。子育て期の支援を充実してほしい。（高齢者ばかりにお金かけてる）。
 若い世代が働ける場所を増やしてほしい（雇用が少なすぎ。男性の育休への理解なさすぎ）

遊ぶところや買い物をするとところなどが増えてほしい。クリニックが充実してほしい。
 女性の医師の婦人科があるとうれしい。
 若者への支援の拡充。
 働く場所が増えて市外からの移住者が増えるといい。市役所の縁故採用が無くなれば若い人がもっと居着くようになると思う。
 大学以上の学校に通っている人を特別視しない風習になればいいなと思う。
 バスの便が減ってしまったので、将来、車の運転ができなければ生活は困難になると思う。特に通勤、通学、通院、買い物など年齢を問わず、一人でもできるような仕組みがあったら良いと思う。

飲食店が増えてほしい
 回覧板や班長のシステムがなくなってほしい。（必要かもしれないけど…）
 子供が遊べる所・子供を連れて出かけられる所
 ごみ出しのルールを整えられたら良い。
 中心市街地の活性化。
 もっと買いやすい洋服屋がたくさんあったらいい
 もっと人口が増えてほしい。
 大学アパレルショップ
 出産できる病院、子供が遊べる公園や広場。
 個人でお店を営んでいく支援などがあつたらいい。PRを広報などに乗せてもらいやすく、またそれらの斡旋があるとうれしい。

自治会のルールなど高齢者の方が多く「若い人がやればいい」という雰囲気がありこちらも仕事や子育てがあるので全てやる事は難しい。業社さんに頼んだり、行事を減らしたりなど若い人が住みやすい地域になれば良いと思う。

イノシシや熊が沢山、出没するので、それをなんとかしてほしいです。
 空家をなくする仕組み作りにまじめに取り組んでほしい。育児に対する行政の仕組み、金の回し方についてまじめに取り組んでほしい

障がい者雇用の先をもっとまともに広くひろげてほしい！！
 産婦人科が必要

製造業や工場が増えてほしい。地域に仕事が少ない。営業や対人援助職の求人が多く、希望の仕事に就けない。1人暮らしでも安心して暮らせるように。高齢者だけでなく、幅広い年代で見守りサービスのついたシェアハウスみたいな家や、身元保証人を頼めるサービスを利用できたら良いと思う。家族がいること前提の仕組みなので生きにくい。

若者が働きやすい職場環境ひとり暮らしをサポートする制度（環境）結婚や、出産、子育てなどをサポートする制度（環境）回覧板でまわってくる集金（ほぼ強制で集金される為）

観光スポット
 道路整備。（道幅を広げる。雪道の対策等）
 指定のゴミ袋の廃止毎週資源ゴミ回収子ども向け、赤ちゃん、ママ向けのイベント
 街灯ふやしてほしい・歩道の整備（雑草など）自転車用道路をふやしてほしい
 近くに大きいスーパーがほしい
 日雇いバイトができる職場が増える（タイミー、シェアフル等）給料が増える
 子連れやお年寄りに注目した内容も良いとは思いますが、その間にいる実際に働く年代（1人暮らしの人、未婚の人、夫婦だけの家庭）にあまり優しくないで人がいなくなってしまう。その年代の人にも目を向けてもらえらるともっと住みやすいと思う。
 スーパーはもういらないので、イオンモールやアクティビティ、子供の遊び場をつくってほしい。
 商業施設を増やしてほしい。

長い目で見たときに若年人口の減少が進むと、地域の存続が難しくなると思います。子育て支援の拡充や教育費の負担減、都市部への流出を抑えることが必要だと考えます。

居酒屋が増えたら良いと思う。
 映画館・電車、バスの本数を増やす・駅前の飲み屋サークルを増やす（習いごとができるところ）
 公共交通機関が便利になれば良い。

起業支援の充実（女性や高齢者では、低金利で借りられる事業のローンもあるが、男性でも様々な働き方、30～40代での起業でも支援をうけられるような対策）・空き家店舗や空き地の活用（積極的に売り主と買い主がマッチングできる仕組み。今は、それぞれの不動産会社が情報を把握していて、接しにくい。物件がうもれる）・子どもたちの教育、貧困対策（地域で働き先や学ぶ先がないと、人口が流出してしまう。会社以外にも自分で働く方法、選択肢を見つけられるような教育。貧困対策については、現状がどのようなものか、調査からお願いしたい）

遊び場や施設
 子どもたちがあそべる所が増えてほしい高齢者などがシェアハウスできるようなところ
 子育て支援の充実雇用機会の創出
 駄菓子屋、バイキング

地域高齢化、出生率低下が進む昨今、店頭販売だけでは先細りしていく状況が生まれ今後はオンラインショップ開設に目を向ける機会も増えると思います。またシニア層のネットショッピング利用率も増加傾向にあります。そこでヤマト運輸が運営するオープン型宅配ロッカー「PUDO」の設置を進めて欲しいです。PUDOの設置でECサイトユーザーの利便性が高まるだけではなく、再配達の削減も見込めます。

商業施設や飲食店・娯楽施設をふやして、市外からも人を呼んでお金を落とせるシステムにしてほしい。アパート等の家賃が高いのもっと安くするべき。工場がふえているが、雇用のほとんどは派遣なので安定した働き口とは言えない。

安心できる医療機関

ゴミ捨て場が家からもっと近い所にあれば良い（一番の懸念）一人で外に出られないため。

イオンモールのようなところがほしい。（遊べる所が少ない）

大規模な、運動（トレーニングも含む）施設 ドンキホーテ等、都市部に有り、地方に無いもの

待遇のよい仕事・娯楽施設

給料が上がってほしい 時給が安い

公共交通機関が、もう少し増えたらいいなと思います。

岩手の働く場所・空き家問題の解決・駐車場・若者が集まれる場所

バスの1本化・バスの代金を定額・定期券の廃止に伴うICカード利用・市役所が新しくなること

現役世代がUターン、地元就職して魅力を感じることで

人口が増え、税収が増えれば良い。

アパレル店が少ないので、もう少しあれば良いと思う。

若い人が定着するような町づくり。交通の便がよくなる。

先輩、後輩の関係をもう少しゆるくしたらよいと思う。年が1つ、2つちがうだけで対等な友達、対等な存在になれないのは、人間関係、友達関係をつくる上で損していると思う。学生時代だけでなく、会社に入った後も、話し合いがしやすくなると思う。（先輩、後輩の上下関係がきつい場合、対等な意見交換があまりできないので）

効率的なまちづくりができていて（人がある程度まとまった地域で暮らす体制づくり）

娯楽施設（ボウリング場・映画館）、歩道を広くしてほしい。街灯を増やす。

交通インフラへの投資（整備）

病院の受診のしやすさ（距離、診察時間など）。

冬の雪かきが大変なので、年をとったら更に大変になるなあと不安です。冬期間定額で雪かき代行をお願いできるような仕組みがあればと思います。また屋内で遊べる子供向け（家族連れ）の施設が少ないのもっとあったらいいなと思います。

子供が遊べる場所があったら良い（休日に過ごせる場所）

老人が多く子どもが少ない。若い人もいなくなるので地域活動もままならない。若い人が子育てをしながら暮らしていけるスーパーや集まれる所があると良いなと思います。

近所にコンビニがあったら良いなと思います。

無料の大学

道路がせまい。

子供に優しい環境、施設が増えてほしい。

映画館

コストコがあったらいいなあとと思います。

もっと道幅が広い道路が増えたらいいと思う。

ブランド店や、流行りのお店が増えたらいいと思う。

コストコやIKEA等大型店舗が増えたらいいと思う。

同世代～下の世代（若者）の流出の大きな原因は賃金の低さとアパートメントやマンションの家賃の高さにあります。岩手県は面積が広く、私の居住地沿岸は都会からの交通アクセスもよくない土地でありながら、賃貸物件の家賃は都心と変わらないような値であるところも多いです。また、医療関係もひっ迫している所が多く、地方の病院では少ない人数でまわっているけれど、それでもまわらず患者やその家族から苦言を呈されているのが見受けられます。この現状を細かく世代問わず県民が把握するべきだと思います。

子どもがあそぶ場所がないので、子どもたちがあそべる施設・ショッピングできる場所があったらいい。空き家が無くなったらい。

どの地域もだと思うが、少子高齢化で周りにいるのは年齢層高め。自分の経験や考え方が固執していて、その考えをおとつけられることがある。物事を柔難に考えたり、前向きに将来のことを話したり、新しい考え方を取り入れることや学ぶなどコミュニティーに参加し続け「独り」にならない時間作りが必要だと思う。

涼しい屋内で子供が遊べる場所（体を動かせる施設）キャッシュレス還元やプレミアム商品券などの実施
夏の祭り、24時間営業の飲食店・スーパー等

町内会など強制的に参加しなければならない行事が多く、意見を述べても話を聞いていただけません。ゴミは自宅の前に出すようにすれば、違反ゴミが減ると思います。

賃金の引上げ。

自然が豊かなところが好きなので、マンションとかを建てないで、変わらないでほしい。

子どもを預けるサポートがもっとできたら良い

中学校のランチボックスが小学校の頃のようなおいしい給食になればいい。公園が増えてほしい。

ららぽーとがほしい。イオンのようなものではなく、ららぽーとのようなしせつがほしい。えきまえがさみしい。学生向けの自習スペース。

こどもを中心としたまちづくり

行政による中小企業の研究開発支援。条例による、飲酒運転、無免許運転のハード的対策

自治会などなくしても、近所づきあいが続くといいと思います。自治会の中でも、よけいなことを言って、こじれるのが見えていて、つかれます。

働く環境が少ない。子供のあそび場（特に0才児）の充実。

若い人達が、農作業しやすい、環境があったら、家族以外に土地を、たがやしてくれたらいいと思う。自然ゆたかな所は、うしないたくない。

若者向けの施設やショッピングできる所が少なすぎるのでそこが改善されたらなと思います。

もう少し子供を遊ばせることができる場所（無料で使える）や、公園があったらいいと思っている

スーパーやＬＯＦＴなど都会にあるものが少し入ればいいな。子育てに充実した設備は絶対ほしい！！奥州市には、お産ができる施設がないから！

産婦人科のある病院がほしい

駅前ににぎわいが生まれてほしい。

映画館、飲食店、ショッピングセンター

ショッピングモールが欲しい。あそぶところがほしい。

出産できる病院があった方がいい。子どもがあそびに行ける場所が欲しい。子どもを育てやすい手当てや仕組みもつくってほしい

趣味や娯楽が楽しめる所を増やしてほしい。

病院、スーパー、コンビニなど充実させてほしい

ウツつかないで修理などしてくれる、信頼できる電気屋、水道屋があれば良いと思っている

若者が住みやすい地域作り

テーマパーク・ファッションビルなど一日中遊べるところがほしい。子育てにやさしくないので小児科・産婦人科がもっと必要。公園も。パチンコとドラッグストアが多すぎる。除雪の回数・やる場所を倍以上に増やしてほしい。

子育てしやすい環境（遊び場の整備など）野球で盛り上がった市なので、野球で盛り上がればよい。

産婦人科の設置・子供の遊び場・公園の設置

サービス業に従事していますが市の主要産業である製造業との賃金格差に苦しんでいます。土・日・祝・深夜も勤務がありますが製造業の賃金には到底追いつくことは不会です。業種最低賃金の設定や中小企業への賃上げ補助を求めます。

子供が遊べる屋内施設・24時間保育施設

保育園は、親のリフレッシュのためにも預けられる様になればいいと思う。（預けやすくなればいいと思う。）

保育士や学童で働く職員の給料、もしくは、手当てをあげる。

JR（水沢駅）でスイカを使用できるようにして欲しい。ショッピングモールで出来れば良いと思う

若者が減ってきているにもかかわらず、祭りや古くからの行事は従来通りでは若い人の負担が増えるだけで誰もやりたがらなくなっていく。時代に合わせたやり方（縮小等）も必要。

室内の子供の遊び場がもっとあると助かる。

地域に新しく住宅地がたくさんできて、子供が増えたため学校の生徒が増え、荒れやすくなっているので安心して通わせられる環境にしてほしい。

遊べる所がほしい

動物の保護の支援

公共交通機関の本数増加や路線拡充

バスが沢山走ればよい

便利な交通網

家が増えていくのに学童は増えず、小学生の子供が1人ではなく、すごせる場所がもっとほしい

リサイクルごみの回収日を増やす。公共交通機関の本数が増える

娯楽施設、交通機関の充実

若い人がもっと住んでくれたら良い。

イオン。トップバリュ。個人店の情報発信（営業時間、定休日など）シャッター街の利用。無料で貸すという話も契約が面倒とかでハードル高い

スタバがあったらいいと思う。

公共交通や社会インフラが残り、高齢者や子どもでも暮らしやすい社会となればよい。

アパートの数が増えるといい。町中の駐車場があるといい。在宅ワークの仕事が増えるといい。

近所付き合いの簡潔さ。

自治体にまかせず、市町村で管理運営してもらえたらいいなと思う子どものおつかい見守りサービス

やりたい仕事は別地域にあり、ここにはない場合、遠くに住んでいてもその仕事に就くことができる仕組の充実。（リモートワーク、一定期間の滞在費補助一定期間の滞在所）家庭の事情で仕事を辞めず、暮らし方を変えられる、広がる。

矢巾町にあるやはパークのような赤ちゃん～子どもまで遊べる施設が各地域にあると子育て世代は助かる
バスや電車の路線網を観光客にも分かりやすいものと利用者も増えると思う

家の近辺、徒走圏内に子供が遊べる公園等がない。

最寄りのスーパーが、夕方帰宅ラッシュの時間で車が渋滞していて行きにくい。

これ以上住宅が増えないでほしい。

電車と新幹線の駅の一体化

坂道等のロードヒーティングを坂の途中までではなく、始まりと終わりの前後200メートルくらいまで区間延長

移動手段が増えるといい。

市外に出なくても、十分な買い物ができるようになると良い。（雑貨、コスメ）

指定のゴミ袋がない方がいい。・イオンを大きくしてほしい。

道路に外灯などをふやしてほしい

子どもが無料で遊べる大型施設・コストコ

教育、子育て分野にもっとお金を投じてほしい。若い人の流出を止める何かがほしい。自治体に婚活を支援してほしい。

筋トレできる施設がもっと増えたらいいと思います。→健康でいられる寿命が延びて地域の人達も活力が満ちてくる。→病気にかかりにくくなり、診察に来る人が少なくなり混雑を緩和する事ができる。

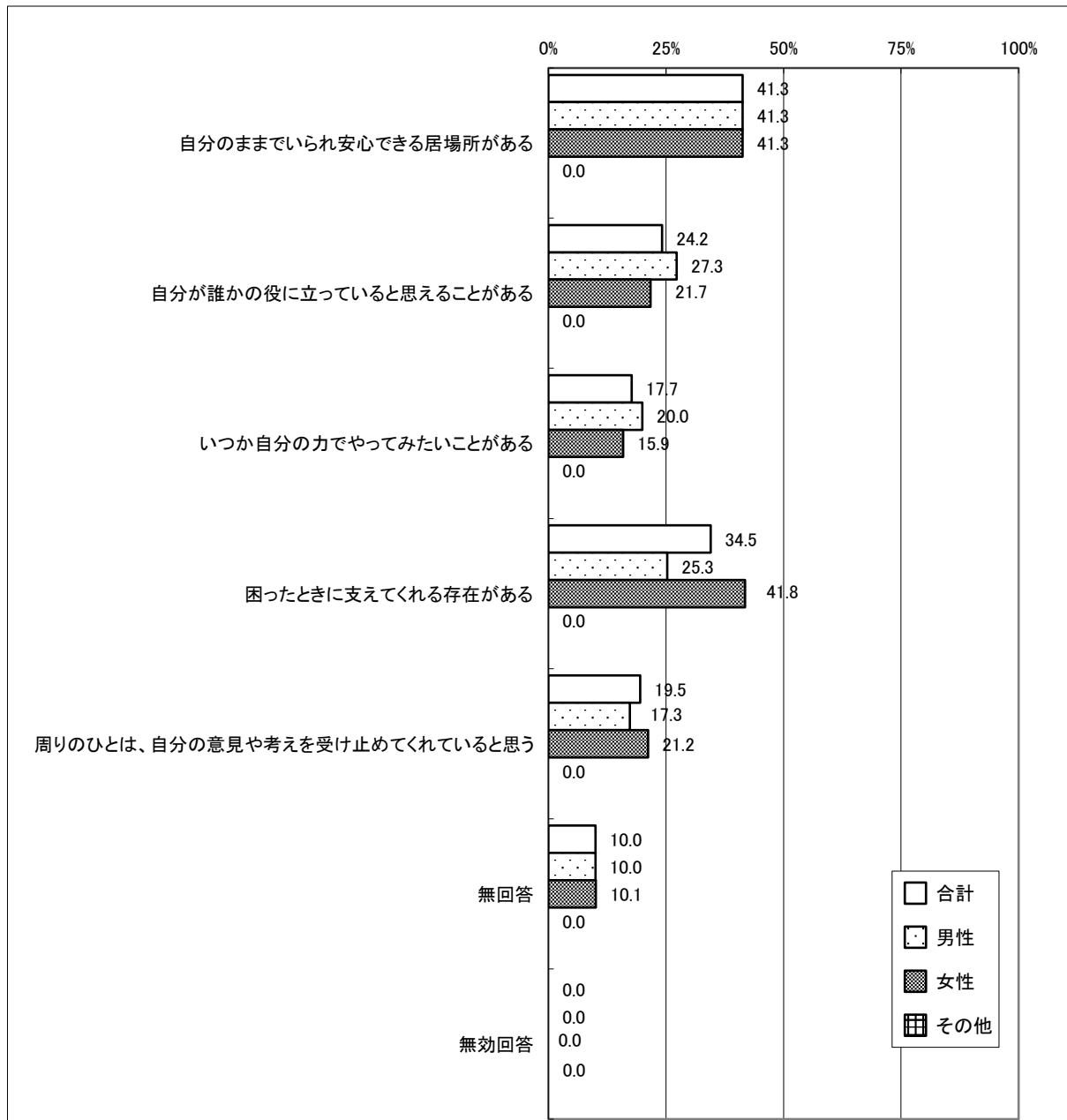
電車・バス等の交通が整備されて、気軽に行き来できるようになってほしい。

自転車のマナーが良くなるように、道路の整備を充実してほしいです。
未就学児が遊べる場所が増えたら良い。天候に左右されない室内の遊び場
車社会なので、もっと道路の整備がされたい。
駅前を良くしてほしい。お店が少ないので駅チカなどふやしてほしい。スーパー、カフェ、本店等…
若者が仕事の後に活動できる場。趣味や習い事などの場。（ハードもソフトも）
保育園に入園できない子育て世帯が子供をつれていって働ける職場があったらいい。障害をもっている人が
働ける環境（場所、事業所）が増えてほしい。子供が帰りたくないと言うくらい夢中で遊べる場所があっ
たらいい。（こどもの森のような施設）
鳥のフンが歩道に沢山あり、歩きづらいので減してほしい。
子どもも大人も老人も集まれるキレイな室内w i f i がつながっている。読書をしたり、学習したりゆっく
りすごせる多目的施設。食堂？カフェ？キッチンカーとかも来て食事もできて1日ゆっくりすごせる場所
サードスペース的なところ
有害駆除をもっと積極的に行ってほしい（シカ、クマ等）農作物以外の被害を軽視しているように感じるた
め。
もっと子供の遊べるゆうぐをふやしてほしい。お年寄の住みやすい環境、施設以外での居場所も作ってあげ
てほしい。
病院の先生をふやしてほしい。遊ぶ所をふやしてほしい。大きな店を増してほしい。
産科、D Xの強化
レジャー（釣りやキャンプなど）が楽しめる場所が増えたら良いと思う
交通の利便性、都市化、観光地化、民度の引き上げ、人事生産性の向上
地下鉄を作してほしい。冬の時期、各所にロードヒーティングをつけてほしい。道路の白線が消えている各
所が多い気がするためなおしてほしい。
子どもが無料で遊べる所をもっとふやしてほしい。
出産や育児がしやすい支援が増えてほしい。（支援センターの拡充や土日運営、産後ケアの充実、相談でき
る機関の選択肢を増やすなど）
20代～30代の子育て世代との交流の場がほしい。同世代の知合いがいなくて、心細い。
結婚、子育てに対しての支援が増えてほしい。大型のショッピングモール、複合施設が1つはほしい。ア
パートの数を増やしてほしい。
地域の農業などの経済も県内でまかなえるようにする
職場女性の働きやすい。やりがいのある
もっと遊べる場所があれば嬉しいです。いつも遊びに行く場所なくてこまっています。
店等の拡充。・地域ならではの特典
子どもが自由に遊べる施設を増やしてほしい（小学生以上も利用できる）様々な分野での施策や助成
労働力人口が減っているなか、県外への流失など考えるべき
小児科、眼科、皮膚科を増やす
商業施設が増えると暮らしやすく娯楽もあっていい。ゴミ袋無料だとうれしい。
歩道の段差なくしてほしい

※内容は、誤字を含め可能な限り 原本の表記に従った。

問12 あなたは、地域社会の一員としての自分についてどう感じていますか。
 次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

青年(学生)が地域社会の一員としての自分に感じていることは「自分のままでいられ安心できる居場所がある」(41.3%)の割合が最も高く、次いで「困ったときに支えてくれる存在がある」(34.5%)、「自分が誰かの役に立っていると思えることがある」(24.2%)と続く。
 男女別にみると、「自分のままでいられ安心できる居場所がある」と回答した男性(41.3%)と女性(41.3%)で、同じ割合である。
 一方「困ったときに支えてくれる存在がある」と回答した男性(25.3%)と女性(41.8%)は、女性の方が16.5ポイント高い。



問13 あなたが、今、自分や、住んでいる地域のためにやってみたいこと、チャレンジしてみたいことがあったら教えてください。(自由記載)

(内容)

地域で行われているお祭りなどに参加したい

住んでいる地域のことを、今よりも知る努力をする

年配の方も多く、一人暮らしの方も多いので食事の宅配、安否確認、生活しているの不便な事を手伝うなど

地域のために貢献できる仕事に就きたい。

子供たちが遊べる、集まれる施設を作ってみたい。(屋外にスケボー施設、公園等屋内に本屋、屋内スポーツ施設等)

遊休農地を利用した、小規模な家庭菜園

地域内で経済循環できるような仕組みづくりや消費をしたいと思います。

手に職をつけたい。資格取得。その上で、自分の出来ることで、地域に貢献したい。

自営

鳥獣被害対策

楽器専門店で、自身の音楽の知識を役立てたい。音楽を専門にして働きたい。

大きなプロジェクトに携わりたい。駅を大きくしたい。

おまつり主催

出産を機に退職したので、看護師の仕事に復帰したい。自分のために仕事がしたい。

いわて若者カフェで、県内のいろいろなジャンルの若者をごちゃまぜにして集まるイベントの開催

ボランティア

今の仕事をしっかり行う。

音楽フェスの開催

スポーツを通じての元氣配信。

おしゃれなカフェやかわいいお店を探したい。

消防団に入る

子ども食堂の運営

子供達が安心してのびのびと生活できるようにすること

子供のためのイベントがあったら協力したい

仕事のスキルアップ

私はダンススクールを運営しているので、老若男女問わず、1つの作品を作ってみたい。

料理やお菓子教室

障がいや病気のある人のきょうだい支援(兄弟姉妹)なかなか外出できなかったり、経験が少ないと思うので、外出(旅行)してみたい。

高齢の方の手伝い、農作業など

イベントに積極的に参加する。

地域が盛り上がるイベントを考えてみたい。

空き家や空き地を活用してのサウナ事業。地域のコミュニティの活性化の場として、若者の居場所づくりとしても、活用されるような事業ができないか検討している。

空き屋改革1人親がもっとよりよく安心してらせるような制度

地域事業を推進する人への支援

ケーキ屋で働きたい

教師となって、地域の教育水準の向上に努めたい。

障害者を理解(受け入れ)していただけるように、積極的に外に出ていくこと。

子供や老人、障害の人達でも暮らしやすい街づくり

筋トレをしているがもっと多くの人が健康のために取り組むべき。そして取り組める環境を作らなければいけないと思う
適度な運動。

まつりの参加・ごみ拾い、くさとの参加

動物の殺処分を減らすための活動をする。

町の魅力発信

文化の担い手、継承、一員となる。

イベント運営のボランティア、留学生の語学・生活支援(子供が大きくなったらやりたいです)

子供向けのイベント企画。

うちは畑が余っているのでヒマワリを植えてヒマワリ畑を作り地域の方に見てもらいたいなあと思います。

観光・就労で外国人の方が昔より多くなったように感じます。(欧米・ベトナム・ミャンマー・インドネシア等)自分の住む地域のシステムについて理解してもらえるよう少しづつでも言葉を覚えていきたいです。

地域住民で育てる畑

問11にも記載したことから言うと、一つの目的に楽しく学びながら参加できる。誰にでも老いはくるので、健康で長く楽しく生きる学びや年齢関係なく体験できるワークショップのようなことで定期的に行う。地域でそのような取り組みやそれを行う場を借りる時には、借用費用は市町村の助成があるような制度作りをお願いしたい。

子どものために自主的にパトロールしたり、放課後など安全に遊べる場所を確保していきたいと思います。

ヨガやストレッチ講師

草むしり。SNS発信

若者が集まるカフェや親子が楽しめるお店をつくりたい。

駅通りの活性化

子どもが暮らしやすい場所にしたい。

地域の活動等にはできる限り

子育てイベントやひろばを活用して、地域と関わりを持ちたい。

猫保護団体への支援など

有害鳥獣駆除

管理栄養士なので、健康相談会や、健康についての講習会健康セミナーはご年配の方の参加率がいいが、若者や現役世代の方はなかなか参加されないので、企業と協力したり、興味がわきそうな内容を取り扱って、早いうちから健康を意識してほしい。

マルシェとか、いろいろな人と話できるようなイベント

地域のゴミ拾い、草とり・田植えを手伝いたい。

力仕事・家電の取付。照明の設置等。(電工2種を持っている為)

地域の伝統芸能がなくならないよう、積極的に参加していきたい。伝統に対する決まりやしきたり等ありますが、今の時代に合わせ、若者が参加しやすいようにしたい。

お年寄が集まれる場所(喫茶店のような)の提供。独身者が多いので男女の出会いのサポート。

人間関係、もっと気を使わなくても住みやすい社会、ふんいきを作っていきたい。

最近、引越しをした為、現在の住まい地域について知っていきたい。

DXの推進

住んでいる地域で採れた野菜を積極的に購入し、地域の食や文化への理解を深めたい。

ハンバーガーショップをやりたい。

1人暮らし

ハンドメイドアクセサリーを作っているの、マルシェを開いてみたい。

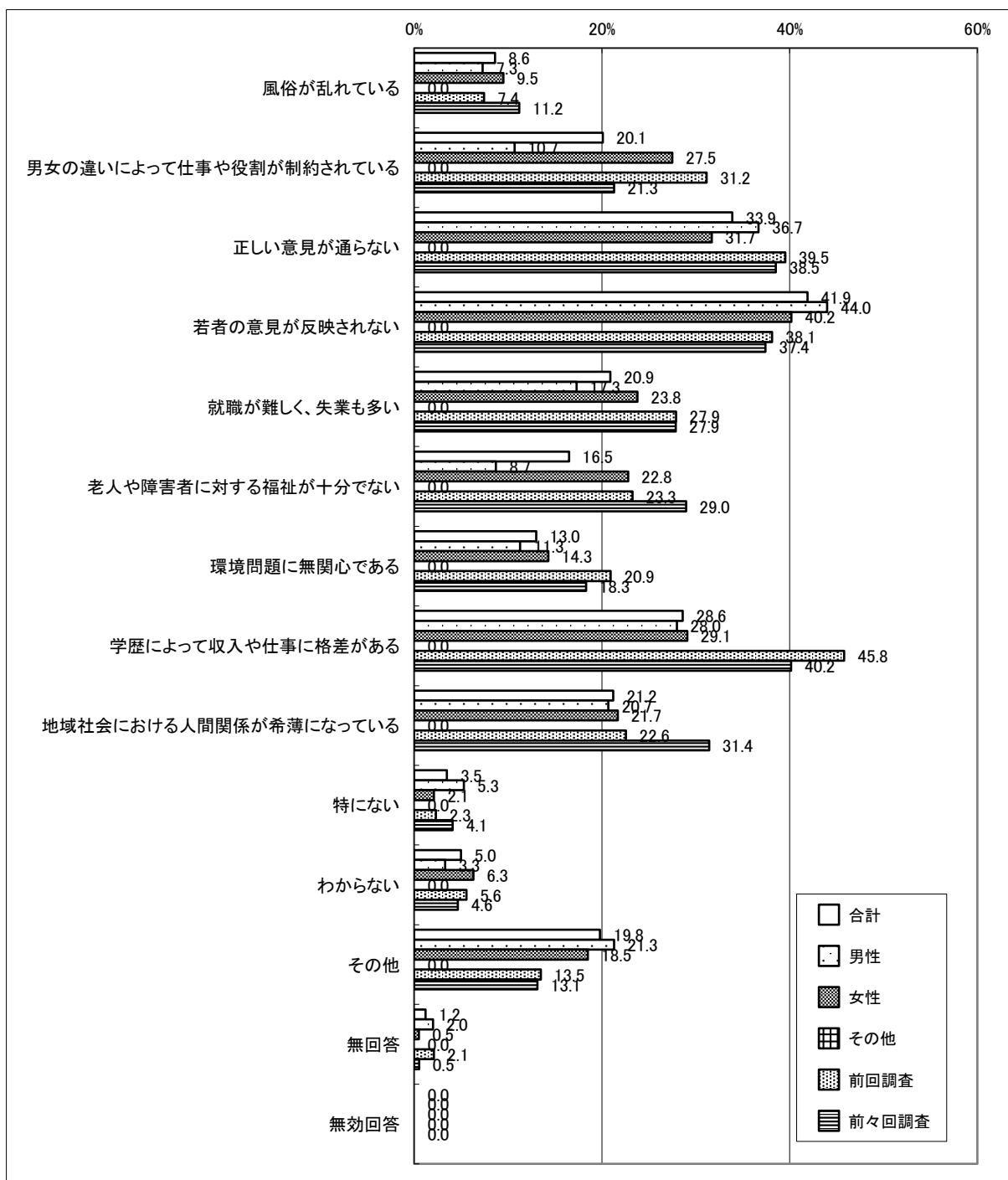
※内容は、誤字を含め可能な限り 原本の表記に従った。

5 社会問題や行動、行為に対する価値観・考え

問14 あなたは、どのようなことが日本の社会で問題だと思いますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

青年が考える日本の社会の問題は「若者の意見が反映されない」（41.9%）の割合が最も高く、次いで「正しい意見が通らない」（33.9%）、「学歴によって収入や仕事に格差がある」（28.6%）と続く。

前回調査と比較して最も差が大きかったのは、「学歴によって収入や仕事に格差がある」（28.6%）であり、前回調査（45.8%）より17.2ポイント減少した。一方「その他」（19.8%）は、前回（13.5%）より6.3ポイント増加した。男女別にみると、最も差が大きかったのは「男女の違いによって仕事や役割が制約されている」であり、男性（10.7%）と女性（27.5%）では、女性の方が16.8ポイント高い。次いで「老人や障害者に対する福祉が十分でない」で、男性（8.7%）と女性（22.8%）で、女性の方が14.1ポイント高くなっている。



「その他」の内訳

・地域格差があること	1
・政治家の腐敗。	1
・職業の〇〇不足(保育士等)働き方改革とともなわない業務力、人手不足サービス、仕事業務へ求める部分の線引きがあいまい	1
・悲観的すぎる。日本は暮らしづらい？経済が冷えこんでいる？自分はあまりそう思わない。	
・GDP4位は十分すごいと思う。・スポーツは、どの競技も世界でメダルを取ったり、上位に入賞できている。	1
・災害が多くても、みんなで協力して助け合っている。・政治家もそれなりに頑張っていると思う。	
・政府の私物化	1
・子育て支援が不十分	1
・低賃金、人口減少	1
・物価高	1
・若者の給料が低く、結婚や出産に対してもはや安心できない。(子供の授業料無償化等の支援がないため。)	1
・地域格差、少子高齢化	1
・若者の貧困	1
・給料が上がらない。若者がチャレンジする心の余裕がない。	1
・給料が年々アップしているのに、扶養103万…。かわらないよね。社保全員にしてたら、店潰れるよね。	1
・移民問題	1
・上の世代が子どもや若い世代への関心がない(いくら選挙行っても若い人の声が届かない)。会社の上層部の人たちが、妊娠～子育てに関する理解が全くない。	1
・効率ばかりが重要視される	
・ルッキズム	1
・インターネットの法整備	1
・国政、国民の事を考えていなさすぎる	1
・政治屋が高齢者ばかり	1
・政治家の問題が多い。(発言や行動)	1
・マイノリティ重視になりすぎて、言ったもの勝ちのような状況になっている。	1
・汚職問題(議員等)	1
・賃金が少ない	1
・政界のポンコツさ。	1
・1は若年層について気になる	1
・税金の使い方、借金が多い	1
・人口減少、競争力の低下、税負担率	1
・昭和生まれの考えが固い。柔軟じゃない。完全週休2日の普及	1
・経済が低滞している。若者の官僚離れによる優秀な人材が行政政策から離れてしまうこと、企業から、雇用者に利益が還元されないこと等。経済対策	1
・発達障害者に対しての理解と支援が足りない。	1
・若者が政治家になるべき	1
・動物愛護のレベルの低さ。	1
・政治の不安定	1
・税金の使い道、取捨選択が必要。	1
・裏金問題	1
・自己中心的な考えの人が多く、また、他責でしか考えられない人口が増えていること。	1
・子育て支援がもっと必要	1
・いろんなものが値上がりする一方で(消費税・増税も含めて)何も改善されていないこと。	1
・文章の読解を放棄する人間の増加。説明文を最後まで読めない・読まない	1
・物価高、増税などによる生活苦	1
・汚職問題、低賃金	1
・若者の社会保険の充実化	1
・天気がおかしい。	1
・科学研究力の相対的低下、科学研究員が少ない。	1
・老人の優先度が高すぎること！	1
・賃金がやすい	1
・自衛隊の皆さんに守ってもらっておきながら、自衛隊の活動に関心がなかったり、排除しようという運動をされているので、今一度自衛隊に関する認識を改めた方が良いと思う	1
・外国人(ウクライナや難民、移住者)に対して、日本は甘すぎる	
・政治に国民が無関心すぎる	1
・防衛力強化を推進しなければならないが、議論をさせようとしなないマスコミが権力を持ちすぎている。	1
・税金が高い	1
・国民の負担が多い。そのくせ政府は不正が多い。高齢者の運転。事故。高齢者はハードルをもっと高くし、場合によっては免許返納	1
・政治、税の使い方	1
・家族他人への思いやり	1
・外国人にも生活保護を支給している所若者の日本への無関心さ	1
・老人に甘すぎる	1
・地域による賃金の格差	1
・善悪を知らない人が多い。嫌なことがあった時に、人を刺す、殺してしまうという手段に走る人が多い。(自分の思いを自分で消化、がまんできない人が多いように感じる…)	1
・移民問題、多様性への寛容さの強要	1
・老人が若者に対して親切でない	1

・若者の政治への関心無能な政治家	1
・給料があがらない	1
・世界のニュースに目も向けていない	1
・老人ばかり優遇されていていいですね。	1
・経済環境	1
・若い人の負担が大きくなる	1
・政治家	2
合計	67

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問15 あなたは、若者自身が企画し実施するプロジェクトに参加することに関心がありますか。
 次の中から1つ選んで○をつけてください。
 (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

若者自身が企画し実施するプロジェクトに参加することに「関心がある」(15.9%)または「やや関心がある」(35.1%)と回答したもの(以下、『関心がある』)は51.0%であり、「あまり関心がない」(28.9%)または「関心がない」(19.5%)と回答したもの(以下、『関心がない』)は(48.4%)である。

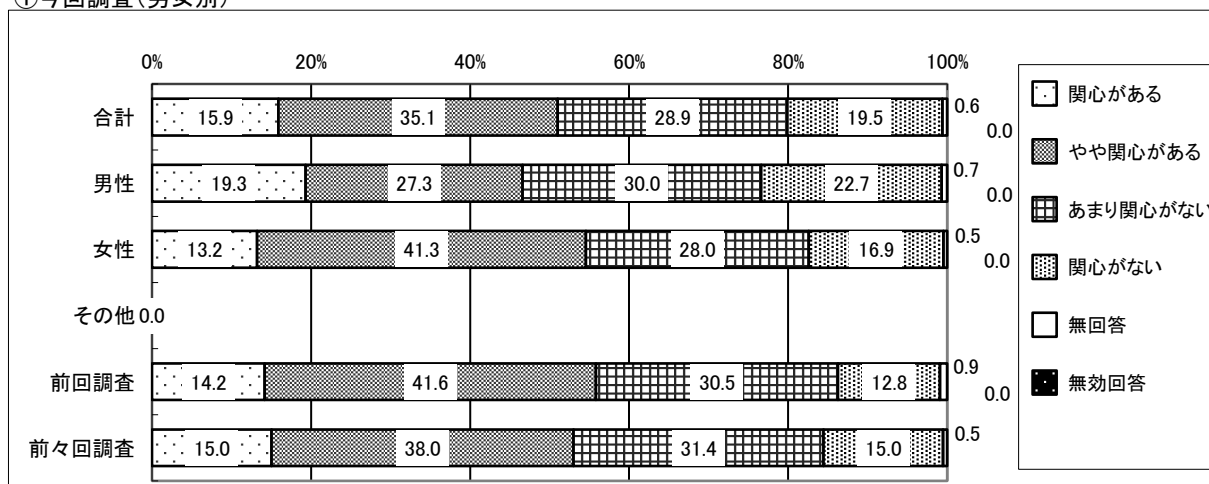
前回調査と比較すると、『関心がある』(51.0%)は前回調査(55.8%)より4.8ポイント低く、『関心がない』(48.4%)は前回調査(43.3%)より5.1ポイント高かった。

男女別にみると、『関心がある』と回答した男性(46.6%)と女性(54.5%)では7.9ポイント女性の方が高い。

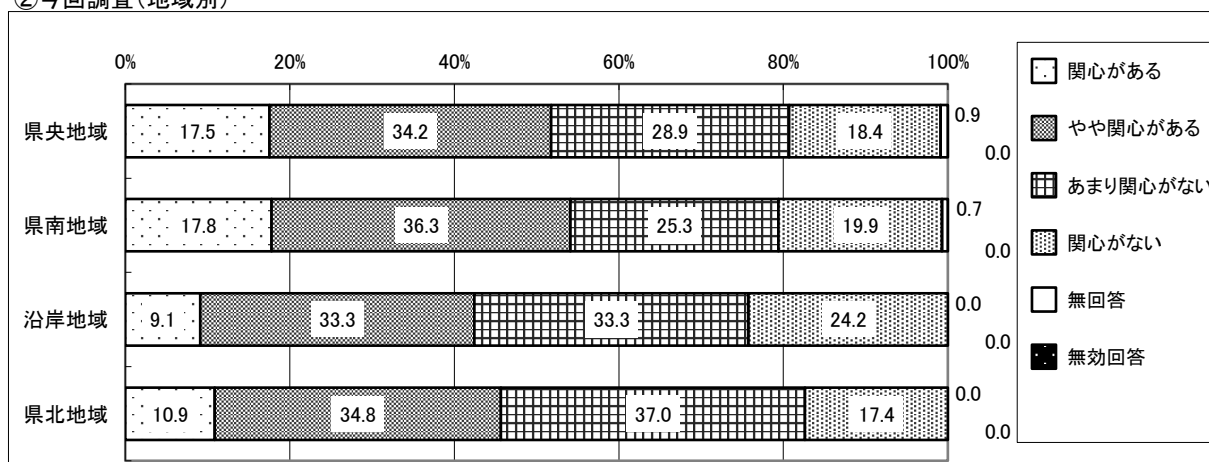
地域別にみると、『関心がある』と回答したものは県南地域(54.1%)が最も高く、次いで、県央地域(51.7%)、県北地域(45.7%)、沿岸地域(42.4%)であり、県南地域と県央地域で半数以上が『関心がある』と回答している。

職業別にみると、『関心がある』と回答したものは、「学生」(66.7%)、「専業主婦・主夫」(62.6%)、自営業(62.5%)、家族従事者(家業の手伝い)(60.0%)と続く。

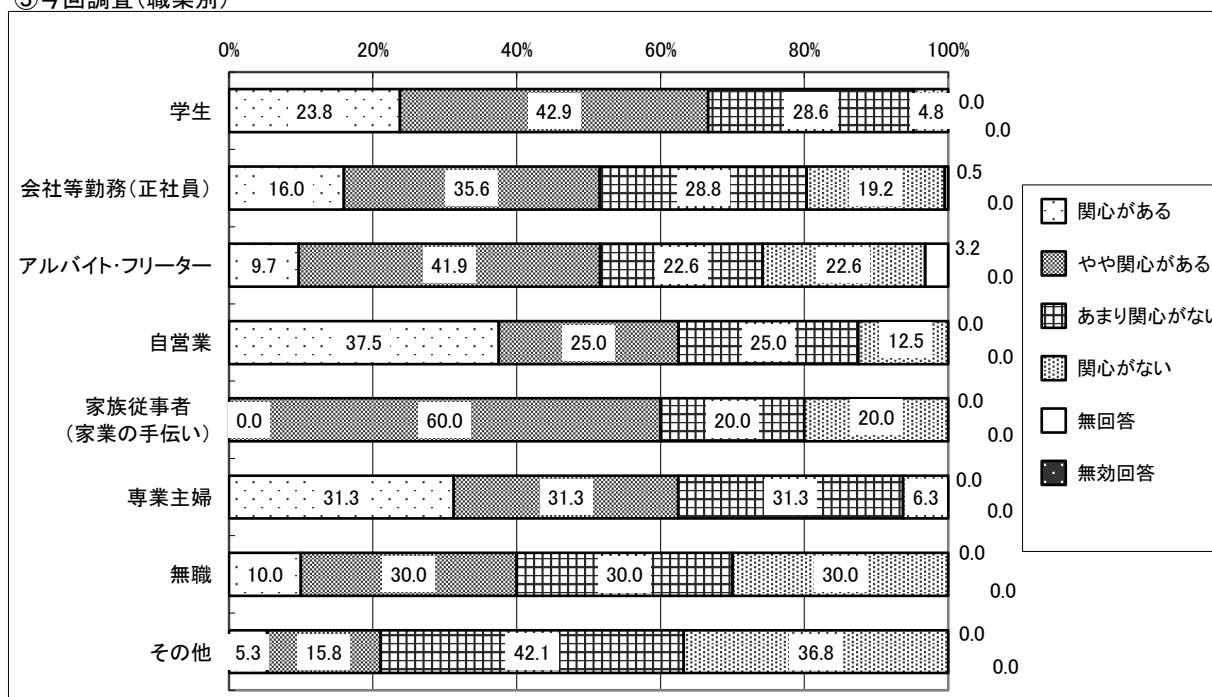
①今回調査(男女別)



②今回調査(地域別)



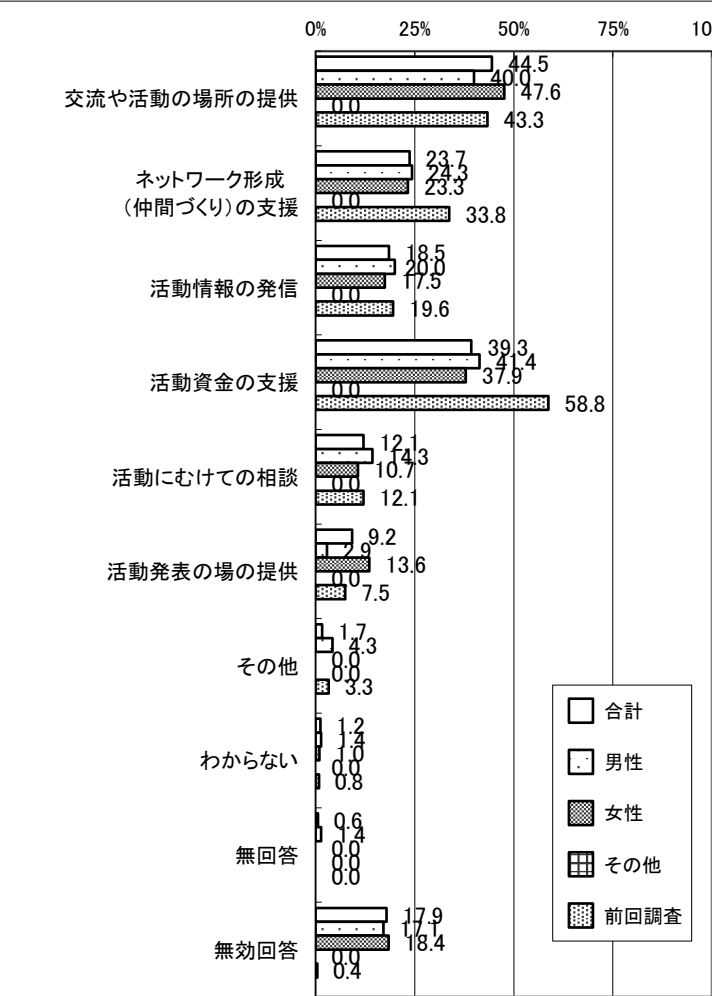
③今回調査(職業別)



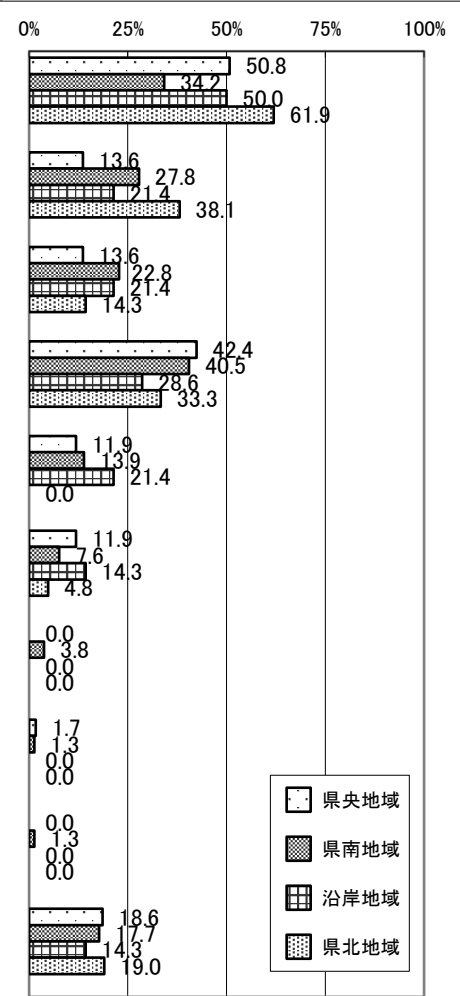
問16 問15で「1関心がある」「2やや関心がある」に○をつけた方にうかがいます。
 若者が主体的に活動を行っていくためには、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の
 中から2つまで選んで○をつけてください。
 (N=173 男性=70 女性=103 その他=0 無回答=0)

行政が注力すべきことは、「交流や活動場所の提供」（44.5%）の割合が最も高く、次いで、「活動資金の支援」（39.3%）、「ネットワーク形成（仲間づくり）の支援」（23.7%）と続く。男女別にみると、「活動発表の場の提供」と回答したものは、男性（2.9%）と女性（13.6%）で、女性の方が10.7ポイント高い。また「交流や活動場所の提供」と回答したのも、男性（40.0%）と女性（47.6%）では、女性の方が7.6ポイント高い。地域別にみると、県南地域を除く全ての地域で「交流や活動場所の提供」と回答した割合が高く、県央地域50.8%、県南地域34.2%、沿岸地域50.0%、県北地域61.9%となっている。

①今回調査(男女別)



②今回調査(地域別)



「その他」の内訳	
・右へ倣えの保守的な仕事ではなく、制度や習慣を改める革新的な仕事をする事。若者が新たな意見を出しても行政担当者が「検討します」、「前例がありません」と言い、物事を進めない傾向があると思う。	1
・行政が支援した活動の評価、支援しただけで終わらない。	1
・わかりやすいメリット	1
合計	3

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問17 あなたが参加したいと思っていることはどのようなことですか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

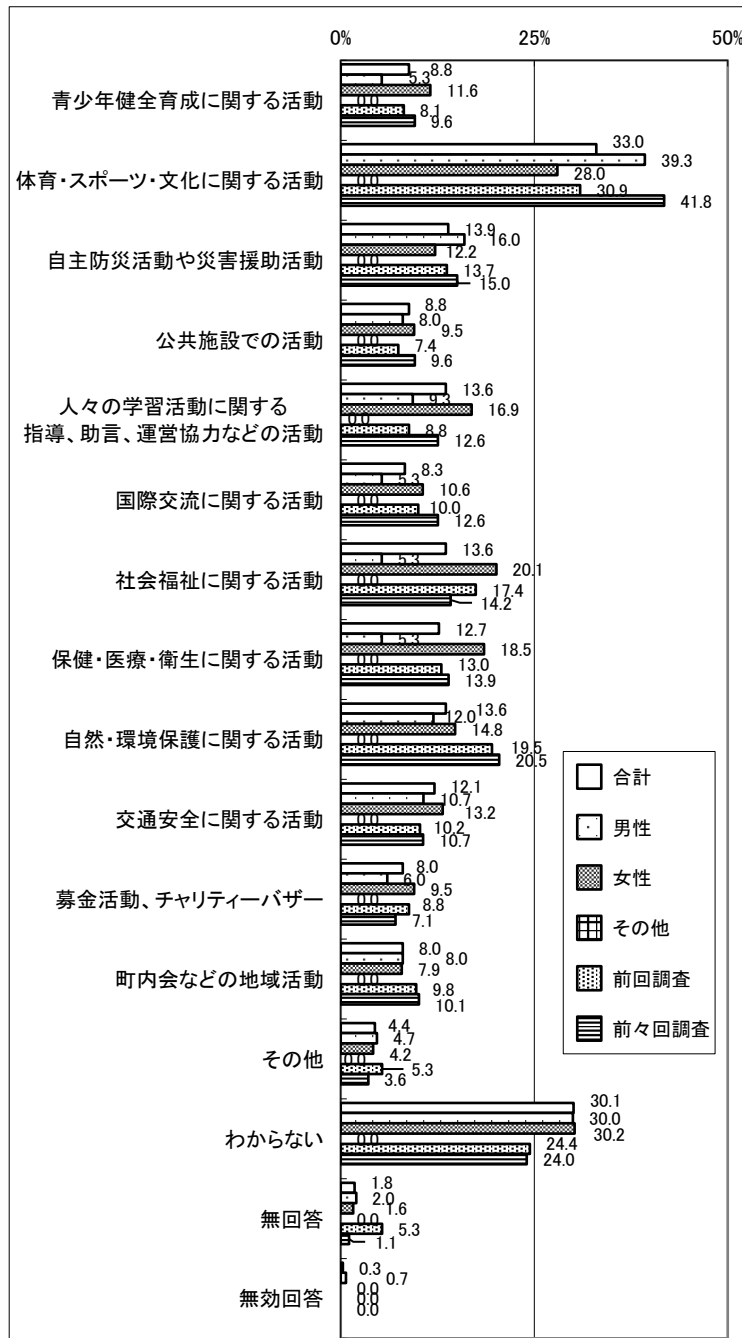
参加したいと思っている活動は「体育・スポーツ・文化に関する活動」(33.0%)の割合が最も高く、次いで、「自主防災活動や災害援助活動」(13.9%)、「社会福祉に関する活動」(13.6%)及び「人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動」(13.6%)、「自然・環境保護に関する活動」(13.6%)と続く。「わからない」と回答したものは30.1%であった。

男女別にみると、「体育・スポーツ・文化に関する活動」(33.0%)は男女ともに最も多い回答であるが、男性(39.3%)と女性(28.0%)では、男性の方が11.3ポイント高い。次いで男女差が大きいものは「社会福祉に関する活動」(13.6%)で、男性(5.3%)と女性(20.1%)では、女性の方が14.8ポイント高い。

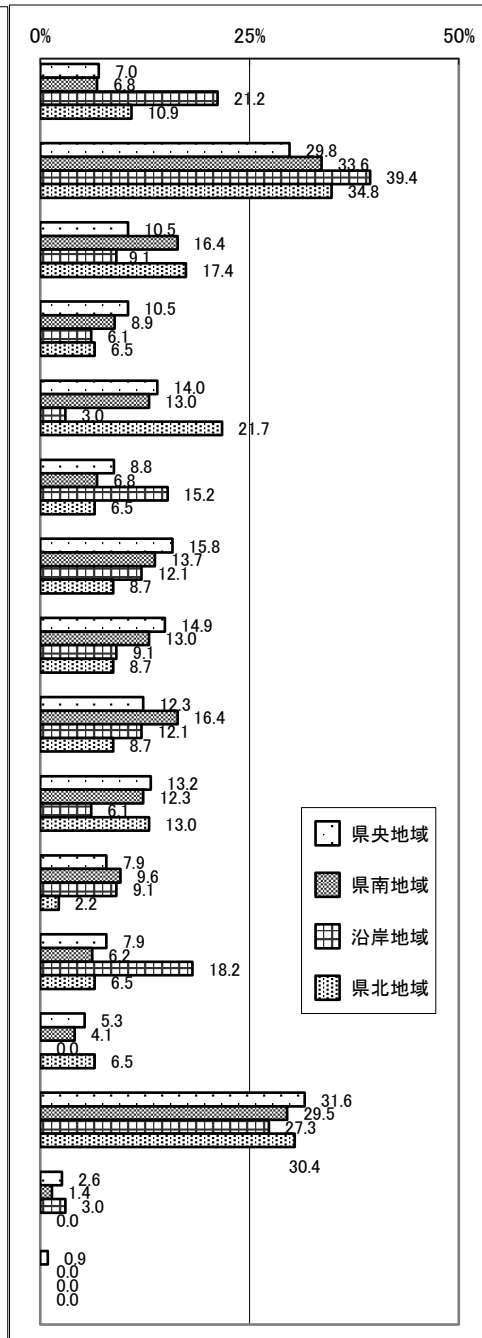
地域別にみると、「体育・スポーツ・文化に関する活動」は県央地域29.8%、県南地域33.6%、沿岸地域39.4%、県北地域34.8%であり、全ての地域で最も回答割合が高かった。

職業別にみると、学生(42.9%)、会社等勤務(37.9%)、自営業(37.5%)では、「体育・スポーツ・文化に関する活動」の割合が最も高い。

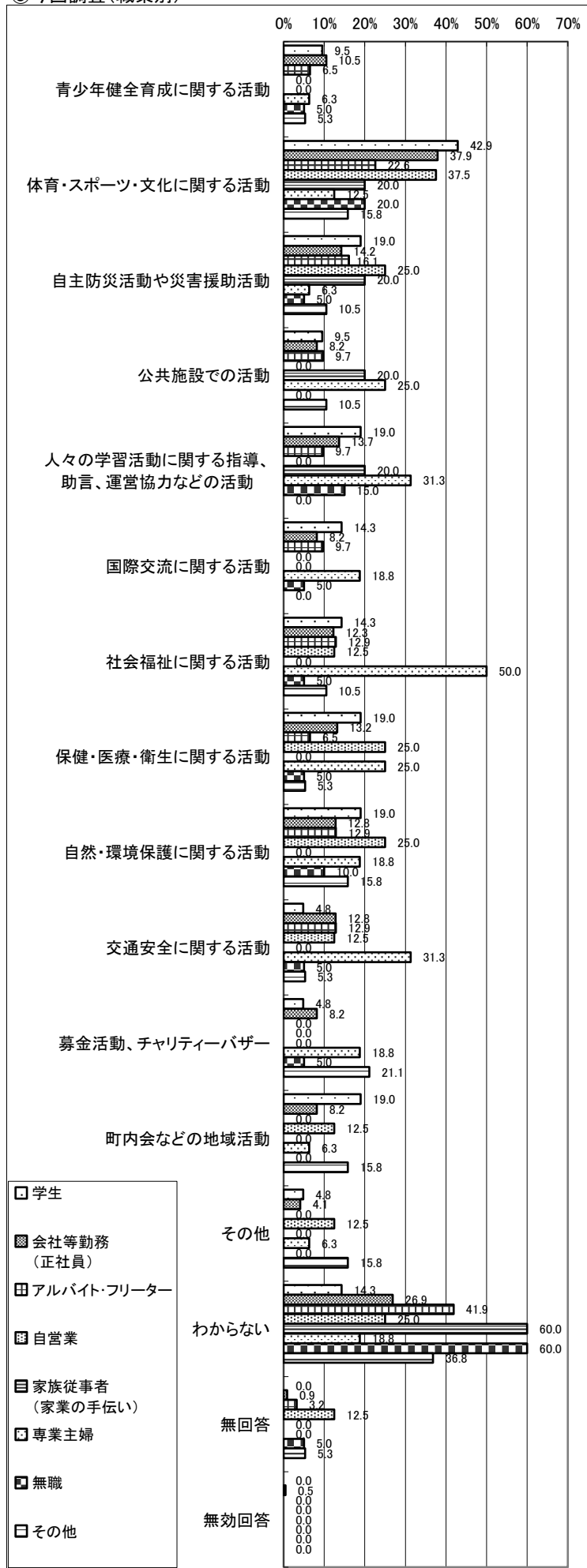
①今回調査(男女別)



②今回調査(地域別)



③今回調査(職業別)



「その他」の内訳

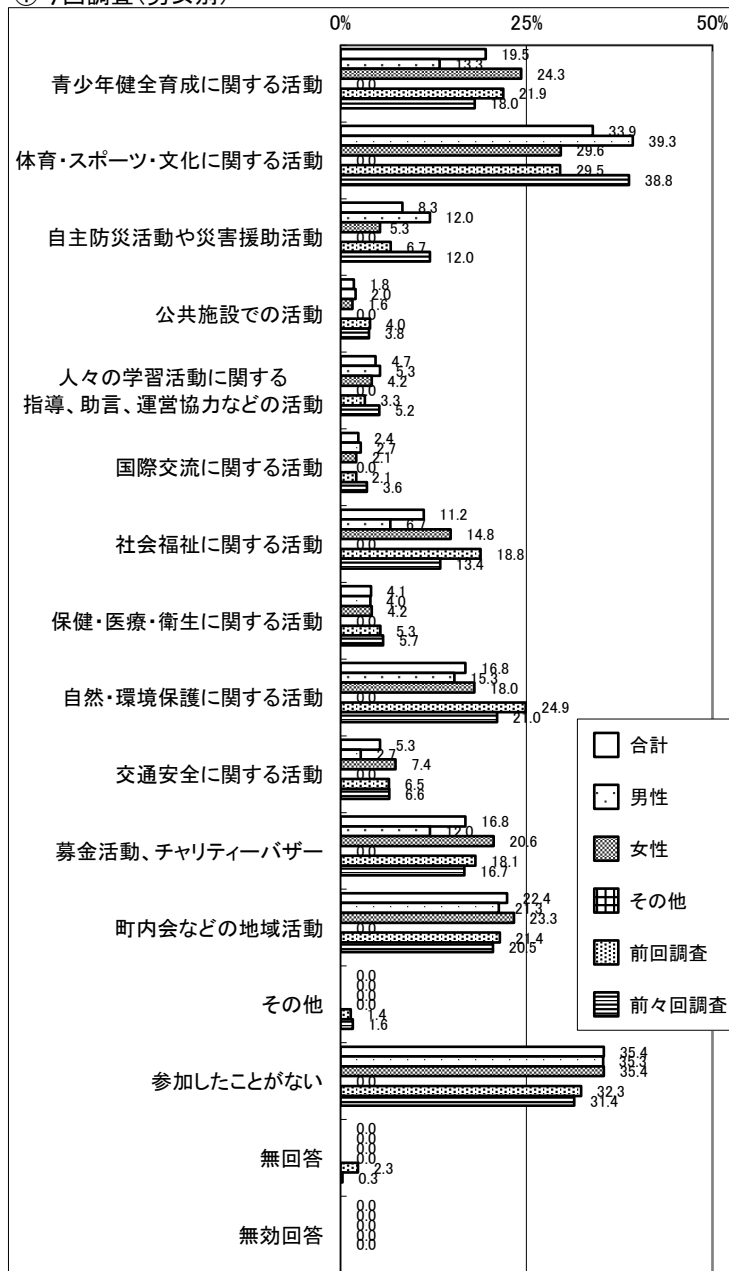
- ・日々の生活や仕事に追われ参加するような気持ちの余裕はない 1
- ・農業支援 1
- ・農業支援、農業体験 1
- ・町内会役員5年目 1
- ・保護犬・猫活動 1
- ・できればどれも参加したくない 1
- ・自分の職や事業を通しての関わりを考えている。子どもの通う園や学校など、現在所属している保護者会等の活動には既に参加しています。 1
- ・動物愛護 1
- ・自分が日々生きることで精一杯(難病と障害) 1
- ・外国人で仕事に來ている人のせんべつ 1
- ・まちづくり 1
- 合計 11

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

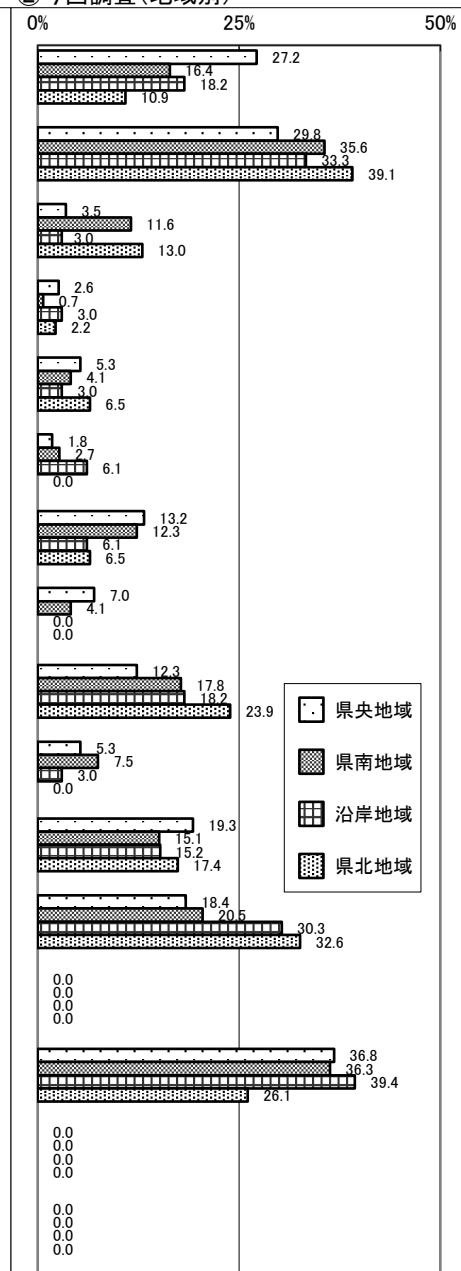
問18 あなたは、次のような活動に参加したことがありますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

参加したことがある活動は「体育・スポーツ・文化に関する活動」(33.9%)の割合が最も高く、次いで「町内会などの地域活動」(22.4%)、「青少年健全育成に関する活動」(19.5%)と続く。「参加したことがない」と回答したものは35.4%である。
男女別でみると、「体育・スポーツ・文化に関する活動」と回答した男性(39.3%)と女性(29.6%)では男性の方が9.7ポイント高く、一方で「募金活動、チャリティーバザー」では、男性(12.0%)と女性(20.6%)では女性の方が8.6ポイント高かった。
地域別でみると、「体育・スポーツ・文化に関する活動」は、県央地域29.8%、県南地域35.6%、沿岸地域33.3%、県北地域39.1%で最も回答割合が高い。最も地域差が大きいのは、「青少年健全育成に関する活動」であり、県央地域(27.2%)と県北地域(10.9%)では16.3ポイント差がある。
職業別にみると、「学生」と「会社等勤務(正社員)」、「自営業」、「家族従事者(家業の手伝い)」では、「体育・スポーツ・文化に関する活動」の回答割合が最も高く、「アルバイト・フリーター」、「専業主婦・主夫」、「無職」では「参加したことがない」の回答割合が高かった。(同割合を含む)

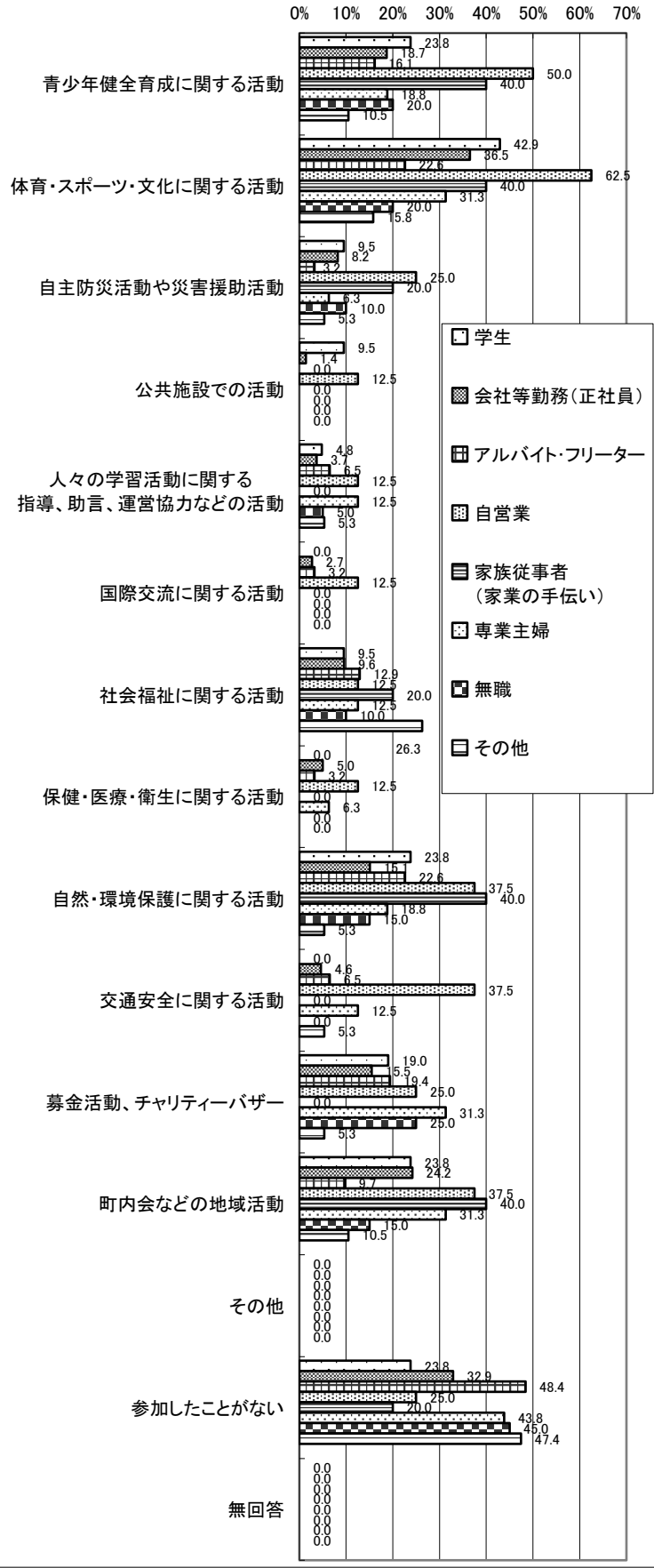
①今回調査(男女別)



②今回調査(地域別)



③今回調査(職業別)



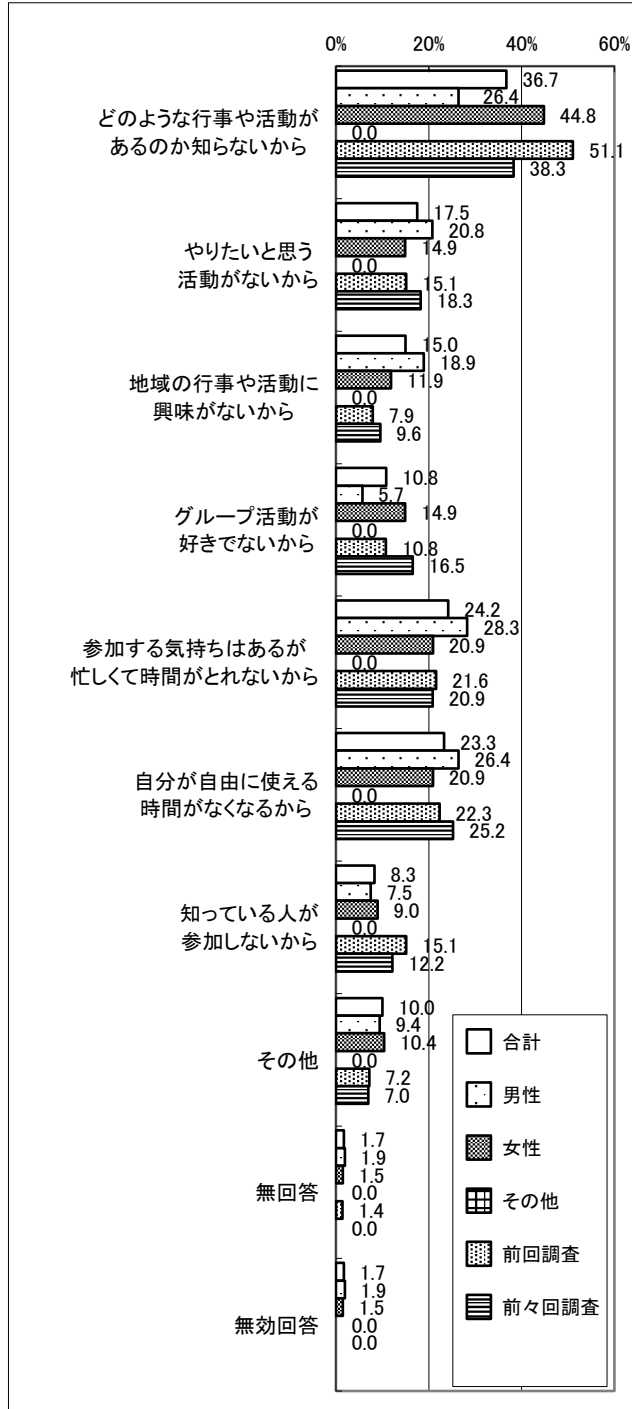
「その他」の内訳
自由回答なし 0
合計 0

※「その他」の内訳は、誤字を含め
可能な限り原本の表記に従った。

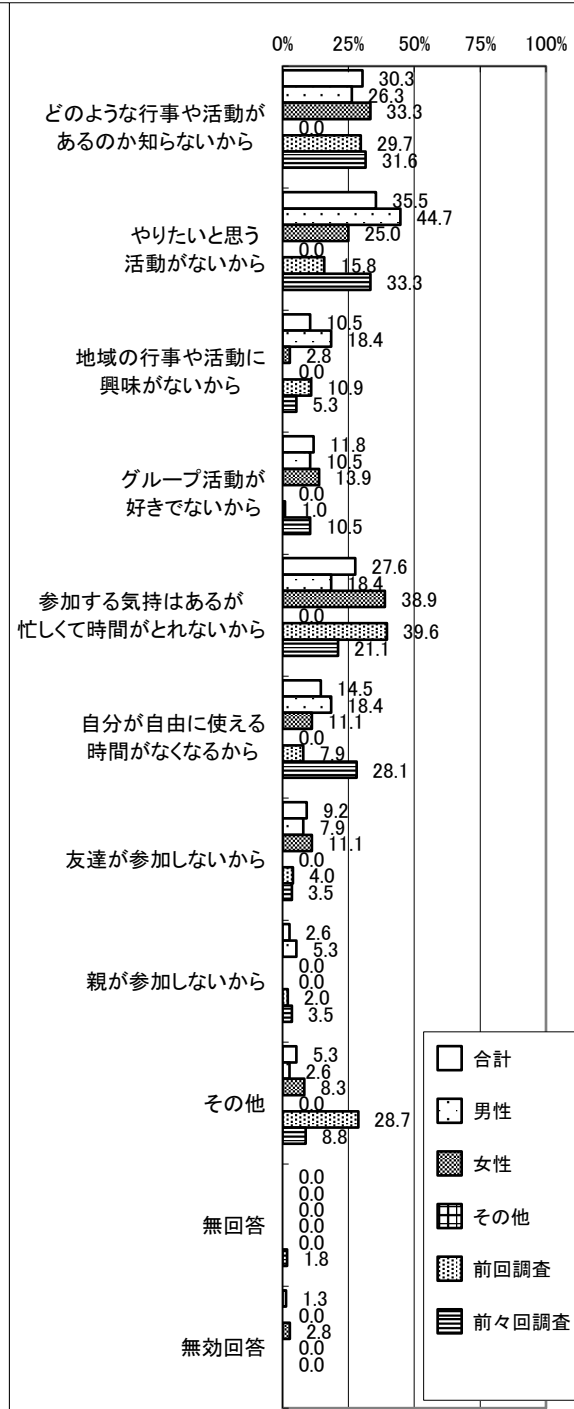
問19 問18で「14参加したことがない」に○をつけた方にうかがいます。参加しなかった理由は何ですか。
次の中からあてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。
(N=120 男性=53 女性=67 その他=0 無回答=0)

活動に参加したことがない理由の割合が最も高いのは「どのような行事や活動があるのか知らないから」(36.7%)であり、次いで「参加する気持ちはあるが忙しくて時間がとれないから」(24.2%)、「自分が自由に使える時間がなくなるから」(23.3%)と続く。
前回調査と比較して最も大きな差があったのは「どのような行事や活動があるのか知らないから」(36.7%)であり、前回調査(51.1%)より14.4ポイント減少している。
男女別でみると、「どのような行事や活動があるのか知らないから」と回答した男性(26.4%)と女性(44.8%)では、女性の方が18.4ポイント高かった。
少年に対する調査と比較すると、最も差があるのは「やりたいと思う活動がないから」と回答したもので青年(17.5%)と少年(35.5%)では、少年の方が18.0ポイント高かった。

①今回調査



②少年の今回調査



「その他」の内訳	
・機会がないから	1
・学業とバイトで忙しいから。	1
・今の地域に引越して間もないから	1
・一昨年引越してきたばかり	1
・つき合いがわずらわしい為。	1
・仕事で忙しい	1
・体に障害があり活動が制限されているため	1
・病気のため参加できない。	1
・昨年度から岩手県に引っ越してきたため、参加のきっかけがない。	1
・そもそも地域の役割を担って決めたりしているのが50代から上の人だから、父親世代にようやくバトンが渡ったところです。上記活動の話なんか回ってくるわけないです。じじい共が死ぬのが遅いから。	1
・どうしたら良いのか分からないから	1
・時間がない。自分が自由に使える時間がなくなるからに近い。	1
合計	12

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

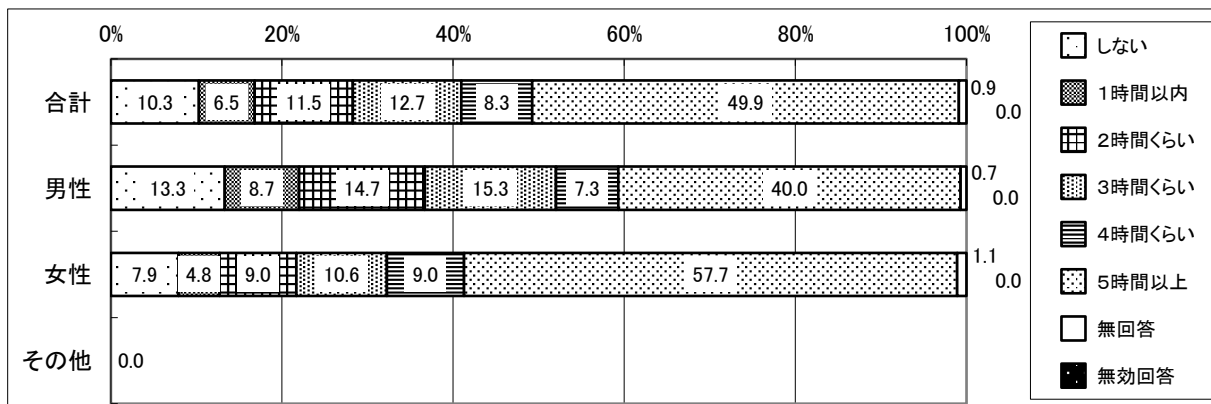
6 生活時間の使い方

問20 あなたは、休日にどのように過ごしていますか。
1日あたりの平均時間に近いものを、次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

(1) 家族と一緒に過ごす(リビングで過ごす、食事をとる、外出する、など)

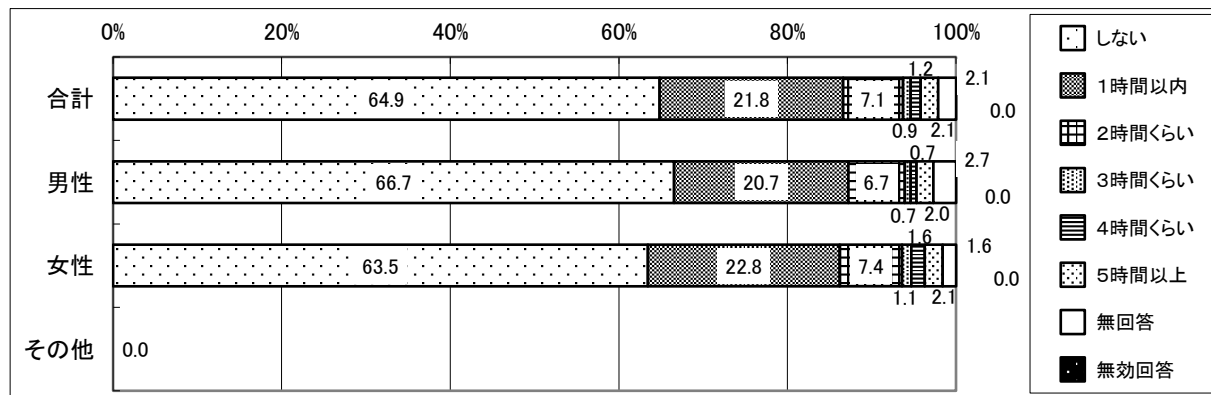
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

家族と一緒に過ごすで、最も割合が高かったのは、「5時間以上」で49.9%である。
男女別でみると、「5時間以上」と回答した男性(40.0%)と女性(57.7%)では、女性の方が17.7ポイント高かった。



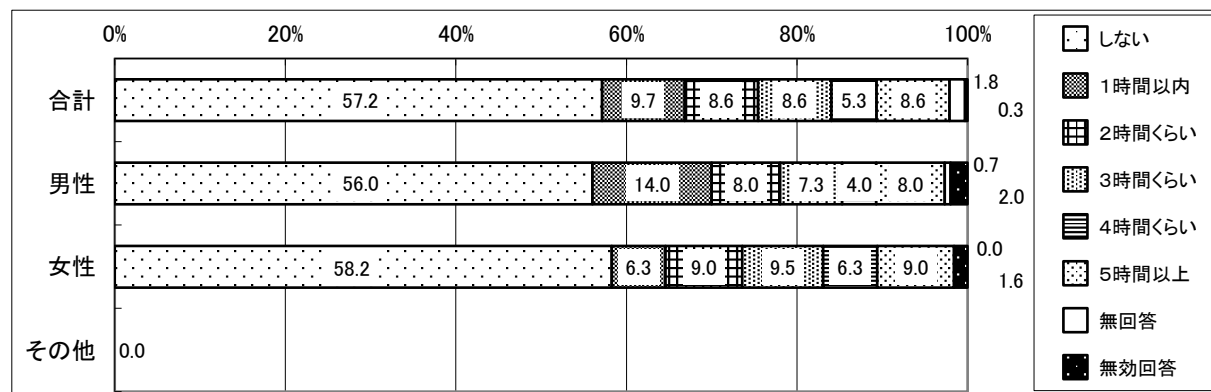
(2) 勉強や部活をする(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

勉強や部活をするで、最も割合が高かったのは、「しない」で64.9%である。
男女別でみると、「しない」と回答した男性(66.7%)と女性(63.5%)では、男性の方が3.2ポイント高かった。



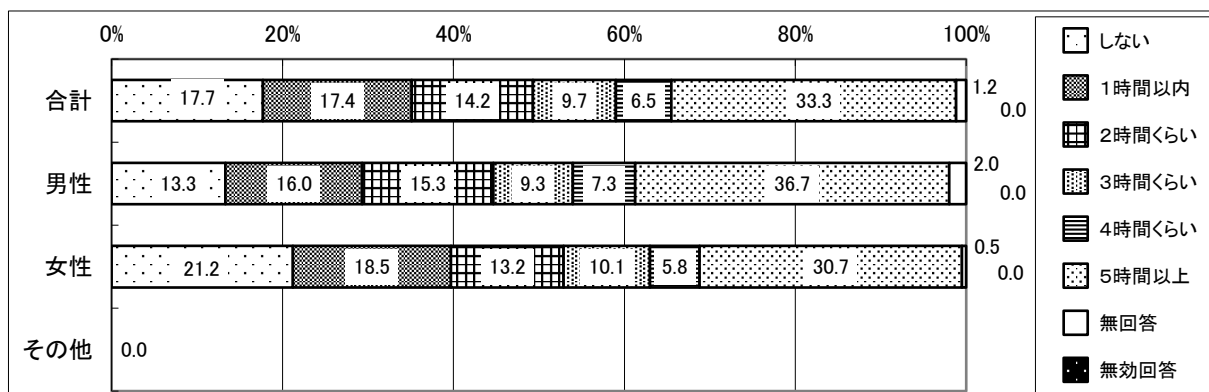
(3) 友達と遊ぶ(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

友達と遊ぶで、最も割合が高かったのは、「しない」で57.2%である。
男女別でみると、「1時間以内」と回答した男性(14.0%)と女性(6.3%)では、男性の方が7.7ポイント高かった。



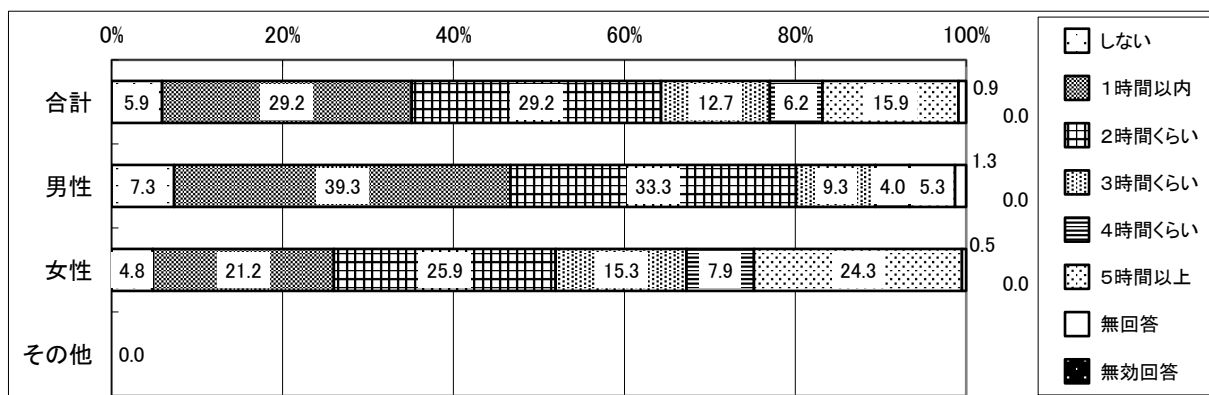
(4) ひとりで過ごす(勉強や就寝をのぞく) (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

ひとりで過ごすで、最も割合が高かったのは、「5時間以上」で33.3%である。
男女別でみると、「しない」と回答した男性（13.3%）と女性（21.2%）では、女性の方が7.9ポイント高かった。



(5) 家事や家族の手伝いをする (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

家事や家族の手伝いをするで、最も割合が高かったのは、「1時間以内」、「2時間くらい」で29.2%である。
男女別でみると、「5時間以上」と回答した男性（5.3%）と女性（24.3%）では、女性の方が19.0ポイント高かった。



7 インターネット利用

問21 あなたは、インターネットをどのようなことに使っていますか(仕事での使用を除く)。
1日あたりの平均時間に近いものを、次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0)

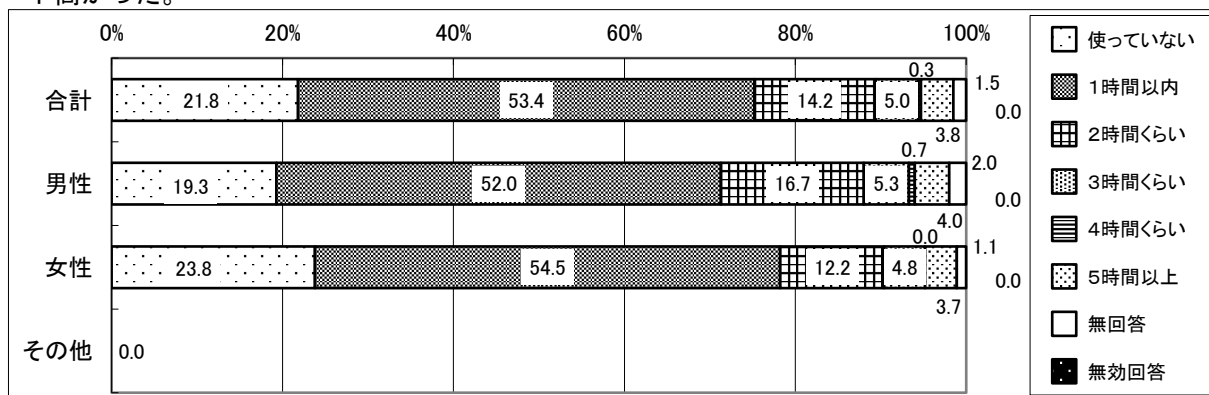
(1) 勉強・学習(調べごと、オンライン講座、ミーティングなど)

(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

勉強・学習で、最も割合が高かったのは、「1時間以内」で53.4%である。

男女別でみると、「使っていない」と回答した男性(19.3%)と女性(23.8%)では、女性の方が4.5ポイント高かった。

一方、「2時間くらい」と回答した男性(16.7%)と女性(12.2%)では、男性の方が4.5ポイント高かった。

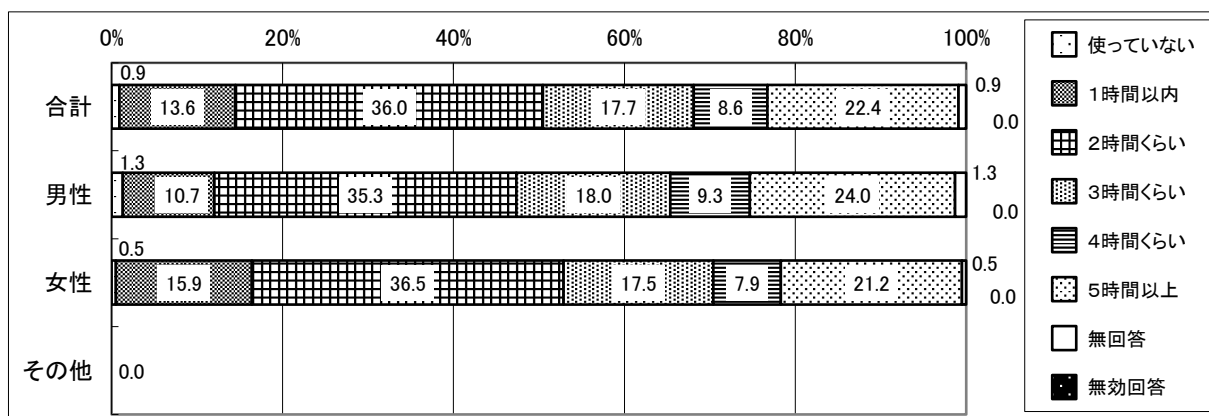


(2) 趣味・娯楽(動画・音楽・漫画の視聴、ゲームをする、創作する、など)

(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

趣味・娯楽で、最も割合が高かったのは、「2時間くらい」で36.0%である。

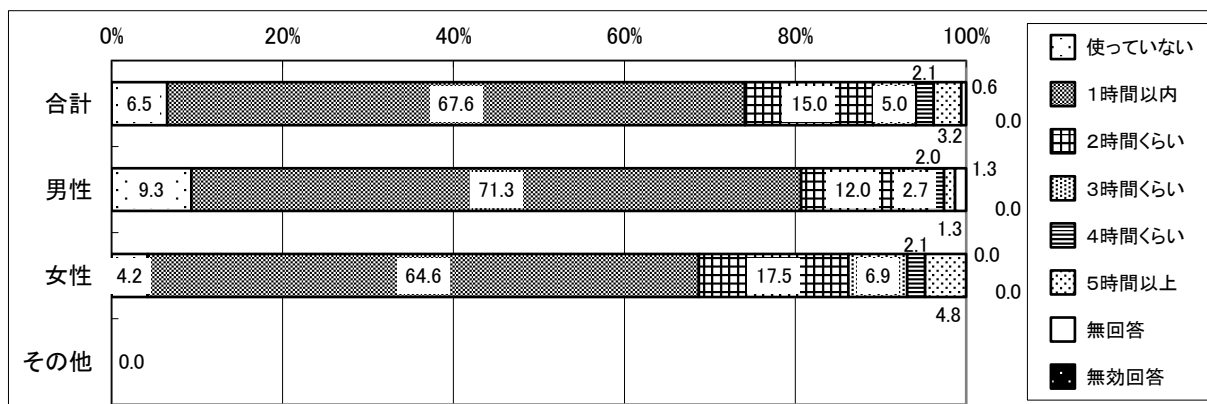
男女別でみると、「1時間以内」と回答した男性(10.7%)と女性(15.9%)では、女性の方が5.2ポイント高かった。



(3) 家族や友達とのコミュニケーション(メール、SNSなど)

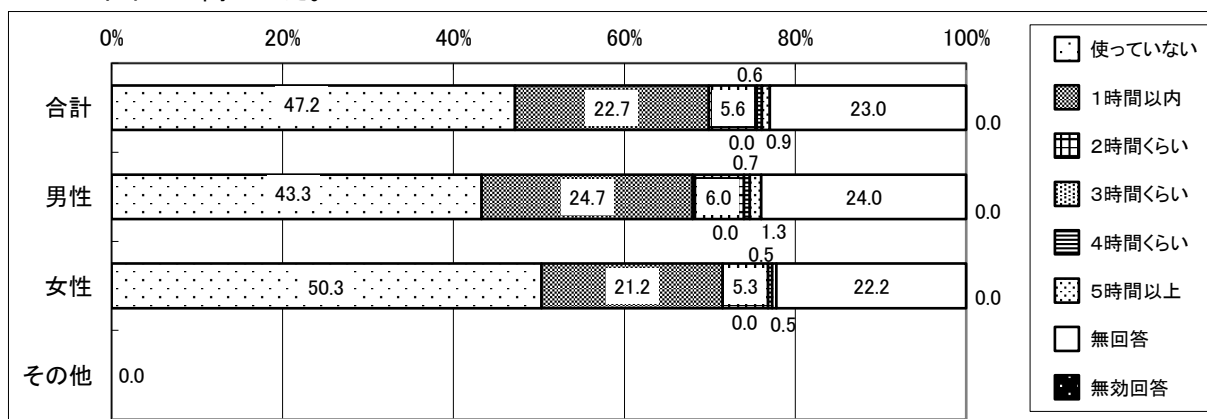
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

家族や友達とのコミュニケーションで、最も割合が高かったのは、「1時間以内」で67.6%である。
男女別でみると、「1時間以内」と回答した男性(71.3%)と女性(64.6%)では、男性の方が
6.7ポイント高かった。



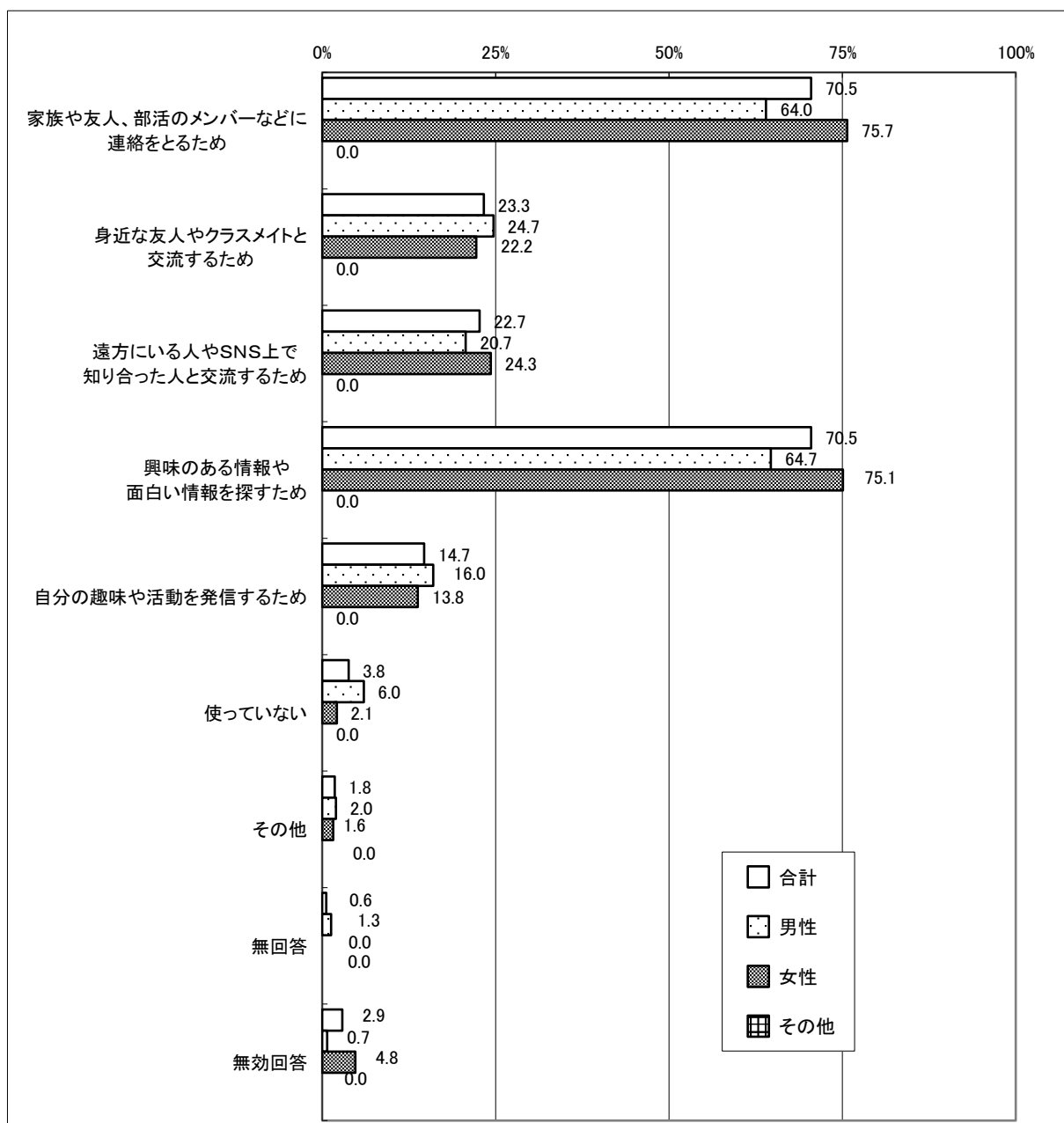
(4) その他(上記にあてはまらないもの)(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

その他で、最も割合が高かったのは、「使っていない」で47.2%である。
男女別でみると、「使っていない」と回答した男性(43.3%)と女性(50.3%)では、女性の方が
7.0ポイント高かった。



問22 あなたは、SNS（LINE、X、Instagram、TikTokなど）を利用していますか。
 利用している場合は、どのような用途に使用していますか。
 次の中からあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
 （N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0）

SNSを利用する用途で、最も割合が高かったのは、「家族や友人、部活のメンバーなどに連絡をとるため」、「興味のある情報や面白い情報を探すため」で70.5%である。
 男女別でみると、「家族や友人、部活のメンバーなどに連絡をとるため」と回答した男性（64.0%）と女性（75.7%）では、女性の方が11.7ポイント高かった。



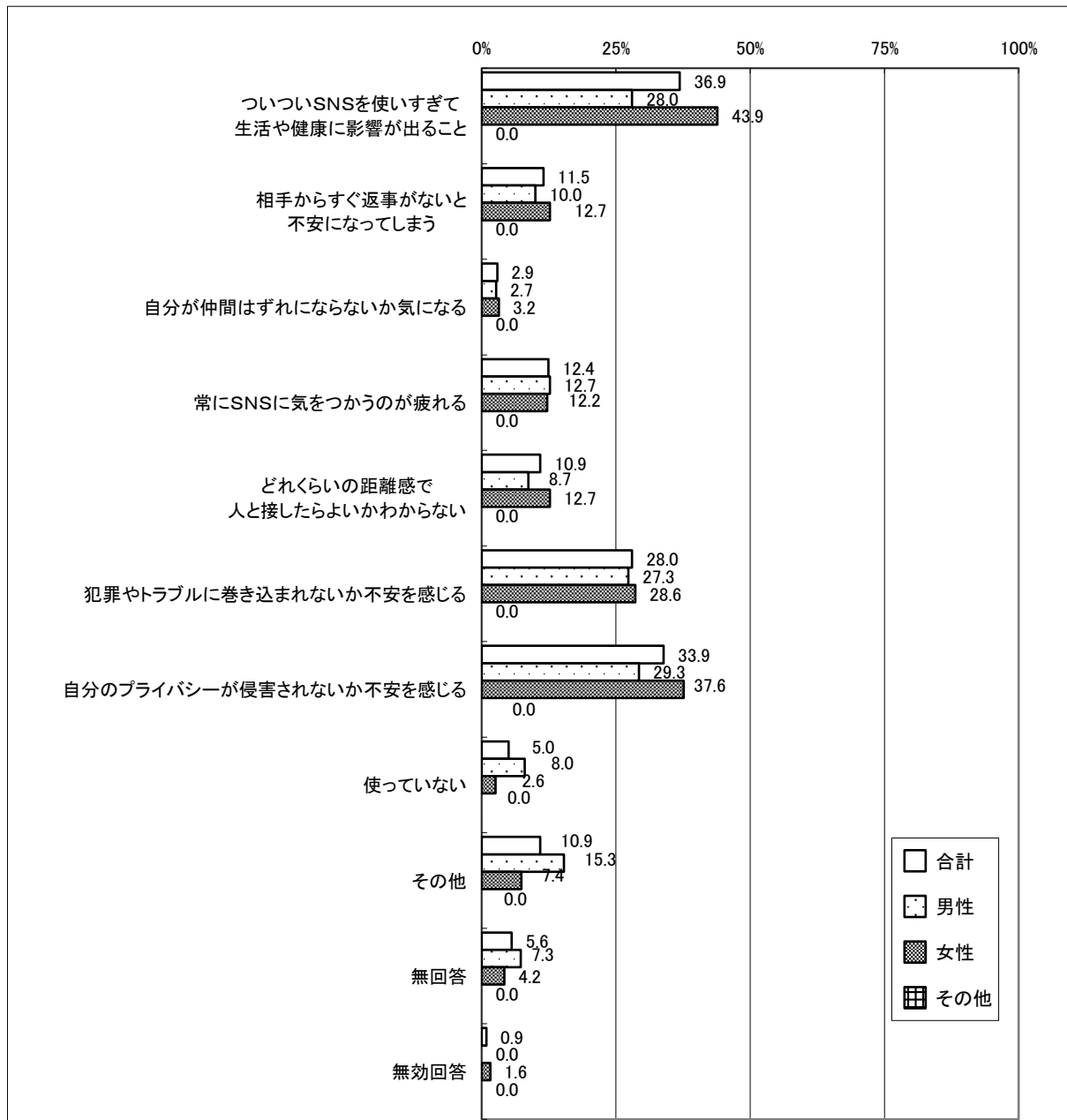
「その他」の内訳

・情報収集	1
・仕事の連絡先として	1
・ゲーム	1
・仕事（集客の為）	1
・視野を広げる、知らないをなくす、世界情勢	1
・ニュースの情報集め	1
合計	6

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問23 あなたは、SNSを使っていて不安に感じることはありますか。
 次の中からあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
 (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

SNSを使っていて不安に感じることで、最も割合が高かったのは、「つつい SNS を使いすぎて生活や健康に影響がでること」で36.9%である。次いで「自分のプライバシーが侵害されないか不安を感じる」が33.9%、「犯罪やトラブルに巻き込まれないか不安を感じる」が28.0%と続く。男女別でみると、「つつい SNS を使いすぎて生活や健康に影響がでること」と回答した男性（28.0%）と女性（43.9%）では、女性の方が15.9ポイント高かった。



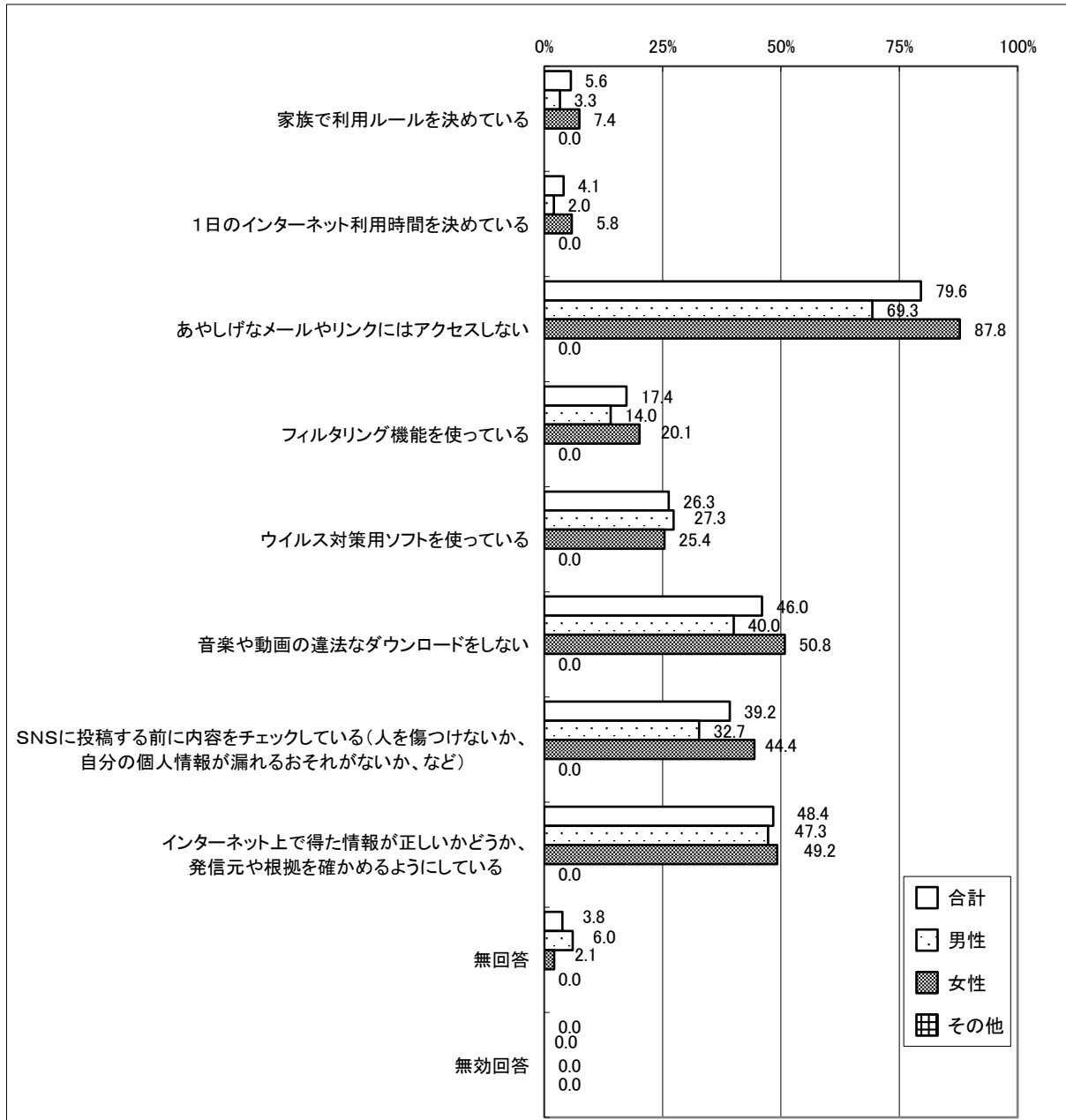
「その他」の内訳	
・子どもの使用	1
・SNSの極端で過激な一面が目に入り不安を感じる。	1
・得られる情報がかたよる。	1
・乗っ取り、スパム、ウケ狙いで過激な活動をする人	1
・使用しているが、どの不安もない	1
・SNSが身近にありすぎる事が原因で1～5のような人が老若男女増えているように感じます。自分の発言や 行いがどういう結果につながるか想像できない、しない人が増えた社会はどなっていくのか恐ろしさを覚えます。	1
・見てるだけなので、特に無し	1
・SNSは閲覧するのみで発信しない。LINEは連絡手段。	1
・不安になるほど使っていない。	1
・誤った情報を鵜呑みにする、誹謗中傷による自殺	1
・不安はない	6
合計	16

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

問24 インターネットを利用するときに気を付けていることはありますか。
 次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

インターネットを利用するときに気を付けていることで、最も割合が高かったのは、「あやしげなメールやリンクにはアクセスしない」で79.6%である。次いで「インターネット上で得た情報が正しいかどうか、発信元や根拠を確かめるようにしている」が48.4%、「音楽や動画の違法なダウンロードをしない」が46.0%と続く。

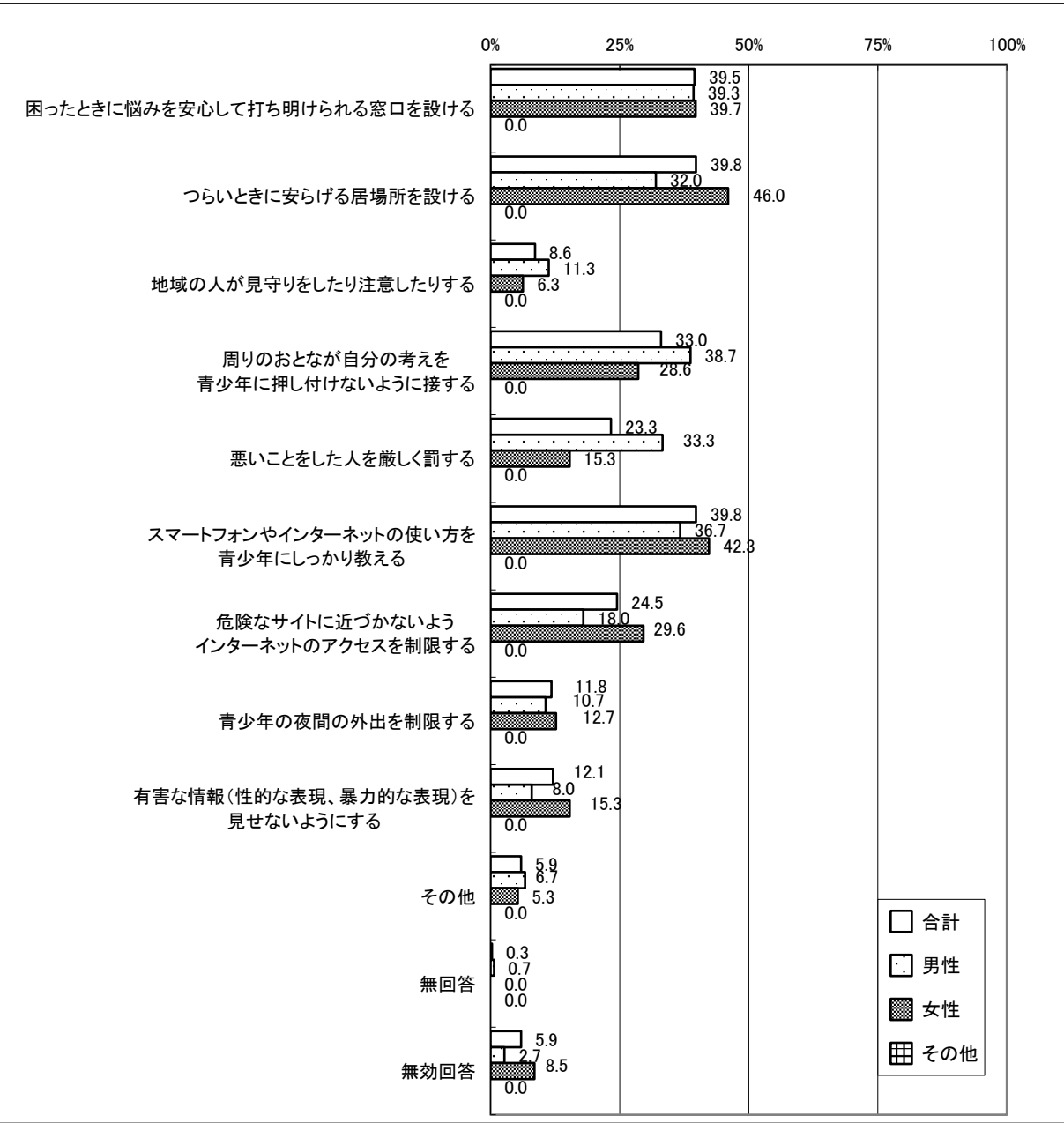
男女別でみると、「あやしげなメールやリンクにはアクセスしない」と回答した男性（69.3%）と女性（87.8%）では、女性の方が18.5ポイント高かった。



8 子どもの非行・被害防止

問25 あなたは、中学生・高校生が非行を行ったり犯罪に巻き込まれたりするのを防ぐため、どのような取組が重要だと思いますか。
次の中から特にあてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。
(N=339 男性=150 女性=189 その他=0 無回答=0)

中学生・高校生が非行を行ったり犯罪に巻き込まれたりするのを防ぐために重要な取り組みで、最も割合が高かったのは、「つらいときに安らげる居場所を設ける」、「スマートフォンやインターネットの使い方を青少年にしっかり教える」でそれぞれ39.8%である。
男女別でみると、「悪いことをした人を厳しく罰する」と回答した男性（33.3%）と女性（15.3%）では、男性の方が18.0ポイント高かった。



「その他」の内訳	
・防げない	1
・自分の判断力を身につけられるようにする	1
・防ぐのは無理。	1
・だめなことをしたら、親・先生がしかる。おこるではない。	1
・中・高生が興味を持つことに関して大人が過度に制限をせず正しく考えられるような知識や情報を伝えてあげる	1
・家庭環境の改善	1
・自分で働けるようになってからスマホを持たせればいいと思う。	1
・学校の教育、家庭環境の安定化	1
・実害を見せて実感を持たせる事	1
・小学校から中学校に進む際の学校の情報共有や思春期教育。幼少期からの愛着形成支援（親や保護者への教育や支援）	1
・何が良いことなのか、何が悪い危ないことなのかを伝える。怒らない。中高生に知識として知ってもらうことを増やす。	1
・親・家族が非行がどういうものか理解するところから。地域の人の見守り注意や、学校の教師に責任を委ねない。理解もせず、他人に責任を負わせようという風潮があれば5、のような罰が無いと分からない。致し方ないと思います。	1
・ストレス発散を一緒に考えてあげる。	1
・家庭環境を良くする	1
・通学路の安全防犯カメラ、街灯、学割のきく交通機関、スクールバス	1
・早い時期からスマートフォンの使い方をレクチャーする。取り上げるだけではなく	1
・複数のコミュニティを持っておく。クラス、部活）学校内、学校外（習い事・趣味）	1
・考える力をつける取組。非行を行ってしまった人、犯罪に巻き込まれた人の生の声を保護者も聞いてもらう。（講演会のような感じで）	1
・警察がパトロール時にしっかりパトランプを点ける。	1
・法律的な力でどうにかするしかない	1
合計	20

※「その他」の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。